



> PRINT > COPY > SCAN > FAX

ECOSYS M3540idn
ECOSYS M3550idn

使用説明書



使用説明書 **メニュー**

本説明書は、次の章で構成されています。下記のボタンをクリックすると該当する章のトップページにジャンプします。章のトップページには目次がありますので、目的の項目をクリックして参照してください。

[▶ 目次](#)[▶ 索引](#)[▶ 1 正しくお使いいただくために](#)[▶ 7 ジョブ / 消耗品 / デバイスを管理する](#)[▶ 2 設置と機械のセットアップ](#)[▶ 8 システムメニュー](#)[▶ 3 本機を使用する前に](#)[▶ 9 ユーザー認証、集計管理 \(ユーザー管理、部門管理\)](#)[▶ 4 パソコンからの印刷](#)[▶ 10 こんなときには](#)[▶ 5 本体側の操作](#)[▶ 11 付録](#)[▶ 6 さまざまな機能を使う](#)

はじめに

ECOSYS M3540idn/ECOSYS M3550idnをご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法、日常の手入れ、およびかんたんなトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。

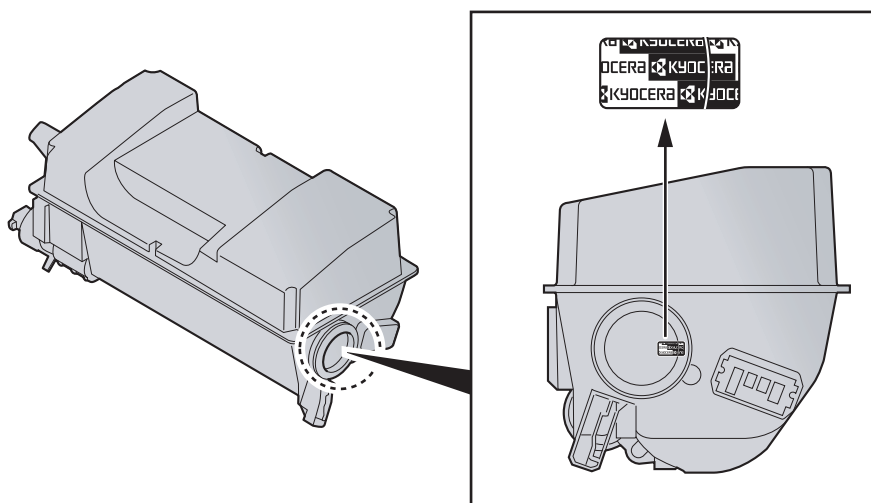
印刷品質維持のため、トナーコンテナは弊社純正品の使用をお勧めします。

弊社製品には、数々の品質検査に合格した弊社純正品のトナーコンテナをご使用ください。

純正品以外のトナーコンテナをお使いになると、故障の原因になることがあります。

純正品以外のトナーコンテナの使用が原因で、機械に不具合が生じた場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。

弊社純正消耗品には、以下のホログラムシールが貼り付いています。



目次

はじめに	i
目次	ii
こんなことができます	viii
本機の特長	ix
付属マニュアルの紹介	xiii
使用説明書（本書）について	xiv
本書の構成について	xiv
本書の読みかた	xv
オプションの表記について	xviii
メニューマップ	xix

1 正しくお使いいただくために 1-1

注意事項	1-2
本書中の注意表示について	1-2
設置環境について	1-3
取り扱い上のご注意	1-4
コピー/スキャン禁止事項	1-5
法律上のご注意	1-6
本製品の省エネ制御機能について	1-12
自動両面機能について	1-12
印刷用紙	1-12
電力管理	1-13
国際エネルギースター (ENERGY STAR®) プログラム	1-13

2 設置と機械のセットアップ 2-1

各部の名称	2-2
本体外観	2-2
コネクタ・内部	2-3
オプション装着時	2-4
本機とその他デバイスの接続のしかた	2-5
ケーブルの接続	2-6
ネットワークケーブルの接続	2-6
USBケーブルの接続	2-7
電源コードの接続	2-7
電源の入/切	2-8
電源を入れる	2-8
電源を切る	2-8
ログイン・ログアウト	2-9
ログイン	2-9
ログアウト	2-10
機械の初期設定について	2-11
日付と時刻の設定	2-11
ネットワーク (ネットワークケーブルを接続した場合)	2-13
省エネ機能について	2-14
低電力モードと自動低電力モード	2-14
スリープとオートスリープ	2-15
簡単セットアップウィザード	2-16
ソフトウェアのインストール	2-19
収録ソフトウェア (Windows)	2-19
Windowsにインストールする	2-20
ソフトウェアのアンインストール	2-25
Macintoshにインストールする	2-26

TWAINドライバーの設定	2-28
WIAドライバーの設定	2-29
カウンターの確認	2-30
管理者に準備していただきたいこと	2-31
パソコンに文書を送信するためには	2-31
セキュリティーを強化するには	2-31
Command Center RXについて	2-33
Command Center RX へアクセスする	2-34
セキュリティー設定を変更する	2-35
デバイス情報を変更する	2-37
メール設定	2-39
宛先を登録する	2-43
ユーザーボックスを作成する	2-44
ユーザーボックスに保存されている文書を印刷する	2-45
弊社の他製品からのデータ移行について	2-47
アドレス帳を移行する	2-47

3 本機を使用する前に 3-1

操作パネルの使いかた	3-2
操作パネルキー	3-2
操作パネルの角度調節	3-3
タッチパネルの表示について	3-4
ホーム画面	3-4
機器情報の表示	3-8
設定できないキーの表示	3-9
エンターキー、短縮キーについて	3-10
ヘルプ画面について	3-11
用紙の補給	3-12
用紙の取り扱い上の注意	3-13
カセットにセットする	3-14
手差しトレイにセットする	3-18
用紙サイズと用紙種類の設定	3-22
排紙ストッパー	3-24
パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備	3-25
コンピューター名とフルコンピューター名をメモする	3-25
ユーザー名とドメイン名をメモする	3-26
共有フォルダーを作成する、共有名をメモする	3-27
Windowsファイアウォールの確認	3-31
アドレス帳の登録	3-35
宛先の新規登録(アドレス帳)	3-35
ワンタッチキーの登録(ワンタッチキー)	3-42

4 パソコンからの印刷 4-1

パソコンから印刷する	4-2
不定形サイズの用紙に印刷する	4-4
プリンタードライバーの印刷設定画面について	4-5
プリンタードライバーのヘルプの見かた	4-6
プリンタードライバーの初期設定値を変更する(Windows 7の場合)	4-6
パソコンで印刷を中止する	4-6
AirPrintで印刷	4-7
本体に保存したデータを印刷する	4-8
パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する	4-8
プライベートプリントボックスからジョブを印刷する	4-8
ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する	4-11

クイックコピーボックスからジョブを印刷する	4-14
試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する	4-17

5 本体側の操作 5-1

原稿のセット	5-2
原稿ガラスへのセット	5-2
原稿送り装置へのセット	5-3
お気に入り	5-5
お気に入りの登録	5-6
お気に入りの呼び出し	5-9
お気に入りの変更と削除	5-10
アプリケーション	5-11
アプリケーションをインストールする	5-11
アプリケーションを使用する	5-12
アプリケーションをアンインストールする	5-13
ショートカット登録	5-14
ショートカットの登録	5-14
ショートカットの変更と削除	5-15
コピーのしかた	5-16
コピーの基本操作	5-16
次の予約	5-17
ジョブのキャンセル	5-18
スキャン(送信)のしかた	5-19
スキャン(送信)の基本操作	5-20
宛先の選びかた	5-22
宛先の確認/変更	5-30
宛先確認画面について	5-31
再宛先呼び出し	5-32
自分に送信(メール)	5-32
種類の異なる相手への送信(複合送信)	5-33
スキャン(送信)のキャンセル	5-34
WSDスキャン	5-35
TWAINを使った読み込み方法	5-37
FMU Connectionを使った読み込み方法	5-39
ファクスのしかた	5-40
文書ボックスとは	5-41
文書ボックスの基本操作	5-42
ユーザーボックスの使いかた	5-43
ボックスを作成する(新規作成)	5-43
ボックスの変更と削除	5-45
文書を保存する(文書保存)	5-47
文書を印刷する(印刷)	5-47
文書を編集する	5-48
文書を削除する	5-49
USBメモリーからの印刷	5-50
USBメモリーに文書を保存する(Scan to USB)	5-52
USBメモリー情報を確認する	5-53
USBメモリーの取り外しかた	5-54

6 さまざまな機能を使う 6-1

本機に用意されている機能	6-2
コピー	6-2
送信	6-3
ユーザーボックス(印刷)	6-5

外部メモリー(文書保存、印刷)	6-6
各機能について	6-8
原稿サイズ	6-8
用紙選択	6-9
原稿セット向き	6-10
ソート	6-10
濃度	6-11
原稿の画質	6-11
エコプリント	6-12
カラー選択	6-12
シャープネス	6-13
地色調整	6-13
うら写り防止	6-14
縮小/拡大	6-14
ページ集約	6-16
両面/分割	6-18
連続読み込み	6-19
ジョブ終了通知	6-20
文書名入力	6-21
優先印刷	6-21
静音モード	6-21
両面/分割・両面(両面原稿)	6-22
送信サイズ	6-23
ファイル形式	6-24
ファイル分割	6-27
読み込み解像度、解像度	6-27
メール件名/本文	6-28
FTP暗号送信	6-28
印刷後削除	6-28
保存サイズ	6-29
暗号化PDFパスワード	6-29
JPEG/TIFF印刷方法	6-30
XPS印刷サイズ調整	6-30

7 ジョブ/消耗品/デバイスを管理する 7-1

ジョブの状況確認	7-2
状況確認画面の内容	7-4
ジョブの詳細情報を確認する	7-8
ジョブの履歴を確認する	7-9
ジョブ履歴の詳細情報を確認する	7-11
ジョブ履歴を送信する	7-11
ジョブの操作	7-12
ジョブの一時停止と再開	7-12
ジョブのキャンセル	7-12
デバイスの状態確認(デバイス/通信)	7-13
トナーや用紙の残量確認(用紙/消耗品)	7-15

8 システムメニュー 8-1

本機の初期設定(システムメニュー)	8-2
操作方法	8-2
システムメニューの項目	8-4
言語選択	8-6
レポート	8-6
ユーザー情報	8-9

カセット/手差しトレイ設定	8-9
共通設定	8-11
ホーム	8-20
コピー	8-20
送信	8-21
文書ボックス	8-22
ファクス	8-22
アプリケーション	8-23
インターネット	8-23
アドレス帳/ワンタッチ	8-23
ユーザー/部門管理	8-24
プリンター	8-25
システム/ネットワーク	8-27
日付/タイマー/節電	8-37
調整/メンテナンス	8-39

9 ユーザー認証、集計管理(ユーザー管理、部門管理) 9-1

ユーザー管理について	9-2
ユーザー管理を有効にする	9-3
ユーザー管理の設定	9-5
ユーザーの新規登録(ローカルユーザーリスト)	9-5
ユーザー情報の変更	9-9
ユーザーアカウントロックアウト設定	9-13
印刷のユーザー管理	9-15
TWAINを使ったスキヤンのユーザー管理	9-16
WIAを使ったスキヤンのユーザー管理	9-17
パソコンから送信するファクスのユーザー管理	9-18
ローカルユーザー認可	9-19
グループ認可設定	9-20
ネットワークユーザー情報の取得	9-23
簡単ログイン設定	9-25
ICカード設定	9-29
ユーザー管理の使いかた	9-30
ログイン/ログアウト	9-30
パソコンでのユーザー管理	9-30
部門管理について	9-31
部門管理を有効にする	9-32
部門管理方式	9-33
部門管理の設定	9-34
部門の新規登録	9-34
使用制限	9-36
部門の編集	9-37
部門の削除	9-39
印刷の部門管理	9-40
TWAINを使ったスキヤンの部門管理	9-41
WIAを使ったスキヤンの部門管理	9-42
パソコンから送信するファクスの部門管理	9-43
部門管理の運用	9-44
初期設定	9-44
使用枚数の集計	9-45
部門管理レポート印刷	9-46
部門管理の使いかた	9-48
ログイン/ログアウト	9-48
パソコンでの部門管理	9-48

10 こんなときには 10-1

日常のお手入れ 10-2
 清掃 10-2
 トナーコンテナの交換 10-5
 廃棄トナーボックスの交換 10-8
 こまったときは 10-10
 一般的な問題について 10-10
 こんな表示がでたら 10-15
 調整/メンテナンスメニューについて 10-26
 紙づまりが発生したら 10-27

11 付録 11-1

オプションについて 11-2
 オプション構成 11-2
 オプションのアプリケーションについて 11-10
 文字の入力方法 11-12
 入力方式の選択 11-12
 入力文字の選択 11-13
 入力画面 11-14
 かな入力とローマ字入力での文字変換 11-17
 区点コードでの文字変換 11-19
 用紙について 11-21
 用紙の基本仕様 11-21
 適正な用紙の選択 11-22
 特殊な用紙 11-25
 仕様 11-30
 共通機能 11-30
 コピー機能 11-32
 プリンター機能 11-32
 スキャナー機能 11-33
 原稿送り装置 11-33
 ペーパーフィーダー (500枚×1) 11-34
 区点コード表 11-35
 製品の保守サービスについて 11-41
 契約書について 11-41
 補修用性能部品について 11-42
 廃棄について 11-42
 使用済み製品の廃棄 11-42
 初期化について 11-42
 トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄 11-42
 用語集 11-43
 索引 索引-1

こんなことができます

本機は、コピー機能や印刷機能を標準で搭載し、スキャンした画像データをメールに添付して送信したり、ネットワーク上のパソコンに送信することができます。また、ファクス機能を使用することもできます。

インプット

原稿



電子データ



USBメモリー



ファクスデータ



セキュリティ

お客様のニーズに応じたセキュリティレベルで本機をご使用になれます。



[セキュリティを強化したい \(xiページ\)](#)

アプリケーション

お客様のニーズに応じた機能を拡張して使用できます。



[アプリケーション \(5-11ページ\)](#)

パソコンからの設定機能



Command Center RX

パソコンのWebブラウザ上で本機の状態確認や各種設定の変更などが可能です。

[Command Center RXについて \(2-33ページ\)](#)

Command Center RX操作手順書

文書ボックス機能

データを本機内に保存したり、USBメモリーに保存したり、さまざまに活用できる機能です。

[本体に保存したデータを印刷する \(4-8ページ\)](#)
[ユーザーボックスの使いかた \(5-43ページ\)](#)

アウトプット

コピー機能



[コピーのしかた \(5-16ページ\)](#)
[パソコンから印刷する \(4-2ページ\)](#)

プリンター機能



[スキャン\(送信\)のしかた \(5-19ページ\)](#)

送信機能

USBメモリー



[USBメモリーに文書を保存する \(Scan to USB\) \(5-52ページ\)](#)

ファクス機能



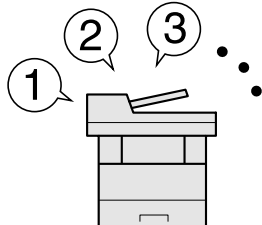

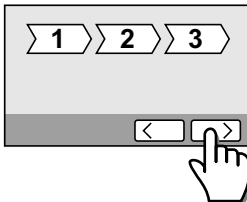

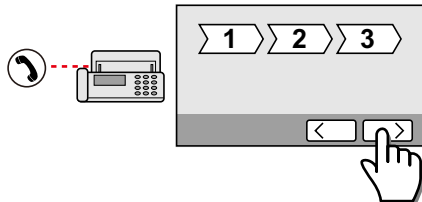

[ファクス使用説明書](#)

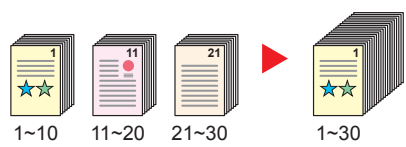

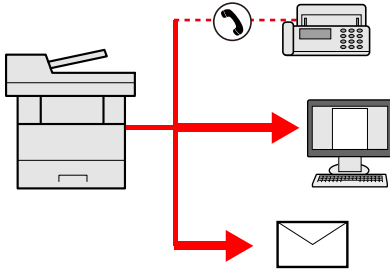

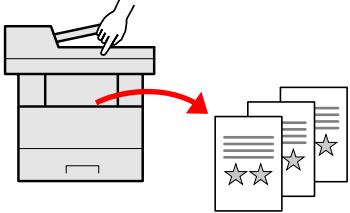

参考

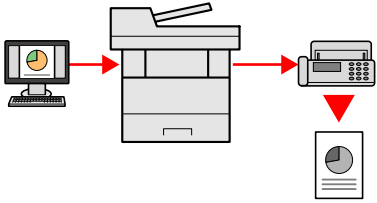

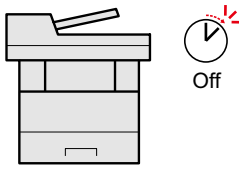

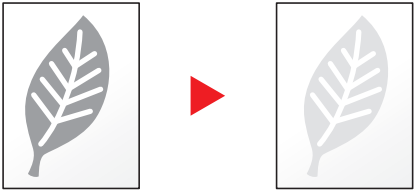

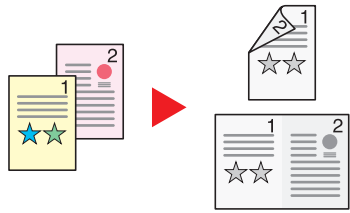

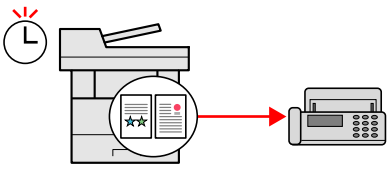

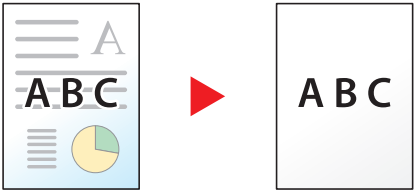

- ご使用になる前に[1-1ページの正しくお使いいただくために](#)を必ずお読みください。
- ケーブルの接続やソフトウェアのインストールなど本機を使用するための準備については、[2-1ページの設置と機械のセットアップ](#)を参照してください。
- 用紙の補給、共有フォルダーやアドレス帳の登録については、[3-1ページの本機を使用する前に](#)を参照してください。

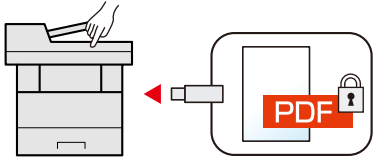



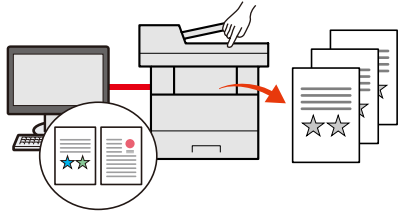

本機の特長

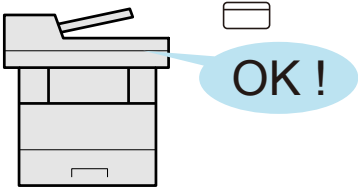



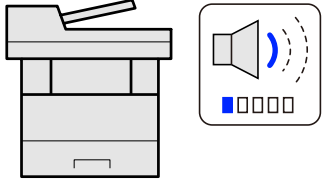

本機はさまざまなべんりな機能を搭載しています。ここでは一例を紹介します。詳しくは[さまざまな機能を使う \(6-1ページ\)](#)を参照してください。

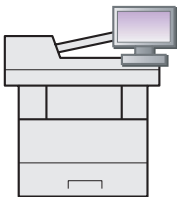

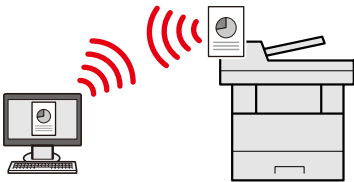

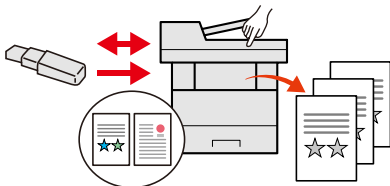

効率よく作業したい		
<p>よく使う機能をワンタッチで呼び出す (お気に入り)</p>  <p>よく使う機能をかんたんに設定したいときに便利です。 よく使う設定をお気に入りに登録すると、かんたんにその設定を呼び出すことができます。ワンタッチで呼び出せるので、別の人が代わりに作業することもできます。</p> <p> お気に入り (5-5ページ)</p>	<p>セットアップを簡単に行う (簡単セットアップウィザード)</p>  <p>本機を使用する前に必要な設定をウィザード形式で行うことができます。</p> <p> 簡単セットアップウィザード (2-16ページ)</p>	<p>ファクスのセットアップを簡単に行う (ファクスのセットアップ)</p>  <p>ファクスを使用する前に必要な設定をウィザード形式で行うことができます。</p> <p> ファクスのセットアップ (2-16ページ)</p>

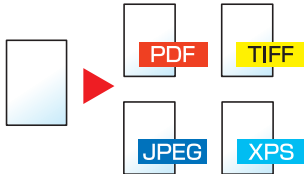



効率よく作業したい		
<p>数回に分けて読み込んだ原稿をまとめて処理する (連続読み込み)</p>  <p>枚数の多い資料を作るときなどに便利です。 原稿の量が多くて原稿送り装置に一度にセットできないようなとき、数回に分けて読み込み、一度にまとめて印刷や送信することができます。</p> <p> 連続読み込み (6-19ページ)</p>	<p>複数の送信方法で同時に送信する (複合送信)</p>  <p>送信方法が違う宛先に、かんたんに送りたいときに便利です。 メール送信やSMB送信、ファクス送信など、種類の違う宛先を指定して送信できます。 1回の操作で送信できるので、作業の効率がアップします。</p> <p> 種類の異なる相手への送信 (複合送信) (5-33ページ)</p>	<p>よく使う文書を本機に保存する (ユーザーボックス)</p>  <p>よく使う文書を本機に保存し、必要なときに操作パネルから印刷します。</p> <p> ユーザーボックスの使いかた (5-43ページ)</p>

効率よく作業したい	経費を節約したい	
<p>パソコンからファクスを送信する (Network FAX)</p>  <p>ファクスするときの用紙を節約したいときに便利です。 ファクスする文書を印刷することなく、パソコンから送信ができるので、用紙などの削減と共に作業の効率がアップします。</p> <p> ファクス使用説明書</p>	<p>使いかたに合わせて節電する (省エネ機能)</p>  <p>本機は低電力モードやスリープ状態になる省エネ機能を備えています。</p> <p> 省エネ機能について (2-14ページ)</p>	<p>トナーの消費をおさえて印刷する (エコプリント)</p>  <p>トナーを節約したいときに便利です。 試し印刷や社内での確認用資料など、内容が確認できればいい程度の資料を作成するときを使用すると、トナーを節約できます。 高品質な印刷が必要でないときに利用できます。</p> <p> エコプリント (6-12ページ)</p>
経費を節約したい	資料をきれいに作りたい	
<p>用紙を節約して印刷する (用紙節約コピー)</p>  <p>用紙の両面に印刷したり、2枚以上の複数枚の原稿を1枚の用紙にまとめて印刷したりすることができます。</p> <p> ページ集約 (6-16ページ) 画面/分割 (6-18ページ)</p>	<p>通信費を削減してファクスする (タイマー送信)</p>  <p>通信費を削減したいときに便利です。 通信費が安い時間帯にタイマーをセットして、通信費を削減できます。</p> <p> ファクス使用説明書</p>	<p>印刷のうら写りを防止したい (うら写り防止)</p>  <p>うすい紙の原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まないように画質を調整します。</p> <p> うら写り防止 (6-14ページ)</p>

セキュリティを強化したい		
<p>PDFにパスワードを設定する (PDF暗号化機能)</p>  <p>ファイル形式がPDFの時に、パスワードによるセキュリティを使って、文書の表示、印刷、編集に制限を追加することができます。</p> <p> PDF暗号化機能 (6-25ページ)</p>	<p>SSD内のデータを守る (暗号化/上書き消去)</p>  <p>SSD内に残った不要なデータを自動的に上書き消去します。 データを暗号化してSSDに書き込み、外部への流出を防ぎます。</p> <p> データセキュリティ (8-36ページ)</p>	<p>印刷した原稿の持ち去りを防ぐ (プライベートプリント)</p>  <p>プリンターから印刷するデータを一時的に本体のボックスに保存し、本体側で印刷を実行することで、印刷した用紙の持ち去りを防ぐことができます。</p> <p> プライベートプリントボックスからジョブを印刷する (4-8ページ)</p>

セキュリティを強化したい	もっと使いこなしたい	
<p>ICカードでログインする (ICカード認証)</p>  <p>ログインユーザー名やパスワードを入力することなく、ICカードをタッチするだけでログインできます。</p> <p> ICカード認証キット(B) <ICカード認証キット> (11-3ページ)</p>	<p>セキュリティを強化する (管理者向け各種設定)</p>  <p>本機では、セキュリティを強化するために、管理者が設定できる機能をいろいろ用意しています。</p> <p> セキュリティを強化するには (2-31ページ)</p>	<p>静かに使用する (静音モード)</p>  <p>本機の動作音を抑えて静かに使用することができます。ジョブごとに設定することができます。</p> <p> 静音モード (6-21ページ)</p>

もっと使いこなしたい		
<p>業務に合わせて機能を拡張する (アプリケーション)</p>  <p>アプリケーションをインストールして機能を拡張することができます。 お客様の業務内容に合わせたスキャン機能や認証機能などのアプリケーションを提供することで、日常の業務をより効率的に行えるようサポートします。</p> <p> アプリケーション (5-11ページ)</p>	<p>ネットワーク配線を気にせずに設置したい(ワイヤレスネットワーク)</p>  <p>無線LAN環境があれば、ネットワーク配線を気にせずに本機を設置することができます。</p> <p> ワイヤレスネットワーク (8-33ページ)</p>	<p>USBメモリーを使う (USBメモリー)</p>  <p>外出先で文書を印刷したり、パソコンが使えないときなどに便利です。 USBメモリーを本機に接続し、メモリー内に保存されている文書を印刷します。また、本機で読み込んだ文書をメモリーに保存することもできます。</p> <p> USBメモリーからの印刷 (5-50ページ) USBメモリーに文書を保存する (Scan to USB) (5-52ページ)</p>

もっと使いこなしたい	
<p>画像のファイル形式を設定する (ファイル形式)</p>  <p>画像を送信/保存する際、さまざまなファイル形式に対応しています。</p> <p> ファイル形式 (6-24ページ)</p>	<p>リモートで本機を操作する (Command Center RX)</p>  <p>パソコンからリモートで、本機にアクセスし、データの印刷、送信、ダウンロードなどの操作ができます。 管理者は、本機の動作設定や管理設定を効率的に行うことができます。</p> <p> Command Center RXについて (2-33ページ)</p>

付属マニュアルの紹介

本製品には、次のマニュアルが付属しています。必要に応じて参照してください。
マニュアルに記載されている内容は、機械性能改善のために予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

印刷物のマニュアル

早く使ってみたい

クイックガイド

▶ 本機のかんたんな操作のしかたや、便利な使いかた、お手入れのしかた、トラブルでこまったときの対処方法などについて説明しています。

安全に使うためには

セーフティーガイド

▶ 本機の設置環境や使用上の注意事項について説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

セーフティーガイド(ECOSYS M3540idn/ECOSYS M3550idn)

本機の設置スペース、注意ラベルなどについて説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

DVD(Product Library)収録のマニュアル(PDF)

本機を 使いこなすには

使用説明書(本書)*1

▶ 用紙の補給やコピー、プリント、スキャンの操作方法、各種初期設定などについて説明しています。

ファクス機能を 使いこなすには

ファクス使用説明書*1

▶ ファクスの機能について説明しています。

ICカードを 使うには

ICカード認証キット(B)使用説明書

▶ ICカードで認証を行うための操作手順について説明しています。

セキュリティーを 強化したい

Data Security Kit (E)使用説明書

▶ Data Security kit (E)の導入・運用手順とデータの上書き消去、暗号化について説明しています。

登録・設定を かんたんにしたい

Command Center RX操作説明書

▶ パソコンからWeb ブラウザーで本機にアクセスし、設定の変更や確認を行う方法について説明しています。

パソコンから 印刷したい

プリンタードライバ操作手順書

▶ プリンタードライバをインストールする方法や、プリンター機能について説明しています。

PDFを 直接印刷したい

KYOCERA Net Direct Print操作手順書

▶ Adobe Acrobat/Reader を起動せずにPDF ファイルを印刷できる機能について説明しています。

ネットワーク上の 本機やプリンター の整理をしたい

KYOCERA Net Viewer操作手順書

▶ KYOCERA Net Viewerで、ネットワーク上のプリントシステム(本機)を監視する方法について説明しています。

画像データを読み 込み、情報とともに に保存したい

File Management Utility操作手順書

▶ File Management Utilityを使って各種条件を設定し、スキャンした文書を送信して保存する方法について説明しています。

プリンタードライ バーを介さずに印 刷したい

プリスクライプコマンドリファレンスマニュアル

▶ ネイティブプリンター言語(プリスクライプコマンド)について説明しています。

プリスクライプコマンドテクニカルリファレンス

▶ プリスクライプコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに説明しています。

*1 弊社のホームページからダウンロードすることができます。
(<http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/manual/>)

DVDのマニュアルをご覧になるためにはAdobe Readerのバージョン8.0以上をインストールする必要があります。

使用説明書(本書)について

本書の構成について

本説明書は、次の章で構成されています。

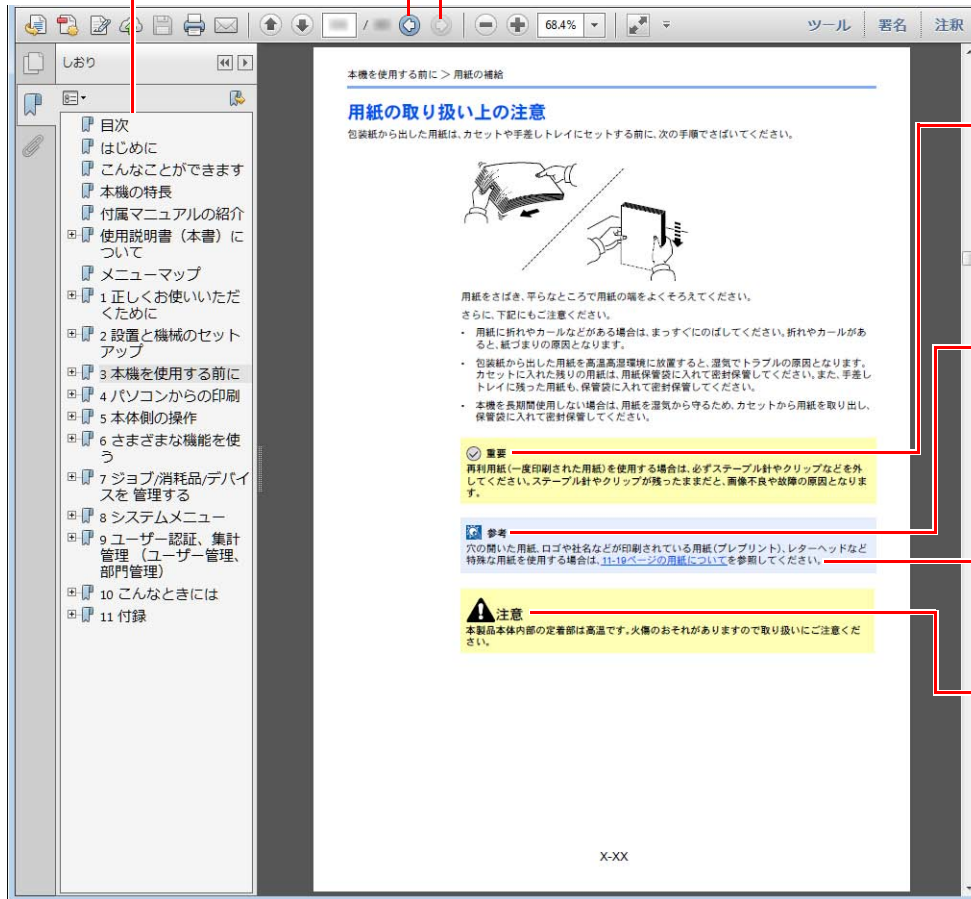
章		内容
1	正しくお使いいただくために	本機の使用に関する注意事項や商標について説明しています。
2	設置と機械のセットアップ	各部の名称、ケーブルの接続、ソフトウェアのインストール、ログイン・ログアウトなど、本機の管理者用の情報について説明しています。
3	本機を使用する前に	操作パネルの使いかた、用紙の補給、アドレス帳の登録など、ご使用前に必要な準備・設定について説明しています。
4	パソコンからの印刷	本機をプリンターとして使用する際に利用できる機能を説明しています。
5	本体側の操作	原稿のセット方法や、コピー、送信、文書ボックスの基本的な使いかたを説明しています。
6	さまざまな機能を使う	本機に用意されている便利な機能を説明しています。
7	ジョブ/消耗品/デバイスを管理する	ジョブの状況確認や履歴の確認、実行中/待機中のジョブをキャンセルする方法について説明しています。また、トナー/用紙の残量やデバイスの状態などの確認や、ファクスの通信を中止する方法についても説明しています。
8	システムメニュー	本機の動作全般に関わるシステムメニューについて説明しています。
9	ユーザー認証、集計管理(ユーザー管理、部門管理)	ユーザー管理、部門管理について説明しています。
10	こんなときには	トナーがなくなったときやエラーが表示されたとき、紙づまりなど、トラブルが発生した場合の対処方法を説明しています。
11	付録	本製品で使用できる便利なオプション機器の紹介や、用紙についての説明や用語集を収録しています。また、文字の入力方法や本機の仕様などについても説明しています。

本書の読みかた

ここでは、Adobe Reader XIを例に説明しています。

しおり(目次)をクリックすると
該当ページにジャンプします。

クリックすると、現在の表示内容から、直前に表示していた内容に戻ります。ジャンプ先から元のページに戻るときに便利です。



重要

誤った操作によるトラブルを防ぐために、操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項を示しています。

参考

補足説明や操作の参考となる情報です。

参照

下線のついた文字をクリックすると、参照ページへジャンプします。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

参考

Adobe Readerの表示は、お使いの状況によって異なります。しおり(目次)やツールが表示されていない場合は、Adobe Readerのヘルプを参照してください。

本書中では、説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明	表記例
[太字]	操作パネル上のキーおよびパソコン画面に表示されるボタンを示します。	[スタート]キーを押します。 [OK]ボタンをクリックします。
[太字]	タッチパネル上のキーを示します。	[OK]を押します。
「標準」	タッチパネルおよびパソコン画面に表示されるメッセージや設定項目名を示します。	「コピーできます。」が表示されます。 「出力用紙サイズ」メニューから選択できます。

便利な機能を説明しているページでは、その機能を使用できるモードをアイコンで示しています。

印刷:   

送信: 

保存: 

静音モード



本機の動作音を抑えることができます。動作音が気になる場合は設定してください。

アイコン	説明	アイコン	説明
	コピー時に設定できる機能です。  コピー画面		ユーザーボックスからの印刷時に設定できる機能です。  ユーザーボックス画面(オプション)
	USBなど外部メモリーからの印刷時に設定できる機能です。  外部メモリーからの印刷画面		送信時に設定できる機能です。  送信画面
	USBなど外部メモリーへの保存時に設定できる機能です。  外部メモリーへの保存画面		

操作手順の表記について

本書中では、タッチパネルのキーを連続して操作する手順を、次のように→でつないで表記しています。

実際の手順	本書の表記
[システムメニュー/カウンター]キーを押す ▼ [✓]を押す ▼ [共通設定]を押す ▼ [音設定]を押す	[システムメニュー/カウンター]キー→[✓]→[共通設定]→[音設定]の順に押します。

タッチパネルのキーを押して操作する箇所を、赤い枠で囲んで示しています。



操作パネルやタッチパネルを連続で操作する手順は、次のように番号を付けて表記しています。



オプションの表記について

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明しています。

オプション品の正式な商品名称は以下のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
PF-320	ペーパーフィーダー(500枚×1)
PT-320 ^{*1}	後ろトレイ
Data Security Kit(E)	セキュリティーキット
IC カード認証キット(B)	IC カード認証キット
HD-6/HD-7	SSD
IB-50	ネットワークインターフェイスキット
IB-51	ワイヤレスインターフェイスキット
UG-33	ThinPrint Option

*1 ECOSYS M3550idnのみ

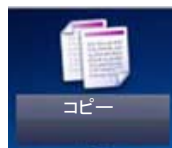
メニューマップ

(ここではタッチパネルに表示される名称で記載しており、参照先のタイトルとは異なる場合があります。)

☰ コピー



または



用紙選択 (6-9ページ)	
縮小/拡大 (6-14ページ)	
濃度 (6-11ページ)	
両面/分割 (6-18ページ)	
ページ集約 (6-16ページ)	
静音モード (6-21ページ)	
機能一覧	ソート (6-10ページ)
	原稿サイズ (6-8ページ)
	原稿セット向き (6-10ページ)
	原稿の画質 (6-11ページ)
	エコプリント (6-12ページ)
	シャープネス (6-13ページ)
	地色調整 (6-13ページ)
	うら写り防止 (6-14ページ)
	連続読み込み (6-19ページ)
	ジョブ終了通知 (6-20ページ)
	文書名入力 (6-21ページ)
	優先印刷 (6-21ページ)

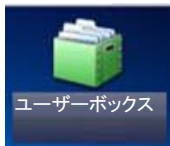
送信



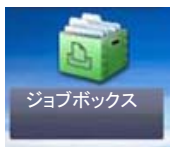
または



ワンタッチキー (5-24ページ)	
アドレス帳 (5-22ページ)	
拡張アドレス帳 (Command Center RX操作説明書参照)	
メール (5-25ページ)	
フォルダー (5-26ページ)	
新規ファクス (ファクス使用説明書参照)	
WSDスキャン (5-35ページ)	
機能一覧	静音モード (6-21ページ)
	ファイル形式 (6-24ページ)
	原稿サイズ (6-8ページ)
	原稿セット向き (6-10ページ)
	両面/分割 (6-22ページ)
	送信サイズ (6-23ページ)
	ファイル分割 (6-27ページ)
	読み込み解像度 (6-27ページ)
	濃度 (6-11ページ)
	カラー選択 (6-12ページ)
	原稿の画質 (6-11ページ)
	シャープネス (6-13ページ)
	地色調整 (6-13ページ)
	うら写り防止 (6-14ページ)
	ファクス送信解像度 (ファクス使用説明書参照)
	縮小/拡大 (6-14ページ)
	連続読み込み (6-19ページ)
	文書名入力 (6-21ページ)
	メール件名/本文 (6-28ページ)
	ジョブ終了通知 (6-20ページ)
FTP暗号送信 (6-28ページ)	
ファクスタイマー送信 (ファクス使用説明書参照)	
ファクスダイレクト送信 (ファクス使用説明書参照)	
ファクスポーリング受信 (ファクス使用説明書参照)	
ファクス送信レポート (ファクス使用説明書参照)	



ユーザーボックス	メニュー	印刷	用紙選択 (6-9ページ)	
			ソート (6-10ページ)	
			両面 (6-19ページ)	
			印刷後削除 (6-28ページ)	
			静音モード (6-21ページ)	
			機能一覧	優先印刷 (6-21ページ)
				文書名入力 (6-21ページ)
ジョブ終了通知 (6-20ページ)				
エコプリント (6-12ページ)				



ジョブボックス	プライベートプリント/ジョブ保留 (4-8ページ)
	クイックコピー/試し刷り後保留 (4-17ページ)



外部メモリ	印刷	用紙選択 (6-9ページ)		
		ソート (6-10ページ)		
		両面 (6-19ページ)		
		静音モード (6-21ページ)		
		機能一覧	エコプリント (6-12ページ)	
			ジョブ終了通知 (6-20ページ)	
			優先印刷 (6-21ページ)	
			暗号化PDFパスワード (6-29ページ)	
			JPEG/TIFF印刷方法 (6-30ページ)	
			XPS印刷サイズ調整 (6-30ページ)	
	メニュー	文書保存	ファイル形式 (6-24ページ)	
			両面 (6-22ページ)	
			読み込み解像度 (6-27ページ)	
			濃度 (6-11ページ)	
			文書名入力 (6-21ページ)	
			静音モード (6-21ページ)	
		機能一覧	原稿サイズ (6-8ページ)	
			原稿セット向き (6-10ページ)	
			保存サイズ (6-29ページ)	
			カラー選択 (6-12ページ)	
原稿の画質 (6-11ページ)				
シャープネス (6-13ページ)				
地色調整 (6-13ページ)				
うら写り防止 (6-14ページ)				
縮小/拡大 (6-14ページ)				
連続読み込み (6-19ページ)				
ジョブ終了通知 (6-20ページ)				
ファイル分割 (6-27ページ)				



Fコードボックス(ファクス使用説明書参照)



ボーリングボックス(ファクス使用説明書参照)

状況確認 /
ジョブ中止



または



印刷ジョブ状況 (7-4ページ)
送信ジョブ状況 (7-5ページ)
保存ジョブ状況 (7-6ページ)
予約ジョブ (7-7ページ)
印刷ジョブ履歴 (7-9ページ)
送信ジョブ履歴 (7-9ページ)
保存ジョブ履歴 (7-9ページ)
ファクスジョブ履歴(ファクス使用説明書参照)
スキャナー (7-13ページ)
プリンター (7-13ページ)
ファクス(ファクス使用説明書参照)
トナー状況 (7-15ページ)
用紙状況 (7-15ページ)
外部メモリー (7-13ページ)
USBキーボード (7-13ページ)
SSD (7-14ページ)
接続の状態 (7-14ページ)

システムメニュー /
カウンター



または



簡単セットアップ ウィザード	ファクスのセットアップ (2-16ページ)	
	用紙のセットアップ (2-16ページ)	
	省エネのセットアップ (2-16ページ)	
	ネットワークのセットアップ (2-16ページ)	
言語選択 (8-6ページ)		
レポート	レポート印刷	ステータスページ (8-6ページ)
		フォントリスト (8-6ページ)
		ネットワークステータス (8-7ページ)
		サービスステータスページ (8-7ページ)
		部門管理レポート (8-7ページ)
		Fコードボックスリスト(ファクス使用説明書参照)
		ファクスリスト(見出し)(ファクス使用説明書参照)
		ファクスリスト(番号)(ファクス使用説明書参照)
		ファクス発信レポート(ファクス使用説明書参照)
		ファクス着信レポート(ファクス使用説明書参照)
		オプションネットワークステータス (8-7ページ)
	管理レポート設定	ファクス発信レポート(ファクス使用説明書参照)
		ファクス着信レポート(ファクス使用説明書参照)
	結果通知設定	送信結果レポート (8-8ページ)
		ファクス受信結果通知(ファクス使用説明書参照)
		終了通知設定 (8-8ページ)
	履歴送信	履歴送信 (8-8ページ)
		自動送信 (8-8ページ)
		宛先 (8-8ページ)
		ジョブ履歴件名 (8-8ページ)
個人情報 (8-8ページ)		
カウンター	印刷ページ数 (2-30ページ)	
	読み込みページ数 (2-30ページ)	
ユーザー情報 (9-9ページ)		

カセット/手差しトレイ設定	カセット1(8-9ページ)	
	カセット2(8-9ページ)	
	カセット3(8-9ページ)	
	カセット4(8-9ページ)	
	カセット5(8-9ページ)	
	手差しトレイ (8-10ページ)	
共通設定	初期画面 (8-11ページ)	
	音設定	ブザー (8-11ページ)
		ファクススピーカー音量(ファクス使用説明書参照)
		ファクスモニター音量(ファクス使用説明書参照)
	原稿設定	カスタム原稿サイズ登録 (8-12ページ)
		原稿サイズ初期値 (8-12ページ)
	用紙設定	カスタム用紙サイズ登録 (8-13ページ)
		用紙種類の設定 (8-14ページ)
		優先給紙元 (8-14ページ)
		用紙選択 (8-14ページ)
		自動用紙の用紙種類(白黒) (8-14ページ)
		特定用紙種類の動作設定 (8-14ページ)
	機能初期値	ファイル形式 (8-16ページ)
		原稿セット向き (8-16ページ)
		ソート (8-16ページ)
		ファイル分割 (8-16ページ)
		読み込み解像度 (8-16ページ)
		カラー選択 (8-16ページ)
		原稿の画質(コピー) (8-16ページ)
		原稿の画質(送信/保存) (8-16ページ)
		地色調整(コピー) (8-16ページ)
		地色調整(送信/保存) (8-16ページ)
		エコプリント (8-16ページ)
		うら写り防止(コピー) (8-16ページ)
		うら写り防止(送信/保存) (8-16ページ)
		ファクス送信解像度(ファクス使用説明書参照)
		縮小/拡大 (8-16ページ)

共通設定	機能初期値	連続読み込み(ファクス以外) (8-16ページ)	
		連続読み込み(ファクス) (ファクス使用説明書参照)	
		文書名入力 (8-17ページ)	
		メール件名/本文 (8-17ページ)	
		FTP暗号送信 (8-17ページ)	
		JPEG/TIFF印刷方法 (8-17ページ)	
		XPS印刷サイズ調整 (8-17ページ)	
		詳細設定	画質 (8-17ページ)
		PDF/A (8-17ページ)	
		高圧縮PDF (8-17ページ)	
	部数制限 (8-17ページ)		
	エラー処理設定	両面エラー (8-18ページ)	
		用紙ミスマッチエラー (8-18ページ)	
	入力長さ単位 (8-18ページ)		
	トナー残量少の通知レベル (8-18ページ)		
	キーボード入力方式 (8-19ページ)		
	SSDフォーマット (8-19ページ)		
SDカードフォーマット (8-19ページ)			
状況/履歴の表示 (8-19ページ)			
機能キーの使用 (8-20ページ)			
ホーム	デスクトップの設定 (3-5ページ)		
	タスクバーの設定 (3-5ページ)		
	壁紙 (3-5ページ)		
コピー	自動用紙動作設定 (8-20ページ)		
	自動倍率優先 (8-20ページ)		
	次の予約優先 (8-20ページ)		
	原稿送り装置動作 (8-20ページ)		
送信	送信前の宛先確認 (8-21ページ)		
	新規宛先の入力確認 (8-21ページ)		
	送信控え転送 (8-21ページ)		
	カラーTIFF圧縮方式 (8-21ページ)		
	初期画面 (8-21ページ)		
	新規宛先の入力 (8-21ページ)		
	再宛先 (8-21ページ)		

文書ボックス	ユーザーボックス (5-43ページ)	
	Fコードボックス(ファクス使用説明書参照)	
	ジョブボックス	クイックコピージョブ保持数 (8-22ページ)
		一時保存文書の自動消去 (8-22ページ)
		保存先 (8-22ページ)
ポーリングボックス(ファクス使用説明書参照)		
ファクス(ファクス使用説明書参照)		
アプリケーション(5-11ページ)		
インターネット	プロキシ (8-23ページ)	
アドレス帳/ワンタッチ	アドレス帳 (3-35ページ)	
	ワンタッチキー (3-42ページ)	
	アドレス帳初期設定	表示順 (8-24ページ)
	リスト印刷(ファクス使用説明書参照)	
ユーザー/部門管理	ユーザー管理設定	ユーザー管理 (9-3ページ)
		ローカルユーザーリスト (9-5ページ)
	ICカード設定	キーボードログイン (9-29ページ)
		パスワード認証 (9-29ページ)
	簡単ログイン設定	簡単ログイン (9-25ページ)
		簡単ログイン情報 (9-26ページ)
	ローカルユーザー認可 (9-19ページ)	
	ユーザーアカウントロックアウト設定	ロックアウト (9-14ページ)
		ロックアウトポリシー (9-14ページ)
		ロックされているユーザーのリスト (9-14ページ)
	グループ認可設定	グループ認可 (9-20ページ)
		グループリスト (9-21ページ)
	ネットワークユーザー情報の取得 (9-23ページ)	

ユーザー/部門管理	部門管理設定	部門管理 (9-32ページ)	
		部門管理方式 (9-33ページ)	
		部門管理レポート印刷 (9-46ページ)	
		全部門集計 (9-45ページ)	
		部門別集計 (9-45ページ)	
		部門リスト (9-34ページ)	
		初期設定	制限超過時設定 (9-44ページ)
		コピー/プリンターカウント方法 (9-44ページ)	
	カウンター制限初期値 (9-44ページ)		
	ID不明ジョブ処理 (9-49ページ)		
プリンター	エミュレーション (8-25ページ)		
	エコプリント (8-25ページ)		
	A4/Letterの共通使用 (8-25ページ)		
	両面印刷 (8-25ページ)		
	排紙先 (8-25ページ)		
	部数 (8-25ページ)		
	印刷の向き (8-25ページ)		
	ワイドA4 (8-25ページ)		
	改ページ待ち時間 (8-25ページ)		
	改行 (LF) 動作 (8-26ページ)		
	復帰 (CR) 動作 (8-26ページ)		
	ジョブ名 (8-26ページ)		
	ユーザー名 (8-26ページ)		
	印刷範囲補正 (8-26ページ)		
	手差しトレイ優先 (8-26ページ)		
	給紙指定動作 (8-26ページ)		
	自動カセット切り替え (8-26ページ)		
	解像度 (8-26ページ)		
	KIR (8-26ページ)		

システム/ネットワーク	ネットワーク設定	ホスト名 (8-27ページ)	
		TCP/IP設定	TCP/IP (8-27ページ)
			IPv4設定 (8-27ページ)
			IPv6設定 (8-28ページ)
			Bonjour (8-28ページ)
			プロトコル詳細 (8-29ページ)
		WSDスキャン (8-30ページ)	
		WSD印刷 (8-30ページ)	
		Enhanced WSD (8-30ページ)	
		Enhanced WSD over SSL (8-30ページ)	
		IPSec (8-31ページ)	
		セキュアプロトコル	SSL (8-31ページ)
			IPPセキュリティ (8-31ページ)
			HTTPセキュリティ (8-31ページ)
			LDAPセキュリティ (拡張アドレス帳) (8-31ページ)
			LDAPセキュリティ (ユーザー情報) (8-31ページ)
			SMTPセキュリティ (8-31ページ)
			POP3 セキュリティ (ユーザー1) (8-31ページ)
			POP3 セキュリティ (ユーザー2) (8-31ページ)
	POP3 セキュリティ (ユーザー3) (8-31ページ)		
	LANインターフェイス (8-31ページ)		
	ネットワークの再起動 (8-31ページ)		
	プロキシ (8-32ページ)		
	オプションネットワーク	基本設定 (8-32ページ)	
		ワイヤレスネットワーク (8-33ページ)	
	送信機能のネットワーク (8-34ページ)		
	インターフェイスブロック設定	USB ホスト (8-34ページ)	
USB デバイス (8-34ページ)			
USBストレージ (8-34ページ)			
オプションインターフェイス(スロット1) (8-34ページ)			
オプションインターフェイス(スロット2) (8-34ページ)			

システム/ネットワーク	セキュリティレベル (8-35ページ)	
	再起動 (8-35ページ)	
	RAMディスク設定 (8-35ページ)	
	オプションメモリー使用量 (8-36ページ)	
	データセキュリティー (8-36ページ)	
	オプション機能 (8-37ページ)	
日付/タイマー/節電	日付/時刻 (8-37ページ)	
	日付形式 (8-37ページ)	
	時差 (8-37ページ)	
	オートパネルリセット (8-37ページ)	
	パネルリセット時間 (8-37ページ)	
	エラー後自動継続 (8-38ページ)	
	低電力モード時間 (8-37ページ)	
	スリープレベル (8-38ページ)	
	スリープ時間 (8-38ページ)	
	電源オフ条件 (8-38ページ)	
	電源オフ時間 (8-38ページ)	
	エラー後自動継続時間 (8-39ページ)	
	使用禁止時間(ファクス使用説明書参照)	
調整/メンテナンス	静音モード設定	静音モード (8-39ページ)
		ジョブごとの設定 (8-39ページ)
	濃度調整	コピー (8-39ページ)
		送信/ボックス (8-39ページ)
	地色調整	コピー(自動) (8-39ページ)
		送信/ボックス(自動) (8-39ページ)
	印刷濃度 (8-39ページ)	
	自動カラー判別基準 (8-39ページ)	
	黒筋軽減処理 (8-39ページ)	
	画面の明るさ (8-40ページ)	
	ドラムリフレッシュ (8-40ページ)	
	自動ドラムリフレッシュ (8-40ページ)	

1 正しくお使いいただくために


本機をご使用になる前に、最初に必ずお読みください。ここでは次の内容を説明しています。


注意事項	1-2
本書中の注意表示について	1-2
設置環境について	1-3
取り扱い上のご注意	1-4
コピー/スキャン禁止事項	1-5
法律上のご注意	1-6
本製品の省エネ制御機能について	1-12
自動両面機能について	1-12
印刷用紙	1-12
電力管理	1-13
国際エネルギースター (ENERGY STAR®) プログラム	1-13

注意事項

本書中の注意表示について


この使用説明書および本製品への表示では、本製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


絵表示


△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれていません。

 「注意一般」


 「高温注意」


⊙記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれていません。


 「禁止一般」

 「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれていません。

 「強制一般」

 「電源プラグをコンセントから抜け」

 「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取扱店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。(有償)

おことわり

本機は偽造防止機能を搭載しているため、紙幣に酷似している原稿はまれに正常なコピーがとれない場合があります。

設置環境について

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。

- 温度10～32.5℃(ただし、32.5℃のときは、湿度70%以下)
- 湿度15～80%(ただし、80%のときは、温度30℃以下)

外気など周囲の環境条件によっては画像品質が維持できない場合がありますので、室温 16～27℃、湿度 36～65% の範囲で使用することをお勧めいたします。

また、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、傷つきやすい床の場合、床材を傷つけるおそれがあります。

本製品の使用中はオゾンの発生や化学物質の放散がありますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にコピーをとる場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには、部屋の換気をお勧めします。

取り扱い上のご注意

消耗品の取り扱いについて



トナーの入った容器およびユニットは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

トナーの入った容器およびユニットは、子供の手に触れることのないように保管してください。

トナーの入った容器およびユニットよりトナーが漏れた場合は、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れないようにしてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃の中を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーの入った容器およびユニットは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

その他の注意事項

使用后、不要となったトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

直射日光を避けて保管してください。

急激な温度・湿度変化を避け、40℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、カセットまたは手差しから用紙を取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

コピー/スキャン禁止事項

複合機を使って何をコピー/スキャンしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有したり、スキャンするだけでも罰せられることがありますので、次の点に十分ご注意ください。

法律で禁止されているものには

- ① 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピー/スキャンすることを禁止されています。見本の印が押してあっても、コピー/スキャンすることはできません。
- ② 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー/スキャンも禁止されています。
- ③ 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、はがき(料額印面付き)の類は、コピー/スキャンすることを禁止されています。
- ④ 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピー/スキャンもできません。

(関係法律)

- 通貨及び証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

注意を要するものには

- ① 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピー/スキャンしないほうがよいと考えられます。

著作権にもご注意を

著作権の対象となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真などの著作物は、個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピー/スキャンする以外は、禁じられています。

法律上のご注意

本資料の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBEは、京セラ株式会社の登録商標です。
- KPDLは、京セラ株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2012、Windows 8およびInternet Explorerは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PCLは、米国ヒューレット・パカード社の商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScriptは、Adobe Systems, Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- Ethernetは、ゼロックス社の登録商標です。
- Novell、NetWareは、Novell社の登録商標です。
- IBMおよびIBM PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの商標です。
- AppleTalk、Bonjour、Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- TypeBankG-B、TypeBankM-MおよびTypeBank-OCRはタイプバンク®の商標です。
- 本製品に搭載されている欧文フォントは、すべてMonotype Imaging Inc.からのライセンスを受けています。
- Helvetica、Palatino、Timesは、Linotype GmbH.の登録商標です。
- ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC ZapfChancery、ITC Zapf Dingbatsは、International Typeface Corporationの登録商標です。
- ThinPrintはCortado AGのドイツ及びその他の国における商標です。
- 本製品は、Monotype Imaging Inc.からのUFST™ MicroType®のフォントを搭載しています。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品には、Independent JPEG Groupのソフトウェアが含まれています。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnnを使用しています。
"Multilingual Advanced Wnn" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2005-2012 All Rights Reserved
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
- © 2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- iPad、iPhone、iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- AirPrint、AirPrintロゴはApple Inc.の商標です。
- iOSはCiscoの米国およびその他の国の商標または登録商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
- iPhoneはアイホン株式会社の商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。

ACCESS™
NetFront™ Browser



その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中にはTMおよび®は明記していません。

GPL/LGPL

本製品のファームウェアは、一部にGPL (<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>) もしくは LGPL (<http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html>) が適用されたソフトウェアを使用しています。お客様には、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLの条件に従い、複製、再配布及び改変する権利があります。これらのソースコードの入手方法については、<http://www.kyoceradocumentsolutions.com/gpl/>にアクセスしてください。

OpenSSLライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オリジナルSSLeyライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
“This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)”
The word ‘cryptographic’ can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: “This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Monotype Imagingライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびにUFSTソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェイス」）のウェイト、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imagingの財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェイスを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行がMonotype Imagingからの通知後30日以内に是正されなかったときは、Monotype Imagingは本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェイスの複製物ならびに文書をすべてMonotype Imagingに返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imagingは、引渡し後90日間について、本件ソフトウェアがMonotype Imagingの発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。

当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。

8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するお客様の排他的救済手段およびMonotype Imagingの唯一の責任は、欠陥のある部品をMonotype Imagingに返却した時点で修理または交換することです。

いかなる場合もMonotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。

9. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。

10. お客様は、Monotype Imagingの事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび/またはタイプフェイスの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピューターソフトウェアに関する権利」の(b)(3)(ii)項または(c)(1)(ii)項に定められた制限を受けます。
さらに、使用、複製または開示は、FAR52.227-19(c)(2)項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

Knopflerfish ライセンス

以下は英語の原文です。

This product includes software developed by the Knopflerfish Project.

<http://www.knopflerfish.org>

Copyright 2003-2010 The Knopflerfish Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the KNOPLERFISH project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Apacheライセンス (Version 2.0)

以下は英語の原文です。

Apache License
Version 2.0, January 2004
<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

“Source” form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

“Object” form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

“Work” shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

“Derivative Works” shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

“Contribution” shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, “submitted” means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as “Not a Contribution.”

“Contributor” shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 - (d) If the Work includes a “NOTICE” text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. **Submission of Contributions.** Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. **Trademarks.** This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. **Disclaimer of Warranty.** Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. **Limitation of Liability.** In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. **Accepting Warranty or Additional Liability.** While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets “[]” replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same “printed page” as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the “License”); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>


Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないと自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行する省エネ制御機能を備えています。また、さらに設定時間以上機器を使用しないと自動的に電源が切れる「電源オフモード」も備えています。


「低電力モード」

最後にご使用になってから1分を経過すると自動的に「低電力モード」に移行します。なお「低電力モード」への移行時間は、延長が可能です。

 [低電力モードと自動低電力モード \(2-14ページ\)](#)

「スリープ」

最後にご使用になってから1分を経過しますと自動的に「スリープ」に移行します。なお「スリープ」への移行時間は、延長が可能です。

 [スリープとオートスリープ \(2-15ページ\)](#)

「電源オフモード」

最後にご使用になってから1時間を経過すると自動的に「電源オフモード」に移行します。なお「電源オフモード」への移行時間は、延長が可能です。また、ご使用になる機能別に「電源オフモード」に移行する条件を設定することも可能です。

 [電源オフ条件 \(8-38ページ\)](#)
[電源オフ時間 \(8-38ページ\)](#)

自動両面機能について

本製品は用紙の両面にコピーできる機能を標準で装備しております。例えば、片面原稿2ページを1枚の用紙の両面にコピーすることで、紙の使用量を軽減することができます。

 [両面/分割 \(6-18ページ\)](#)

両面印刷することにより用紙の使用量を削減でき、森林資源の節約に貢献できます。さらに、用紙の購入量が減少することで、経費の節約にも繋がります。したがって、両面印刷が可能な製品においては、印刷モードの初期値を両面印刷に設定して使用されることをお勧めします。

印刷用紙

森林資源の保護と持続可能な活用のために、EN 12281:2002* や同等の品質基準を満たしている、環境管理イニシアティブ認定紙やエコラベルの認定を受けたバージン紙および再生紙の使用を推奨します。

また、本製品は64 g/m² 用紙への印刷が可能であり、このようなうすい用紙を使用することで、より一層の森林資源の節約に繋がります。

* :印刷及びビジネス用紙 — 乾式トナー画像形成プロセス用コピー用紙の要件

推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

電力管理

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に使用してから一定時間経過すると自動的に省電力モードに移行する電力管理を行っています。省電力モードに移行した状態では、すぐに使用可能な状態になるまでに若干の時間が必要ですが、余分な電力を大きく削減することができます。省電力モードへの移行時間は、出荷時の設定値のまま使用されることをお勧めします。

国際エネルギースター(ENERGY STAR®)プログラム



弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

エネルギースター・プログラムは、地球温暖化防止対策の一環としてエネルギー効率の高い製品の開発と普及を目的とした自主的な省エネルギーラベル制度です。エネルギースター認証製品を購入することで、製品使用時における地球温暖化ガスの排出削減に繋がるとともに、お客様の電力関連コストの削減にも貢献します。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」
に適合しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

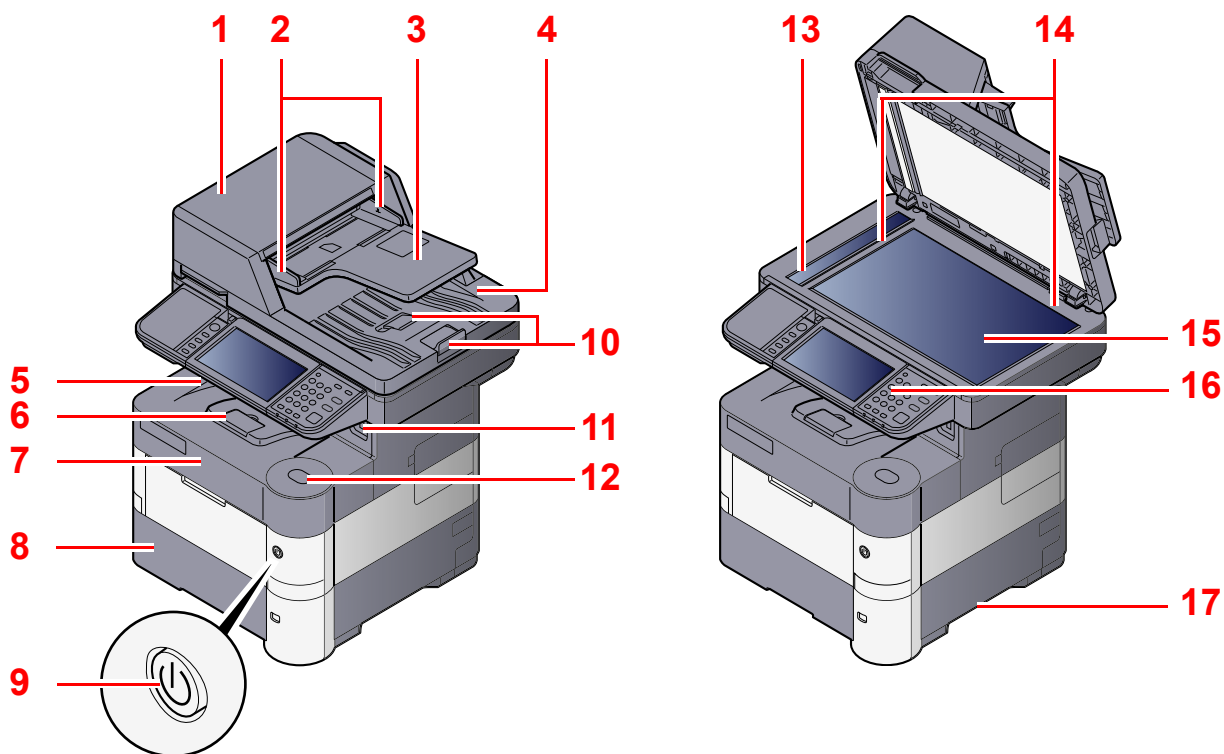
2 設置と機械のセットアップ

この章では、各部の名称、ケーブルの接続、ソフトウェアのインストールなど、本機の管理者用の情報について説明しています。

各部の名称	2-2
本体外観	2-2
コネクタ・内部	2-3
オプション装着時	2-4
本機とその他デバイスの接続のしかた	2-5
ケーブルの接続	2-6
ネットワークケーブルの接続	2-6
USBケーブルの接続	2-7
電源コードの接続	2-7
電源の入/切	2-8
電源を入れる	2-8
電源を切る	2-8
ログイン・ログアウト	2-9
ログイン	2-9
ログアウト	2-10
機械の初期設定について	2-11
日付と時刻の設定	2-11
ネットワーク(ネットワークケーブルを接続した場合)	2-13
省エネ機能について	2-14
低電力モードと自動低電力モード	2-14
スリープとオートスリープ	2-15
簡単セットアップウィザード	2-16
ソフトウェアのインストール	2-19
収録ソフトウェア(Windows)	2-19
Windowsにインストールする	2-20
ソフトウェアのアンインストール	2-25
Macintoshにインストールする	2-26
TWAINドライバーの設定	2-28
WIAドライバーの設定	2-29
カウンターの確認	2-30
管理者に準備していただきたいこと	2-31
パソコンに文書を送信するためには	2-31
セキュリティーを強化するには	2-31
Command Center RXについて	2-33
Command Center RX へアクセスする	2-34
セキュリティー設定を変更する	2-35
デバイス情報を変更する	2-37
メール設定	2-39
宛先を登録する	2-43
ユーザーボックスを作成する	2-44
ユーザーボックスに保存されている文書を印刷する	2-45
弊社の他製品からのデータ移行について	2-47
アドレス帳を移行する	2-47

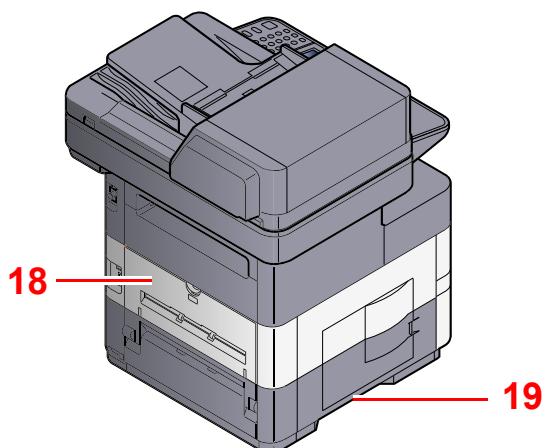
各部の名称

本体外観




- 1 原稿送り装置
- 2 原稿幅ガイド
- 3 原稿トレイ
- 4 原稿排紙テーブル
- 5 内部トレイ
- 6 排紙ストッパー
- 7 前カバー
- 8 カセット1
- 9 電源スイッチ

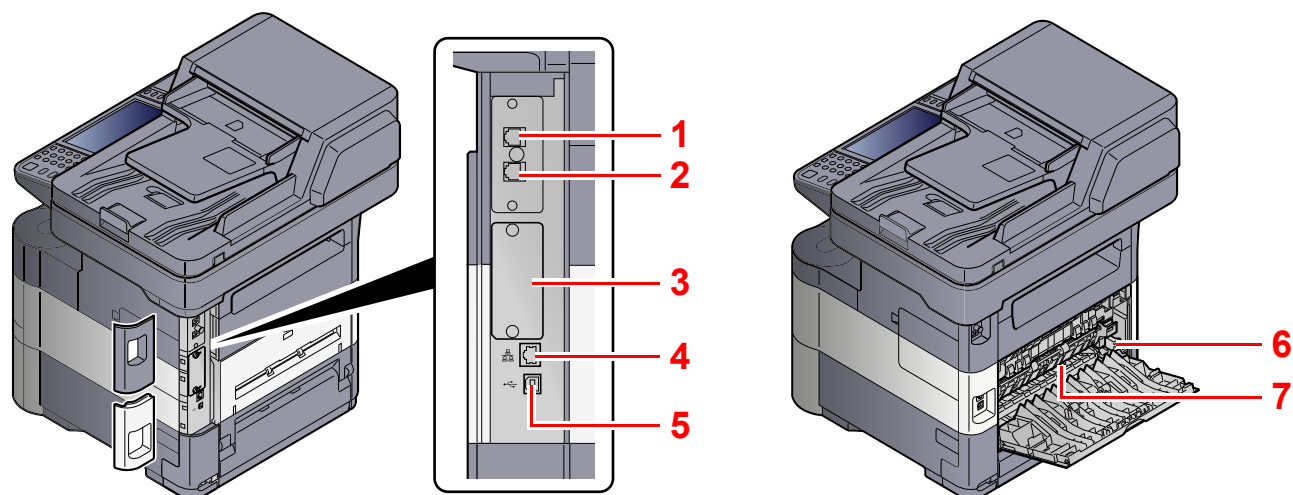
- 10 原稿ストッパー
- 11 USB メモリースロット
- 12 前カバーオープンボタン
- 13 スリットガラス
- 14 原稿サイズ指示板
- 15 原稿ガラス
- 16 操作パネル
- 17 搬送用取手



- 18 後ろカバー
- 19 搬送用取手

 オプションについては、[2-4ページのオプション装着時](#)を参照してください。

コネクター・内部



1 LINEコネクター

2 TELコネクター

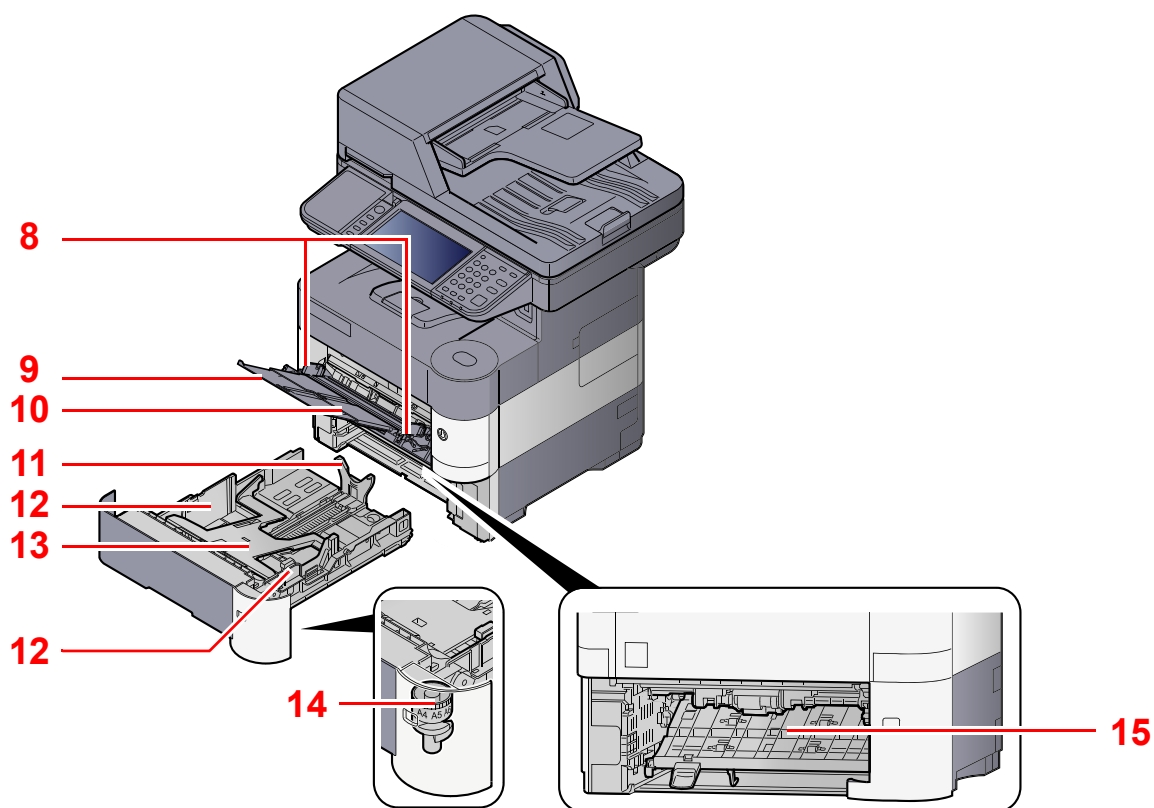
3 オプションインターフェイス

4 ネットワークインターフェイスコネクター

5 USBインターフェイスコネクター

6 封筒レバー (ECOSYS M3540idnのみ)

7 定着カバー



8 用紙ガイド

9 手差し補助トレイ

10 手差しトレイ

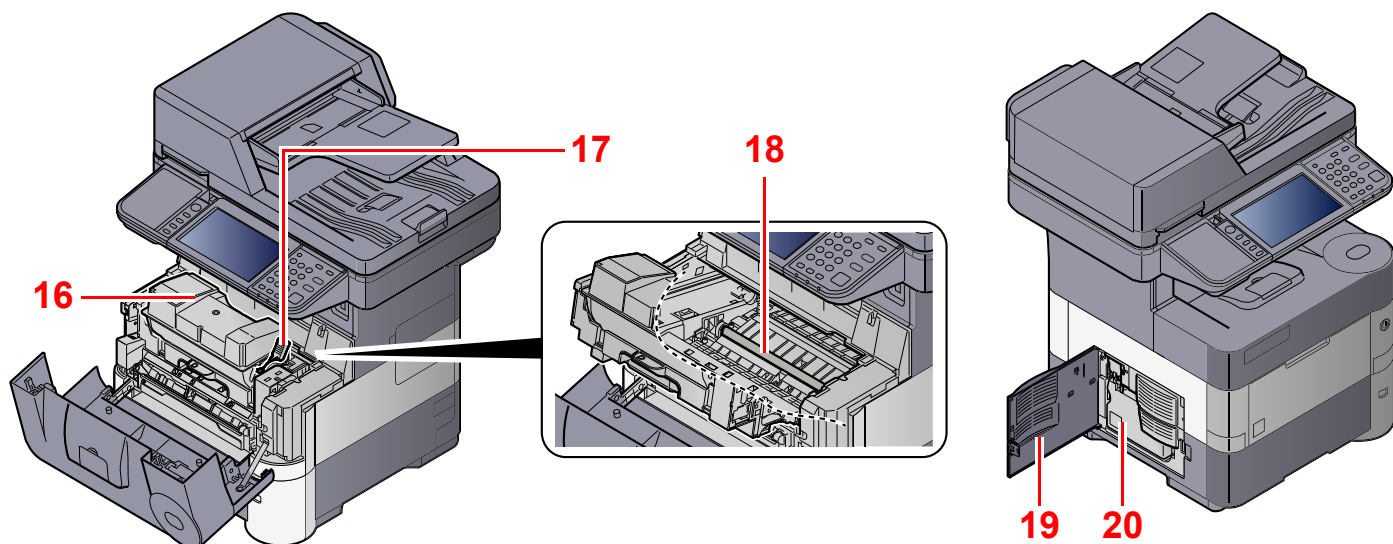
11 用紙長さガイド

12 用紙幅ガイド

13 底板 (ECOSYS M3540idnのみ)

14 サイズダイヤル

15 両面カバー



16 トナーコンテナ(黒)

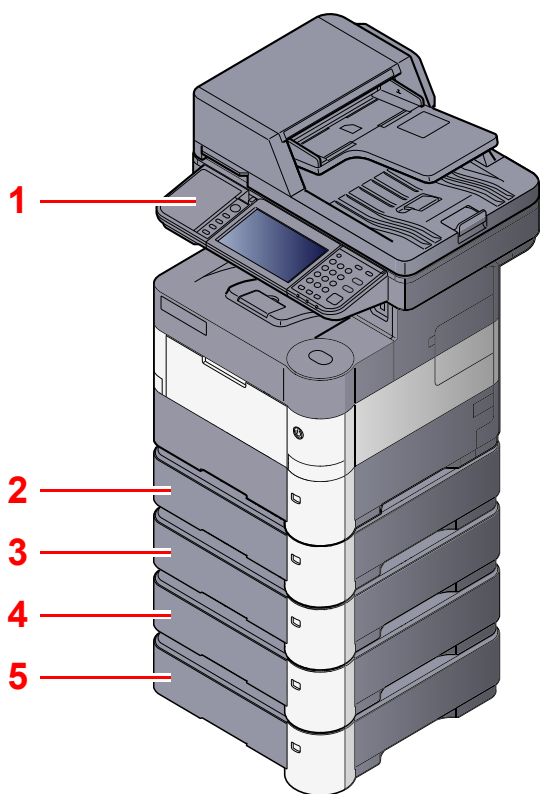
17 トナーコンテナロックレバー

18 レジストローラー

19 左カバー

20 廃棄トナーボックス

オプション装着時



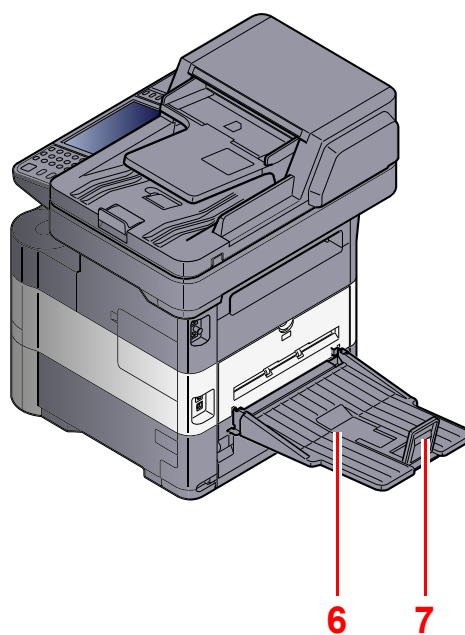
1 カードリーダー

2 カセット2

3 カセット3


4 カセット4

5 カセット5



6 後ろトレイ (ECOSYS M3550idnのみ)

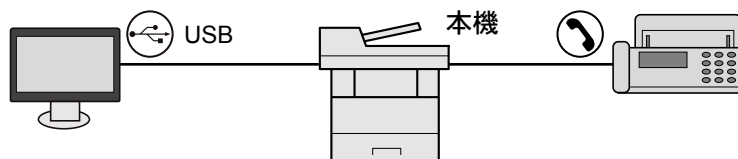
7 排紙ストッパー (ECOSYS M3550idnのみ)

 [オプションについて \(11-2ページ\)](#)

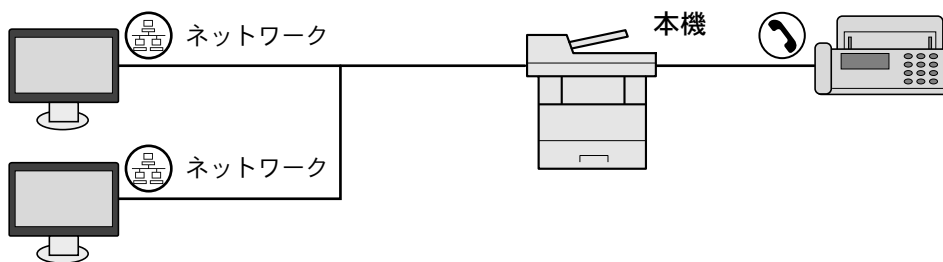
本機とその他デバイスの接続のしかた

本機を使用する目的や環境に合わせて必要なケーブルを用意してください。

本機とパソコンをUSBで接続する場合



本機とパソコンをネットワークで接続する場合



参考

オプションのワイヤレスインターフェイスキットを装着して無線LANで本機をご使用になる場合、ネットワークケーブルの接続は不要です。無線LANを使用するためには、システムメニューで本機の初期設定値を変更する必要があります。

[オプションネットワーク \(8-32ページ\)](#)

使用できるケーブル

接続環境	使用できる機能	必要なケーブル
本機をネットワークケーブルで接続する	プリンター/スキャナー/Network FAX	LANケーブル(10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T)
本機をUSBケーブルで接続する	プリンター/スキャナー(TWAIN/WIA)	USB2.0 適合ケーブル(Hi-Speed USB 準拠5.0 m 以下)

ケーブルの接続

ネットワークケーブルの接続

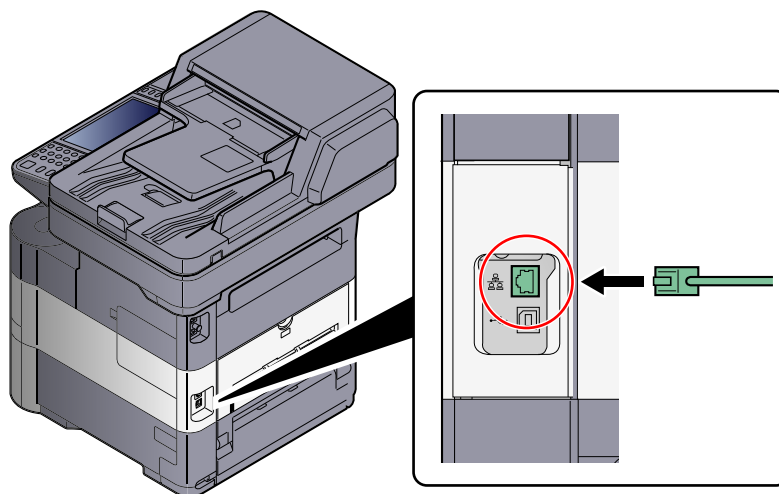
☑ **重要**

電源が入っている場合は、電源スイッチを切ってください。

🔍 [電源を切る \(2-8ページ\)](#)

1 接続する

- 1 ネットワークインターフェイスコネクタに、ネットワークケーブルを接続します。



- 2 ケーブルのもう一方を、HUB(集線装置)に接続します。

2 本機の電源を入れて、ネットワークを設定する

- 🔍 [2-13ページのネットワーク\(ネットワークケーブルを接続した場合\)](#)を参照してください。

USBケーブルの接続

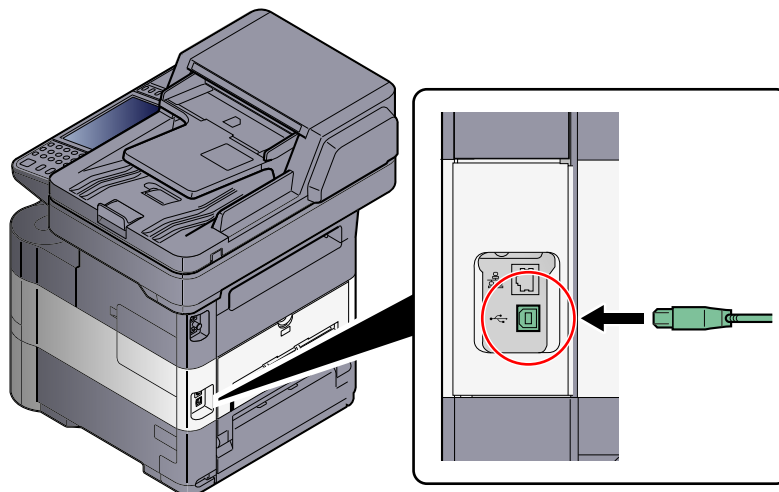
☑ **重要**

電源が入っている場合は、電源スイッチを切ってください。

🔍 [電源を切る \(2-8ページ\)](#)

1 接続する

- 1 本体左側のUSBインターフェイスコネクタに、USBケーブルを接続します。



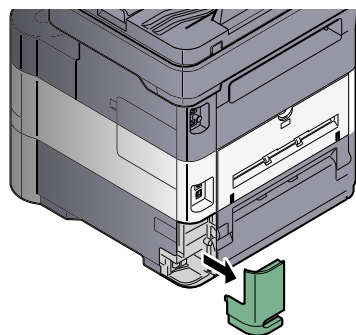
- 2 ケーブルのもう一方を、パソコンに接続します。

2 本体の電源を入れる

電源コードの接続

1 接続する

- 1 カバーを外します。



- 2 付属の電源コードを本機に接続し、もう一方をコンセントに接続してください。

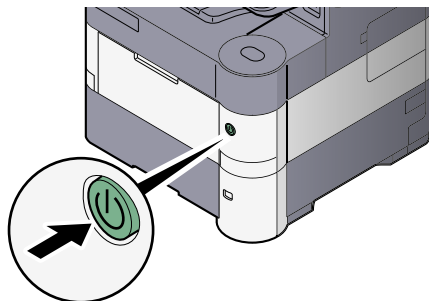
☑ **重要**

電源コードは、必ず本機に付属のものをご使用ください。

電源の入/切

電源を入れる

1 電源スイッチを入れる



☑ **重要**

電源スイッチを入れ直す場合は、5秒以上あけて電源スイッチを入れてください。

電源を切る

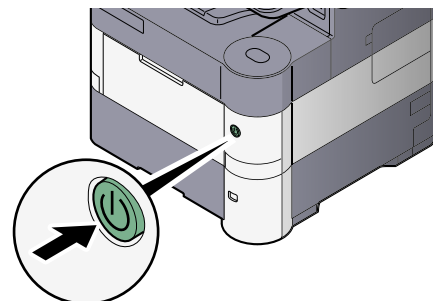
☑ **重要**

[処理中]ランプや[メモリー]ランプが点灯または点滅しているときは、本機が動作しています。本機が動作しているときに電源スイッチを切ると、故障する原因となる場合があります。

1 電源スイッチを切る



ランプが消えていることを確認する



長期間本機を使用しないときは

! **注意**

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源スイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし、電源スイッチが切れているときは、ファクスの送信/受信を行いません。

☑ **重要**

用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出して保管袋に入れて密封保管してください。

ログイン・ログアウト

管理者権限が必要な機能を設定する場合またはユーザー管理が有効になっている場合、ログインユーザー名とログインパスワードが必要になります。

参考

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

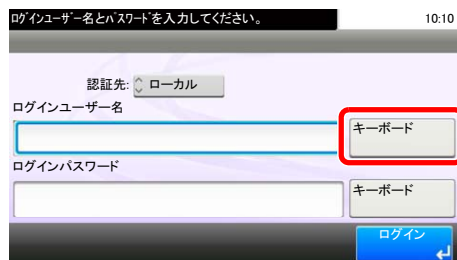
ログインユーザー名またはログインパスワードを忘れた場合はログインできません。管理者の権限でログインし、ログインユーザー名またはログインパスワードを変更してください。

ログイン

通常のログイン

1 ログインユーザー名とログインパスワードを入力する

- 1 操作中にこの画面が表示されたら、「ログインユーザー名」の[キーボード]を押してログインユーザー名を入力します。



[文字の入力方法 \(11-12ページ\)](#)

- 2 [パスワード]を押してログインパスワードを入力し、[OK]を押します。

参考

ユーザーの認証方法が[ネットワーク認証]に設定されている場合、認証先を[ローカル]または[ネットワーク]から選択できます。

2 [ログイン]を押す

簡単ログイン



操作中にこの画面が表示されたら、ユーザーを選択してログインします。



参考

ログインパスワードが必要な場合は、入力画面が表示されます。



[簡単ログイン \(9-25ページ\)](#)

ログアウト



ログアウトするときは、[認証/ログアウト]キーを押します。ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻ります。

また、次の状態のときも自動でログアウトします。

- 低電力または、スリープ状態になったとき。
- オートパネルリセットが働いたとき。

機械の初期設定について

本機を使用する前に、日付・時刻、ネットワークの設定、省エネ機能など、必要な設定を行ってください。本機は、設置して最初に電源を入れたときに、機械のセットアップウィザードを開始し、必要な設定を行うことができます。さらに必要な場合は以下の設定を行ってください。

参考

本機の初期設定値は、システムメニューで変更することができます。システムメニューで設定できる項目については、[システムメニュー \(8-1ページ\)](#)を参照してください。

日付と時刻の設定

本機に、設置場所の日付と時刻を設定します。

本機の送信機能からメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。ご使用の地域での日付、時刻、GMT (世界標準時) からの時差を設定してください。

参考

設定後に変更する場合は、[8-37ページの日付/タイマー/節電](#)を参照してください。

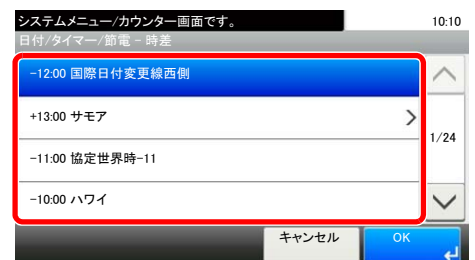
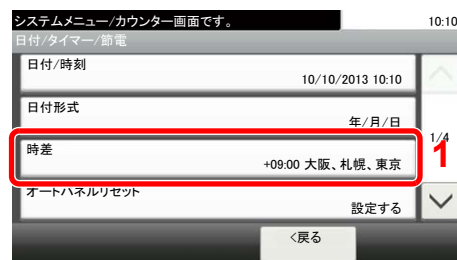
1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー→[▽]→[日付/タイマー/節電]の順に押します。



2 設定する

1 時差を設定します。



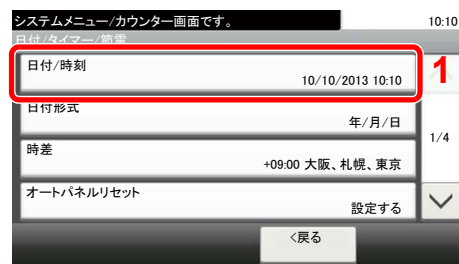
2 サマータイムを設定します。



 参考

サマータイムを利用していない地域を選択した場合はサマータイムの設定画面は表示されません。

3 日付を設定します。



4 時刻を設定します。



ネットワーク(ネットワークケーブルを接続した場合)

本機はネットワークインターフェイスを標準装備しており、TCP/IP (IPv4)、TCP/IP (IPv6)、NetBEUIおよびIPSecをサポートしています。このためWindows、Macintosh、UNIXなどさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

ここでは、TCP/IP (IPv4)でネットワークに接続するときの設定を行います。設定手順は、[2-16ページの簡単セットアップウィザード](#)を参照してください。

参考

- 設定するIPアドレスは、ネットワーク管理者に依頼してあらかじめ準備しておいてください。
次の場合は、Command Center RXでDNSサーバーのIPアドレスを設定してください。

「DHCP」設定を[使用しない]でホスト名を使用する場合

DHCPから自動的に付与されるDNSサーバーのIPアドレス以外のDNSサーバーを使用する場合

詳細はCommand Center RX操作説明書をご確認ください。

- ネットワークのその他の設定については、[8-27ページのネットワーク](#)を参照してください。

ワイヤレスネットワークの設定

オプションのワイヤレスインターフェイスキットを本機に装着して接続設定をすると、ワイヤレスネットワーク(無線LAN)環境で印刷ができるようになります。ここでは、簡単セットアップで接続する設定を紹介します。

簡単セットアップには次の4つの設定があります。[8-33ページのワイヤレスネットワーク](#)を参照して設定してください。

利用可能なネットワーク

接続可能なアクセスポイントが表示されるので、接続するアクセスポイントを選択します。

プッシュボタン方式

アクセスポイントがプッシュボタン式に対応している場合、プッシュボタンを操作して無線設定を行うことができます。この設定でプッシュボタンを実行し、アクセスポイントのプッシュボタンを押して接続を開始します。

参考

プッシュボタン式はWPS (WiFi Protected Setup) のみに対応しています。

PINコード方式(本体)

本機のPINコードで接続を開始します。表示されたPINコードをアクセスポイントに入力してください。本機のPINコードは自動的に生成されます。

PINコード方式(端末)

アクセスポイントのPINコードで接続を開始します。アクセスポイントのPINコードを入力してください。

省エネ機能について

本機は、最後に使用してから一定時間経過すると、自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行します。さらに一定時間操作がないと、自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行します。また、スリープモード中に一定時間操作がないと、自動的に電源が切れます。

低電力モードと自動低電力モード

低電力モード

一定時間操作がないと、節電ランプが点灯し、タッチパネルを暗くして消費電力を低減します。この状態を低電力モードと呼びます。タッチパネルには「低電力中です。」が表示されます。



低電力モード中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して印刷を開始します。ファクスの受信時にも自動的に復帰して印刷を開始します。

本機を使用するときは、次のいずれかの操作を行ってください。

- 操作パネルのいずれかのキーまたはタッチパネルを押す。
- 原稿送り装置を開ける。
- 原稿送り装置に原稿をセットする。

10秒以内で再び使用できるようになります。

外気など周囲の環境条件によっては時間が長くなる場合があります。

自動低電力モード

自動低電力モードは、一定時間操作がないと自動的に低電力モードに移行する機能です。

切り替わる時間は、工場出荷時で1分です。

低電力モードの設定に関しては、[2-16ページの簡単セットアップウィザード](#)を参照してください。

参考

低電力モード時間とスリープ時間が同じ場合は、スリープが優先されます。

スリープとオートスリープ

スリープ状態

[節電]キーを押すと節電ランプだけが点灯し、タッチパネルや他のランプは消灯して消費電力を最小に抑えます。この状態をスリープと呼びます。



スリープ中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して印刷を開始します。ファクスの受信時にも、操作パネルは自動的に復帰して印刷を開始します。

本機を使用するときは、次の操作を行ってください。

- [節電]キーを押す。

ECOSYS M3540idnは15秒以内、ECOSYS M3550idnは20秒以内で再び使用できるようになります。

外気など周囲の環境条件によっては時間が長くなる場合があります。

オートスリープ

オートスリープは、低電力モード中に一定時間操作がないと自動でスリープ状態に切り替わる機能です。切り替わる時間は、工場出荷時で1分です。

切り替わる時間を変更する場合は、[2-16ページの簡単セットアップウィザード](#)を参照してください。

参考

低電力モード時間とスリープ時間が同じ場合は、スリープが優先されます。

スリープレベル(節電優先と復帰優先)

スリープは、節電優先と復帰優先の2つのモードに切り替えることができます。初期設定は、節電優先モードです。

節電優先とは、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えた状態で、機能ごとにスリープモードを働かせるかを設定できます。節電優先から使用可能な状態へ復帰できる時間も復帰優先よりも遅くなります。ICカードも認識しません。

参考

オプションのネットワークインターフェイスキットを装着しているときは、節電優先にはできません。

復帰優先は、節電優先モードよりもスリープモードから早く復帰します。

操作パネルの[節電]キーを押すとすぐに復帰します。また、スリープ中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して印刷を開始します。

 スリープレベルの設定に関しては、[2-16ページの簡単セットアップウィザード](#)を参照してください。

簡単セットアップウィザード

ファクス機能と用紙の設定、省エネ機能、ネットワークについては、次の項目をウィザード形式の画面で設定できます。

ファクスのセットアップ	ファクスの基本設定を行います。	
	1. 回線設定	回線種類 受信方式
	2. 自局情報	自局名登録 自局名登録(フリガナ) 自局ファクス番号 自局ファクスID 発信元記録
	3. 音量	スピーカー音量 モニター音量 正常終了音
	4. ベル回数	ベル回数(普通) ベル回数(留守番電話) ベル回数(ファクス/電話切替)
	5. リダイヤル	リダイヤル回数
	6. Fネット	Fネット無鳴動受信
	7. ナンバーディスプレイ	ナンバーディスプレイ設定
用紙のセットアップ	カセットと手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定します。	
	1. カセット1	用紙サイズ*1 用紙種類
	2. カセット2*2	用紙サイズ*1 用紙種類
	3. カセット3*2	用紙サイズ*1 用紙種類
	4. カセット4*2	用紙サイズ*1 用紙種類
	5. カセット5*2	用紙サイズ*1 用紙種類
	6. 手差しトレイ	用紙サイズ 用紙種類
省エネのセットアップ	スリープモードと低電力モードを設定します。	
	1. スリープモード	スリープ時間 スリープレベル
	2. 低電力モード	低電力モード時間
ネットワークのセットアップ	ネットワークを設定します。	
	1. ネットワーク	IPアドレスの取得 IPアドレス*3 サブネットマスク*3 デフォルトゲートウェイ*3

*1 カセットのサイズダイヤルが「Other」の場合に表示されます。

*2 オプションのペーパーフィーダーを装着している場合に表示されます。

*3 「IPアドレスの取得」で[自動(DHCP)]を選択した場合は表示されません。

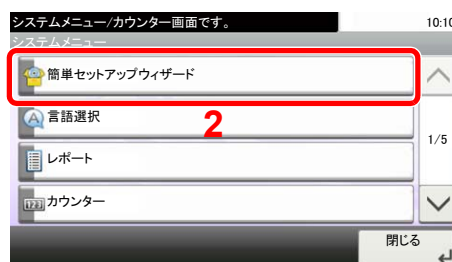
 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。

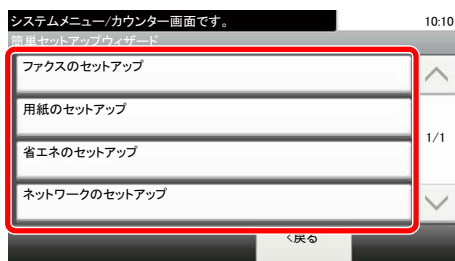
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

1 画面を表示する



2 機能を選択する



3 設定する



ウィザードを開始します。画面の指示に従って設定します。

 参考

設定で困ったときは、[3-11ページのヘルプ画面について](#)を参照してください。

項目	説明
終了	ウィザードを終了します。それまでに設定した内容は適用されます。
前の項目	前の項目に戻ります。
スキップ	現在の項目を設定せずに次の項目に進みます。
次へ	次の画面に進みます。
戻る	前の画面に戻ります。
完了	設定を登録してウィザードを終了します。

ソフトウェアのインストール

本機でプリンター機能、TWAIN/WIA接続、ネットワークファクス機能を使用する場合、DVD (Product Library) から必要なソフトウェアをインストールします。

収録ソフトウェア (Windows)

インストール方法は、[[エクスプレスインストール](#)]と[[カスタムインストール](#)]の2通りから選ぶことができます。[[エクスプレスインストール](#)]が標準のインストール方法になります。[[エクスプレスインストール](#)]でインストールされないものは、[[カスタムインストール](#)]でインストールしてください。[[カスタムインストール](#)]でのインストールについては、[2-22ページのカスタムインストールの場合](#)を参照してください。

ソフトウェア	説明	エクスプレスインストール
KXドライバー (KX DRIVER)	パソコン上のデータを本機で印刷するためのドライバーです。1つのドライバーで、複数のページ記述言語 (PCL XL、KPD Lなど) をサポートします。本機の持つ機能を最大限に活かしてご利用いただけるプリンタードライバーです。 PDFデータを作成する場合はこのドライバーを使用してください。	○
KX XPSプリンタードライバー (KX XPS DRIVER)	マイクロソフト社が開発したXPS (XML Paper Specification) フォーマットに対応したプリンタードライバーです。	—
Mini プリンタードライバー (PCL/KPD L) (KPD L mini-driver/PCL mini-driver)	PCL、KPD LのそれぞれをサポートしたMicrosoft Mini Driver形式のドライバーです。本機の持つ機能やオプション類の機能のうち、本ドライバーでは使用できる機能に制限があります。	—
Kyocera Network FAXドライバー (FAX Driver)	パソコン上のアプリケーションソフトで作成した文書を、本機を経由してファクス送信することができます。	—
Kyocera TWAIN ドライバー (Kyocera TWAIN Driver)	TWAIN 対応アプリケーションソフトを使用して本機でスキャンするためのドライバーです。	○
Kyocera WIAドライバー (Kyocera WIA Driver)	WIA (Windows Imaging Acquisition) は、スキャナーなどのイメージングデバイスと画像処理アプリケーションソフトの相互通信を可能にするWindows の機能です。WIA 対応アプリケーションソフトを使って画像を取り込むことができ、TWAIN 対応アプリケーションソフトがパソコンにインストールされていない場合などに便利です。	—
KYOCERA Net Viewer	ネットワーク上の本機をモニターすることのできるユーティリティです。	—
Status Monitor	本機の状態を監視し、報告するユーティリティです。	○
File Management Utility	スキャンした文書を、指定されたネットワークフォルダーに送信し、保存することができます。	—
KYOCERA Net Direct Print	Adobe Acrobat/Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷することができます。	—
フォント (FONTS)	本機の内蔵フォントをアプリケーションソフトで使用するための表示フォントです。	○

参考

ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

USBケーブルで接続している場合、スリープモード時は自動認識しません。インストールを続ける場合、[[節電](#)]キーを押してスリープモードを解除してください。

WIAドライバーおよびKX XPSドライバーは、Windows XPにはインストールできません。

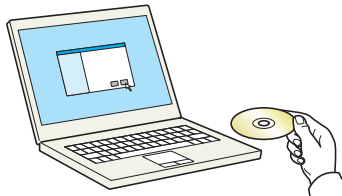
Windowsにインストールする

エクスプレスインストールの場合

ここでは、Windows 7に[エクスプレスインストール]でインストールする場合を例に説明します。

[カスタムインストール]でのインストールについては、[2-22ページのカスタムインストールの場合](#)を参照してください。

1 DVDを挿入する



参考

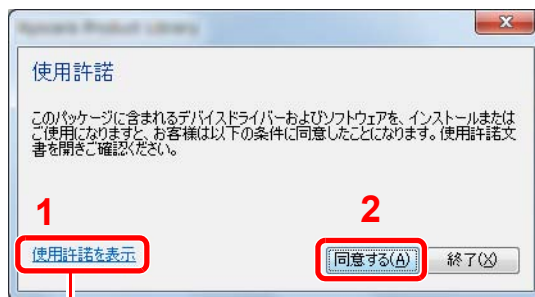
ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。

自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。

ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい] ([許可])をクリックしてください。

2 画面を表示する



[使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。

3 [エクスプレスインストール]でインストールする

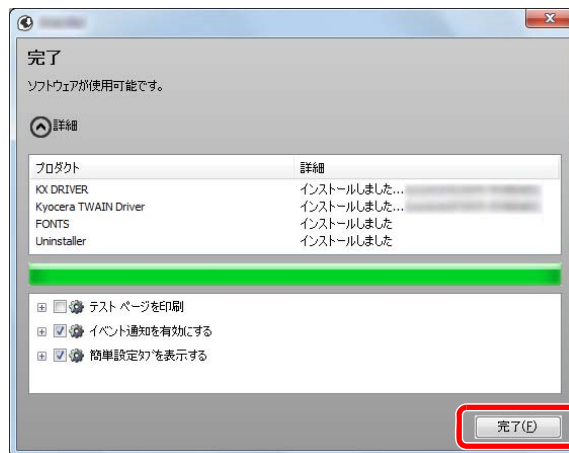


本機のモデル名を選択します。[ポート名にホスト名を使用]を選択して、標準TCP/IPポートのホスト名を使用するように設定することもできます。(USB接続は利用できません。)

 参考

- 本機の電源が切れている場合、本機は検索されません。本機が検索されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、**C** (更新) をクリックしてください。
- Windowsセキュリティ画面が表示された場合、[\[このドライバーソフトウェアをインストールします\]](#) をクリックしてください。

4 インストールを終了する



「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、「テストページの印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

[完了] をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

 参考

Windows XPの場合、[\[デバイス設定\]](#) を選択すると、[\[完了\]](#) をクリックした後にデバイス設定のダイアログが表示されます。本機に装着されているオプションなどを設定してください。デバイス設定は、インストール終了後でも設定できます。詳しくはDVD収録のプリンタードライバー操作手順書のデバイス設定を参照してください。

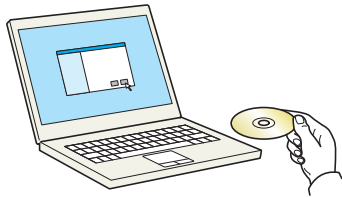
画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。

TWAINドライバーをインストールした場合は、続けて[TWAINドライバーの設定 \(2-28ページ\)](#) を行ってください。

カスタムインストールの場合

ここでは、Windows 7に[カスタムインストール]でインストールする場合を例に説明します。

1 DVDを挿入する



参考

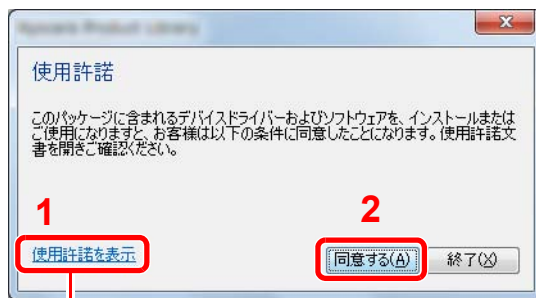
ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。

自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。

ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]([許可])をクリックしてください。

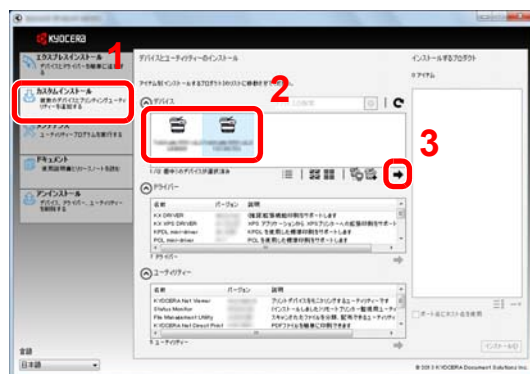
2 画面を表示する




[使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。


3 [カスタムインストール]でインストールする


1 インストールするデバイスを選択します。



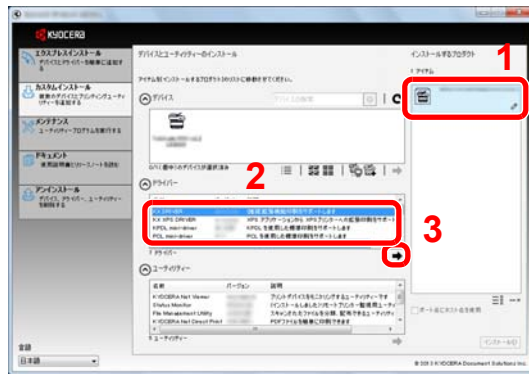
次のボタンが使用できます。

 : 表示をアイコンおよびテキスト表示に切り替えます。

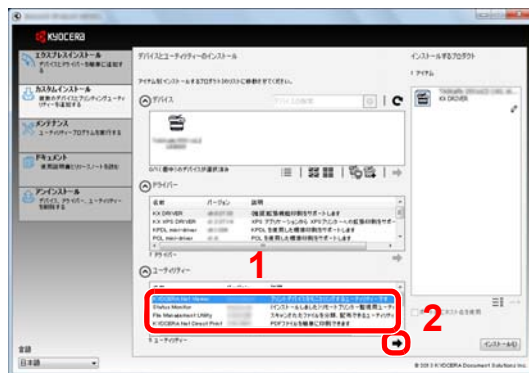
 : 複数のアイテムの選択に使用します。

 : 目的のデバイスが表示されないとき、このボタンを押して使用したいデバイスを直接選びます。

2 インストールするドライバーを選択します。



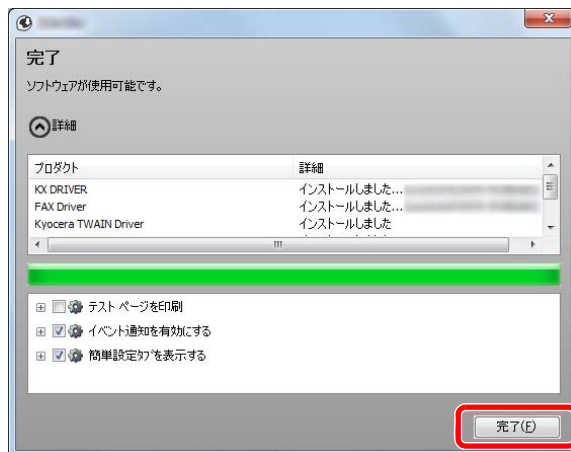
3 インストールするユーティリティを選択します。



4 [インストール]をクリックします。



4 インストールを終了する



「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、「テストページを印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

[完了]をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

参考

Windows XPの場合、[デバイス設定]を選択すると、[完了]をクリックした後にデバイス設定のダイアログが表示されます。本機に装着されているオプションなどを設定してください。デバイス設定は、インストール終了後でも設定できます。詳しくはDVD収録のプリンタードライバー操作手順書のデバイス設定を参照してください。

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。

TWAINドライバーをインストールした場合は、続けて[TWAINドライバーの設定 \(2-28ページ\)](#)を行ってください。

ソフトウェアのアンインストール

Product Libraryでインストールしたソフトウェアを削除するときは、以下の手順で行ってください。

参考

ソフトウェアをアンインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

1 画面を表示する

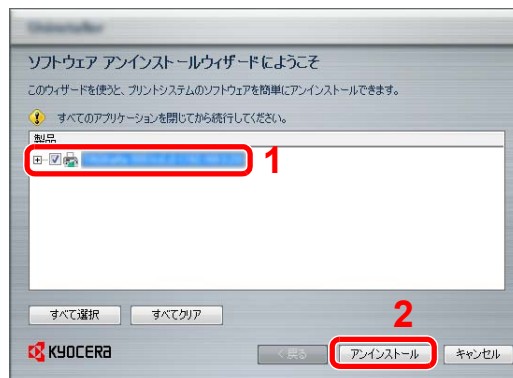
Windowsの[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Kyocera]→[プロダクトライブラリーのアンインストール]を選択してください。ソフトウェア アンインストールウィザードが表示されます。

参考

Windows 8の場合は、チャームの[検索]をクリックし、検索欄に[プロダクトライブラリーのアンインストール]と入力します。検索された一覧の中から[プロダクトライブラリーのアンインストール]を選択します。

2 アンインストールする

削除するソフトウェアのチェックボックスにチェックを入れます。



3 アンインストールを終了する

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これでソフトウェアのアンインストール作業は終了です。

参考

ソフトウェアのアンインストールはProduct Libraryを使って行うことも可能です。

Product Libraryの画面でアンインストールを選択し、画面の表示に従ってソフトウェアをアンインストールします。

Macintoshにインストールする

Macintoshでは、本機のプリンター機能が使用できます。

参考

ソフトウェアをインストールするときは、管理者の権限でログインする必要があります。

Macintoshでインストールする場合は、本機のエミュレーションを[KPDL]または[KPDL(自動)]に設定してください。

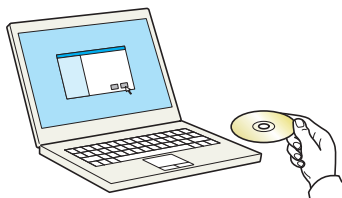
設定方法については[8-25ページのプリンター](#)を参照してください。

Bonjourで接続する場合は、本機のネットワーク設定でBonjourを有効にしてください。

設定方法については[8-28ページのBonjour](#)を参照してください。

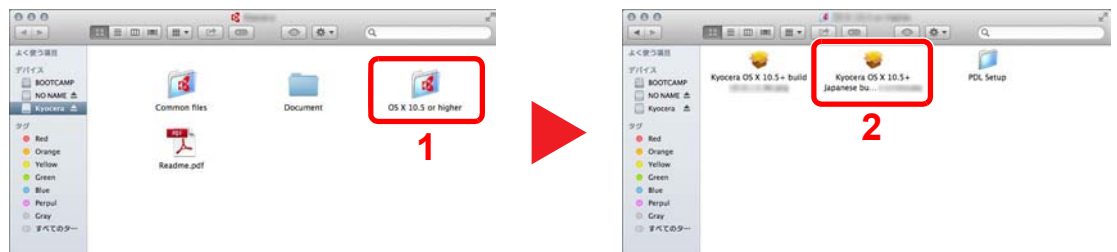
名前とパスワードの入力画面が表示された場合は、OSにログインするときに入力した名前とパスワードを入力してください。

1 DVDを挿入する



[Kyocera]アイコンをダブルクリックしてください。

2 画面を表示する



使用しているOSのバージョンのフォルダーを開き、[Kyocera OS X x.x Japanese]をダブルクリックします。

3 インストールする



インストールプログラムの表示に従ってプリンタードライバーをインストールします。

以上でプリンタードライバーのインストールは完了です。

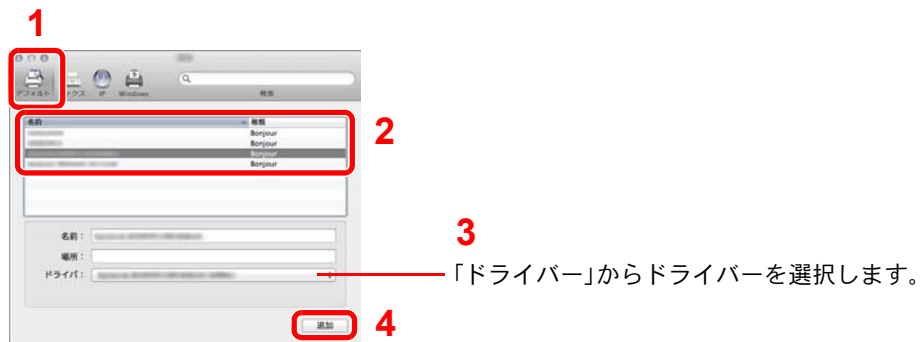
USB接続の場合は、自動的に本機の認識と接続が行われます。ネットワーク接続の場合は、続けてプリンターの設定を行ってください。

4 設定する

- 1 画面を表示します。



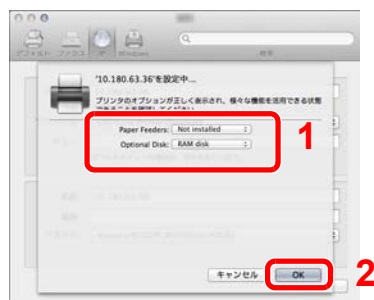
- 2 「デフォルト」を選択し、「名前」に表示された項目をクリックします。



参考

IPアドレスを入力する場合は、[IP] を選択し、IPアドレスとプリンター名を入力してください。「名前」には、「アドレス」に入力した番号が自動的に入ります。必要に応じて変更してください。

- 3 本機に装備されているオプションを選択します。



- 4 設定したプリンターが追加されます。



TWAINドライバーの設定

TWAINドライバーをインストールした場合は、次の手順で設定します。ここでは、Windows 7の場合を例に説明します。

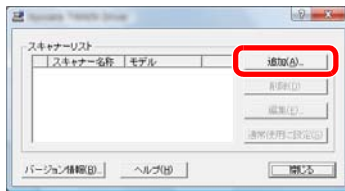
1 画面を表示する

- Windowsの[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Kyocera]→[TWAIN Driver Setting]を選択してください。TWAINドライバー設定画面が表示されます。

参考

Windows 8の場合は、チャームの[検索]をクリックし、検索欄に[TWAIN Driver Setting]と入力します。検索された一覧の中から[TWAIN Driver Setting]を選択します。

- [追加]をクリックします。



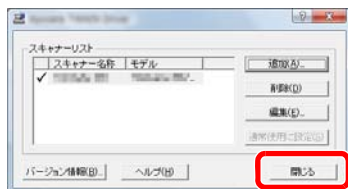
2 設定する

<p>(Network)</p> <p>1 スキャナー名称</p> <p>2 モデルID</p> <p>3 スキャナーアドレス(S)</p> <p>4 データ圧縮(カラー)</p> <p>5 圧縮レベル(白黒)</p> <p>5 SSL</p>	<p>(USB)</p> <p>1 スキャナー名称</p> <p>2 モデルID</p> <p>3 スキャナーアドレス(S)</p> <p>4 データ圧縮(カラー)</p> <p>4 圧縮レベル(白黒)</p>	<p>本機の名称を入力します。</p> <p>使用する単位を設定します。</p> <p>リストから本機を選択します。</p> <p>本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。</p> <p>圧縮レベルを設定します。</p> <p>SSLを設定する場合はチェックを付けます。</p>
--	---	--

参考

本機のIPアドレスまたはホスト名は管理者に確認してください。

3 終了する



参考

[削除]をクリックすると、登録されている機器を削除できます。[編集]をクリックすると、名称などの変更ができます。

WIAドライバーの設定

WIAドライバーをインストールした場合は、次の手順で設定します。ここでは、Windows 7の場合を例に説明します。

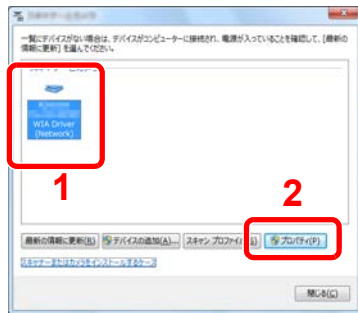
1 画面を表示する

- Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラムとファイルの検索]欄に[スキャナー]と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

参考

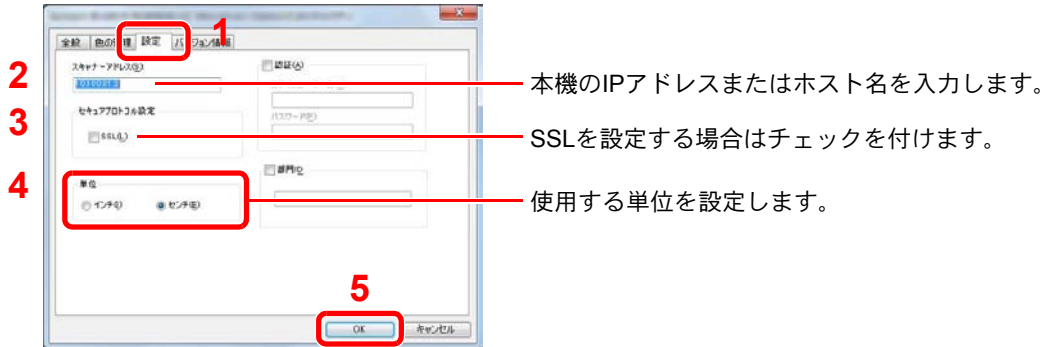
Windows 8の場合はチャームの[検索]をクリックし、検索欄に[スキャナーとカメラの表示]と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]を選択すると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

- 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

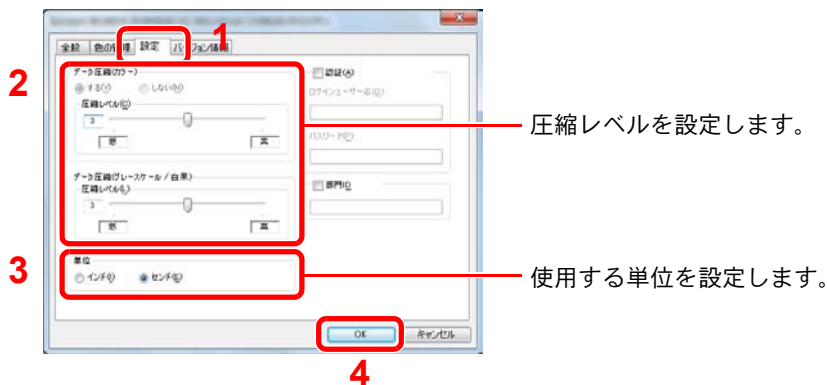


2 設定する

(Network)



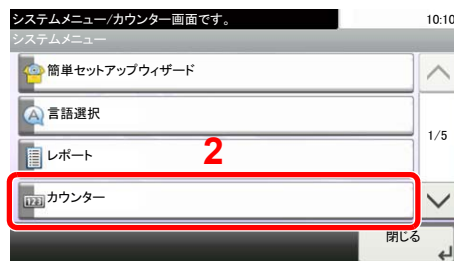
(USB)



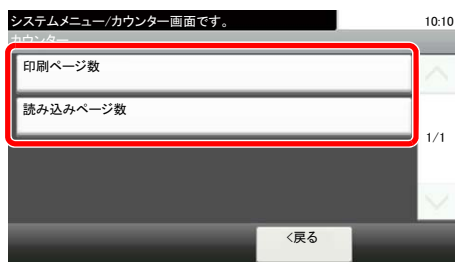
カウンターの確認

[カウンター]キーを押して、印刷枚数および読み込み枚数を参照します。

1 画面を表示する



2 カウンターを確認する



[∨]→[両面集計]を押すと、片面、両面、およびその合計の使用枚数が確認できます。

[∨]→[集約集計]を押すと、なし(集約なし)、2 in 1、4 in 1、およびその合計の使用枚数が確認できます。

[∨]→[用紙サイズ別集計]を押すと、用紙サイズ別に印刷枚数を確認できます。

管理者に準備していただきたいこと

本機の管理者は、この章で説明していること以外に、下記の内容を確認の上必要な設定を行ってください。

パソコンに文書を送信するためには

共有フォルダーに送信する(SMB送信)

読み込んだ文書をパソコンに送信するには、パソコンに文書を受け取るためのフォルダーを作成する必要があります。詳しくは[3-25ページのパソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備](#)を参照してください。

スキャンした画像をメールする(メール送信)

読み取った原稿のイメージをメールの添付ファイルとして送信します。設定については[2-39ページのメール設定](#)を参照してください。

セキュリティを強化するには

本機は、機器管理者の権限を持つユーザーと、管理者の権限を持つユーザーがそれぞれ1人工場出荷時に登録されています。このユーザーでログインすると、すべての設定が可能になりますので、ログインユーザー名やログインパスワードを変更してください。

また、本機はユーザー認証機能を搭載しており、設定することで、登録されたログインユーザー名とパスワードを持っている人しか本機を使えないようにすることができます。それぞれの設定方法については、[9 ユーザー認証、集計管理\(ユーザー管理、部門管理\)\(9-1ページ\)](#)を参照してください。

強化したいこと	機能名	参照ページ
本機を使用するユーザーを制限したい	ユーザー管理	9-2ページ
	オートパネルリセット	8-37ページ
	ICカード設定 ^{*1}	9-29ページ
使用できる基本機能を制限したい	ローカル認可	9-19ページ
	グループ認可設定	9-20ページ
本機に保存した文書を他のユーザーに操作させたくない	ユーザーボックス ^{*2}	5-43ページ
本機に保存したデータの流出を防ぎたい	上書き消去 ^{*3}	Data Security Kit (E) 使用説明書参照
	暗号化 ^{*3}	
	PDF暗号化機能	6-25ページ
本機を廃棄するとき、本機内のデータを完全に削除したい	セキュリティデータの完全消去	8-36ページ

*1 オプションのICカード認証キットが必要です。

*2 オプションのSSDが必要です。

*3 オプションのセキュリティキットが必要です。

強化したいこと	機能名	参照ページ
傍受、盗聴から、通信内容を保護したい	IPP over SSL	8-29ページ
	HTTPS	8-29ページ
	LDAPセキュリティー	Command Center RX操作説明書参照
	SMTPセキュリティー	Command Center RX操作説明書参照
	POP3セキュリティー	Command Center RX操作説明書参照
	FTP暗号送信	6-28ページ
	Enhanced WSD (SSL)	8-30ページ
	IPSec	8-31ページ
	SNMPv3	8-29ページ

Command Center RXについて

本機をネットワークに接続してご使用の場合、Command Center RXを使用してさまざまな設定を行うことができます。ここでは、Command Center RXへのアクセス手順と、セキュリティー設定、ホスト名の変更方法などについて説明します。Command Center RXの詳細は、Command Center RX操作説明書を参照してください。

参考

Command Center RXのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、文書ボックスやアドレス帳管理、設定/登録を含めたすべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです。

ログインユーザー名	Admin
ログインパスワード	Admin

* 大文字・小文字は区別されます。

管理者と一般ユーザーがCommand Center RXで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明	管理者	一般ユーザー
デバイス情報	本機の構成を確認できます。	○	○
ジョブ状況	印刷やスキャンジョブ、保存ジョブ、予約ジョブ、およびジョブ履歴を含むすべてのデバイスのジョブ情報が表示されます。	○	○
文書ボックス	文書ボックスの追加や削除、または文書ボックス内の文書の削除などを行います。	○	○ ^{*1}
アドレス帳管理	アドレスおよびアドレスグループの新規作成および編集、削除を行います。	○	○ ^{*1}
デバイス設定	本機の詳細設定を行います。	○	-
機能設定	機能の詳細設定を行います。	○	-
ネットワーク設定	ネットワークの詳細設定を行います。	○	-
セキュリティー設定	セキュリティーの詳細設定を行います。	○	-
管理設定	管理の詳細設定を行います。	○	-

*1 ログインするユーザーの権限により、設定できる項目に制限があります。

参考

ここではファクスの設定に関しては省略しています。ファクスの詳細は、ファクス使用説明書を参照してください。

Command Center RX へアクセスする

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は、本機ホーム画面の[機器情報]→[識別情報/ネットワーク]で確認できます。



例) <https://192.168.48.21/> (IPアドレスの場合)

<https://MFP001> (ホスト名がMFP001の場合)



本機およびCommand Center RXに関する一般情報と現在の状態が、Webページに表示されます。



参考

「このWeb サイトのセキュリティ証明書には問題があります」の画面が表示された場合、証明書の設定をしてください。詳細は、Command Center RX操作手順書を参照してください。または、証明書を設定しないでこのまま続行することもできます。

2 設定する

画面左のナビゲーションバーから項目を選択してください。



参考

Command Center RXのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、文書ボックスやアドレス帳管理、設定/登録を含めたすべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです。

ログインユーザー名	Admin
ログインパスワード	Admin

* 大文字・小文字は区別されます。

セキュリティ設定を変更する

本機のセキュリティ設定を変更します。

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は、本機ホーム画面の[機器情報]→[識別情報/ネットワーク]で確認できます。

ホーム



機器情報



識別情報/ネットワーク

- 3 管理者の権限でログインします。

管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです。



ログインユーザー名	Admin
ログインパスワード	Admin

* 大文字・小文字は区別されます。

2 設定する

[セキュリティ設定]メニューから設定したい項目を選択して、設定を行います。



参考

[デバイスセキュリティ]、[送信セキュリティ]および[ネットワークセキュリティ]で設定できる項目は、本機のシステムメニューからも設定できます。詳しくは[システムメニュー \(8-1ページ\)](#)を参照してください。

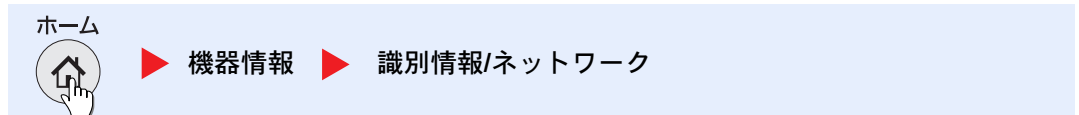
証明書に関する設定については、Command Center RX操作説明書を参照してください。

デバイス情報を変更する

本機のデバイス情報を変更します。

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は、本機ホーム画面の[機器情報]→[識別情報/ネットワーク]で確認できます。



- 3 管理者の権限でログインします。

管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです。



ログインユーザー名	Admin
ログインパスワード	Admin

* 大文字・小文字は区別されます。

- 4 [デバイス設定]メニューの[システム]をクリックします。



2 設定する

デバイス情報を入力して、[\[設定\]](#)をクリックします。

 **重要**

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

[\[管理設定\]](#)メニューの[\[リセット\]](#)をクリックし、「再起動」の[\[ネットワークの再起動\]](#)をクリックすることで、ネットワークインターフェイスカードの再起動ができます。

メール設定

SMTPを設定すると、本機で読み取った画像をメールに添付して送信したり、ジョブが終了したことをメールで通知したりすることができます。

この機能を使用するには、SMTPプロトコルによる本機とメールサーバーの接続が必要です。

また、次の項目を設定してください。

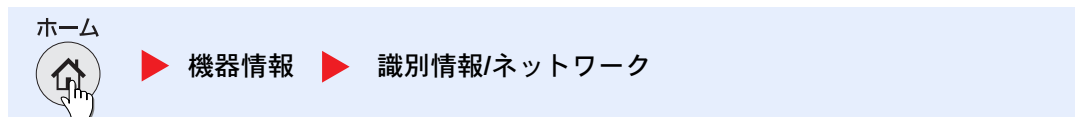
- SMTPの設定
設定項目:「SMTP」の「SMTPプロトコル」、「SMTPサーバー名」等
- 本機がメールを送信するときの差出人のアドレス
設定項目:「メール送信設定」の「差出人アドレス」
- メールサイズ制限の設定
設定項目:「メール送信設定」の「メール送信のサイズ制限」

SMTPを設定する操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

SMTPプロトコルの画面を表示します。

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は、本機ホーム画面の[機器情報]→[識別情報/ネットワーク]で確認できます。



- 3 管理者の権限でログインします。

管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです。



ログインユーザー名	Admin
ログインパスワード	Admin

* 大文字・小文字は区別されます。

4 [ネットワーク設定]メニューの[プロトコル]をクリックします。



2 設定する

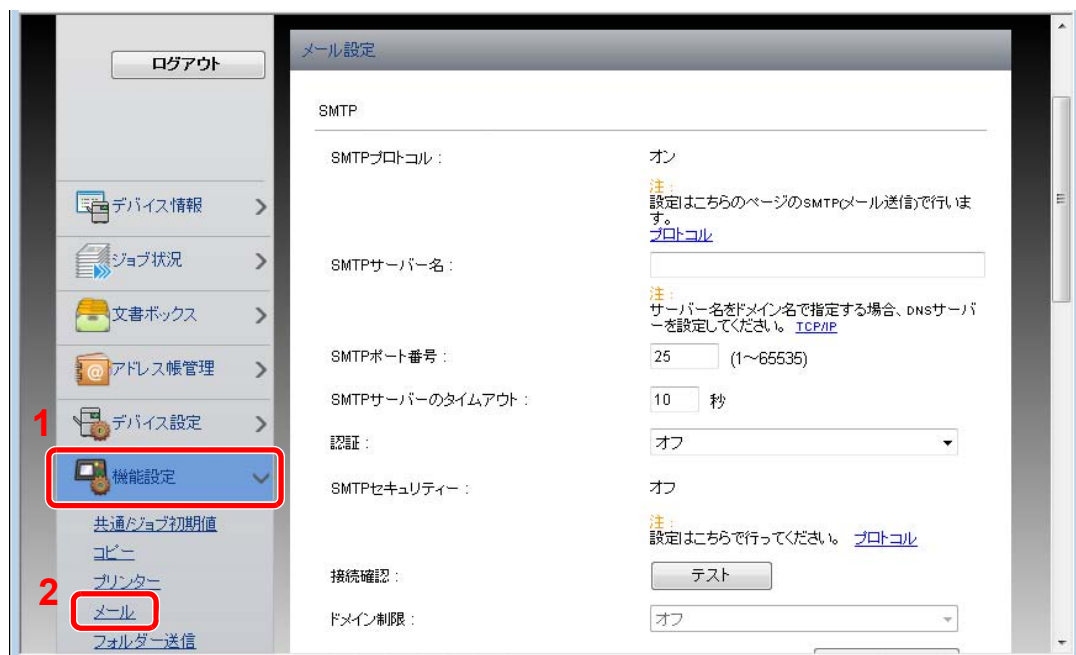
「送信プロトコル」の「SMTP(メール送信)」で設定を[オン]にしてください。



3 画面を表示する

メール設定の画面を表示します。

[機能設定]メニューの[メール]をクリックします。



4 設定する

「SMTP」および「メール送信設定」の項目を入力します。

項目	説明
SMTP	本体からメールを送信するときに設定します。
SMTPプロトコル	SMTPプロトコルの設定を参照します。「SMTPプロトコル」の設定が[オン]になっているか確認してください。[オフ]の場合は、[プロトコル]をクリックして、SMTPプロトコルの設定を[オン]にしてください。
SMTPサーバー名 ^{*1}	SMTPサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。
SMTPポート番号	SMTPが使用するポート番号を設定します。通常は25を使用します。
SMTPサーバーのタイムアウト	タイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
認証	SMTP認証をする場合、認証するユーザー情報を入力します。
SMTPセキュリティ	SMTPセキュリティーを設定します。「プロトコル」ページで「SMTP(メール送信)」の「SMTPセキュリティー」を設定してください。
POP before SMTPのタイムアウト	POPサーバーへの接続がタイムアウトするまでの時間を、秒単位で指定します。「認証」で[POP before SMTP]を選択した場合に設定できません。
接続確認	設定した内容が正しいかどうかをテストします。
ドメイン制限	ドメイン制限をする場合、[ドメインリスト]をクリックし、許可、または拒否する宛先のドメイン名を入力します。メールアドレスで指定することもできます。
POP3	POP3プロトコル
	着信チェック間隔
	直ちに実行
	ドメイン制限
	POP3ユーザー設定
メール送信設定	メール送信のサイズ制限
	差出人アドレス ^{*1}
	署名
	機能初期値

*1 入力が必要な項目です。

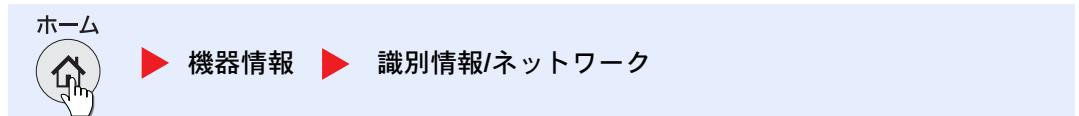
5 [設定]をクリックする

宛先を登録する

Command Center RXから本機のアドレス帳に宛先を登録することができます。

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は、本機ホーム画面の[機器情報]→[識別情報/ネットワーク]で確認できます。



- 3 管理者の権限でログインします。

管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです。



ログインユーザー名	Admin
ログインパスワード	Admin

* 大文字・小文字は区別されます。

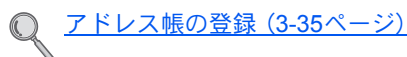
- 4 [アドレス帳管理]メニューで[本体アドレス帳]をクリックします。



- 5 [追加]をクリックします。

2 設定する

- 1 宛先情報を入力します。
登録する宛先の情報を入力してください。入力する項目は本機で登録するときと同じです。



- 2 [設定]をクリックします。

ユーザーボックスを作成する

Command Center RXから本機にユーザーボックスを登録することができます。

参考

ユーザーボックスを使用するにはオプションのSSDが必要です。

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は、本機ホーム画面の[機器情報]→[識別情報/ネットワーク]で確認できます。



- 3 [文書ボックス]メニューで[ユーザーボックス]をクリックします。



- 4 [新規作成]をクリックします。

2 設定する

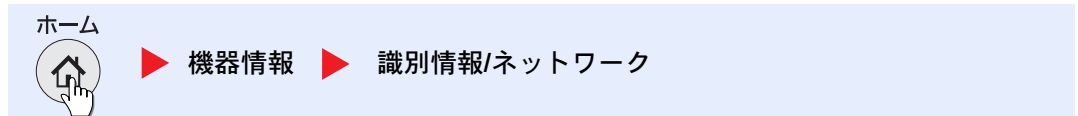
- 1 ボックスの情報を入力します。
登録するユーザーボックスの情報を入力してください。入力する項目はCommand Center RX操作説明書を参照してください。
- 2 [設定]をクリックします。

ユーザーボックスに保存されている文書を印刷する

Command Center RXからユーザーボックスに保存されている文書を印刷することができます。

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は、本機ホーム画面の[機器情報]→[識別情報/ネットワーク]で確認できます。



- 3 [文書ボックス]メニューで[ユーザーボックス]をクリックします。



- 4 文書が保存されているユーザーボックスの番号またはボックス名をクリックします。

2 印刷する



- 1 印刷する文書を選択します。
印刷する文書のチェックボックスにチェックを入れます。
- 2 [印刷]をクリックします。
- 3 印刷設定を行い、[印刷]をクリックします。
設定できる項目については、Command Center RX操作説明書を参照してください。

弊社の他製品からのデータ移行について

本機のユーティリティーを使用すると、機械の置き換えの際に、アドレス帳をスムーズに移行することができます。ここでは弊社の製品間でのデータ移行方法について説明しています。

アドレス帳を移行する

機械に登録されているアドレス帳は、付属のDVDに収録されているKYOCERA Net Viewerを使用することでバックアップや移行ができます。

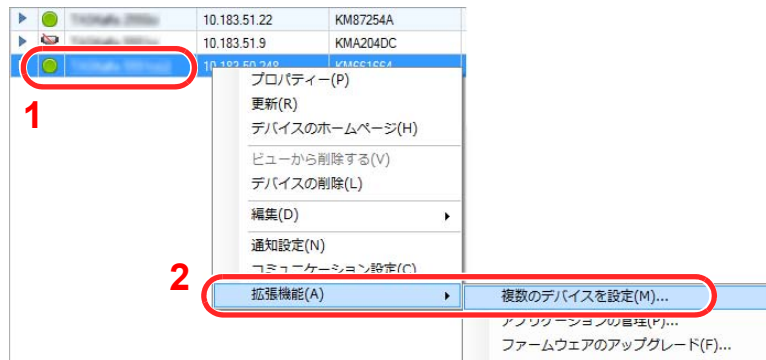
KYOCERA Net Viewerの操作方法については、KYOCERA Net Viewer操作手順書を参照してください。

アドレス帳データをパソコンにバックアップする

1 KYOCERA Net Viewerを起動する

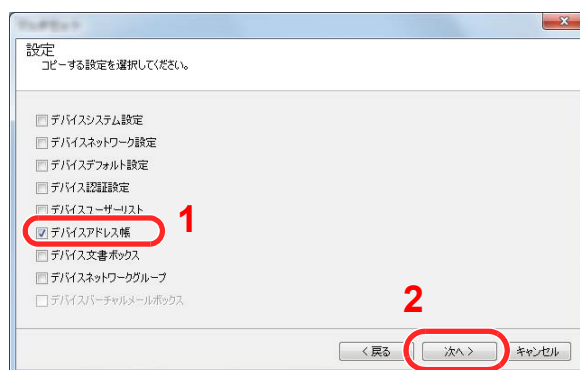
2 バックアップを行う

- 1 アドレス帳をバックアップしたいモデル名を右クリックし、[拡張機能]—[複数のデバイスを設定]を選択します。

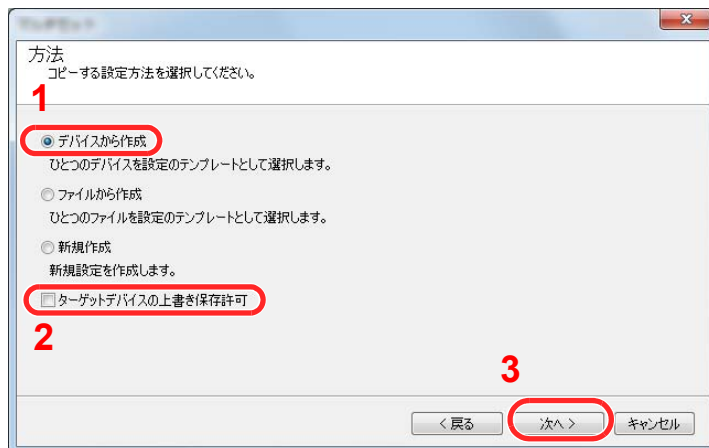


- 2 [次へ]をクリックします。

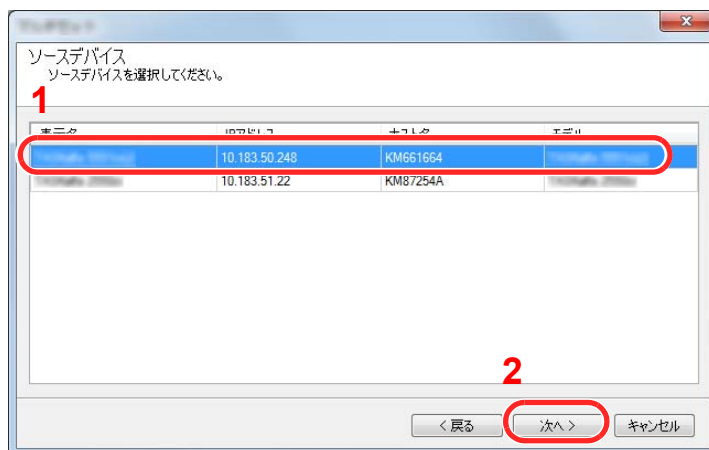
- 3 [デバイスアドレス帳]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 4 [デバイスから作成]を選択して[ターゲットデバイスの上書き保存許可]のチェックを外し、[次へ]をクリックします。



- 5 バックアップしたい機種を選択し、[次へ]をクリックします。



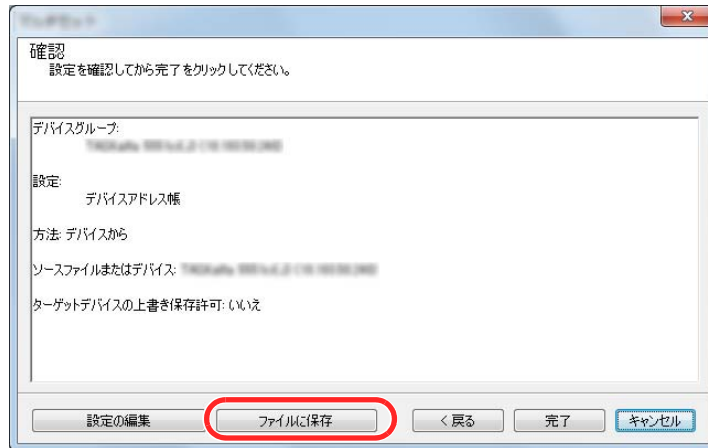
参考

「管理者ログイン」の画面が表示されたときは、「管理者ログイン」と「ログインパスワード」を入力して[OK]を押します。初期設定は下記が設定されています。

ログインユーザー名	Admin
ログインパスワード	Admin

* 大文字・小文字は区別されます。

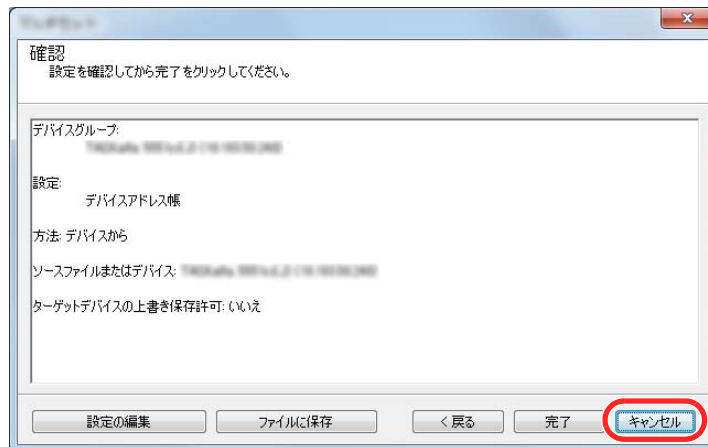
6 [ファイルに保存]をクリックします。



7 保存する場所とファイル名を設定し、[保存]をクリックします。

「ファイルの種類」は必ず「XMLファイル」を選択してください。

8 ファイルを保存後は、必ず[キャンセル]をクリックして画面を閉じます。



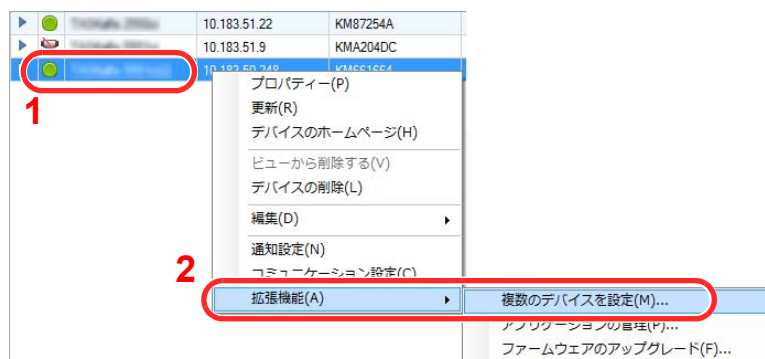
[完了]を選択すると本体のアドレス帳にデータを書き込みますのでご注意ください。

アドレス帳データを機械に書き込む

1 KYOCERA Net Viewerを起動する

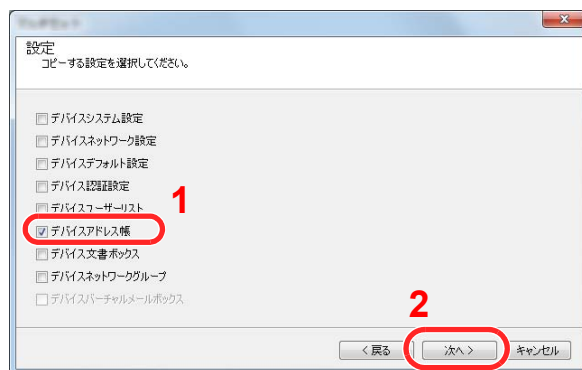
2 アドレス帳データを取り込む

- 1 アドレス帳を転送したいモデル名を右クリックし、[拡張機能]—[複数のデバイスを設定]を選択します。

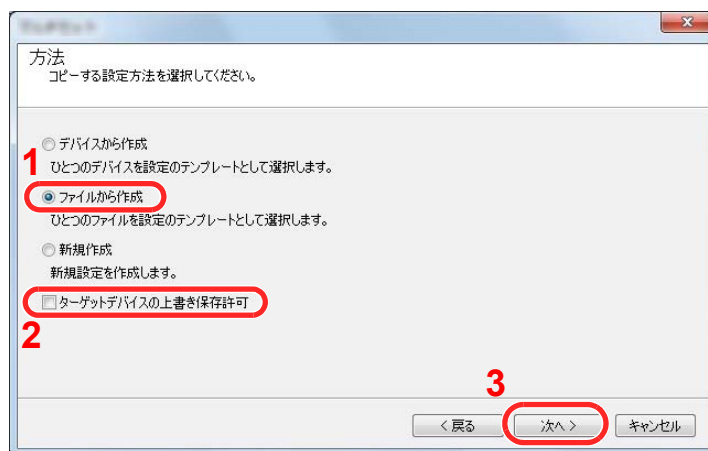


- 2 [次へ]をクリックします。

- 3 [デバイスアドレス帳] を選択し、[次へ] をクリックします。

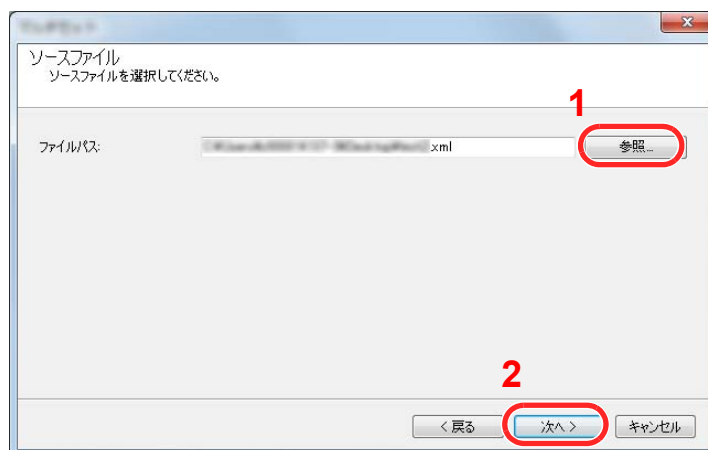


- 4 [ファイルから作成] を選択して [ターゲットデバイスの上書き保存許可] のチェックを外し、[次へ] をクリックします。

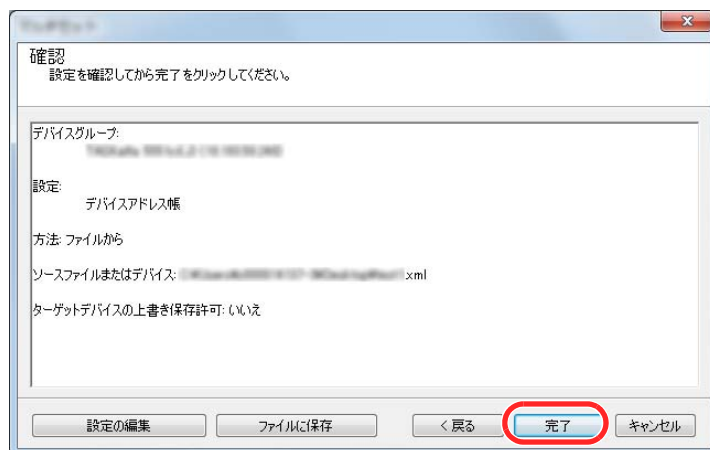


[ターゲットデバイスの上書き保存許可] にチェックを付けた場合、本体アドレス帳のNo.1から上書き保存されます。

- 5 [参照] をクリックしてバックアップしたアドレス帳ファイルを選択し、[次へ] をクリックします。



6 [完了]をクリックします。



アドレス帳データの書き込みを開始します。

7 書き込みが完了したら[閉じる]をクリックします。






3 本機を使用する前に

この章では、本機の基本的な操作について説明します。

操作パネルの使いかた	3-2
操作パネルキー	3-2
操作パネルの角度調節	3-3
タッチパネルの表示について	3-4
ホーム画面	3-4
機器情報の表示	3-8
設定できないキーの表示	3-9
エンターキー、短縮キーについて	3-10
ヘルプ画面について	3-11
用紙の補給	3-12
用紙の取り扱い上の注意	3-13
カセットにセットする	3-14
手差しトレイにセットする	3-18
用紙サイズと用紙種類の設定	3-22
排紙ストッパー	3-24
パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備	3-25
コンピューター名とフルコンピューター名をメモする	3-25
ユーザー名とドメイン名をメモする	3-26
共有フォルダーを作成する、共有名をメモする	3-27
Windowsファイアウォールの確認	3-31
アドレス帳の登録	3-35
宛先の新規登録(アドレス帳)	3-35
ワンタッチキーの登録(ワンタッチキー)	3-42

操作パネルの使いかた

操作パネルキー

ホーム 	ホーム画面を表示します。	状況確認 / ジョブ中止 	状況確認/ジョブ中止画面を表示します。	送信 	送信の基本画面を表示します。アドレス帳の画面を表示するように変更することもできます。
		コピー 	コピー画面を表示します。	ファクス 	ファクスの基本画面を表示します。




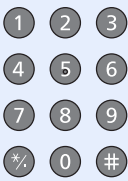








タッチパネルです。このキーに触れて各種設定を行います。

印刷中や送信の処理中に点滅します。

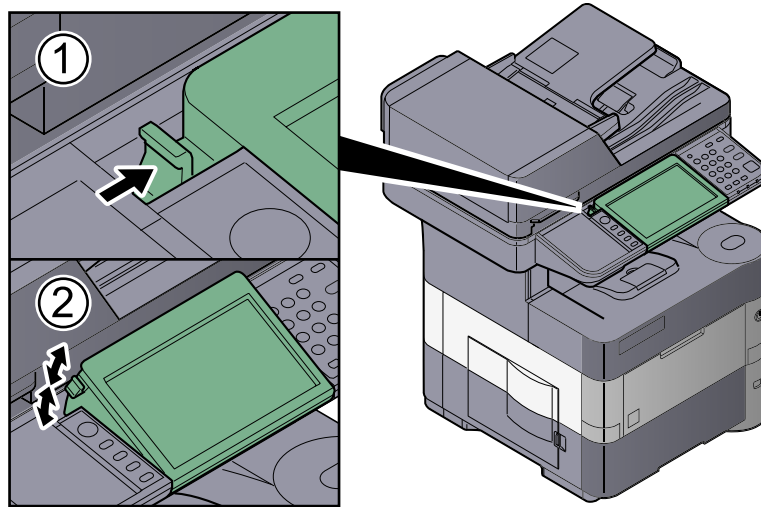
本体メモリー、ファクス用メモリー、USBメモリー(汎用品)にアクセス中に点滅します。

エラーが発生してジョブが停止すると点灯または点滅します。

システムメニュー / カウンター 	システムメニュー/カウンター画面を表示します。	認証 / ログアウト 	ユーザー切り替えの認証と各ユーザーの操作を終了(ログアウト)します。	節電 	本機をスリープ状態にします。スリープ状態のときはスリープから復帰します。
テンキーです。数字や記号を入力します。 		クリア 	入力した数値や文字を消去します。	リセット 	設定値を初期状態に戻します。
		短縮 	アドレス番号、ユーザーIDなど、番号で登録内容を指定します。	ストップ 	動作中のジョブを中止、または一時停止します。
		エンター 	テンキーの入力や、機能設定中の内容を確認します。タッチパネル上の[OK]と連動しています。	スタート 	コピーやスキャン動作を開始したり、設定動作の処理を開始したりします。

操作パネルの角度調節

操作パネルの角度を調整します。角度調節タブを押しながら、2段階に角度が調整できます。



タッチパネルの表示について



ホーム画面

操作パネルの[ホーム]キーを押すと表示される画面です。アイコンをタッチすると対応する画面が表示されます。ホーム画面に表示するアイコンや画面の背景は変更することができます。

 [ホーム画面の編集について \(3-5ページ\)](#)



*設定やオプションの構成により、実際の画面と異なる場合があります。

番号	項目	説明
1	メッセージ	状況に応じてメッセージを表示します。
2	ログインユーザー名	ログインしているユーザー名を表示します。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。「ログインユーザー名」を押すとログインしているユーザーの情報が表示されます。
3	[ログアウト]	ログアウトします。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。
4	デスクトップ	お気に入りに登録された機能を含め、最大40個* ¹ の機能アイコンを表示します。1ページ目に表示されていないアイコンは、ページを切り替えると表示されます。
5	画面切り替えキー	デスクトップのページを切り替えます。  参考 画面をタッチした状態で指を左右に動かすことでも表示を切り替えることができます。(スワイプ操作) 
6	タスクバー	最大で5個のタスクアイコンを表示します。

*1 ファクスの機能を含めると、最大で42個表示されます。また、インストールしたアプリケーションは最大で5個表示できます。

ホーム画面の編集について

ホーム画面に表示するアイコンや画面の背景を編集します。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー→[▽]→[ホーム]を選択します。



参考

管理者の権限でログインする必要があります。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

2 設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
デスクトップの設定	デスクトップに表示する機能アイコンを設定します。 [+]を押すと、表示する機能の選択画面が表示されます。表示する機能を選択して[OK]を押します。 アイコンを選択して[前へ]または[後ろへ]を押すと、デスクトップに表示する順序を入れ替えることができます。 アイコンを選択して[]を押すと、デスクトップから削除することができます。 設定値は 3-6ページのデスクトップに表示できる機能 を参照してください。
タスクバーの設定	タスクバーに表示するタスクアイコンを設定します。 設定値は 3-7ページのタスクバーに表示できる機能 を参照してください。
壁紙	ホーム画面の背景を設定します。 設定値: 画像1~8

デスクトップに表示できる機能

機能	アイコン	説明	参照ページ
コピー ^{*1}		コピー画面を表示します。	5-16ページ
送信 ^{*1}		送信画面を表示します。	5-19ページ
ファクス		ファクス画面を表示します。	ファクス使用 説明書参照
ユーザーボックス ^{*2}		ユーザーボックス画面を表示します。	5-43ページ
ジョブボックス ^{*1}		ジョブボックス画面を表示します。	4-8ページ
外部メモリー ^{*1}		外部メモリー画面を表示します。	5-50ページ
ファクスボックス		ファクスボックス画面を表示します。	ファクス使用 説明書参照
ポーリングボックス		ポーリングボックス画面を表示します。	ファクス使用 説明書参照
自分に送信 (メール) ^{*3}		送信画面を表示します。宛先には、ログインしているユーザーのメールアドレスが登録されています。	5-32ページ
お気に入り		登録されているお気に入りを呼び出します。アイコンはお気に入りの機能により変わります。	5-5ページ
アプリケーション名 ^{*4}		選択したアプリケーションの画面を表示します。	5-11ページ






*1 工場出荷時に選択されています。

*2 オプションのSSDを装着しているときに表示されます。

*3 ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。

*4 各アプリケーションのアイコンが表示されます。

タスクバーに表示できる機能

機能	アイコン	説明	参照ページ
状況確認/ジョブ中止		状況確認画面を表示します。エラーが発生すると、アイコンに「！」が表示されます。エラーが解除されると元の表示に戻ります。	—
機器情報		機器情報画面を表示します。システムやネットワークの情報を確認できます。また、使用しているオプションの情報も確認できます。	3-8ページ
言語選択		システムメニューの言語選択設定画面を表示します。	8-6ページ
システムメニュー		システムメニュー画面を表示します。	8-2ページ
お気に入り		お気に入りの一覧画面を表示します。	5-5ページ

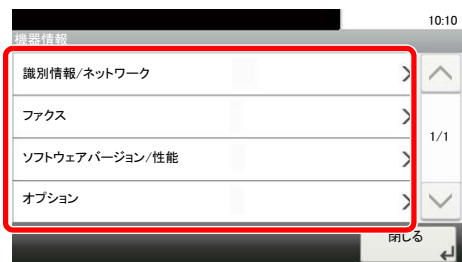
機器情報の表示

機器情報を表示します。システムやネットワークの情報を確認できます。また、使用しているオプションの情報も確認できます。

- 1 ホーム画面の[機器情報]を押します。





- 2 機器情報を確認します。

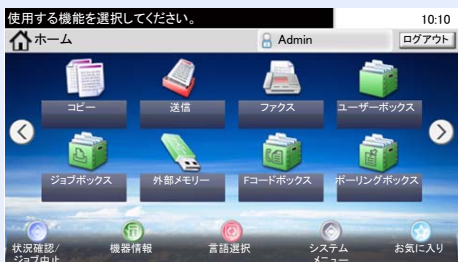





タブ	説明
識別情報/ネットワーク	モデル名、シリアル番号、ホスト名や場所などの識別情報、IPアドレスを確認できます。
ファクス	ファクス回線(自局ファクス番号、自局名、自局ファクスID)などファクスの情報を確認できます。
ソフトウェアバージョン/性能	ソフトウェアのバージョンや性能を確認できます。
オプション	使用しているオプションの情報を確認できます。

設定できないキーの表示

複数の機能の組み合わせやオプションの装着状態などによって、設定できない機能のキーは選択できない状態になります。

通常	キーが薄く表示される場合
	 <p>次の場合、キーは薄く表示されて設定できなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 先に設定している機能に対して組み合わせることができない場合

通常	キーが表示されない場合
 	 <p>オプションの装着状態により、使用できない機能のキーは表示されません。</p> <p>例) SSDを装着していない場合、[ユーザーボックス]は表示されません。</p> 

参考

設定したいキーが薄く表示される場合は、先に使用していたユーザーの設定が保持されている場合があります。このときは、[リセット]キーを押してから操作し直してください。

エンターキー、短縮キーについて

操作パネルにある[エンター]キー、および[短縮]キーの使いかたについて説明します。

[エンター]キー()の使いかた

[エンター]キーは、[OK ↵]や[閉じる ↵]のように、エンターのマーク(↵)が表示されているキーと同じ働きをします。



[短縮]キー()の使いかた

[短縮]キーは、送信するときの宛先を短縮番号で指定するときなど、番号を直接テンキーで入力する場合に使用します。

 短縮番号については、[5-22ページの宛先の選びかた](#)を参照してください。



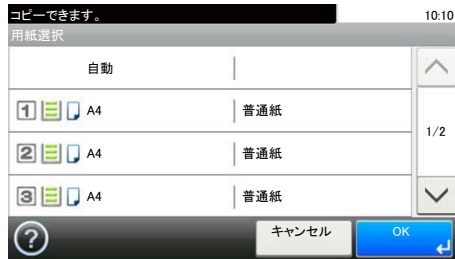
ヘルプ画面について

操作に困ったときは、タッチパネルで使いかたを確認できます。

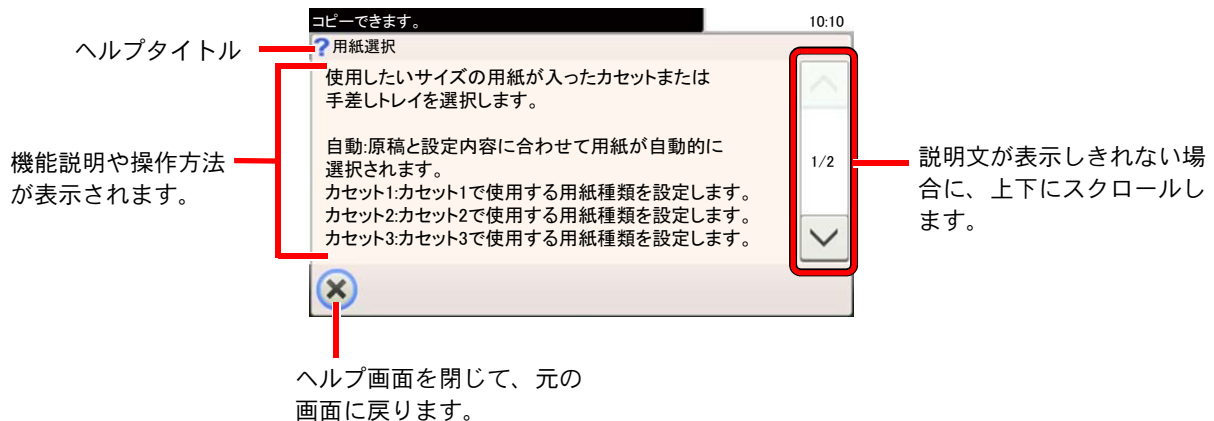
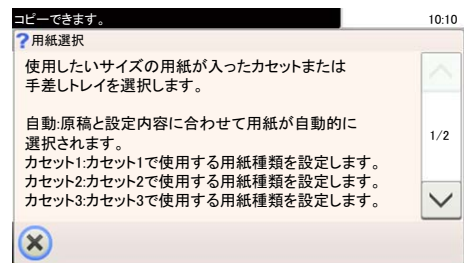
タッチパネルに[?] (ヘルプ)が表示されている場合、[?] (ヘルプ)を押すと各機能のヘルプ画面を表示します。ヘルプ画面では機能説明や操作方法を確認できます。

例)用紙選択のヘルプ画面を確認する場合

1 6-9ページの用紙選択を参照して、用紙選択の画面を表示する



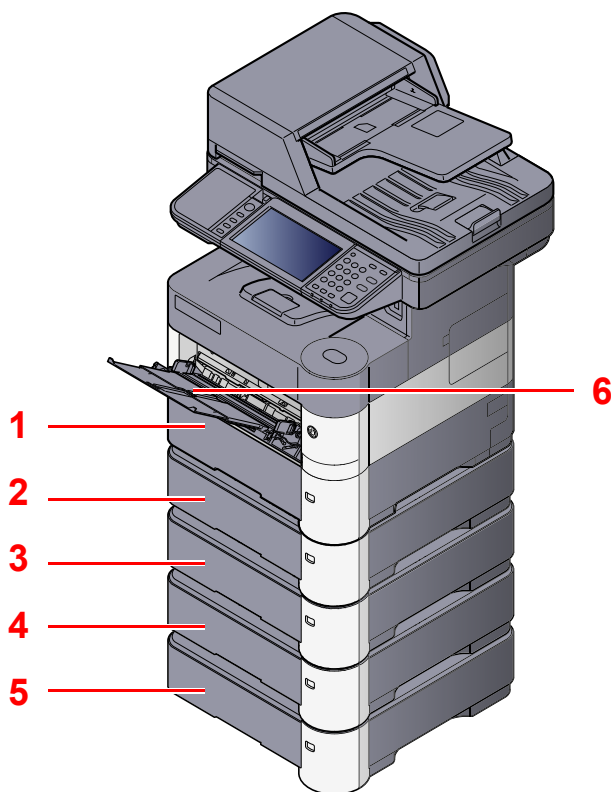
2



用紙の補給

カセットと手差しトレイに用紙をセットします。

各カセットへの補給方法は以下のページを参照してください。



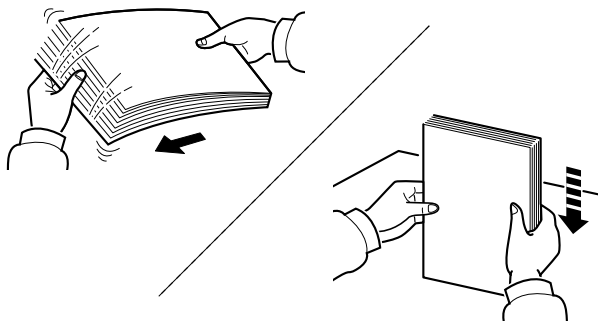
番号	名称	参照先
1	カセット1	3-14ページ
2	カセット2	3-14ページ
3	カセット3	3-14ページ
4	カセット4	3-14ページ
5	カセット5	3-14ページ
6	手差しトレイ	3-18ページ

参考

- お使いの環境や用紙の種類(厚さ)によって、収納できる枚数は異なります。
- インクジェットプリンター用紙や表面に特殊な加工が施されている用紙は使用しないでください。(紙づまり等、故障の原因になる場合があります。)

用紙の取り扱い上の注意

包装紙から出した用紙は、カセットや手差しトレイにセットする前に、次の手順でさばいてください。



用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよくそろえてください。

さらに、下記にもご注意ください。

- 用紙に折れやカールなどがある場合は、まっすぐにのばしてください。折れやカールがあると、紙づまりの原因となります。
- 包装紙から出した用紙を高温高湿環境に放置すると、湿気でトラブルの原因となります。カセットに入れた残りの用紙は、用紙保管袋に入れて密封保管してください。また、手差しトレイに残った用紙も、保管袋に入れて密封保管してください。
- 本機を長期間使用しない場合は、用紙を湿気から守るため、カセットから用紙を取り出し、保管袋に入れて密封保管してください。

☑ 重要

再利用紙(一度印刷された用紙)を使用する場合は、必ずステープル針やクリップなどを外してください。ステープル針やクリップが残ったままだと、画像不良や故障の原因となります。

💡 参考

穴の開いた用紙、ロゴや社名などが印刷されている用紙(プレプリント)、レターヘッドなど特殊な用紙を使用する場合は、[11-21ページの用紙について](#)を参照してください。

カセットにセットする

標準のカセットには、普通紙や再生紙、カラー紙を収納できます。

カセット1~5は普通紙(80 g/m²)を500枚まで収納できます。

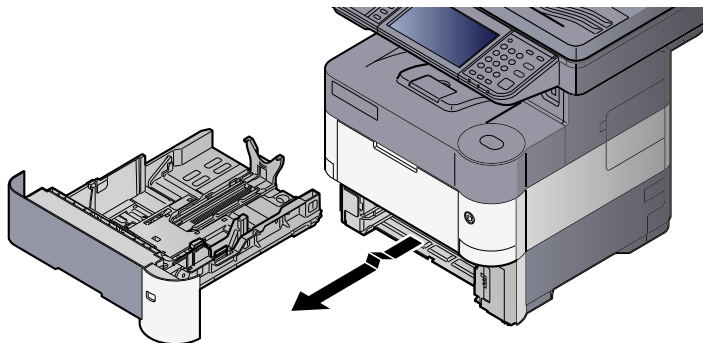
補給できる用紙サイズの詳細は[11-22ページの適正な用紙の選択](#)を、用紙種類の設定は[8-15ページの用紙種類の設定について](#)を参照してください。

☑ 重要

カセットには、60~120 g/m²の用紙を収納できます。

カセットには120 g/m²より重い厚紙用紙を収納しないでください。120 g/m²より重い厚紙用紙は、手差しトレイを使用してください。

1 カセットを本機から引き出す



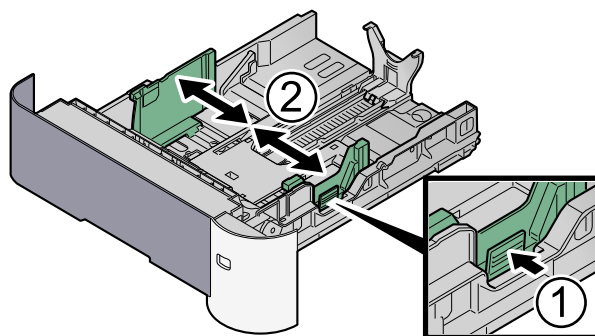
参考

カセットを引き出すときは、しっかり支えて落ちないようにしてください。

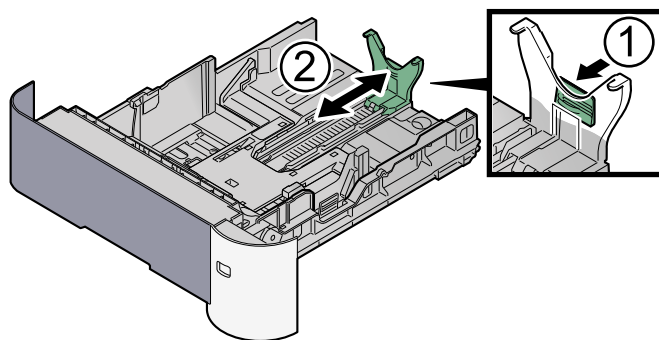
2 カセットのサイズを調整する

- 1 用紙幅ガイドの位置を調整します。用紙幅変更つまみを押しながらスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。

用紙サイズはカセットに表示されています。

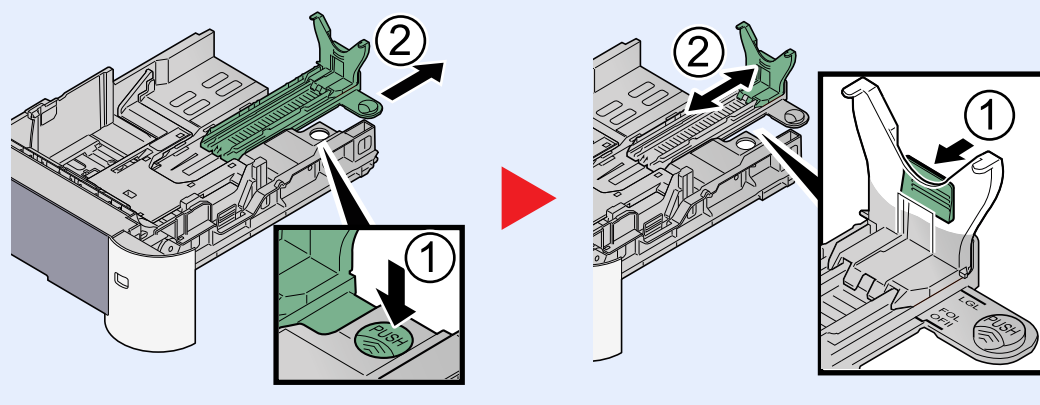


- 2 用紙長さガイドの位置を調整します。用紙長さ変更つまみを押しながらスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。



 参考

カセットにA4サイズを超える用紙を収納するときは、用紙長さガイドを引き出します。



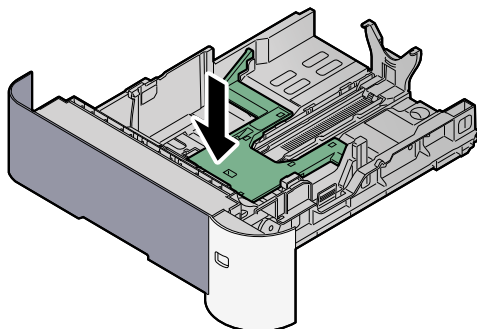
- 3 サイズダイヤルを回して、使用する用紙サイズが用紙サイズウィンドウに見えるように合わせてください。



 参考

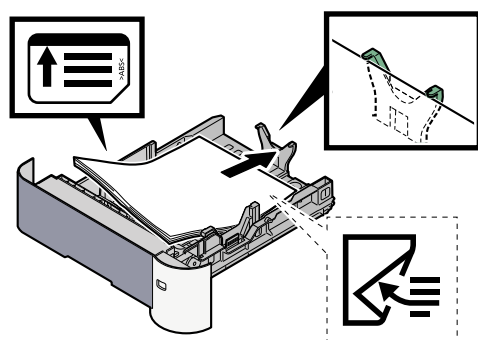
定形外の用紙を使用する場合は、サイズダイヤルをOtherにセットしてください。その際は操作パネルからその用紙サイズを設定することが必要です。詳しくは、[3-22ページの用紙サイズと用紙種類の設定](#)を参照してください。

3 (ECOSYS M3540idnのみ)ロックするまで底板を押す



4 用紙をセットする

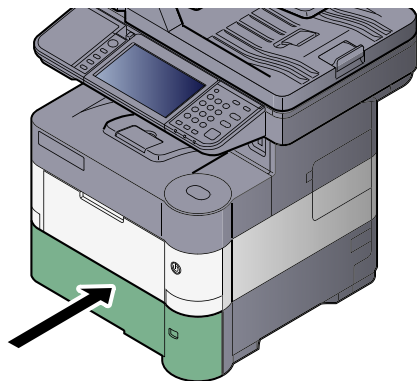
- 1 紙の間に空気を入れるようにさばき、水平な台の上で用紙をそろえます。
- 2 用紙の端をそろえて、カセットに入れます。



重要

- 印刷する面を下にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。(3-13ページの用紙の取り扱い上の注意参照)
- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、収納上限を示すラベル(イラスト参照)の目盛り以下にしてください。
- 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わさずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

5 カセットをゆっくり奥まで押し込む



6 カセットにセットする用紙を操作パネルで設定する



[カセットの用紙サイズと用紙種類 \(3-22ページ\)](#)

手差しトレイにセットする

手差しトレイには、普通紙(80 g/m²)を100枚まで補給できます。

補給できる用紙サイズの詳細は[11-22ページの適正な用紙の選択](#)を、用紙種類の設定は[8-15ページの用紙種類の設定について](#)を参照してください。特殊紙に印刷するときは必ず手差しトレイを使用してください。

☑ 重要

106 g/m²以上の用紙を使用する場合は、用紙種類を厚紙にして、用紙の重さを使用用紙の重さに合わせて設定してください。

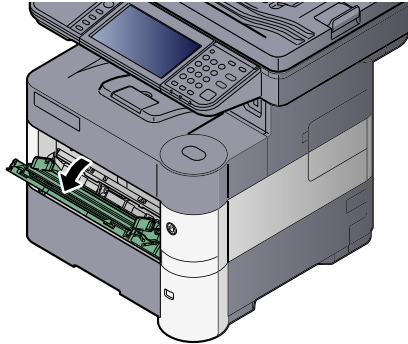
手差しトレイにセットできる用紙種類と枚数は次のとおりです。

- 普通紙(80 g/m²)、再生紙、カラー紙:100 枚
- 厚紙(106~220 g/m²):5枚
- はがき:1枚
- Envelope DL、Envelope C4、Envelope C5、Envelope #10 (Commercial #10)、Envelope #9 (Commercial #9)、Envelope #6 (Commercial #6)、Monarch、洋形4号、洋形2号:5 枚
- OHP フィルム:1枚

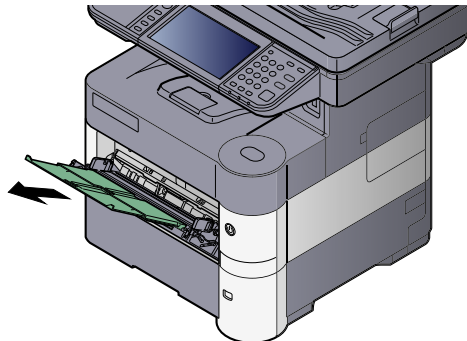
💡 参考

- 不定形サイズの用紙をセットするときは、[3-23ページの手差しトレイの用紙サイズと用紙種類](#)で用紙のサイズを入力してください。
- OHP フィルムや厚紙などの特殊紙を使用するときは、[3-23ページの手差しトレイの用紙サイズと用紙種類](#)で用紙種類を設定してください。

1 手差しトレイを開ける

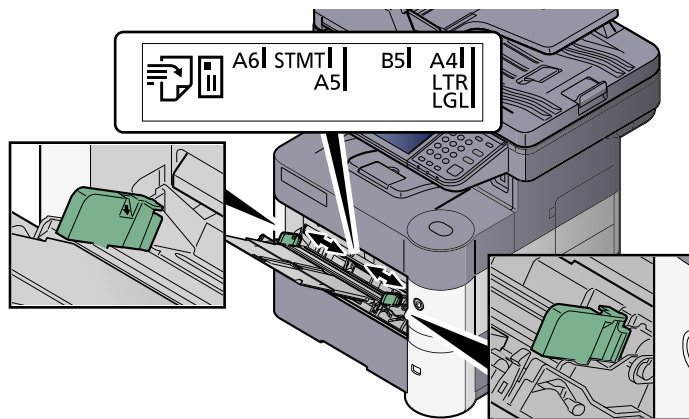


2 手差し補助トレイを伸ばす

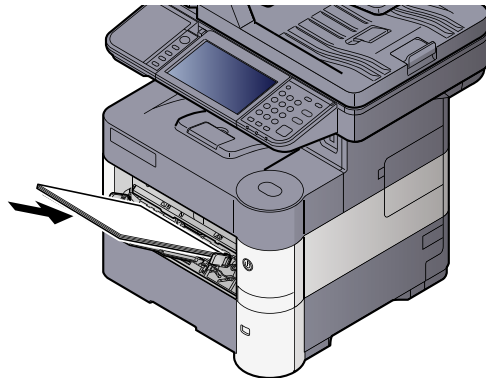


3 手差しトレイのサイズを調整する

用紙サイズは手差しトレイに表示されています。




4 用紙をセットする



用紙幅ガイドに合わせて、用紙を止まる位置まで挿入してください。


包装紙から出した用紙は、セットする前にさばいてください。

 [用紙の取り扱い上の注意 \(3-13ページ\)](#)

重要

- 印刷する面を上にしてください。
- 反っている用紙は必ず反りを直してから使用してください。
- 手差しトレイに用紙を補給する前に、用紙が手差しトレイに残っていないか確認してください。また、手差しトレイに残っている用紙が少ないなどで用紙を補給する場合は、用紙を一度取り除き、補給する用紙と合わせてさばいてから再度補給してください。
- 用紙と用紙ガイドの間に隙間があるときは、斜め給紙や紙づまりの原因となりますので、隙間が生じないようにガイドを調整し直してください。
- 用紙の量は、収納上限を示すラベル(イラスト参照)の目盛り以下にしてください。

5 手差しトレイにセットする用紙を操作パネルで設定する

 [手差しトレイの用紙サイズと用紙種類 \(3-23ページ\)](#)

はがき、封筒をセットするとき

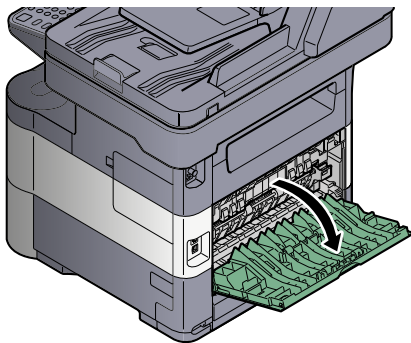
封筒モードの切替(ECOSYS M3540idn)

封筒に印刷する場合は、次の手順で封筒モードに切替えてください。

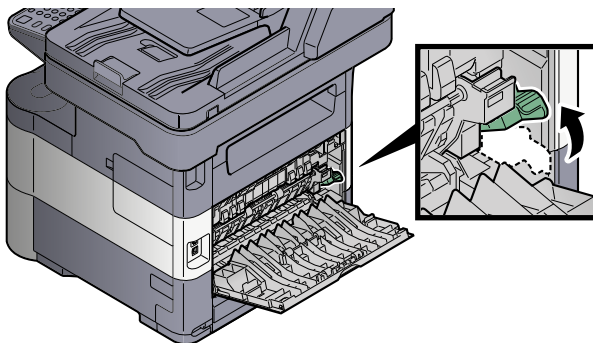
参考

封筒の印刷が終了したら、封筒レバーを元の位置(下側)に戻してください。

1 後ろカバーを開ける



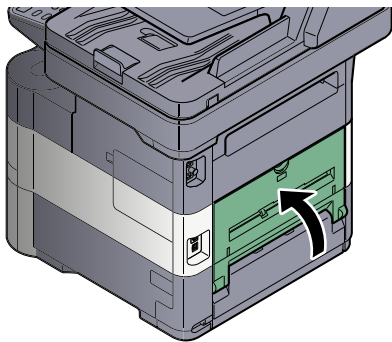
2 封筒レバーを上げる



注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

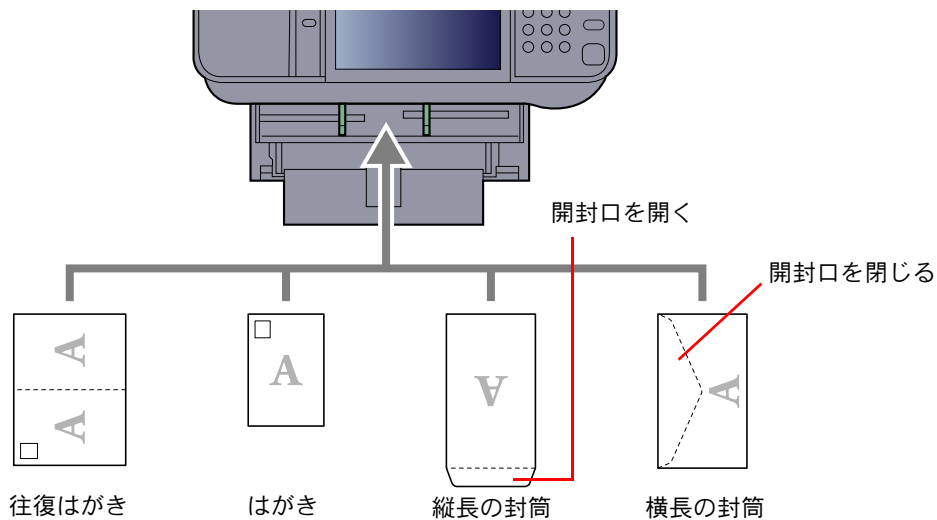
3 後ろカバーを閉める



封筒のセット

印刷する面を上にしてセットします。印刷のしかたについては、プリンタードライバー操作手順書を参照してください。

例)宛名を印刷する場合



重要

- 往復はがきは折られていないものをセットしてください。
- 封筒の補給のしかた(向き、裏表)は、封筒の種類によって異なります。正しく補給しないと、異なった方向、異なった面に印刷されることがあります。

参考

手差しトレイに封筒を補給するときは、[3-23ページの手差しトレイの用紙サイズと用紙種類](#)で封筒の種類を設定してください。

用紙サイズと用紙種類の設定

カセット1および手差しトレイ、オプションのペーパーフィーダー（カセット2～5）は、工場出荷時に用紙サイズが「A4」、用紙種類が「普通紙」に設定されています。

使用する用紙を変更するときは、用紙サイズと用紙種類の設定を行ってください。

カセットの用紙サイズと用紙種類

カセットで使用する用紙のサイズと種類を設定します。

項目		説明
用紙サイズ ^{*1}	A系/B系	A系/B系の定形サイズから選択します。 設定値 カセット1: A4, A5, A6, B5, B6, Folio, 216 × 340 mm カセット2～5: A4, A5, B6, B5, Folio, 216 × 340 mm
	インチ系	インチ系の定形サイズから選択します。 設定値 : Letter, Legal, Statement, Executive, Oficio II
	その他	特殊な定形サイズ、カスタム用紙サイズから選択します。 設定値 : カセット1: 16K, ISO B5, Envelope DL ^{*2} , Envelope C5, 往復はがき ^{*2} , カスタム ^{*3} カセット2～5: 16K, ISO B5, Envelope #10, Envelope #9, Envelope #6, Envelope Monarch, Envelope DL, Envelope C5, 往復はがき, 洋形4号, 洋形2号, カスタム ^{*3}
用紙種類 ^{*4}		用紙種類を選択します。 設定値 カセット1: 普通紙 (60～105 g/m ²), 再生紙, プレプリント ^{*5} , ボンド紙, カラー紙, パンチ済み紙 ^{*5} , レターヘッド ^{*5} , 上質紙, カスタム1～8 カセット2～5: 普通紙 (60～105 g/m ²), 再生紙, プレプリント ^{*5} , ボンド紙, カラー紙, パンチ済み紙 ^{*5} , レターヘッド ^{*5} , 封筒, 上質紙, カスタム1～8

*1 カセットのサイズダイヤルを「Other」に合わせているときのみ設定します。

*2 ECOSYS M3550idnのみ設定できます。

*3 カスタム用紙サイズはカセット毎に設定します。[8-13ページのカスタム用紙サイズ登録](#)を参照してください。

*4 用紙種類を「普通紙」から変更する場合、[8-15ページの用紙種類の設定について](#)を参照してください。用紙種類の設定で、用紙の重さがカセットから給紙できない重さに設定されている場合、用紙種類は表示されません。

*5 プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは[8-14ページの特定用紙種類の動作設定](#)を参照してください。

参考

- 受信したファクスの印刷に使用できる用紙種類は次のとおりです。
普通紙、再生紙、ボンド紙、カラー紙、封筒、厚紙、上質紙、カスタム1～8
- ファクス受信で使用するカセットの用紙サイズは、次の設定にしてください。
A4, B5, A5, Folio

手差しトレイの用紙サイズと用紙種類

手差しトレイで使用する用紙のサイズと種類を設定します。

項目		説明
用紙サイズ	A系/B系	A系/B系の定形サイズから選択します。 設定値: A4、A5、A6、B5、B6、Folio、216 × 340 mm
	インチ系	インチ系の定形サイズから選択します。 設定値: Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II
	その他	特殊な定形サイズ、カスタム用紙サイズから選択します。 設定値: 16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム*1
用紙種類*2	用紙種類を選択します。 設定値: 普通紙 (60~105 g/m ²)、OHPフィルム、薄紙 (60~63 g/m ²)、ラベル紙、再生紙、プレプリント*3、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙*3、レターヘッド*3、封筒、厚紙 (106~220 g/m ²)、上質紙、カスタム1~8	

*1 カスタム用紙サイズについては、[8-13ページのカスタム用紙サイズ登録](#)を参照してください。

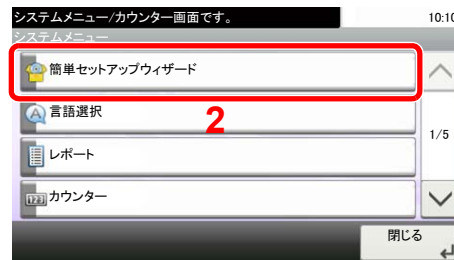
*2 用紙種類を「普通紙」から変更する場合、[8-15ページの用紙種類の設定について](#)を参照してください。

*3 プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは[8-14ページの特定用紙種類の動作設定](#)を参照してください。

参考

- 受信したファクスの印刷に使用できる用紙種類は次のとおりです。
普通紙、ラベル紙、再生紙、ボンド紙、薄紙、カラー紙、封筒、はがき、厚紙、上質紙、カスタム1~8
- ファクス受信で手差しトレイを使用する場合は、用紙サイズは、次の設定にしてください。
A4、B5、A5、Folio

1 画面を表示する



2 機能を選択する



3 設定する



ウィザードを開始します。画面の指示に従って設定します。

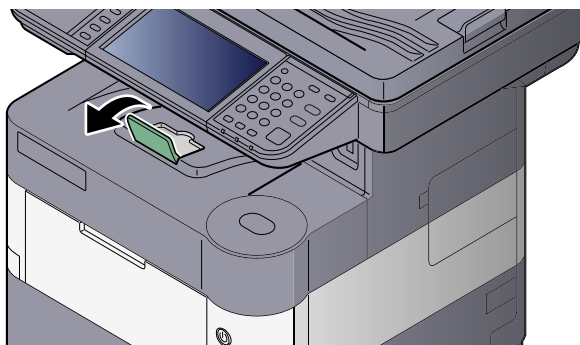
カセットの用紙サイズと用紙種類:

サイズダイヤルを「A4」、「A5」、「B5」、「Letter」、「Legal」、「A6」(ECOSYS M3550idnのカセット1のみ)に合わせた場合は、用紙種類の設定を行ってください。

サイズダイヤルを「Other」に合わせた場合は、用紙サイズと用紙種類の設定を行ってください。

排紙ストッパー

A4/Letter以上の用紙を使用するときは、排紙ストッパーを図のように開いてください。



パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備

本機で設定する必要な情報を確認し、パソコンに文書を受け取るためのフォルダーを作ります。ここでは、Windows 7をお使いになる場合を主体に説明しています。OSの種類によっては、項目名などが異なることがあります。

参考

Windowsには管理者権限でログオンします。

コンピューター名とフルコンピューター名をメモする

文書の宛先となるコンピューター名とフルコンピューター名を確認します。

1 画面を表示する

Windowsの[スタート]ボタン→[コンピューター]→[システムのプロパティ]の順で選択します。

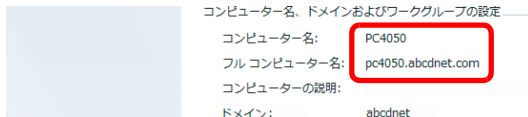
参考

Windows XPの場合は、[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]を選択して、[システムのプロパティ]画面を開きます。表示される画面で[コンピューター名]タブをクリックします。

Windows 8の場合は、スタート画面でデスクトップを選択し、デスクトップの[ライブラリ]から[コンピューター]を右クリックして[プロパティ]を選択して、[システムのプロパティ画面]を開きます。

Windows 8.1の場合は、スタート画面でデスクトップを選択し、デスクトップの[エクスプローラー]から[PC]を右クリックして[プロパティ]を選択します。またはウィンドウアイコンを右クリックして[システム]を選択します。

2 確認する



コンピューター名とフルコンピューター名を確認します。

画面例:

コンピューター名: PC4050

フルコンピューター名: pc4050.abcdnet.com

Windows XPの場合

フルコンピューター名にドット(.)がない場合、コンピューター名とフルコンピューター名は同じです。

フルコンピューター名にドット(.)がある場合、フルコンピューター名に表示されている文字列のドット(.)の前までがコンピューター名になります。

例: pc4050.abcdnet.com

pc4050がコンピューター名

pc4050.abcdnet.comがフルコンピューター名

確認後、 [閉じる] ボタンをクリックして、「システムのプロパティ」画面を閉じます。

Windows XPの場合は、確認後、[キャンセル] ボタンをクリックして、「システムのプロパティ」画面を閉じます。



参考

コンピューター名に漢字、かな、カタカナなど、全角文字やスペースを使用すると送信できません。コンピューター名を半角英数字に変更してください。

○ 良い例: PC4050

× 悪い例: 営業部 01

ユーザー名とドメイン名をメモする

Windowsにログオンする際のユーザー名とドメイン名をメモします。

1 画面を表示する

Windowsの[スタート]ボタン→[すべてのプログラム] (または[プログラム])→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順に選択します。

Windows 8の場合は、スタート画面のチャームの[検索]で[アプリ]を表示し、[コマンドプロンプト]を選択します。

コマンドプロンプトが起動します。

2 確認する

コマンドプロンプトに「net config workstation」と入力し、[Enter]キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.1.7600]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\yamada>net config workstation
コンピュータ名                YVPC4050
フル コンピューター名
ユーザー名                    yamada
アクティブなネットワーク (ワークステーション)
NetBI_Tcpip_{XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXX} {XXXXXXXXXXXX}
ソフトウェア バージョン      Windows 7 Professional
ワークステーション ドメイン   ABCDNET
ワークステーション ドメイン DNS 名
ログオン ドメイン             ABCDNET
COM デバイス オープン タイムアウト (秒) 0
COM デバイス送信バイト数 (バイト)      16
COM デバイス送信タイムアウト (ミリ秒)  250
コマンドは正常に終了しました。

C:\Users\yamada>
```

ユーザー名とドメイン名を確認します。

画面例:

ユーザー名: yamada

ドメイン名: ABCDNET



参考

ログインユーザー名に漢字、かな、カタカナなど、全角文字やスペースを使用すると送信できません。ログインユーザー名を半角英数字で新たに追加(新しいアカウントの作成)してください。

○ 良い例: yamada

× 悪い例: ユーザー01

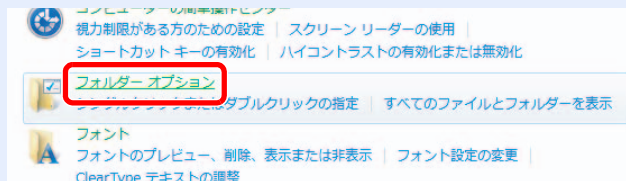
共有フォルダーを作成する、共有名をメモする

文書の宛先となるパソコンに、文書を受け取るための「共有フォルダー」を作成します。

参考

システムのプロパティで、ワークグループの項目がある場合、フォルダーのアクセス許可を特定のユーザーやグループに設定するには以下の設定を行ってください。

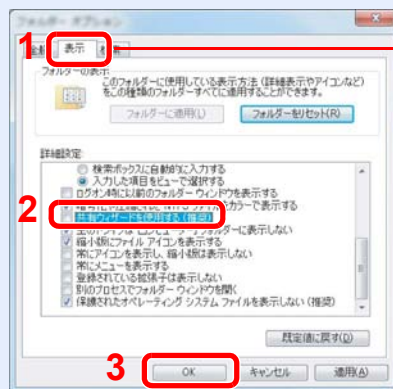
- 1 Windowsの[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[デスクトップのカスタマイズ]→[フォルダーオプション]の順で選択します。



Windows XPの場合は、[マイコンピュータ]をクリックし、[ツール]の[フォルダオプション]を選択します。

Windows 8の場合は、デスクトップのチャームで[設定]を選択し、[コントロールパネル]→[デスクトップのカスタマイズ]→[フォルダーオプション]の順で選択します。

- 2



[表示]タブが選択されていることを確認します。

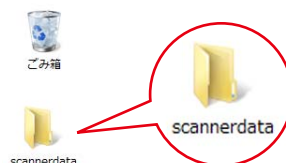
「詳細設定」の[共有ウィザードを使用する(推奨)]のチェックを外します。

Windows XPの場合は、[表示]タブをクリックし、「詳細設定」の[簡易ファイルの共有を使用する(推奨)]のチェックを外してください。

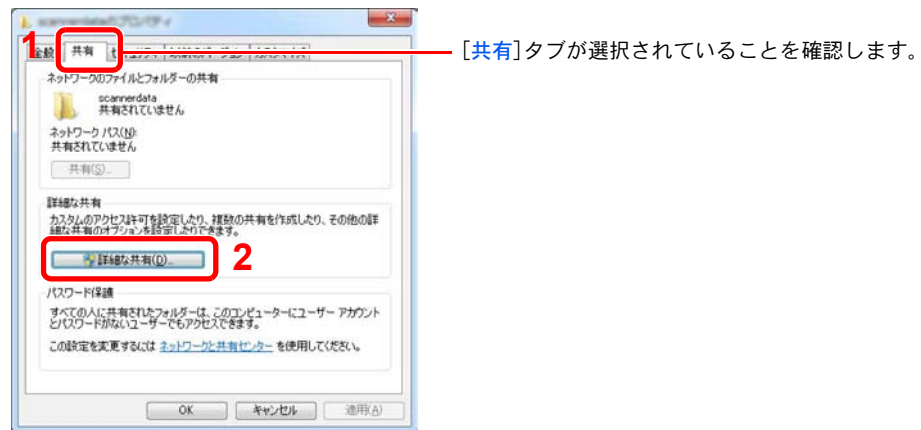
1 フォルダーを作成する

- 1 パソコン上でフォルダーを作成します。

例として、「scannerdata」という名前のフォルダーをデスクトップに作成します。



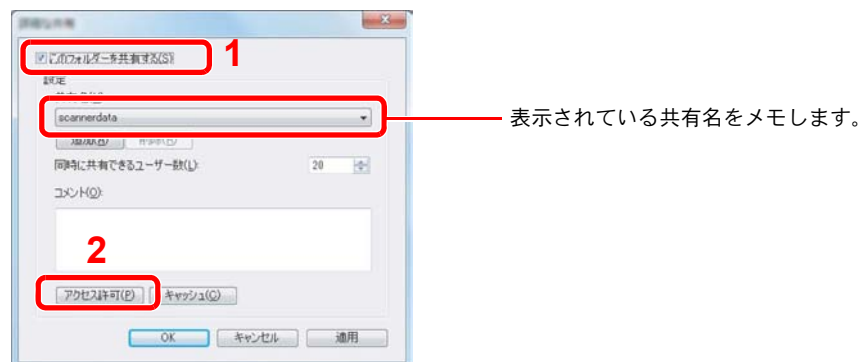
- 2 「scannerdata」フォルダーを右クリックし、[共有]→[詳細な共有]の順にクリックし、[詳細な共有]ボタンをクリックしてください。



Windows XPの場合は、「scannerdata」フォルダーを右クリックし、[共有とセキュリティ] (または [共有]) を選択してください。

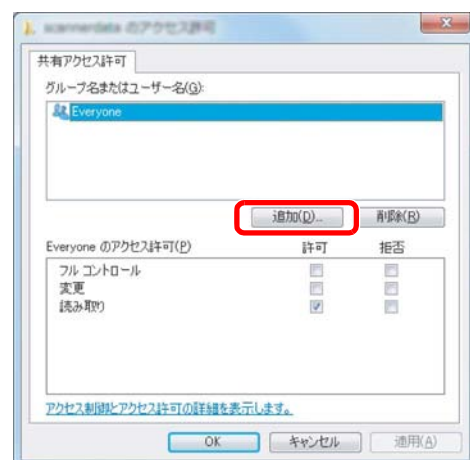
2 共有を設定する

- 1 [このフォルダーを共有する] にチェックを付け、[アクセス許可] ボタンをクリックします。

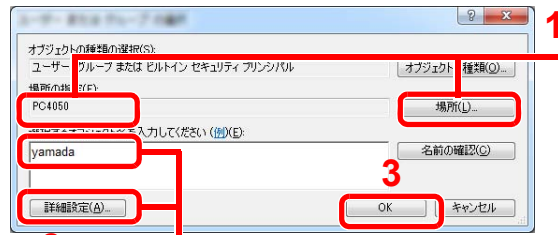


Windows XPの場合は、[このフォルダを共有する] を選択し、[アクセス許可] ボタンをクリックします。

- 2 [追加] ボタンをクリックします。



3 場所を指定します。



3-25ページのコンピューター名とフルコンピューター名をメモするで、メモしたコンピューター名とドメイン名が同じ場合:

「場所の指定」にコンピューター名が表示されていなければ、[場所]ボタンをクリックしてコンピューター名を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

例) pc4050

3-25ページのコンピューター名とフルコンピューター名をメモするで、メモしたコンピューター名とドメイン名が違う場合:

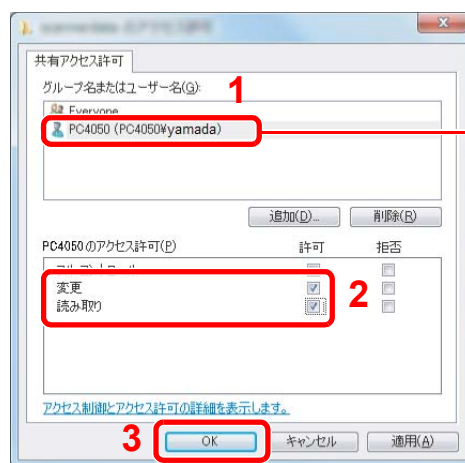
「場所の指定」にメモしたフルコンピューター名で最初のドット(.)以降の文字が表示されていなければ、[場所]ボタンをクリックしてドット(.)以降の文字を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

例) abcdnet.com

3-26ページのユーザー名とドメイン名をメモするで、メモしたユーザー名をテキストボックスに入力し、[OK]ボタンをクリックします。

また[詳細設定]をクリックしてユーザーを選択することもできます。

4 選択したユーザーのアクセス許可を設定します。



入力したユーザーを選択します。

「変更」と「読み取り」の[許可]にチェックつけ、[OK]ボタンをクリックします。

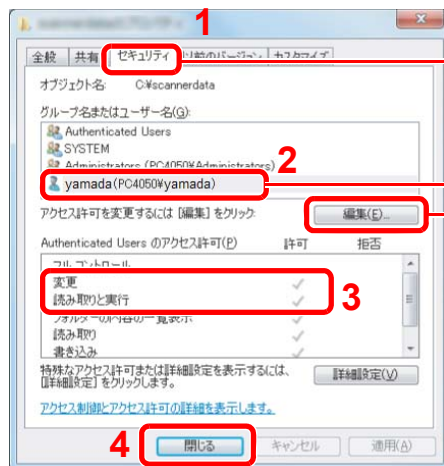
Windows XPの場合は、手順6へ進んでください。

参考

「Everyone」とはネットワーク上のすべての人に共有を許可する設定です。セキュリティ強化のため、「Everyone」を選択し、「読み取り」の[許可]のチェックを外すことをお勧めします。

5 「詳細な共有」画面の[OK]ボタンをクリックし、この画面を閉じます。

6 [セキュリティ]タブで設定した内容を確認します。



[セキュリティ]タブを選択します。

入力したユーザーを選択します。
グループ名またはユーザー名欄に入力したユーザーが表示されていない場合は、[編集]をクリックして、[2 共有を設定する](#)と同様にユーザーを追加してください。

「変更」と「読み取りと実行」の[許可]にチェックが付いていることを確認して、[閉じる]ボタンをクリックします。

Windows XPの場合は、「変更」と「読み取りと実行」の[許可]にチェックが付いていることを確認して、[OK]ボタンをクリックします。

Windowsファイアウォールの確認

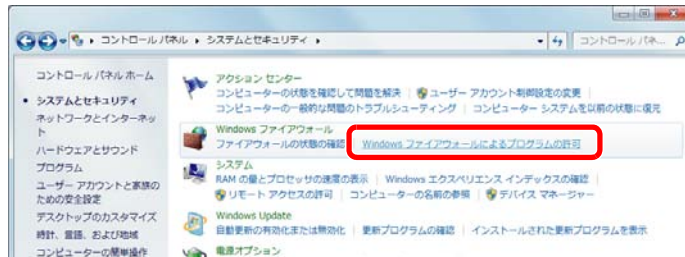
ファイルとプリンターの共有の許可と、SMB送信で使用するポートの追加を行います。

参考

Windowsには管理者権限でログオンします。

1 ファイルとプリンターの共有を確認する

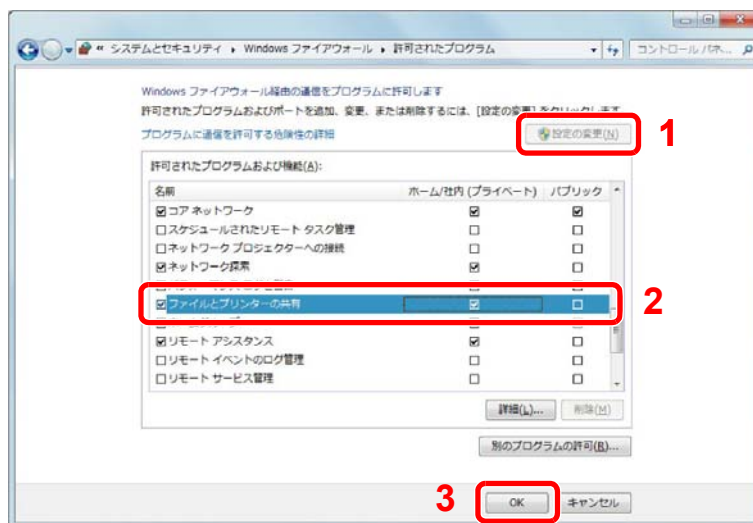
- 1 Windowsの[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[Windowsファイアウォールによるプログラムの許可]の順で選択します。



参考

ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックしてください。

- 2 [ファイルとプリンターの共有]にチェックを付けます。



2 追加するポートを設定する

- 1 Windowsの[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[ファイアウォールの状態の確認]の順で選択してください。



- 2 [詳細設定]をクリックします。



- 3 [受信の規則]をクリックします。



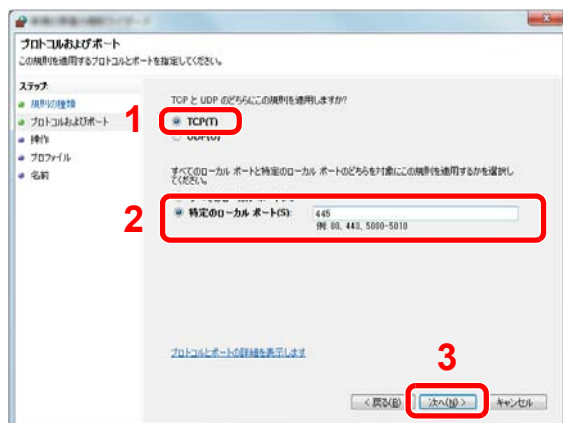
- 4 [新しい規則]をクリックします。



- 5 規則から[ポート]を選択します。



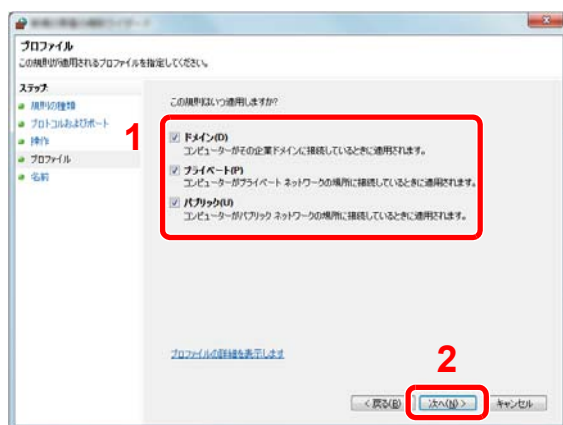
- 6 適用するポートとして[TCP]を選択します。そして[特定のローカルポート]をチェック後、「445」を入力してから[次へ]をクリックします。



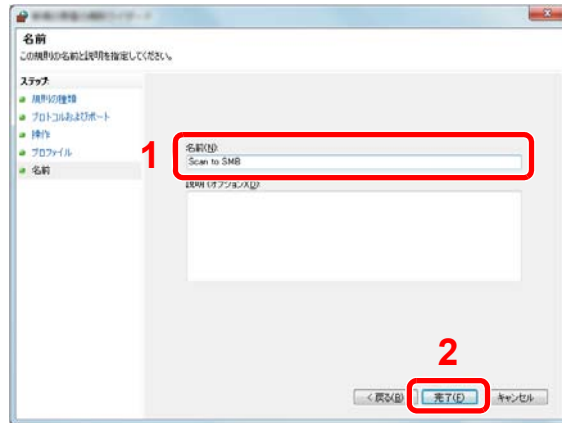
- 7 [接続を許可する]を選択して[次へ]をクリックします。



- 8 すべてにチェックが入っていることを確認して[次へ]をクリックします。



- 9 「名前」に「Scan to SMB」と入力して、[完了]をクリックします。



Windows XPやWindows Vistaの場合

- 1 Windows XPの場合は、Windowsの[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[Windows ファイアウォール]の順で選択します。
Windows Vistaの場合はWindowsの[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[セキュリティ]→[Windows ファイアウォールの有効化または無効化]の順で選択します。
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックします。
- 2 [例外]タブをクリックし、[ポートの追加]ボタンをクリックします。
- 3 ポートの追加の設定を行ってください。
「名前」では、任意の名前(例:Scan to SMB)を登録します。追加するポートの名前になります。「ポート番号」には、「445」を入力します。「プロトコル」では、[TCP]を選択します。
- 4 [OK]ボタンをクリックします。

Windows 8の場合


- 1 デスクトップのチャームで[設定]→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[Windowsファイアウォール]の順で選択します。
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックします。
- 2 [3-31ページのWindowsファイアウォールの確認](#)を参照して設定を行ってください。

アドレス帳の登録

アドレス帳やワンタッチキーに宛先を登録したり登録内容を変更したりできます。登録した宛先は、メール送信やフォルダーへの送信、ファクス送信などに利用できます。

参考

アドレス帳の登録・編集は、Command Center RXでも行えます。

 [2-43ページの宛先を登録する](#)

宛先の新規登録(アドレス帳)

アドレス帳に新しい宛先を登録します。登録方法には、個人登録と複数の個人登録をまとめて登録するグループ登録の2種類があります。グループ登録をするときは、グループ名を入力し、アドレス帳からメンバーを選んでください。

参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると、アドレス帳への宛先編集ができます。

個人

最大200件の宛先が登録できます。各宛先には、宛先名、メールアドレス、FTPサーバーのフォルダー、パソコンのフォルダー、ファクス番号などが登録できます。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[アドレス帳/ワンタッチ]→[アドレス帳]→[+]→[個人]の順に押します。

2 名前とフリガナを登録する



- 1 アドレス帳に表示される宛先名(最大32文字まで)を入力して、[次へ]を押します。

参考

文字の入力方法は、[11-12ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

- 2 宛先名のフリガナ(最大32文字まで)を入力して、[次へ]を押します。

3 アドレスを登録する

- 1 メールアドレスを登録するときは[メールアドレス]、パソコンのフォルダーを登録するときは[SMB]、FTPのフォルダーを登録するときは[FTP]を押します。

選択した送信方法によって、操作手順が異なります。



アドレスがメールの場合

メールアドレスを入力し、[OK]を押します。

参考

文字の入力方法は、[11-12ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

アドレスがフォルダー(SMB)の場合

[ホスト名]、[パス]、[ポート]、[ログインユーザー名]、および[ログインパスワード]を押して、各項目を入力し、[OK]を押します。

入力項目は次のとおりです。



参考

コンピューター名、共有名、ドメイン名、ユーザー名については、共有フォルダー作成時にメモした内容を入力します。共有フォルダーの作成方法については、[3-25ページのパソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備](#)を参照してください。

項目	詳細	制限文字数
ホスト名	コンピューター名	64文字以下
パス	共有名 例) scannerdata 共有フォルダー内のフォルダーに保存する場合 共有名¥共有フォルダー内のフォルダー名	128文字以下
ポート	ポート番号 (通常は445です。)	1-65535
ログインユーザー名	コンピューター名とドメイン名が同じ場合 ユーザー名 例) yamada コンピューター名とドメイン名が違う場合 ドメイン名¥ユーザー名 例) abcdnet¥yamada	64文字以下
ログインパスワード	Windowsにログオンする際のパスワード (大文字・小文字は区別されます。)	64文字以下

ネットワーク内にあるパソコンのフォルダーを検索して登録する場合は、[メニュー]→[ネットワークからフォルダーを検索する]または[ホスト名でフォルダーを検索する]の順に押ししてください。

[ネットワークからフォルダーを検索する]を選択した場合は、「ドメイン/ワークグループ」「ホスト名」を入力して接続しているネットワーク内のパソコンから宛先を検索することができます。

[ホスト名でフォルダーを検索する]を選択した場合は、接続しているネットワーク内のすべてのパソコンより宛先を検索することができます。

最大で500件まで表示することができます。表示された画面で指定したいホスト名(コンピューター名)を選択し、[次へ]を押すとログインユーザー名、ログインパスワードの入力画面が表示されます。



参考

- 文字の入力方法は[11-12ページの文字の入力方法](#)を参照してください。
- ホスト名、ドメイン名、ワークグループ名、ログインユーザー名に2バイト文字が使われている場合は、検索や送信ができません。
- [メニュー]→[接続確認]の順に押すと、設定したパソコンへの接続が確認できます。接続できないときは、入力した項目を確認してください。

アドレスがフォルダー(FTP)の場合

「ホスト名」、「パス」、「ログインユーザー名」、および「ログインパスワード」の[変更]を押して、各項目を入力し、[OK]を押します。

入力する項目は次のとおりです。

項目	詳細	制限文字数
ホスト名	FTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	64文字以下
パス ^{*1}	保存したいファイルのパス 例)¥User¥ScanData 何も入力しないと、ホームディレクトリーに保存されます。	128文字以下
ポート	ポート番号 (通常は21です。)	1-65535
ログインユーザー名	FTPサーバーへのログインユーザー名	64文字以下
ログインパスワード	FTPサーバーへのログインパスワード	64文字以下

*1 Linux/UNIXベースのFTPサーバーの場合、パスの区切りは¥ではなく/(スラッシュ)です。

参考

- 文字の入力方法は[11-12ページの文字の入力方法](#)を参照してください。
- [メニュー]→[接続確認]の順に押すと、設定したFTPサーバーへの接続が確認できます。接続できないときは、入力した項目を確認してください。

2 アドレス番号を指定したい場合は、[アドレス番号]を押します。

3 [+],[-]またはテンキーで、任意のアドレス番号(001~250)を入力します。

自動で番号を割り当てる場合は、000を設定してください。

参考

- アドレス番号は、宛先1件ごとの識別番号です。個人登録200件、グループ登録50件の合計250件の中から、空いている番号を選択できます。
- すでに使用されているアドレス番号を指定すると、[登録]を押したときエラーメッセージが表示され、登録できません。アドレス番号を「000」にすると、空いている番号のうち最も小さい番号で登録されます。

4 [OK]を押します。

5 宛先が正しく設定できているか確認して、[登録]を押してください。アドレス帳に宛先が追加されます。

グループ

個人登録された複数の宛先をまとめて、グループとして登録することができます。宛先を一度に指定できるので便利です。最大50件のグループが登録できます。

参考

グループ登録には、個人登録された宛先が必要です。あらかじめ必要な個人登録を行ってください。1つのグループに、個人登録された宛先を100件まで、SMBとFTPの宛先は合わせて5件まで登録できます。

1 画面を表示する

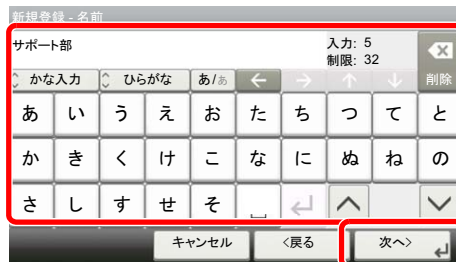
- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター

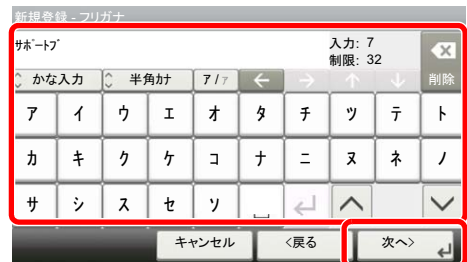


- 2 [✓]→[アドレス帳/ワンタッチ]→[アドレス帳]→[+]→[グループ]の順に押します。

2 名前とフリガナを登録する



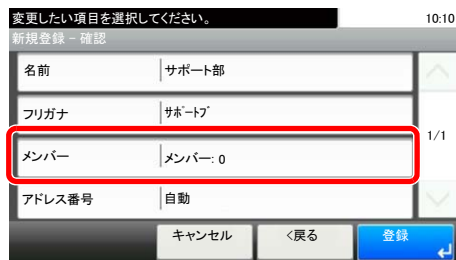
1



3

- 1 アドレス帳に表示されるグループ名を入力して、[次へ]を押します。最大32文字入力できます。
- 2 グループ名のフリガナを入力して、[次へ]を押します。最大32文字入力できます。

3 メンバー(宛先)を選択する



- 1 [メンバー]を押します。
- 2 [+]を押します。
- 3 グループに登録する宛先(個人)を選択します。選択された宛先はチェックマークが付きます。

参考

宛先は、フリガナやアドレス番号で並べ替えたり、検索したりできます。詳しくは、[5-22 ページの宛先の選びかた](#)を参照してください

- 4 [OK]を押します。
宛先を追加するときは、手順2~4を繰り返してください。

- 5 [終了]を押します。
- 6 アドレス番号を指定したい場合は、[アドレス番号]を押します。
- 7 [+], [-]またはテンキーで、任意のアドレス番号(001~250)を入力します。自動で割り当てる場合は、000を設定してください。

 参考

- アドレス番号は、グループ1件ごとの識別番号です。個人登録200件、グループ登録50件の合計250件の中から、空いている番号を選択できます。
- すでに使用されているアドレス番号を指定すると、[登録]を押したときエラーメッセージが表示され、登録できません。アドレス番号を「000」にすると、空いている番号のうち最も小さい番号で登録されます。

- 8 [OK]を押します。
- 9 選択した宛先がグループに追加されたことを確認して、[登録]を押します。アドレス帳にグループが追加されます。

アドレス帳の変更/削除

登録した宛先(個人)やグループを変更/削除します。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[アドレス帳/ワンタッチ]→[アドレス帳]の順に押します。
編集したい内容によって、操作手順が異なります。


2 変更/削除する





参考

宛先とグループは、フリガナ、アドレス番号で並べ替えたり検索したりできます。詳しくは、[5-22ページの宛先の選びかた](#)を参照してください。


個人登録の宛先を編集する場合

- 1 編集する宛先の[]を押します。
- 2 「名前」、「フリガナ」、「アドレス番号」、送信先の種類やアドレスを変更します。変更方法は、[3-35ページの個人](#)を参照してください。
- 3 変更が終わったら、[登録]を押します。
- 4 変更の確認画面で[はい]を押すと、変更した宛先が登録されます。

グループを編集する場合

- 1 編集するグループの[]を押します。
- 2 「名前」、「フリガナ」、「アドレス番号」を変更します。変更方法は、[3-39ページのグループ](#)を参照してください。
- 3 [メンバー]を押します。
- 4 グループから宛先を削除する場合は、削除する宛先を選択して[]を押します。削除の確認画面で[はい]を押すと、削除されます。
宛先を追加する場合は、[+]を押します。
- 5 変更が終わったら、[登録]を押します。
- 6 変更の確認画面で[はい]を押すと、変更したグループが登録されます。

個人登録の宛先またはグループを削除する場合


削除する宛先またはグループを選択して、[]を押します。削除の確認画面で[はい]を押すと削除されます。

ワンタッチキーの登録(ワンタッチキー)

ワンタッチキーに宛先(個人またはグループ)を登録することができます。100件まで登録できます。

参考

- ワンタッチキーの使用方法は、[5-22ページの宛先の選びかた](#)を参照してください。
- ワンタッチキーの登録・編集は、Command Center RXでも行えます。

 [2-43ページの宛先を登録する](#)

1 画面を表示する

- [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- [✓]→[アドレス帳/ワンタッチ]→[ワンタッチキー]の順に押します。


2 ワンタッチキーを登録する

- 宛先を登録するワンタッチキー番号(001~100)を選択して[+]を押します。[短縮]キーを押すと、ワンタッチキー番号を直接入力して選択できます。

登録されていないワンタッチキーを選択してください。



- ワンタッチキーに登録する宛先(個人またはグループ)を選択して[次へ]を押します。

[]を押すと、選択した宛先の詳しい情報が参照できます。

参考

宛先は、フリガナ、アドレス番号で並べ替えたり検索したりできます。詳しくは、[5-22ページの宛先の選びかた](#)を参照してください。

- 送信の基本画面に表示されるワンタッチキー名を入力して、[次へ]を押します。最大24文字入力できます。

参考

文字の入力方法は[11-12ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

- [登録]を押します。

ワンタッチキーに宛先が登録されます。

ワンタッチキーの変更/削除

ワンタッチキーに登録されている宛先の変更や削除ができます。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[アドレス帳/ワンタッチ]→[ワンタッチキー]の順に押します。
- 3 編集するワンタッチキー番号(001~100)を選択します。[短縮]キーを押すと、ワンタッチキー番号を直接入力して選択することができます。

編集したい内容によって、操作手順が異なります。

2 ワンタッチキーを変更/削除する

登録内容を変更する場合

- 1 [メニュー]→[編集]→[宛先]の順に押します。
- 2 新しい宛先(個人またはグループ)を選択してください。[]を押すと、選択した宛先の詳しい情報が参照できます。



参考

宛先は、フリガナ、アドレス番号で並べ替えたり検索したりできます。詳しくは、[5-22 ページの宛先の選びかた](#)を参照してください。

- 3 [OK]を押します。
- 4 変更の確認画面で[はい]を押すと、ワンタッチキーに宛先が登録されます。

登録内容を削除する場合

- 1 []を押します。



- 2 削除の確認画面で[はい]を押すと、ワンタッチキーの登録内容が削除されます。

4 パソコンからの印刷

この章では、次の項目について説明します。

パソコンから印刷する	4-2
不定形サイズの内紙に印刷する	4-4
プリンタードライバーの印刷設定画面について	4-5
プリンタードライバーのヘルプの見かた	4-6
プリンタードライバーの初期設定値を変更する (Windows 7の場合)	4-6
パソコンで印刷を中止する	4-6
AirPrintで印刷	4-7
本体に保存したデータを印刷する	4-8
パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する	4-8
プライベートプリントボックスからジョブを印刷する	4-8
ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する	4-11
クイックコピーボックスからジョブを印刷する	4-14
試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する	4-17

パソコンから印刷する

パソコンで作成した文書の本機で印刷します。

ここではKXドライバーを使用して印刷する方法について説明します。

参考

- パソコンで作成した文書の本機で印刷するには、DVD (Product Library) を使って、パソコンにプリンタードライバーをインストールする必要があります。
- お使いの環境によっては、プリンタードライバーの下部に現在の設定値が表示されることがあります。



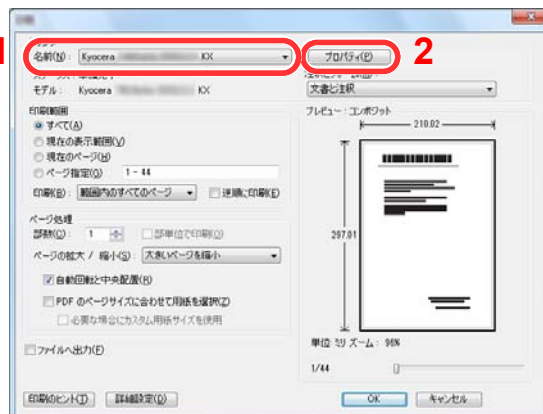
- はがきや封筒を印刷する場合は、本機の手差しトレイにはがきや封筒をセットしてから操作を行ってください。
([3-20ページのはがき、封筒をセットするとき参照](#))

1 画面を表示する

[ファイル]をクリックし、[印刷]を選択します。

2 設定する


- 1 「名前」メニューから本機を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。



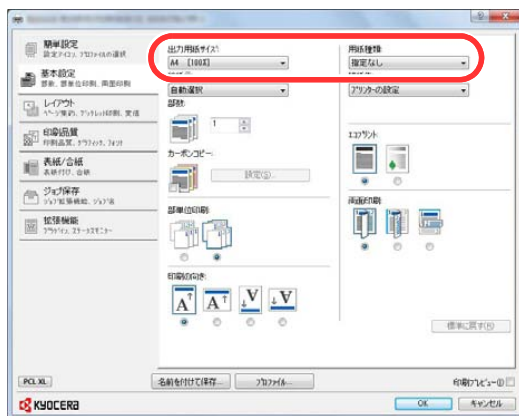
2 [基本設定]タブを選択します。

3 「出力用紙サイズ」メニューをクリックして、印刷する用紙サイズを選択します。

はがきや封筒など、本機の出力用紙サイズにない用紙サイズをセットしたときは、用紙サイズを登録する必要があります。

 [不定形サイズの内紙に印刷する \(4-4ページ\)](#)

厚紙のような特殊紙に印刷するときは、「用紙種類」メニューをクリックし、用紙種類を選択してください。



4 [OK]ボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

3 印刷を開始する

[OK]ボタンをクリックします。

不定形サイズの内紙に印刷する

本機の内紙サイズにはない内紙サイズをセットしたときは、プリンタードライバーの印刷設定画面にある[基本設定]タブで内紙サイズを登録します。

登録したサイズは、「出力内紙サイズ」メニューから選択できるようになります。

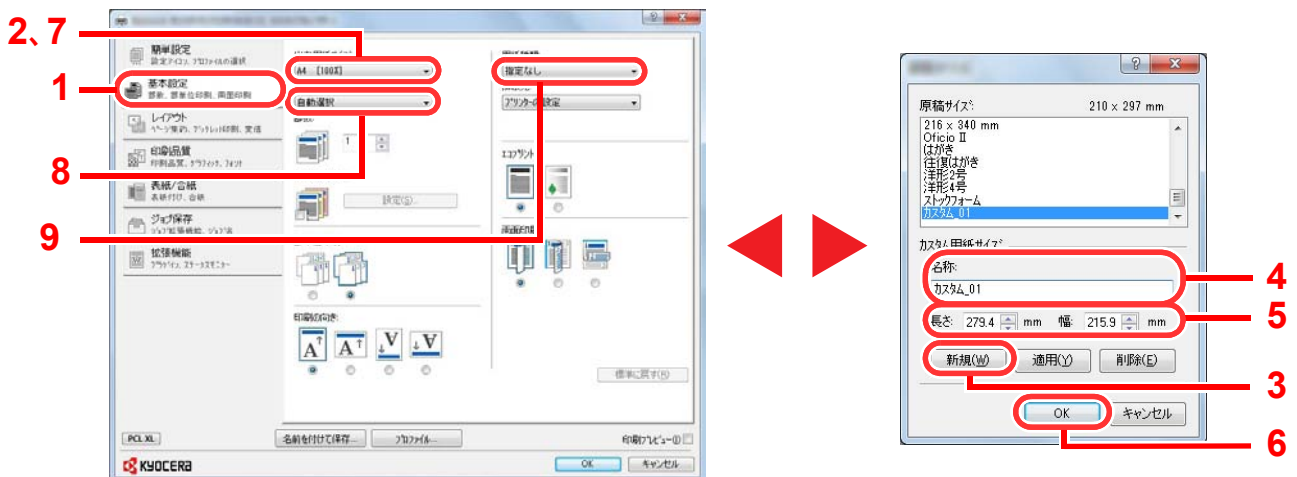
参考

本機を操作して印刷する場合は、[3-23ページの手差しトレイの内紙サイズと内紙種類](#)で内紙のサイズと種類を設定してください。

1 印刷設定画面を表示する

2 登録する

- 1 [基本設定]タブをクリックします。
- 2 「出力内紙サイズ」メニューで[ユーザー定義...]を選択します。
- 3 [新規]ボタンをクリックします。
- 4 内紙の名前を入力します。
- 5 内紙サイズを入力します。
- 6 [OK]ボタンをクリックします。
- 7 「出力内紙サイズ」メニューで手順4~7で登録した原稿サイズ(名)を選択します。
- 8 「給紙元」メニューで[手差しトレイ]を選択します。
- 9 「内紙種類」メニューで内紙の種類を選択します。

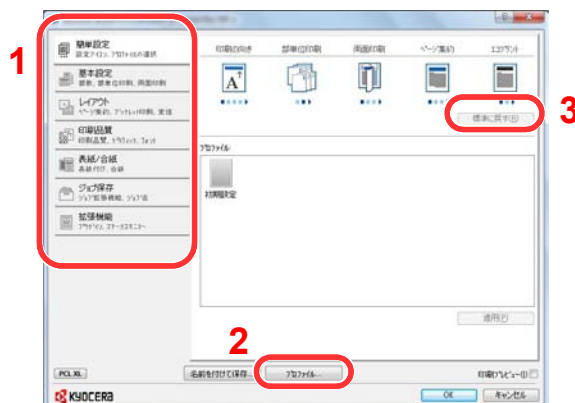



参考

はがきまたは封筒をセットした場合は、「内紙種類」メニューで[はがき]または[封筒]を選択してください。

プリンタードライバーの印刷設定画面について

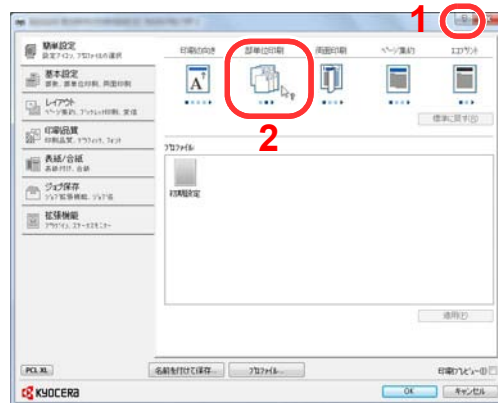
プリンタードライバーの印刷設定画面では、印刷に関するさまざまな設定ができます。詳しくは、DVD収録のプリンタードライバー操作手順書を参照してください。



No.	説明
1	<p>[簡単設定] タブ よく使う機能を簡単に設定できるアイコンが用意されています。アイコンをクリックするごとに印刷結果と同様のイメージに切り替わり、設定が反映されます。</p>  <p>[基本設定] タブ よく使う基本的な機能がまとめられたタブです。用紙のサイズや排紙先、両面印刷の設定ができます。</p> <p>[レイアウト] タブ ブックレット印刷、ページ集約、ポスター印刷、変倍などさまざまなレイアウトで印刷するための設定ができます。</p> <p>[印刷品質] タブ 印刷結果の品質に関する設定ができます。</p> <p>[表紙/合紙] タブ 印刷ジョブ用に表紙や合紙を作成したり、OHPフィルムの間に合紙を挿入できます。</p> <p>[ジョブ保存] タブ 印刷データをパソコンから本機に保存するための設定ができます。定期的にする文書などを本機に保存しておくことで簡単に印刷できるので便利です。保存した文書は本機の操作で印刷するため、見られたくない文書を印刷する際などにも便利です。</p> <p>[拡張機能] タブ 印刷データにテキストページやウォーターマーク(すかし文字)を付加するための設定ができます。</p>
2	<p>[プロファイル] プリンタードライバーの設定内容をプロファイルとして保存できます。保存したプロファイルはいつでも呼び出すことができるので、よく使用する設定を保存しておくことで便利です。</p>
3	<p>[標準に戻す] クリックすると設定内容を初期値に戻すことができます。</p>

プリンタードライバーのヘルプの見かた

プリンタードライバーにはヘルプが用意されています。印刷設定項目について知りたいときは、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示し、次の方法でヘルプを表示することができます。



- 設定画面右上の[?]ボタンをクリックし、続けて知りたい設定項目をクリックします。
- 知りたい設定項目をクリックした後キーボードの[F1]キーを押します。

プリンタードライバーの初期設定値を変更する (Windows 7の場合)

プリンタードライバーの初期設定値は変更することができます。よく使う機能を設定しておくことで、印刷時の操作を省略することができます。設定項目については、プリンタードライバー操作手順書を参照してください。

- 1 Windowsの[スタート]ボタンをクリックして、[デバイスとプリンター]をクリックします。
- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。
- 3 [全般]タブの[基本設定]ボタンをクリックします。
- 4 初期設定値を設定し、[OK]ボタンをクリックします。


パソコンで印刷を中止する

プリンタードライバーで印刷を実行した後、本機で印刷が始まる前に中止したいときは、次の操作を行ってください。



参考

本機で印刷を中止する場合は、[5-18ページのジョブのキャンセル](#)を参照してください。

- 1 Windows画面右下のタスクバーに表示されるプリンターアイコン()をダブルクリックして、ダイアログボックスを表示します。
- 2 印刷を中止したいファイルをクリックし、「ドキュメント」メニューから[キャンセル]を選択します。

AirPrintで印刷

AirPrintは、iOS 4.2以降またはMac OS X 10.7以降の製品に標準で搭載されている印刷機能です。

プリンタードライバーをインストールしていなくても、本機に接続し、印刷できます。

AirPrintで印刷するとき、本機を識別するために、Command Center RXから機器の位置情報を設定できます。

詳しくは、Command Center RX操作説明書を参照してください。



本体に保存したデータを印刷する

プリンタードライバーの[[ジョブ保存](#)]タブで設定を行い印刷すると、ジョブボックス(メモリー)に印刷データが保存され、本体側の操作で印刷を実行することができます。

ジョブボックスを使用するときは、次の流れで操作してください。

パソコンからジョブボックスを指定して印刷ジョブを送信する。[\(4-8ページ\)](#)



操作パネルからボックス内のファイルを指定して印刷する。

次のボックスから印刷できます。

- プライベートプリントボックス [\(4-8ページ\)](#)
- ジョブ保留ボックス [\(4-11ページ\)](#)
- クイックコピーボックス [\(4-14ページ\)](#)
- 試し刷り後保留ボックス [\(4-17ページ\)](#)

パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する

ジョブボックスにデータを保存する場合は、次の手順で行います。

- 1 アプリケーションソフトの[[ファイル](#)]をクリックし、[[印刷](#)]を選んでください。印刷ダイアログボックスが表示されます。
- 2 名前の[[▼](#)]ボタンをクリックして、リストから本機を選んでください。
- 3 [[プロパティ](#)]ボタンをクリックしてください。プロパティダイアログボックスが表示されます。
- 4 [[ジョブ保存](#)]タブをクリックし、[[ジョブ拡張機能](#)]のチェックボックスにチェックを入れて機能を設定してください。

参考

- ジョブ保留ボックスとクイックコピーボックスを使用するにはオプションのSSDが必要です。
- プリンタードライバーの操作方法は、プリンタードライバー操作手順書を参照してください。

プライベートプリントボックスからジョブを印刷する

プライベートプリントは、本機を操作するまでジョブを印刷されないように指定することができます。アプリケーションソフトウェアから送信するとき、プリンタードライバーで4桁のアクセスコードを指定してください。ジョブは機密性を確保するため、操作パネルでアクセスコードを入力することによって印刷されます。印刷と同時に、または電源スイッチを切ったとき、データは消去されます。

プライベートプリントボックスでできる主な作業は次のとおりです。

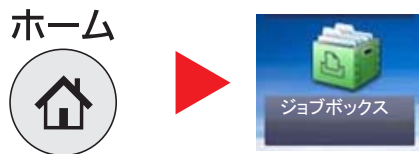
- 文書を印刷する [\(4-9ページ\)](#)
- 文書を削除する [\(4-10ページ\)](#)

文書を印刷する

プライベートプリントボックスに保存されている文書を印刷することができます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

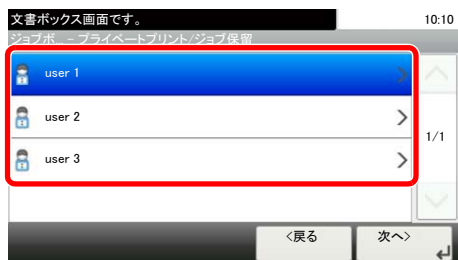
- 1 ホーム画面の[ジョブボックス]を押します。



- 2 [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。



- 3 文書を作成したユーザーを選択します。



2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択し、[印刷]を押します。



- 2 必要に応じて、印刷部数を入力します。

- 3 [OK]を押します。

印刷を開始します。

印刷が終了すると、プライベートプリントのデータは自動で消去されます。

参考

文書にアクセスコードを設定している場合は、パスワードの入力画面が表示されます。テンキーでアクセスコードを入力してください。

文書を削除する

プライベートプリントボックスに保存されている文書を削除できます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

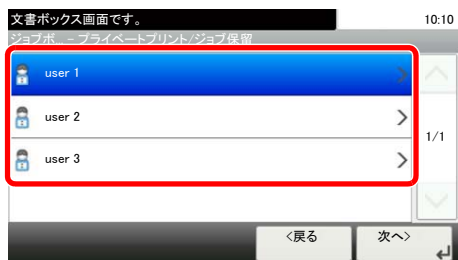
- 1 ホーム画面の[ジョブボックス]を押します。



- 2 [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。



- 3 文書を作成したユーザーを選択します。



2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択し、[🗑️]を押します。



- 2 確認画面で、[はい]を押します。

文書が削除されます。

参考

文書にアクセスコードを設定している場合は、パスワードの入力画面が表示されます。テンキーでアクセスコードを入力してください。

ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する

ジョブ保留は、アプリケーションから送られてきた印刷データを本機に保存します。必要に応じて、アクセスコードを設定することができます。アクセスコードを設定した場合は、印刷時にアクセスコードを入力してください。印刷データは、印刷後本機の内部メモリーに保存されます。繰り返し同じデータを印刷することができます。

ジョブ保留ボックスでできる主な作業は次のとおりです。

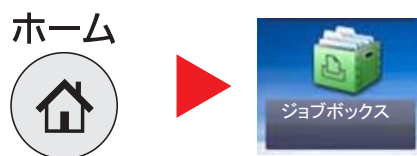
- 文書を印刷する ([4-11ページ](#))
- 文書を削除する ([4-12ページ](#))

文書を印刷する

ジョブ保留ボックスに保存されている文書を印刷することができます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

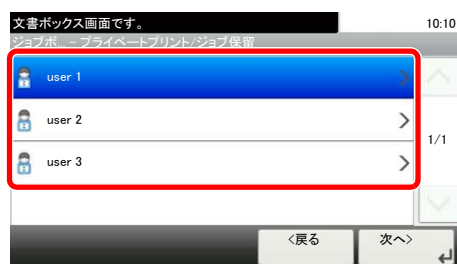
- 1 ホーム画面の[ジョブボックス]を押します。



- 2 [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。



- 3 文書を作成したユーザーを選択します。



2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択し、[印刷]を押します。



- 必要に応じて、印刷部数を入力します。
- [印刷]を押します。
印刷を開始します。
印刷が終了すると、プライベートプリントのデータは自動で消去されます。

 参考

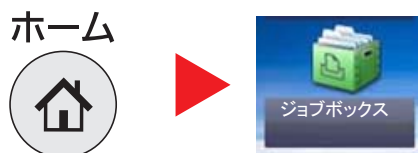
文書にアクセスコードを設定している場合は、パスワードの入力画面が表示されます。テンキーでアクセスコードを入力してください。

文書を削除する

ジョブ保留ボックスに保存されている文書を削除できます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

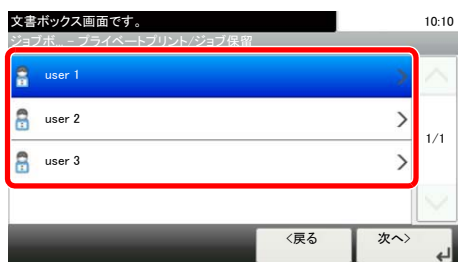
- ホーム画面の[ジョブボックス]を押します。



- [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。



- 文書を作成したユーザーを選択します。



2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択し、[🗑️]を押します。



- 2 確認画面で、[はい]を押します。

文書が削除されます。

参考

文書にアクセスコードを設定している場合は、パスワードの入力画面が表示されます。テンキーでアクセスコードを入力してください。

クイックコピーボックスからジョブを印刷する

クイックコピーは、一度印刷した文書を追加印刷する機能です。パソコンからクイックコピーを有効にして文書を印刷すると、同時に印刷データがこのボックスに保存されます。再度印刷が必要になったときに、タッチパネルの操作で印刷することができます。保存できる最大文書数は、工場出荷時は32件です。データは電源スイッチを切ると消去されます。

参考

- 最大文書数を超えて文書を保存すると、古い文書から順に新しい文書が上書きされます。
- ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。詳しくは[8-22ページのクイックコピージョブ保持数](#)を参照してください。

クイックコピーボックスでできる主な作業は次のとおりです。

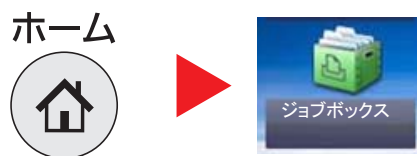
- 文書を印刷する ([4-14ページ](#))
- 文書を削除する ([4-15ページ](#))

文書を印刷する

クイックコピーボックスに保存されている文書を印刷することができます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

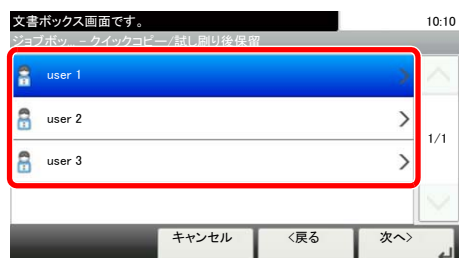
- 1 ホーム画面の[ジョブボックス]を押します。



- 2 [クイックコピー/試し刷り後保留]を選択します。



- 3 文書を作成したユーザーを選択します。



2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択し、[印刷]を押します。



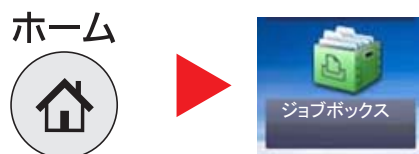
- 2 必要に応じて、印刷部数を入力します。
- 3 [OK]を押します。
印刷を開始します。

文書を削除する

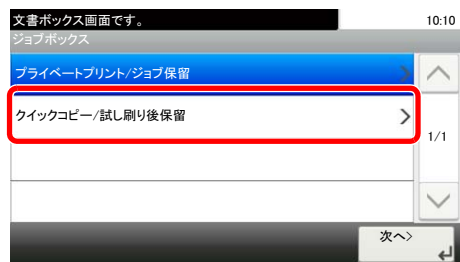
クイックコピーボックスに保存されている文書を削除できます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

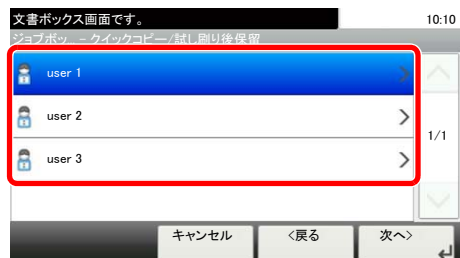
- 1 ホーム画面の[ジョブボックス]を押します。



- 2 [クイックコピー/試し刷り後保留]を選択します。



- 3 文書を作成したユーザーを選択します。



2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択し、[🗑️]を押します。



- 2 確認画面で[はい]を押します。
文書が削除されます。

試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する

試し刷り後保留は、複数部数印刷する際に、1部だけ印刷して残りの印刷を保留する機能です。パソコンから試し刷り後保留を有効にして文書を印刷すると、1部だけ印刷して印刷データがここに保存されます。残り部数は、タッチパネルの操作で印刷することができます。部数を変更することもできます。

試し刷り後保留ボックスでできる主な作業は次のとおりです。

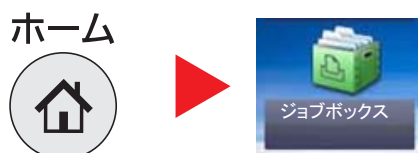
- 文書を印刷する ([4-17ページ](#))
- 文書を削除する ([4-18ページ](#))

文書を印刷する

試し刷り後保留ボックスに保存されている文書を印刷することができます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

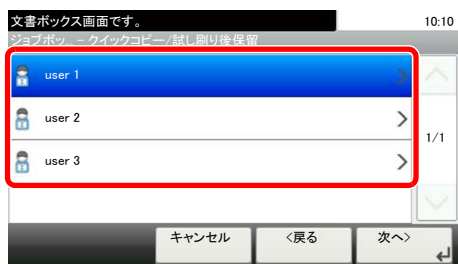
- 1 ホーム画面の[ジョブボックス]を押します。



- 2 [クイックコピー/試し刷り後保留]を選択します。



- 3 文書を作成したユーザーを選択します。



2 文書进行操作する

文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択し、[印刷]を押します。



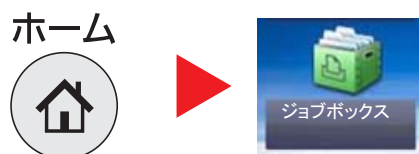
- 2 必要に応じて、印刷部数を入力します。
- 3 [OK]を押します。
印刷を開始します。

文書を削除する

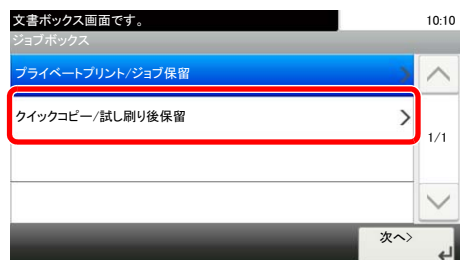
試し刷り後保留ボックスに保存されている文書を削除できます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 ホーム画面の[ジョブボックス]を押します。



- 2 [クイックコピー/試し刷り後保留]を選択します。



- 3 文書を作成したユーザーを選択します。



2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択し、[🗑️]を押します。



- 2 確認画面で[はい]を押します。
文書が削除されます。

5 本体側の操作

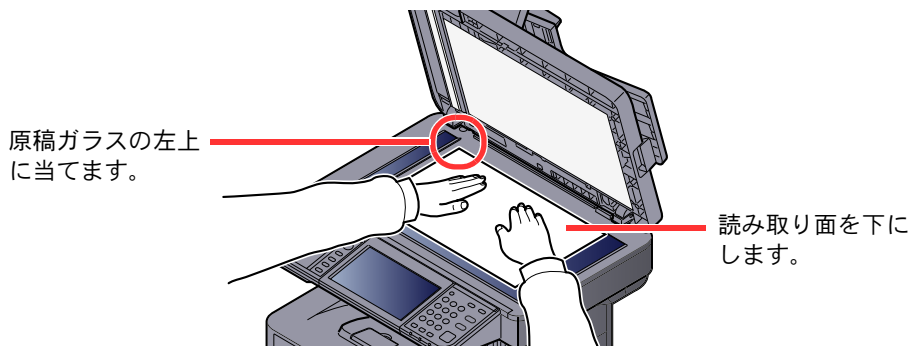
この章では、次の項目について説明します。

原稿のセット	5-2
原稿ガラスへのセット	5-2
原稿送り装置へのセット	5-3
お気に入り	5-5
お気に入りの登録	5-6
お気に入りの呼び出し	5-9
お気に入りの変更と削除	5-10
アプリケーション	5-11
アプリケーションをインストールする	5-11
アプリケーションを使用する	5-12
アプリケーションをアンインストールする	5-13
ショートカット登録	5-14
ショートカットの登録	5-14
ショートカットの変更と削除	5-15
コピーのしかた	5-16
コピーの基本操作	5-16
次の予約	5-17
ジョブのキャンセル	5-18
スキャン(送信)のしかた	5-19
スキャン(送信)の基本操作	5-20
宛先の選びかた	5-22
宛先の確認/変更	5-30
宛先確認画面について	5-31
再宛先呼び出し	5-32
自分に送信(メール)	5-32
種類の異なる相手への送信(複合送信)	5-33
スキャン(送信)のキャンセル	5-34
WSDスキャン	5-35
TWAINを使った読み込み方法	5-37
FMU Connectionを使った読み込み方法	5-39
ファクスのしかた	5-40
文書ボックスとは	5-41
文書ボックスの基本操作	5-42
ユーザーボックスの使いかた	5-43
ボックスを作成する(新規作成)	5-43
ボックスの変更と削除	5-45
文書を保存する(文書保存)	5-47
文書を印刷する(印刷)	5-47
文書を編集する	5-48
文書を削除する	5-49
USBメモリーからの印刷	5-50
USBメモリーに文書を保存する(Scan to USB)	5-52
USBメモリー情報を確認する	5-53
USBメモリーの取り外しかた	5-54

原稿のセット

原稿ガラスへのセット

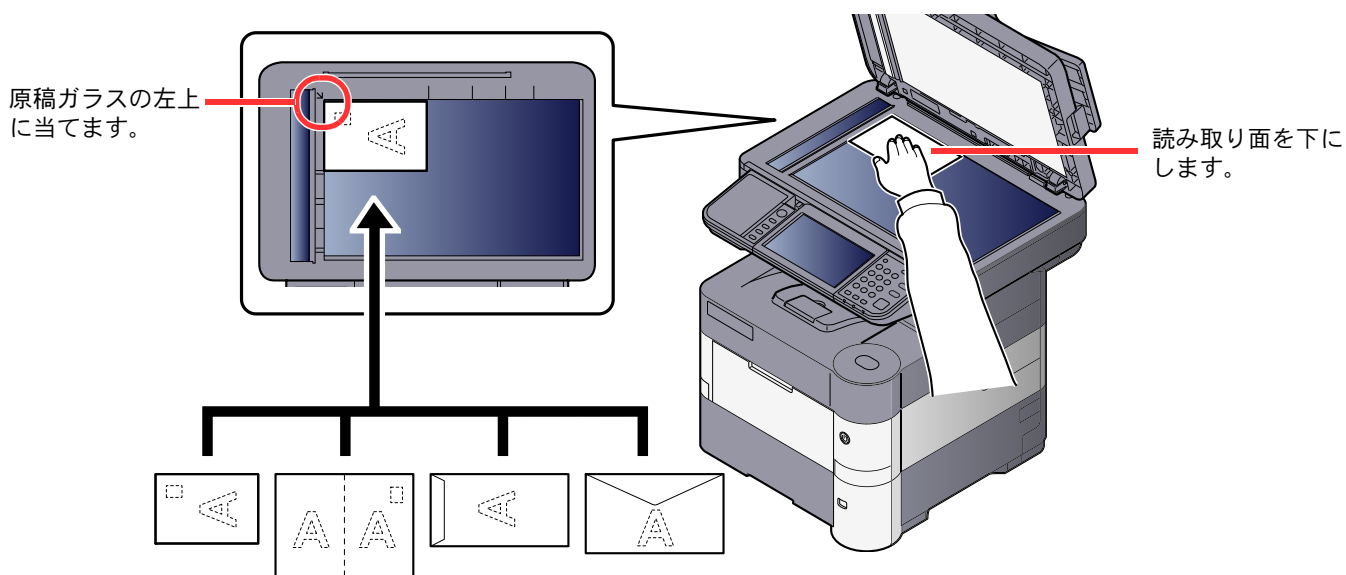
原稿ガラスには、通常のシート原稿以外に本や雑誌もセットできます。



参考

原稿セット向きについては[6-10ページの原稿セット向き](#)を参照してください。

はがき、封筒の場合



参考

はがき、封筒の給紙方法については[3-20ページのはがき、封筒をセットするとき](#)を参照してください。

注意

原稿送り装置を開いた状態のまま放置しないでください。けがの原因となるおそれがあります。

重要

- 原稿送り装置を原稿ガラスに強く押しつけないでください。ガラスが割れるおそれがあります。
- 本や雑誌をセットする場合は、原稿送り装置を開けたまま使用してください。

原稿送り装置へのセット

原稿送り装置を使用すると、複数ページのシート原稿を自動的に読むことができます。また、両面原稿を読み込むことができます。

使用できる原稿

原稿送り装置に使用できる原稿は次のとおりです。

厚さ	50～120 g/m ² (両面時: 50～120 g/m ²)
サイズ	最大A4-R (Legal)～最小A6-R (Statement-R)
セットできる枚数	普通紙 (80 g/m ²)、カラー紙、再生紙、上質紙: 75枚

使用できない原稿

次のような原稿は、原稿送り装置に使用しないでください。原稿つまりや原稿送り装置の汚れの原因になります。

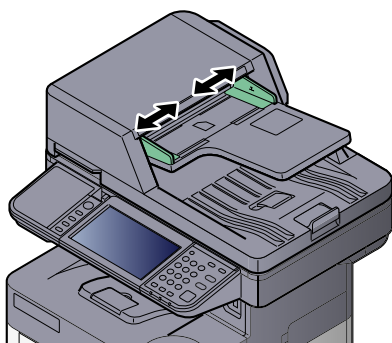
- クリップやステープルで止めてある原稿(使用するときには、クリップやステープルを外して、シワ、折れを伸ばしてください。そのまま使用すると原稿がつまる原因になります)
- 粘着テープや糊などが付着した原稿
- 切り抜きの原稿
- カールした原稿
- 折り目のついた原稿(使用するときには、折り目を伸ばしてください。そのまま使用すると原稿がつまる原因になります)
- カーボン紙
- シワや折れのひどい原稿

原稿のセット方法

☑ 重要

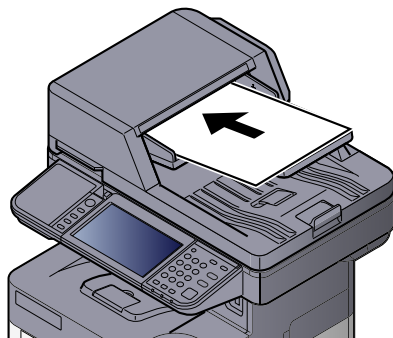
- 原稿をセットする前に、排紙された原稿が原稿排紙テーブルに残っていないことを確認してください。原稿が残っていると、原稿がつまる原因になります。
- 原稿送り装置上カバーの上で原稿をそろえるなど、カバーに衝撃を与えないでください。原稿送り装置が誤動作する原因になります。

1 原稿幅ガイドを原稿サイズに合わせる



2 原稿をセットする

- 1 読み取り面を上にして(両面原稿の場合は表面を上にして)、原稿の先端を原稿送り装置内の奥まで差し込んでください。

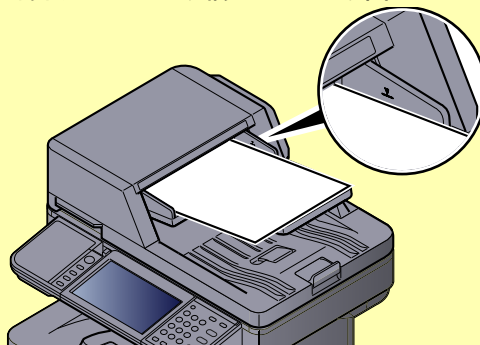


参考

原稿セット向きについては[6-10ページの原稿セット向き](#)を参照してください。

重要

原稿幅ガイドが原稿に当たっていることを確認し、隙間があるときは原稿幅ガイドをセットし直してください。隙間があると原稿がつまる原因となります。

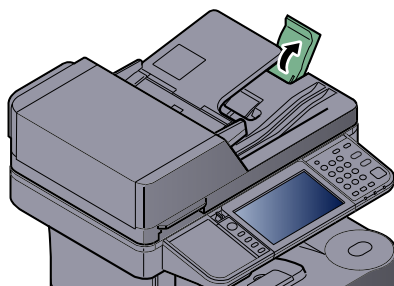


原稿は、原稿上限表示を超えないようにセットしてください。表示を超えて原稿をセットすると、原稿がつまる原因となります。

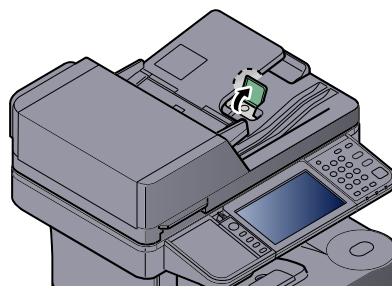
パンチ穴やミシン目のある原稿は、パンチ穴やミシン目が手前になるように(先に読み込まれないように)セットしてください。

- 2 セットした原稿のサイズに合わせて、原稿ストッパーを開きます。

A4, Letter, Legal



B5以下



お気に入り

よく使う機能をお気に入りに登録して、簡単に呼び出すことができます。

本機には、あらかじめ次の機能が登録されていますが、これらを削除したり、新たな機能を登録したりできます。

お気に入り名	説明	登録されている機能
IDカードコピー	免許証や保険証などのIDカードをコピーしたいときに使用します。カードの表と裏を順番に読み込むと、1枚の用紙に両面集約してコピーされます。	<ul style="list-style-type: none"> コピー機能 プログラム形式 ページ集約: [2in1] 連続読み込み: [設定する] 原稿サイズ: [A5-R] 用紙選択: カセット1 縮小/拡大: [自動]
用紙節約コピー	用紙を節約したいときに使用します。画面にしたがって、ページ集約や両面コピーが設定できます。	<ul style="list-style-type: none"> コピー機能 ウィザード形式 ページ集約: [2in1] 原稿: [片面] 両面/分割: [両面] 用紙選択: カセット1 印刷部数: 1
簡単フォルダー送信(宛先入力)	任意のパソコンの共有フォルダーまたはFTPサーバーのフォルダーに画像を送信したいときに使用します。宛先やカラー選択など、送信に必要な画面にしたがって設定ができます。	<ul style="list-style-type: none"> 送信機能 ウィザード形式 宛先: 新規のフォルダー カラー選択: [フルカラー] 文書名入力: 初期値 ファイル形式: [PDF] 連続読み込み: [設定しない] 読み込み解像度: [300 × 300 dpi]
簡単フォルダー送信(アドレス帳)	アドレス帳に登録されているパソコンの共有フォルダーまたはFTPサーバーのフォルダーに画像を送信したいときに使用します。宛先やカラー選択など、送信に必要な画面にしたがって設定ができます。	<ul style="list-style-type: none"> 送信機能 ウィザード形式 宛先: アドレス帳 カラー選択: [フルカラー] 文書名入力: 初期値 ファイル形式: [PDF] 連続読み込み: [設定しない] 読み込み解像度: [300 × 300 dpi]
簡単メール送信(宛先入力)	任意のメールアドレスに画像を送信したいときに使用します。宛先やカラー選択など、送信に必要な画面にしたがって設定ができます。	<ul style="list-style-type: none"> 送信機能 ウィザード形式 宛先: 新規のメールアドレス カラー選択: [フルカラー] 文書名入力: 初期値 ファイル形式: [PDF] 連続読み込み: [設定しない] 読み込み解像度: [300 × 300 dpi] メール件名: 初期値 メール本文: 初期値

お気に入り名	説明	登録されている機能
簡単メール送信(アドレス帳)	アドレス帳に登録されているメールアドレスに画像を送信したいときに使用します。宛先やカラー選択など、送信に必要が画面にしたがって設定ができます。	<ul style="list-style-type: none"> 送信機能 ウィザード形式 宛先:アドレス帳 カラー選択:[フルカラー] 文書名入力:初期値 ファイル形式:[PDF] 連続読み込み:[設定しない] 読み込み解像度:[300 × 300 dpi] メール件名:初期値 メール本文:初期値

 参考

最大20件のお気に入りを登録できます。

お気に入りの登録

お気に入りは2種類の呼び出し方法から選択して登録します。

- ウィザード形式(対話選択形式):登録した設定を順番に呼び出し、確認/変更しながら設定します。
- プログラム形式:お気に入りに登録されているキーを押すと、すぐに設定を呼び出します。

ここでは、送信を例に説明します。

ウィザード形式

1 画面を表示する

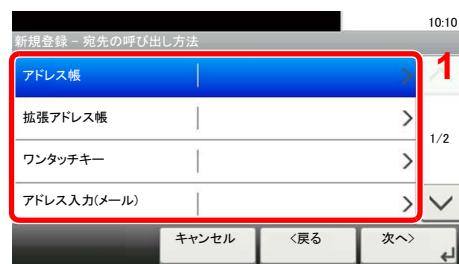
ホーム画面の[お気に入り]を押します。



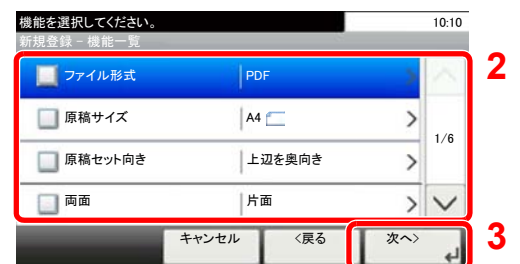
2 お気に入りを登録する

- 1 [メニュー]→[新規登録]の順に押します。
- 2 ジョブの種類を選択します。
- 3 [ウィザード形式]を選択します。
- 4 呼び出す機能を選択して[次へ]を押します。

宛先の呼び出し方法



機能一覧




チェックした項目が、ウィザードで表示されます。

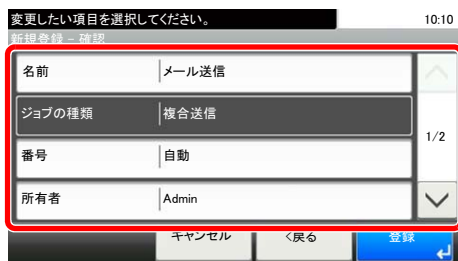
 参考

ジョブの種類が[コピー]の場合は、「宛先の呼び出し方法」の選択画面は表示されません。

- 5 お気に入りの名称を入力して[次へ]を押します。

 [文字の入力方法 \(11-12ページ\)](#)

- 6 内容を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。



項目	説明
名前	お気に入りの画面に表示される名前を、32文字以内で入力します。
ジョブの種類	選択したジョブの種類が表示されます。
番号 ^{*1}	お気に入りの番号を入力します。 番号を「00」にすると、空いている番号のうち最も小さい番号で登録されます。
所有者 ^{*2}	ユーザーを表示します。
共有設定 ^{*2}	お気に入りの他のユーザーと共有するか設定します。
宛先 ^{*3}	宛先を確認します。
機能一覧	ウィザードで表示する機能を選択します。
機能の形式	お気に入りの呼び出し方法を選択します。

*1 ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。

*2 ユーザー管理が有効の場合に表示されます。

*3 「ジョブの種類」が[送信]または[ファクス]の場合に表示されます。

- 7 [登録]を押します。

お気に入りの登録されます。

- 8 「新しい機能をホーム画面に登録しますか？」が表示されます。登録したお気に入りのホーム画面に表示させたい場合は[はい]を押して、アイコンを表示させたい位置を指定します。

- 9 [登録]を押します。

プログラム形式

プログラム形式を選択する場合は、登録するコピー機能、送信機能、ファクス機能や送信先などを先に設定します。

1 画面を表示する

- 1 ホーム画面の[送信]を押します。




- 2 送信機能を設定して、[お気に入り]を押します。

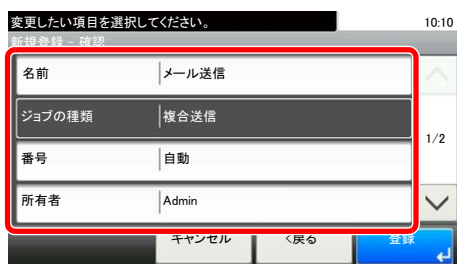


2 お気に入りを登録する

- 1 [メニュー]→[新規登録]の順に押します。
- 2 ジョブの種類を選択します。
- 3 [プログラム形式]を選択します。
- 4 お気に入りの名称を入力して[次へ]を押します。

 [文字の入力方法 \(11-12ページ\)](#)

- 5 内容を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。



項目	説明
名前	お気に入りの画面に表示される名前を、32文字以内で入力します。
ジョブの種類	選択したジョブの種類が表示されます。
番号*1	お気に入りの番号を入力します。 番号を「00」にすると、空いている番号のうち最も小さい番号で登録されます。
所有者*2	ユーザーを表示します。
共有設定*2	お気に入りを他のユーザーと共有するか設定します。
機能の形式	お気に入りの呼び出し方法を選択します。

*1 ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。

*2 ユーザー管理が有効の場合に表示されます。

6 [登録]を押します。

お気に入りの登録されます。

7 「新しい機能をホーム画面に登録しますか？」が表示されます。登録したお気に入りをホーム画面に表示させたい場合は[はい]を押して、アイコンを表示させたい位置を指定します。

8 [登録]を押します。

お気に入りの呼び出し

登録したお気に入りを呼び出す操作手順は、次のとおりです。

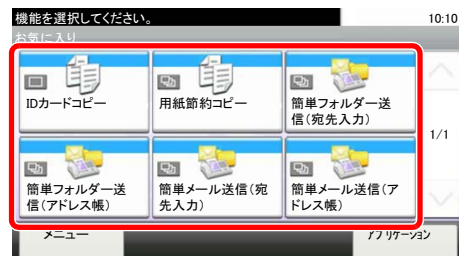
1 お気に入りを呼び出す

- 1 ホーム画面の[お気に入り]または登録しているお気に入りのキーを押します。



登録しているお気に入りのキーを押すとお気に入りの呼び出されます。[お気に入り]を押した場合は、次の手順に進んでください。

- 2 呼び出すお気に入りのキーを押します。



2 お気に入りを実行する

ウィザード形式の場合

- 1 画面が順番に表示されますので、設定を行い、[次へ]を押します。
最後まで設定したら確認画面が表示されます。



設定を変更するときは、[<戻る]を押して、設定しなおしてください。

- 2 原稿をセットし、[スタート]を押します。

プログラム形式の場合

原稿をセットし、[スタート]キーを押します。

お気に入りの変更と削除

お気に入り番号やお気に入り名、共有設定を変更したり、お気に入りを削除したりできます。

お気に入りの変更や削除する操作手順は、次のとおりです。

1 画面を表示する

ホーム画面の[お気に入り]を押します。



2 お気に入りを編集する

変更する

- 1 [メニュー]→[編集]の順に押します。
- 2 変更するお気に入りを選択します。
- 3 [5-6ページのお気に入りの登録](#)を参照してお気に入り名、お気に入り番号、共有設定を変更します。
- 4 [登録]を押します。
- 5 確認画面で[はい]を押します。

削除する

- 1 [メニュー]→[削除]の順に押します。
- 2 削除するお気に入りを選択します。
- 3 確認画面で[はい]を押します。

アプリケーション

本機は、アプリケーションをインストールして機能を拡張することができます。

お客様の業務内容に合わせたスキャン機能や認証機能などのアプリケーションを提供し、日常の業務をより効率的に行えるようサポートします。

詳細につきましては、販売担当者またはお買い上げ販売店にお問い合わせください。

アプリケーションをインストールする

アプリケーションを使用するには、まず本機にアプリケーションをインストールし、その後アプリケーションを起動します。

操作手順は、次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[アプリケーション]→[アプリケーション]の順に押します。

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は、下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000


2 インストールする

- 1 [+]を押します。
- 2 インストールするアプリケーションが保存されているUSBメモリーをUSBポートに挿入します。

参考

「外部メモリーを認識しました。ファイルを表示します。よろしいですか?」が表示された場合は、[いいえ]を押してください。

- 3 インストールするアプリケーションを選択して、[インストール]を押します。

[]を押すと、選択したアプリケーションの詳細情報が参照できます。

4 確認画面で[はい]を押します。

アプリケーションのインストールが開始されます。インストールするアプリケーションによっては、インストールに時間がかかる場合があります。


インストールが終了すると、元の画面に戻ります。

 **参考**

- 他のアプリケーションをインストールする場合は、手順2-3~2-4を繰り返してください。
- USBメモリーを取り外す場合は、[メモリー取り外し]を押し、「外部メモリーを安全に取り外せます。」が表示されたらUSBメモリーを取り外してください。

3 起動する

1 使用するアプリケーションを選択して、[メニュー]→[起動]の順に押します。

[]を押すと、選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

2 ライセンスキーを入力して、[正規使用]を押します。

アプリケーションによっては、ライセンスキーを入力する必要がないものがあります。ライセンスキーの入力画面が表示されない場合は手順3-3に進んでください。お試して使用する場合は、ライセンスキーを入力せずに[試用]を押してください。

3 確認画面で[はい]を押します。

 **重要**

日付設定を変更すると、アプリケーションをお試して使用することができなくなります。

アプリケーションを使用する

起動したアプリケーションのアイコンは、ホーム画面に表示されます。ホーム画面のアプリケーションアイコンを押してアプリケーションを使用してください。

アプリケーションをアンインストールする

本機にアプリケーションは最大5つインストールできます。別のアプリケーションを追加したい場合は、インストールしているアプリケーションをアンインストールしてください。アンインストールするアプリケーションは、[停止]してからアンインストールします。

操作手順は、次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[アプリケーション]→[アプリケーション]の順に押します。


参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は、下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000


2 停止する


- 1 停止するアプリケーションを選択して、[メニュー]→[停止]の順に押します。

を押すと、選択したアプリケーションの詳細情報が参照できます。

- 2 確認画面で[はい]を押します。

3 削除する

- 1 削除するアプリケーションを選択して、を押します。

を押すと、選択したアプリケーションの詳細情報が参照できます。

- 2 削除の確認画面で[はい]を押します。

ショートカット登録

よく使う機能を簡単に呼び出せるように、ショートカットとして登録することができます。登録したショートカットキーに表示される機能名は、必要に応じて変更できます。ショートカットはコピー機能、送信機能、ファクス機能および文書ボックスの設定をそれぞれ2つ登録できます。

ショートカットの登録

ショートカットの登録は、機能一覧画面で行います。ショートカットを登録する操作手順は、次のとおりです。

1 画面を表示する



コピー、送信または文書ボックスの画面で、[機能一覧]→[ショートカット追加/編集]を押します。

2 ショートカットを登録する

- 1 [新規登録]を押します。
- 2 ショートカットの種類と番号を選択します。


ショートカットには次の種類があります。

個人用ショートカット1,2	ログインしているユーザーのみ使用できるショートカットです。ユーザー管理を使用しているときのみ登録できます。
共有ショートカット1,2	本機を使用するユーザーみんなで使用できるショートカットです。ユーザー管理を使用しているときは、管理者の権限でログインしている場合のみ登録できます。

参考

すでに登録されているショートカット番号を選択すると、新しいショートカットに置き換えることができます。

- 3 登録したい設定を選択します。
- 4 名前を入力し、[次へ]を押します。
24文字まで入力できます。

 [文字の入力方法 \(11-12ページ\)](#)

- 5 [登録]を押します。



登録したショートカットが追加されます。

ショートカットの変更と削除

ショートカットの番号/名前の変更や、ショートカット削除の手順は次のとおりです。

- 1 機能一覧画面で、画面下の[ショートカット追加/編集]を押す

- 2 ショートカットを編集する

編集する

- 1 [編集]を押します。
- 2 編集するショートカットを選択します。
- 3 [番号]または[名前]を押します。
- 4 設定を変更後、[OK]を押します。
- 5 [登録]を押します。
- 6 確認画面で[はい]を押します。

削除する

- 1 [削除]を押します。
- 2 削除するショートカットを選択します。
- 3 確認画面で[はい]を押します。

コピーのしかた

コピーの基本操作

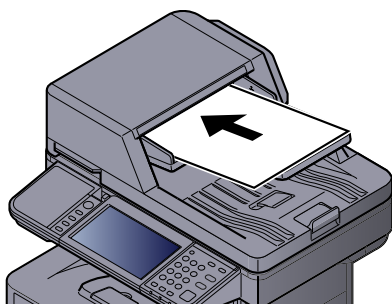
基本的なコピーの操作手順は、次のとおりです。


1 ホーム画面の[コピー]を押す



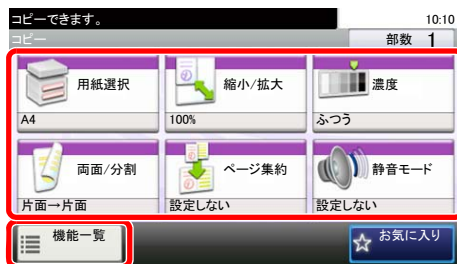
2 原稿をセットする

原稿をセットします。




 [原稿のセット \(5-2ページ\)](#)

3 機能を設定する



濃度や縮小/拡大などを設定します。

[機能一覧]を押すとその他の機能が表示されます。

 [コピー \(6-2ページ\)](#)

4 テンキーで部数を入力する

999部まで指定できます。

5 [スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

次の予約

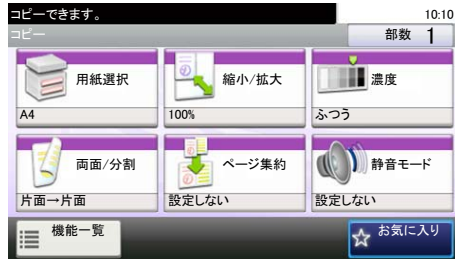
印刷中に次のコピーを予約することができます。次のコピーを予約すると、現在の印刷が終了すると予約したコピーの印刷を開始します。

予約コピーは、[8-20ページの次の予約優先](#)の設定内容によって操作方法が異なります。

「次の予約優先」が[設定する]に設定されている場合

印刷中のタッチパネルにはコピーの初期画面が表示されています。

1 予約コピーする原稿をセットし、コピーの必要な設定を行う



2 [スタート]キーを押す

原稿の読み込みが開始されます。

現在の印刷が終了すると、予約したコピーの印刷が開始されます。

「次の予約優先」が[設定しない]に設定されている場合

印刷中のタッチパネルにはコピー中の画面が表示されています。

1 [次の予約]を押す



コピーの初期画面が表示されます。

2 予約コピーする原稿をセットし、コピーの必要な設定を行う

3 [スタート]キーを押す

原稿の読み込みが開始されます。

現在の印刷が終了すると、予約したコピーの印刷が開始されます。

ジョブのキャンセル

[ストップ]キーを押してジョブをキャンセルすることができます。

- 1 コピー画面が表示されている状態で、[ストップ]キーを押す
- 2 キャンセルする

読み込み中のジョブがある場合



ジョブはキャンセルされます。

印刷中、待機中のジョブがある場合

印刷を一時停止し、ジョブ中止画面が表示されます。

キャンセルするジョブを選択して[削除]を押し、確認画面で[はい]を押します。



参考

[8-20ページの次の予約優先](#)が[設定しない]に設定されている場合、タッチパネルにはコピー中の画面が表示されています。このとき、[ストップ]キーまたは[中止]を押すと、印刷中のジョブがキャンセルされます。



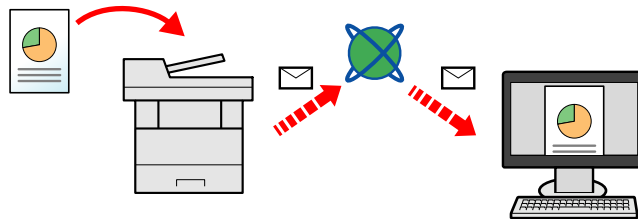
スキャン(送信)のしかた

本機を使用して読み取った画像をメールに添付して送信したり、ネットワーク上のパソコンに送信したりすることができます。この機能を使うには、あらかじめ送信元と送信先(受信者)のネットワークアドレスを登録しておいてください。

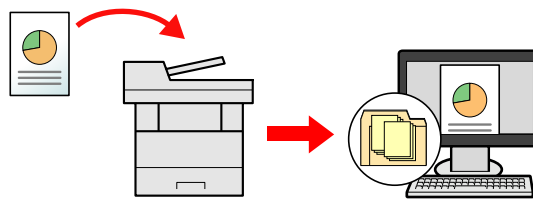
メール送信を行うには、本機とメールサーバーを接続するためのネットワーク環境が必要です。通信速度およびセキュリティの面からLANによる接続を推奨します。

基本的なスキャン(送信)の方法について説明します。次の4種類があります。

- メール送信(新規メール) :読み取った原稿のイメージをメールの添付ファイルとして送信します。



- フォルダー(SMB)送信:読み取った原稿のイメージを任意のパソコンの共有フォルダーに保存します。(5-20ページ参照)
- フォルダー(FTP)送信:読み取った原稿のイメージをFTPサーバーのフォルダーに保存します。(5-20ページ参照)



- TWAIN/WIAでの画像データ読み込み:
TWAIN/WIA対応アプリケーションを使って、文書データをパソコンに読み込みます。(5-37ページ参照)

参考

- これらの送信方法を組み合わせて指定することもできます。[5-33ページの種類の異なる相手への送信\(複合送信\)](#)を参照してください。
- 送信にはファクス機能が使用できます。詳細は、ファクス使用説明書を参照してください。

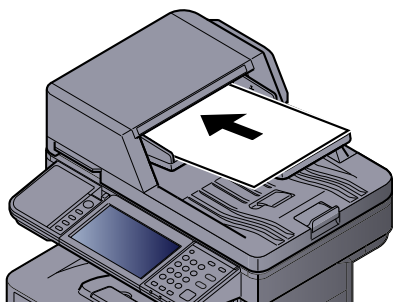
スキャン(送信)の基本操作


1 ホーム画面の[送信]を押す



2 原稿をセットする

原稿をセットします。



 [原稿のセット \(5-2ページ\)](#)



3 宛先を指定する



送信する宛先を指定します。

 [宛先の選びかた \(5-22ページ\)](#)

拡張アドレス帳から宛先を選ぶ

拡張アドレス帳については、Command Center RX操作説明書を参照してください。


ファクスから宛先を選ぶ

ファクスについては、ファクス使用説明書を参照してください。

4 機能を設定する



[機能一覧]を押すと機能が表示されます。

 [送信 \(6-3ページ\)](#)

5 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

宛先の選びかた

宛先は次の方法から選択します。



[アドレス帳から宛先を選ぶ \(5-22ページ\)](#)



拡張アドレス帳から宛先を選ぶ

拡張アドレス帳については、Command Center RX操作説明書を参照してください。



[ワンタッチキーから宛先を選ぶ \(5-24ページ\)](#)



[メールアドレスを入力する \(5-25ページ\)](#)



[新規のフォルダーを指定する \(5-26ページ\)](#)



ファクスから宛先を選ぶ

ファクスについては、ファクス使用説明書を参照してください。

参考

- [送信]キーを押すとアドレス帳の画面を表示するように設定することができます。詳しくは、[8-21ページの初期画面](#)を参照してください。
- 宛先にはファクスの宛先を指定することができます。テンキーで相手先の番号を入力します。

アドレス帳から宛先を選ぶ

アドレス帳に登録されている宛先を選択します。

アドレス帳に宛先を登録する方法は[3-35ページのアドレス帳の登録](#)を参照してください。

1 送信の基本画面で[アドレス帳]を押す



参考

拡張アドレス帳については、Command Center RX操作説明書を参照してください。

2 宛先を選択する



チェックボックスを押して、宛先をリストの中から選択してください。宛先は複数選択できません。選択された宛先のチェックボックスにチェックマークがつかます。

[メニュー]を押すと、より詳しい検索ができます。



参考

選択を解除するときは、チェックボックスを押してチェックマークを消してください。

宛先の検索

アドレス帳に登録された宛先の検索や絞り込み検索ができます。



使用するキー	検索方法	検索語句など	
1	宛先絞り込み検索	登録されている宛先の種類(メール、フォルダー(SMB、FTP)、ファクス、グループ)で絞り込み検索します。	
2	フリガナ検索	登録されているフリガナで検索します。	
3	絞り込み	登録されている宛先の種類(メール、フォルダー(SMB、FTP)、ファクス、グループ)で絞り込み検索します。	
	検索(フリガナ)	フリガナ検索	登録されているフリガナで検索します。
	番号検索	番号検索	登録されているアドレス番号で検索します。
	表示順(フリガナ)	表示順変更	登録されているフリガナで並べ替えます。
	表示順(番号)		登録されているアドレス番号で並べ替えます。



参考

[短縮]キーを押すと、アドレス番号で宛先を指定できます。

3 宛先を決定し、[OK]を押す



宛先は後で変更できます。[5-30ページの宛先の確認/変更](#)を参照してください。



参考

「表示順」の初期値を変更することができます。詳しくは、[8-24ページの表示順](#)を参照してください。

ワンタッチキーから宛先を選ぶ

ワンタッチキーで宛先を選択できます。



参考

ここでは、すでにワンタッチキーが登録されているものとします。
ワンタッチキーの登録については、[3-42ページのワンタッチキーの登録\(ワンタッチキー\)](#)を参照してください。

1 送信の基本画面で[ワンタッチキー]を押す



2 宛先が登録されているワンタッチキーを押す



タッチパネル上に宛先のワンタッチキーが表示されていない場合は、[√]/[へ]を押してください。表示されていないワンタッチキーが表示されます。



参考

[短縮]キーを押すと、ワンタッチ番号でワンタッチキーが指定できます。

3 宛先を決定し、[OK]を押す



宛先は後で変更できます。[5-30ページの宛先の確認/変更](#)を参照してください。

メールアドレスを入力する

任意のメールアドレスを直接入力します。

参考

メール送信するには、必要な環境設定を行ってください。詳しくは[2-39ページのメール設定](#)を参照してください。

1 送信の基本画面で[メール]を押す



2 アドレスを入力する



128文字まで入力できます。

[文字の入力方法 \(11-12ページ\)](#)

複数の宛先を入力する場合は、[次の宛先]を押して宛先を入力します。最大で100件までメールアドレスを指定することができます。

[メニュー]→[アドレス帳に登録]を押すと、入力したメールアドレスをアドレス帳に登録することができます。また、すでに登録されている宛先を置き換えることもできます。

3 [OK]を押す



宛先は後で変更できます。[5-30ページの宛先の確認/変更](#)を参照してください。

新規のフォルダーを指定する

任意のパソコンの共有フォルダー、またはFTPサーバーのフォルダーを宛先に指定します。

参考

- 任意のパソコンの共有フォルダーの宛先を設定する方法については、[3-25ページのパソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備](#)を参照してください。
- フォルダーを共有する方法については、[3-27ページの共有フォルダーを作成する、共有名をメモする](#)を参照してください。
- SMBプロトコルまたはFTPが有効になっていることを確認してください。詳しくは[8-29ページのプロトコル詳細](#)を参照してください。

1 送信の基本画面で[フォルダー]を押す

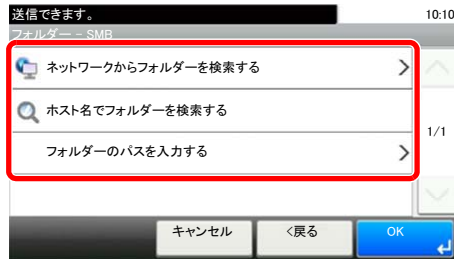


2 フォルダーの種類を選択する



[FTP]を選択したときは、手順4に進んでください。

3 フォルダの指定方法を選択する



ネットワーク内にあるパソコンのフォルダを検索して登録する場合は、[ネットワークからフォルダを検索する]または[ホスト名でフォルダを検索する]を押してください。

[ネットワークからフォルダを検索する]を押した場合は、「ドメイン/ワークグループ」「ホスト名」を入力して接続しているネットワーク内のパソコンから宛先を検索することができます。

[ホスト名でフォルダを検索する]を押した場合は、接続しているネットワーク内のすべてのパソコンから宛先を検索することができます。

ホスト名(コンピューター名)は最大で500件まで表示することができます。表示された画面で指定したいホスト名(コンピューター名)を選択し、[次へ]を押すとログインユーザー名、ログインパスワードの入力画面が表示されます。

ログインユーザー名、ログインパスワードを入力すると共有フォルダが表示されるので、指定したいフォルダを選択して[次へ]を押してください。選択した共有フォルダが宛先に設定されます。

重要

ホスト名、ドメイン名、ワークグループ名、ログインユーザー名に2バイト文字が使われている場合は、検索や送信ができません。


検索結果のリストからフォルダを選択します。

[フォルダのパスを入力する]を選択したときは、手順4に進んでください。

4 宛先情報を入力する



宛先の情報を入力します。1項目入力できたら[次へ]を押して、次の項目に進みます。

 [文字の入力方法 \(11-12ページ\)](#)

入力する項目は次のとおりです。

フォルダー(SMB)送信の場合

項目	詳細	制限文字数
ホスト名	コンピューター名	64文字以下
パス	共有名 例) scannerdata 共有フォルダー内のフォルダーに保存する場合 共有名*共有フォルダー内のフォルダー名	128文字以下
ログインユーザー名	コンピューター名とドメイン名が同じ場合 ユーザー名 例)yamada コンピューター名とドメイン名が違う場合 ドメイン名*ユーザー名 例)abcdnet*yamada	64文字以下
ログインパスワード	Windowsにログオンする際のパスワード (大文字・小文字は区別されます。)	64文字以下

フォルダー(FTP)送信の場合

項目	入力する情報	制限文字数
ホスト名	FTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	64文字以下
パス*1	保存したいフォルダーのパス 例)*User*ScanData 何も入力しない場合、ホームディレクトリーに保存されます。	128文字以下
ログインユーザー名	FTPサーバーへのログインユーザー名	64文字以下
ログインパスワード	FTPサーバーへのログインパスワード (大文字・小文字は区別されます。)	64文字以下

*1 Linux/UNIXベースのFTPサーバーの場合、パスの区切りは*ではなく/(スラッシュ)です。

5 確認する

1 宛先情報を確認します。

必要に応じて変更してください。

2 [メニュー]→[接続確認]の順に押しして接続状況を確認します。



宛先に正しく接続できた場合は、「接続できました。」が表示されます。「接続できません。」が表示された場合は、もう一度入力内容を確認してください。

複数の宛先を入力する場合は、[次の宛先]を押して宛先を入力してください。

[アドレス帳に登録]を押すと、入力した内容をアドレス帳に登録することができます。

6 [OK]を押す



宛先は後で変更できます。[5-30ページの宛先の確認/変更](#)を参照してください。

宛先の確認/変更

選択した宛先を確認し、変更します。


1 画面を表示する


- 1 [5-22ページの宛先の選びかた](#)を参照して、宛先を選択します。
- 2 [確認]を押します。



2 確認/変更する

[+]を押すと宛先を追加します。

[>]を押すと、その宛先の内容の確認ができます。新規メールアドレス、パソコンのフォルダーを指定した宛先は、その内容を変更できます。

宛先を選択して[>]を押すと、その宛先がリストから削除されます。



参考

- [8-21ページの新規宛先の入力確認](#)を[設定する]に設定している場合は、確認画面が表示されます。もう一度同じホスト名、パスを入力して[OK]を押してください。
- [8-21ページの送信前の宛先確認](#)を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押すと、確認画面が表示されます。詳しくは、[5-31ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。

宛先確認画面について

8-21ページの送信前の宛先確認を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押すと、宛先を確認するための宛先確認画面が表示されます。

宛先確認画面の操作手順は、次のとおりです。



- 1 [✓]または[↑]を押して、すべての宛先を確認します。

[☑]を押すと、その宛先の詳しい情報が参照できます。

宛先を削除するときは、削除する宛先を選択して[🗑]を押してください。削除の確認画面で[はい]を押すと宛先が削除されます。

宛先を追加するときは、[キャンセル]を押して元の画面に戻ってください。

- 2 [確認完了]を押します。



参考

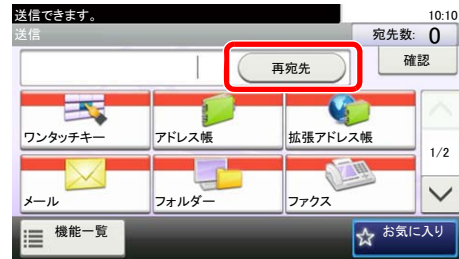
必ずすべての宛先をタッチパネルに表示して確認してください。すべての宛先を表示しないと[確認完了]は機能しません。

再宛先呼び出し

送信を試みたが、相手先が応答しない。もう一度同じ宛先に送りたい。そんなときに[再宛先]を押すと、直前に送信した宛先を宛先リストに呼び出すことができます。

1 [再宛先]を押します。

直前の相手先が宛先リストに表示されます。



参考

直前の送信がファクスやコンピューター、メールなどの宛先を含んでいる場合は、それらもあわせて表示されます。必要に応じて相手先の追加や削除などを行ってください。

2 [スタート]キーを押します。

送信を開始します。

参考

- 「送信前の宛先確認」を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、[5-31ページの宛先確認画面について](#)を参照してください。
- 次の条件で再宛先情報は破棄されます。
 - 電源を切ったとき
 - 次の送信操作を行ったとき (新しい再宛先情報が登録されます。)
 - ログアウトしたとき

自分に送信(メール)

ユーザー管理が有効の場合に、ログインしているユーザーのメールアドレスに文書を送付します。

ホーム




参考

- この機能をお使いになる場合は、ホーム画面に機能アイコンを表示させる必要があります。

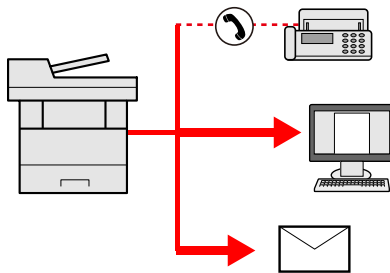
 [ホーム画面の編集について \(3-5ページ\)](#)

- ユーザー管理でログインするユーザーにメールアドレスを設定しておく必要があります。

 [ユーザーの新規登録\(ローカルユーザーリスト\) \(9-5ページ\)](#)

種類の異なる相手への送信(複合送信)

宛先は、メール、フォルダー(SMB、FTP)、ファクスを組み合わせで指定することができます。これを複合送信と呼びます。一度の操作で、種類の異なる宛先(メール、フォルダーなど)に送信できて便利です。



同報件数

メール:最大100件

フォルダー(SMB、FTP):SMB、FTP合わせて5件

ファクス:最大100件

操作方法は、1種類の宛先を指定するときと同じです。宛先のメールアドレスやフォルダーの場所を続けて入力し、宛先リストに表示させてください。[スタート]キーを押すと、それらの宛先にまとめて送信されます。

参考

宛先にファクスが含まれる場合、すべての宛先の送信画像が白黒になります。

スキャン(送信)のキャンセル

[ストップ]キーを押してジョブをキャンセルすることができます。

- 1 送信画面が表示されている状態で、[ストップ]キーを押す
- 2 キャンセルする

読み込み中のジョブがある場合



ジョブがキャンセルされます。

送信中、待機中のジョブがある場合

ジョブ中止画面が表示されます。

キャンセルするジョブを選択して[削除]を押し、確認画面で[はい]を押します。



参考

送信ジョブの場合、[ストップ]キーを押しても一時停止しません。

WSDスキャン

WSDスキャンは、本機で読み取った原稿のイメージを、WSD対応のパソコンにファイルとして保存します。

参考

- WSDスキャンを行うには、使用するパソコンと本機がネットワーク接続されているか、ネットワーク設定の[8-30 ページのWSDスキャン](#)が[使用する]に設定されているか確認してください。
- パソコンの操作について詳しくは、パソコンのヘルプを参照するか、使用されるWSD対応のソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

ドライバーのインストール(Windows 7の場合)

1 スタートメニューの[ネットワーク]を表示する

Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[ネットワーク]をクリックします。

参考

スタートメニューに[ネットワーク]が表示されていない場合は、以下の操作を行ってください。

- 1 [スタート]を右クリックし、表示されたメニューで[プロパティ]をクリックします。
- 2 「タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ」画面で[[スタート]メニュー]タブを選択し、[カスタマイズ]をクリックします。
- 3 「[スタート]メニューのカスタマイズ」画面が表示されたら、「ネットワーク」にチェックを入れて、[OK]をクリックします。

2 ドライバーをインストールする

本機の機種名 (Kyocera:ECOSYSXXX:XXX) が表示されたアイコンを右クリックして、[インストール]をクリックします。

参考

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、[続行]をクリックしてください。
「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。

ドライバーのインストール中、タスクバーに表示されるアイコンをダブルクリックすると、「ドライバーソフトウェアのインストール」画面が表示されます。「ドライバーソフトウェアのインストール」画面上に、「デバイスを使用する準備ができました。」が表示されたら、インストール完了です。

ドライバーのインストール(Windows 8, Microsoft Windows Server 2012 場合)

1 チャームの[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択する

2 ドライバーをインストールする

[デバイスの追加]をクリックします。本機の機種名 (Kyocera:ECOSYSXXX:XXX) が表示されたアイコンを選択して、[次へ]をクリックします。

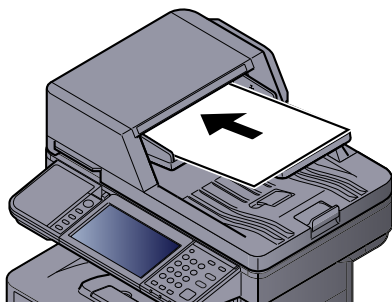
「デバイスとプリンター」画面の「プリンター」に本機の機種名 (ECOSYSXXX:XXX) のアイコンが表示されたらインストール完了です。


WSDスキャンを実行する

1 ホーム画面の[送信]を押す



2 原稿をセットする



 [原稿のセット \(5-2ページ\)](#)

3 画面を表示する


[WSDスキャン]を押します。

4 スキャンする

本機で操作する場合

- 1 [パネルから操作]を選択して[次へ]を押します。
- 2 送信先のパソコンを選択します。
[更新]を押すと、リストを更新します。



[]を押すと、送信先のパソコンの情報が参照できます。

- 3 [スタート]キーを押します。

送信中、パソコンにインストールされているWSD対応のソフトウェアが起動し、送信が終了すると、ファイルの確認ができます。

パソコンから操作する場合

- 1 [PC操作]→[次へ]の順に押します。
- 2 パソコンにインストールされているWSD対応のソフトウェアを使用して、送信します。

TWAINを使った読み込み方法

TWAINを使って原稿を読み込む方法について説明します。

ここでは、TWAIN ドライバーで読み込むときの操作手順を例として説明します。WIAドライバーも同様の方法で操作してください。

1 画面を表示する

- 1 TWAIN 対応アプリケーションを起動します。
- 2 アプリケーションから本機を選択し、TWAIN ダイアログボックスを表示させます。

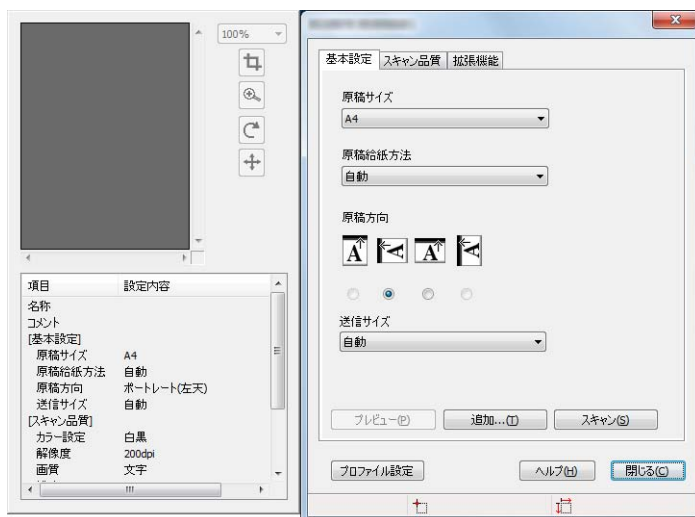


参考

本機の実機方法は、各アプリケーションの使用説明書またはヘルプを参照してください。

2 設定する

表示されるTWAIN ダイアログボックスで読み込みの設定を行ってください。

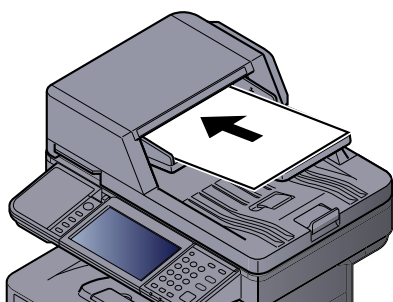



TWAIN ダイアログボックスに表示される設定内容は以下のとおりです。

項目		内容
基本設定	原稿サイズ	スキャンエリアのサイズを設定します。スキャナーの機種、原稿のサイズによって使用できるサイズが異なります。
	原稿給紙方法	原稿給紙方法を指定します。リストから原稿給紙方法を選択します。
	原稿方向	原稿の方向を指定します。
	送信サイズ	画像サイズを指定します。スキャナーの機種やプレビューペインで選択したスキャンエリアによって使用できるサイズが異なります。

項目		内容
スキャン品質	カラー設定	画像のカラー設定を指定します。
	解像度	画像のdpi(1インチあたりのドット数)を指定します。
	画質	画質を指定します。設定がスキャンする原稿と一致しているか確認してください。
	濃度	画像の明るい部分と暗い部分のコントラストを指定します。「自動」チェックボックスが選択されている場合、スライダーバーと編集ボックスは使用できず、濃度は自動的に初期値に設定されます。
	コントラスト	画像のコントラスト(明暗)を指定します。カラー設定で、白黒が選択されている場合、この機能は使用できません。
拡張機能	色の反転	画像を写真のネガのように、画像の白と黒の領域を反転してスキャンします。
	うら写り防止	スキャンした際に、用紙の裏側の画像が写るのを防止します。
プロフィール設定		現在の設定の確認やよく使用する設定を登録するときに使用します。[プロフィール設定]ボタンをクリックすると、設定画面が表示され、追加、編集、削除のボタンが表示されます。
	追加	現在の設定をスキャンプロフィールとして保存します。
	編集	選択したスキャンプロフィールの名前またはコメントが変更できます。
	削除	保存したスキャンプロフィールを削除します。

3 原稿をセットする



 [原稿のセット \(5-2ページ\)](#)

4 スキャンする

[スキャン]ボタンをクリックします。原稿がスキャンされ、データが保存されます。

FMU Connectionを使った読み込み方法

本機には、アプリケーションとして「FMU Connection」が標準でインストールされています。

FMU Connectionは、付属のDVDに収録されているユーティリティー「File Management Utility」で設定した内容に従って原稿を読み込み、画像データと読み込み情報を指定のサーバーやフォルダーに保存することができます。通常の送信機能とは異なり、読み込みデータの作成日時やデータ形式などのメタデータを利用したい場合に有効なアプリケーションです。

参考

- はじめてFMU Connectionを使用する際は、システムメニューで有効にする必要があります。詳しくは、[8-23ページのアプリケーション](#)を参照してください。
- FMU Connectionを使用するには、ご使用のパソコンにFile Management Utilityをインストールし、使用する複合機、読み込み条件や保存場所の設定を行う必要があります。File Management Utilityのインストール方法については、[2-19ページのソフトウェアのインストール](#)を参照してください。
- File Management Utilityの使用方法についてはDVDに収録されているFile Management Utility操作手順書を参照してください。

FMU Connectionを使用して原稿を読み込む

- 1 File Management Utilityがインストールされているパソコン(またはサーバー)でFile Management Utilityが起動していることを確認する**
- 2 原稿をセットする**
- 3 [FMU Connection]を押す**
FMU Connectionが起動します。
- 4 画面の指示に従って必要事項を入力し、[次へ]を押す**
- 5 読み込み設定画面が表示されたら、各項目を押して必要な設定を行う**
設定できる機能はFile Management Utilityに依存します。
- 6 [スタート]キーを押す**
送信が開始されます。

ファクスのしかた

本機はファクス機能を使用することができます。詳細は、[ファクス使用説明書](#)を参照してください。

文書ボックスとは


文書ボックスでは、文書を保存して再利用したり、複数のユーザーで文書を共有したりできます。

文書ボックスには次の種類があります。

ユーザーボックス(5-43ページ)

文書ボックス内に作成し、再利用するデータを保存するための汎用ボックスです。ユーザーボックス内には、ユーザーがボックスを作成したり削除したりできます。

ユーザーボックスでできる主な作業は次のとおりです。

-  [ボックスを作成する\(新規作成\) \(5-43ページ\)](#)
- [文書を保存する\(文書保存\) \(5-47ページ\)](#)
- [文書を印刷する\(印刷\) \(5-47ページ\)](#)
- [文書を編集する \(5-48ページ\)](#)
- [文書を削除する \(5-49ページ\)](#)

参考

ユーザーボックスを使用するにはオプションのSSDが必要です。

ジョブボックス

パソコンから実行したジョブを保存するためのボックスです。

参考

- ジョブボックスの一時保存文書を自動的に消去するように設定できます。詳しくは、[8-22ページの一時保存文書の自動消去](#)を参照してください。
- ジョブボックスの操作については、[4-8ページの本体に保存したデータを印刷する](#)を参照してください。

プライベートプリント/ジョブ保留ボックス(4-8ページ、4-11ページ)

プライベートプリントは、本機を操作するまでジョブを印刷されないように指定することができます。アプリケーションソフトウェアから送信するとき、プリンタードライバで4桁のアクセスコードを指定してください。ジョブは機密性を確保するため、操作パネルでアクセスコードを入力することによって印刷されます。印刷と同時に、または電源スイッチを切ったとき、データは消去されます。

ジョブ保留は、アプリケーションから送られてきた印刷データを本機に保存します。必要に応じて、アクセスコードを設定することができます。アクセスコードを設定した場合は、印刷時にアクセスコードを入力してください。印刷データは、印刷後ボックスに保存されます。繰り返し同じデータを印刷することができます。

クイックコピー/試し刷り後保留ボックス(4-14ページ、4-17ページ)

クイックコピーは、一度印刷した文書を追加印刷する機能です。パソコンからクイックコピーを有効にして文書を印刷すると、同時に印刷データがこのボックスに保存されます。再度印刷が必要になったときに、タッチパネルの操作で印刷することができます。保存できる最大文書数は、工場出荷時は32件です。データは電源スイッチを切ると消去されます。

参考

最大文書数を超えて文書を保存すると、古い文書から順に新しい文書が上書きされます。

試し刷り後保留は、複数部数印刷する際に、1部だけ印刷して残りの印刷を保留する機能です。パソコンから試し刷り後保留を有効にして文書を印刷すると、1部だけ印刷して印刷データがここに保存されます。残り部数は、タッチパネルの操作で印刷することができます。部数を変更することもできます。

外部メモリーボックス(5-50ページ)

USBメモリーを本機のUSBポートに接続し、保存されているPDFデータを印刷できます。パソコンを使うことなく手軽に印刷できます。また、本機で読み込んだ画像データを、PDF、TIFF、JPEG、XPS、高圧縮PDFいずれかのファイル形式で、USBメモリーに保存することもできます(Scan to USB)。

Fコードボックス/ポーリングボックス

ファクスのデータを保存するためのボックスです。詳しくは、ファクス使用説明書を参照してください。

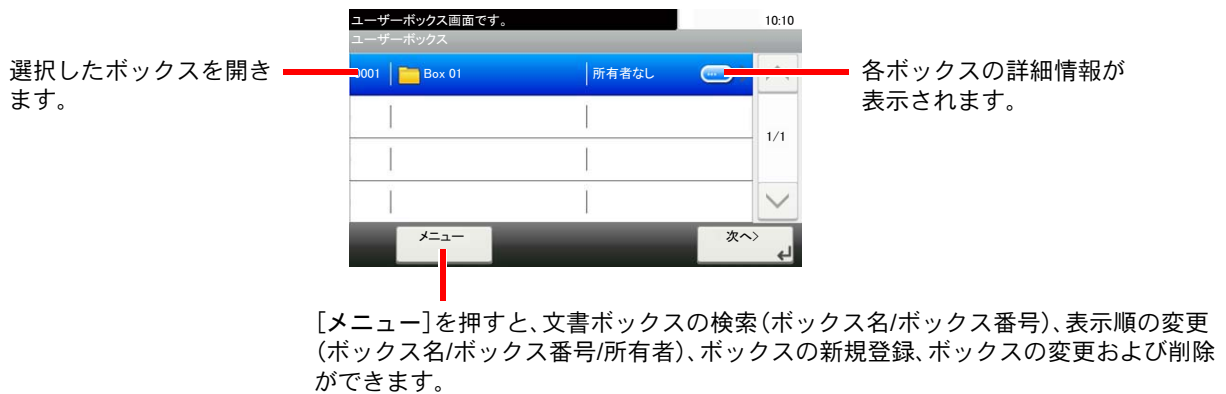
文書ボックスの基本操作

ユーザーボックスで作業を行う場合を例に、文書ボックスの基本操作を説明します。

参考

ここでは、ユーザー管理が無効であるものとして説明します。ユーザー管理が有効の場合の操作については、[5-45ページのボックスの変更と削除](#)を参照してください。

ボックス一覧での操作



選択したボックスを開きます。

各ボックスの詳細情報が表示されます。

[メニュー]を押すと、文書ボックスの検索(ボックス名/ボックス番号)、表示順の変更(ボックス名/ボックス番号/所有者)、ボックスの新規登録、ボックスの変更および削除ができます。

文書一覧での操作

文書一覧は、ユーザーボックスに保存されている文書の一覧です。次のような操作ができます。



チェックをつけると選択されます。

文書名で検索します。

文書の詳細情報が表示されます。

[メニュー]を押すと、文書の印刷、移動、詳細確認、削除、すべて選択/すべて解除、および表示順の変更(名前順/時間順)ができます。


参考

それぞれの文書のチェックボックスを押して、複数の文書を選択できます。

ユーザーボックスの使いかた

ユーザーボックスは、文書ボックス内に作成し、再利用するデータを保存するための汎用ボックスです。ユーザーボックス内には、ユーザーがボックスを作成したり削除したりできます。

ユーザーボックスでできる主な作業は次のとおりです。

-  [ボックスを作成する\(新規作成\) \(5-43ページ\)](#)
- [文書を保存する\(文書保存\) \(5-47ページ\)](#)
- [文書を印刷する\(印刷\) \(5-47ページ\)](#)
- [文書を編集する \(5-48ページ\)](#)
- [文書を削除する \(5-49ページ\)](#)

参考

ユーザーボックスでできる主な作業は、Command Center RXでも行えます。Command Center RXの詳細は、Command Center RX操作説明書を参照してください。

ボックスを作成する(新規作成)

参考

- ユーザーボックスを使用するにはオプションのSSDが必要です。
- ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインする必要があります。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- ユーザー管理が有効の場合、ユーザー権限では、次の操作ができません。管理者の権限で操作してください。
 - ボックスの作成
 - 所有者が異なるボックスの削除

1 画面を表示する


- 1 ホーム画面の[ユーザーボックス]を押します。



- 2 [メニュー]→[✓]→[新規登録]の順に押します。

2 ボックスを登録する

- 1 ボックス名を入力して[次へ]を押します。
32文字以下で入力してください。

 [文字の入力方法 \(11-12ページ\)](#)

2 内容を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

項目	説明
ボックス名	ボックスの名前を32文字以下で入力してください。文字の入力方法は、 11-12ページの文字の入力方法 を参照してください。
ボックス番号	[+], [-]またはテンキーを押して、ボックス番号を入力してください。ボックス番号は0001～1000の範囲で入力できます。同じ番号を複数のボックスにつけることはできません。0000を入力すると、空いている番号のうち最も小さい番号が自動でつけられます。
所有者 ^{*1}	ボックスの所有者を設定します。表示されるユーザーリストから所有者を選択してください。
共有設定 ^{*2}	ボックスを共有するかどうかを設定します。
ボックスパスワード	ボックスにパスワードをつけて、アクセスできるユーザーを制限することができます。必要に応じて入力してください。[パスワード]と[パスワード(確認)]それぞれ同じパスワードを16文字以下で入力してください。 共有設定で「共有する」を選択した場合に設定できます。
使用量制限	SSDの空き容量を保つために、ボックスの容量を制限することができます。使用量を制限する場合は[+]、[-]またはテンキーを押して制限値(MB)を入力してください。制限値は、作成されているユーザーボックスの数で変わりますが、最大で1～30000(MB)の範囲で入力できます。
自動文書削除	一定期間後に、保存した文書を自動消去します。自動消去する場合は、[設定する]を押し、[+]、[-]またはテンキーを押して、文書を保存する日数を入力してください。1～31(日)の範囲で入力できます。自動消去しない場合は[設定しない]を押してください。
空き容量	ボックスの空き容量が表示されます。
上書き保存許可	保存されている古い文書に上書きして新しい文書を保存することを許可するかどうかを設定します。上書きする場合[許可する]を押してください。上書きしない場合[禁止する]を押してください。
印刷後削除	印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。文書を削除する場合、[設定する]を押してください。文書を削除しない場合は[設定しない]を押してください。

*1 ユーザー管理が有効の場合に表示されます。

*2 「所有者」が[所有者なし]の場合は表示されません。

3 [登録]を押します。

ボックスが作成されます。

ボックスの変更と削除

1 画面を表示する

ホーム画面の[ユーザーボックス]を押します。



2 ボックスを編集する

変更する

1 [メニュー]→[√]→[編集]の順に押します。

2 編集したいボックスを選択します。



参考

- ユーザー権限でログインしている場合は、所有者にログインしているユーザーが設定されているボックスしか編集できません。
- 管理者の権限でログインしている場合は、すべてのボックスを編集できます。

ユーザー管理が有効の場合、ログインしているユーザーの権限により変更できる項目が異なります。

権限	変更できる機能
管理者	ボックス名
	ボックス番号
	所有者
	共有設定
	ボックスパスワード
	使用量制限
	自動文書削除
	上書き保存許可
	印刷後削除
ユーザー	ボックス名
	ボックスパスワード
	共有設定
	自動文書削除
	上書き保存許可
	印刷後削除

各項目詳細については[5-43ページのボックスを作成する\(新規作成\)](#)を参照してください。

削除する

- 1 [メニュー]→[√]→[削除]の順に押します。
- 2 削除したいボックスを選択します。

参考

- ユーザー権限でログインしている場合は、所有者にログインしているユーザーに設定されているボックスしか削除できません。
- 管理者の権限でログインしている場合は、すべてのボックスを削除できます。

- 3 [削除]を押します。
- 4 確認画面で[はい]を押します。

文書を保存する(文書保存)

ユーザーボックスには、パソコンから送られてきた印刷データが登録されます。パソコン側の印刷操作は、プリンタードライバー操作手順書を参照してください。

文書を印刷する(印刷)

ユーザーボックスの文書を印刷する操作手順は、次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 ホーム画面の[ユーザーボックス]を押します。



- 2 印刷したい文書が入っているボックスを選択します。

参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 印刷する

- 1 リストの中から、チェックボックスを押して印刷する文書を選択します。



選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。

参考

選択を解除するときは、チェックボックスを押してチェックマークを消してください。

- 2 [印刷]を押します。
- 3 使用する印刷設定の選択画面が表示されます。
印刷時の設定を使用する場合は、[そのまま印刷する]を押し、印刷部数を入力して[OK]を押すと、印刷が開始されます。
印刷設定を変更する場合は、[設定を変更して印刷する]を押し、次の手順へ進んでください。
- 4 必要に応じて、用紙の選択や片面 / 両面印刷などを設定します。
設定できる機能については[ユーザーボックス\(印刷\)\(6-5ページ\)](#)を参照してください。
- 5 [スタート]キーを押します。選択した文書の印刷が開始されます。

文書を編集する

ユーザーボックスに保存されている文書を別のボックスに移動できます。文書を移動する操作手順は、次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 ホーム画面の[ユーザーボックス]を押します。



- 2 移動したい文書が入っているボックスを選択します。

参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 文書进行操作する

- 1 リストの中から、チェックボックスを押して移動する文書を選択します。



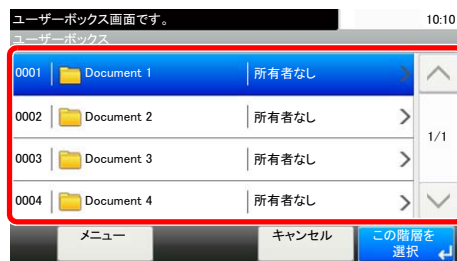
選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつかます。

参考

選択を解除するときは、チェックボックスを押してチェックマークを消してください。

- 2 [メニュー]→[別のユーザーボックスへ移動]の順に押します。

- 3 移動先を選択します。



- 4 [この階層を選択]を押し、確認画面で[はい]を押します。

選択された文書が移動されます。

参考

移動先のボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

文書を削除する

ユーザーボックスの文書を削除する操作手順は、次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 ホーム画面の[ユーザーボックス]を押します。



- 2 削除したい文書が入っているボックスを選択します。

参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 文書を削除する

- 1 リストの中から、チェックボックスを押して削除する文書を選択します。



選択された文書は、チェックボックスにチェックマークが付きます。

参考

- 文書を選択しないと、[削除]を押すことはできません。
- 選択を解除するときは、チェックボックスを押してチェックマークを消してください。

- 2 [削除]を押します。
削除の確認画面が表示されます。
- 3 [はい]を押します。
選択された文書が削除されます。

USBメモリーからの印刷

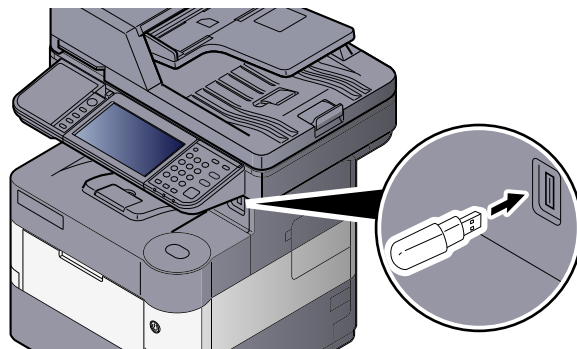
USBメモリーを本機に接続し、メモリー内に保存されているデータをパソコンを使うことなく手軽に印刷できます。

印刷可能なデータは、以下のとおりです。

- PDFファイル(バージョン 1.7以下)
- TIFFファイル(TIFF V6/TTN2形式)
- JPEGファイル
- XPSファイル
- 暗号化PDFファイル
- 印刷するPDFファイルには拡張子(.pdf)が必要です。
- 印刷するファイルは、ルートディレクトリーを含め、3階層までのフォルダーに保存してください。
- USBメモリーは、本機でフォーマットしたものを使用してください。
- USBメモリーは、本機のUSBポートに直接挿入してください。

1 USBメモリーを接続する

- 1 USBメモリーをUSBポートに挿入します。



- 2 挿入したUSBメモリーを認識すると、「外部メモリーを認識しました。ファイルを表示します。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。[はい]を押します。

外部メモリー画面が表示されます。

重要

USBメモリーは、本機でフォーマットしたものを使用してください。本機以外でフォーマットした場合、「外部メモリーがフォーマットされていません。」というメッセージが表示されることがあります。USBメモリーをフォーマットするには、[7-13ページのデバイスの状態確認\(デバイス/通信\)](#)を参照してください。

参考

メッセージが表示されない場合は、ホーム画面の[外部メモリー]を押してください。

2 文書を印刷する

- 1 印刷したいファイルが保存されているフォルダーを選択します。
ルートディレクトリーを含め、3階層目までのフォルダーにある文書が表示できます。

参考

- 表示できる文書数は1,000件までです。
- 1つ上の階層に戻る場合は、[上へ]を押してください。

- 2 印刷するファイルを選択して、[印刷]を押します。



- 3 必要に応じて、印刷部数や片面 / 両面印刷などを変更します。
設定できる機能については [外部メモリー\(文書保存、印刷\) \(6-6ページ\)](#) を参照してください。
- 4 [スタート]キーを押します。
選択したファイルの印刷を開始します。

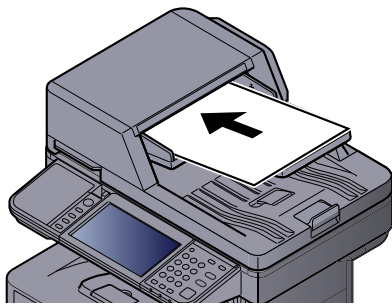
USBメモリーに文書を保存する (Scan to USB)


本機に接続したUSBメモリーに読み込んだ画像データを保存することができます。PDF、TIFF、JPEG、XPS、高圧縮PDFいずれかのファイル形式で保存できます。

参考

保存できるファイルの件数は最大で1,000件です。

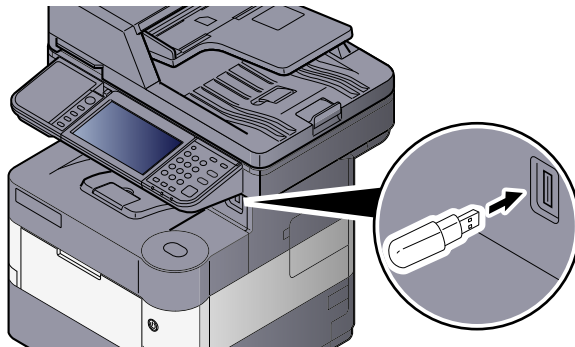
1 原稿をセットする



 [原稿のセット \(5-2ページ\)](#)

2 USBメモリーを接続する

- 1 USBメモリーをUSBポートに挿入します。



- 2 挿入したUSBメモリーを認識すると、「外部メモリーを認識しました。ファイルを表示します。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。[はい]を押します。

外部メモリー画面が表示されます。

重要

- USBメモリーは、本機でフォーマットしたものを使用してください。本機以外でフォーマットした場合、「外部メモリーがフォーマットされていません。」というメッセージが表示されることがあります。USBメモリーをフォーマットするには、[7-13ページのデバイスの状態確認\(デバイス/通信\)](#)を参照してください。
- [フォーマット]を押すと外部メディアの中のデータがすべて消去されます。

参考

メッセージが表示されない場合は、ホーム画面の[外部メモリー]を押してください。

3 文書を保存する

- 1 文書を保存するフォルダーを選択します。
ルートディレクトリーを含め、3階層目まで表示できます。
- 2 [+]を押します。



- 3 必要に応じて、原稿の種類やファイル形式などを設定します。
設定できる機能については[外部メモリー\(文書保存、印刷\)\(6-6ページ\)](#)を参照してください。
- 4 [スタート]キーを押します。
原稿が読み込まれ、USBメモリーに保存されます。

USBメモリー情報を確認する

USBメモリーの情報を確認することができます。

外部メモリーの基本画面で[メニュー]→[∨]→[外部メモリー情報]の順に押してください。



情報を確認したら[終了]を押します。

USBメモリーの取り外しかた

USBメモリーの取り外しは、次の手順で行ってください。

☑ **重要**

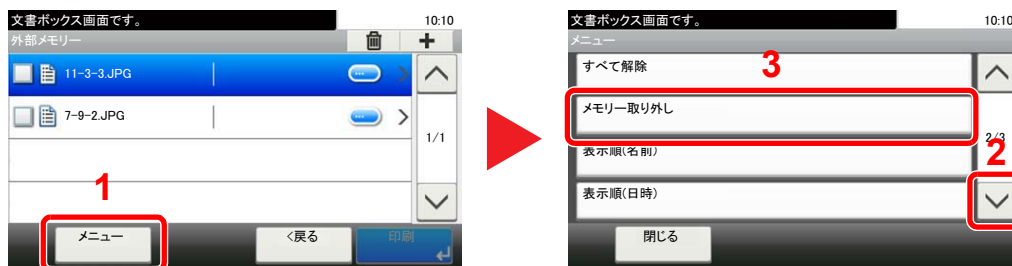
正しい手順で取り外さないと、データやUSBメモリーが破損するおそれがあります。

1 画面を表示する

ホーム画面の[外部メモリー]を押します。



2 [メニュー]→[▽]→[メモリー取り外し]を押す



「外部メモリーを安全に取り外せます。」が表示されたら、[OK]を押してUSBメモリーを取り外してください。

 **参考**

USBメモリーの取り外しは、デバイスの状態確認からも実行できます。
[7-13ページのデバイスの状態確認\(デバイス/通信\)](#)を参照してください。

6 さまざまな機能を使う

この章では、次の項目について説明します。

本機に用意されている機能	6-2
コピー	6-2
送信	6-3
ユーザーボックス (印刷)	6-5
外部メモリー (文書保存、印刷)	6-6
各機能について	6-8
原稿サイズ	6-8
用紙選択	6-9
原稿セット向き	6-10
ソート	6-10
濃度	6-11
原稿の画質	6-11
エコプリント	6-12
カラー選択	6-12
シャープネス	6-13
地色調整	6-13
うら写り防止	6-14
縮小/拡大	6-14
ページ集約	6-16
両面/分割	6-18
連続読み込み	6-19
ジョブ終了通知	6-20
文書名入力	6-21
優先印刷	6-21
静音モード	6-21
両面/分割・両面 (両面原稿)	6-22
送信サイズ	6-23
ファイル形式	6-24
ファイル分割	6-27
読み込み解像度、解像度	6-27
メール件名/本文	6-28
FTP暗号送信	6-28
印刷後削除	6-28
保存サイズ	6-29
暗号化PDFパスワード	6-29
JPEG/TIFF印刷方法	6-30
XPS印刷サイズ調整	6-30

本機に用意されている機能

コピー

機能キーを押すことで各機能の設定を行うことができます。また[機能一覧]を押すと、その他の機能が設定できます。



各機能の詳細については、次の表を参照してください。

機能キー	説明	参照ページ
用紙選択	使用したいサイズの用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。	6-9ページ
縮小/拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	6-14ページ
濃度	濃度を9段階から調整します。	6-11ページ
両面/分割	用紙の両面に印刷できます。	6-18ページ
ページ集約	2枚または4枚の原稿を、1枚に集約して印刷します。	6-16ページ
静音モード	印字速度、読み込み速度を落として動作音を低減します。	6-21ページ

機能一覧	説明	参照ページ
ソート	用紙を部数ごと、またはページごとに仕分けします。	6-10ページ
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	6-8ページ
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。	6-10ページ
原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	6-11ページ
エコプリント	エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。	6-12ページ
シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	6-13ページ
地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。	6-13ページ
うら写り防止	うすい紙の原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まないように画質を調整します。	6-14ページ
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	6-19ページ
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-20ページ
文書名入力	文書に名前を付けます。	6-21ページ
優先印刷	印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。	6-21ページ

送信

[機能一覧]を押して、各機能の設定を行うことができます。



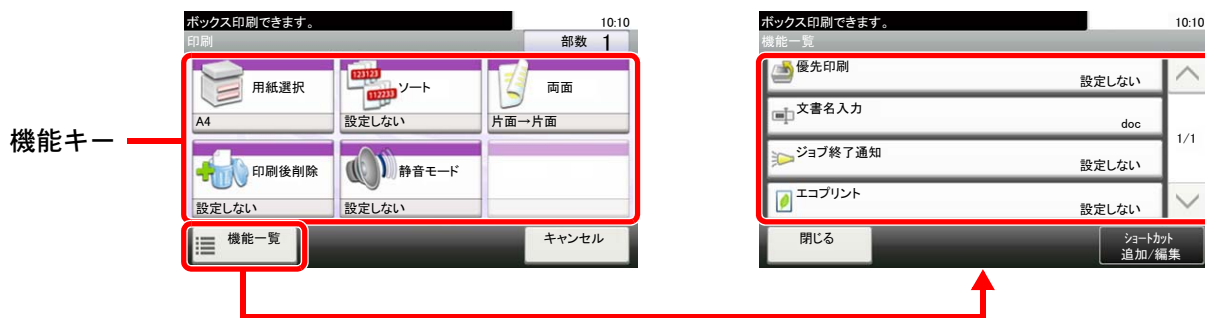
各機能の詳細については、次の表を参照してください。

機能一覧	説明	参照ページ
静音モード	印字速度、読み込み速度を落として動作音を低減します。	6-21ページ
ファイル形式	画像のファイル形式を設定します。画質のレベルを調整することもできます。	6-24ページ
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	6-8ページ
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。	6-10ページ
両面/分割	原稿に合わせて、原稿の種類と同じ方向を選択します。	6-22ページ
送信サイズ	送信する画像のサイズを選択します。	6-23ページ
ファイル分割	読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファイルを作成して送信します。	6-27ページ
読み込み解像度	画像の細かさを設定します。	6-27ページ
濃度	濃度を9段階から調整します。	6-11ページ
カラー選択	カラーのモードを選択します。	6-12ページ
原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	6-11ページ
シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	6-13ページ
地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。	6-13ページ
うら写り防止	うすい紙の原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まないように画質を調整します。	6-14ページ
ファクス送信解像度	ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。	ファクス使用 説明書参照
縮小/拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	6-14ページ
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	6-19ページ
文書名入力	文書に名前を付けます。	6-21ページ
メール件名/本文	メールで文書を送信する際、件名と本文を付けます。	6-28ページ
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-20ページ
FTP暗号送信	FTPで送信する際に画像を暗号化します。	6-28ページ
ファクスタイマー送信	送信する時刻を指定します。	ファクス使用 説明書参照
ファクスダイレクト送信	原稿をメモリーに読み込まずに直接送信します。	ファクス使用 説明書参照

機能一覧	説明	参照ページ
ファクスポーリング受信	相手先に保存されている原稿を自動的に送信させて受信します。	ファクス使用 説明書参照
ファクス送信レポート	送信した原稿が成功した場合やエラーが発生し、送信に失敗したときにレポートを印刷します。	ファクス使用 説明書参照

ユーザーボックス(印刷)

機能キーを押すことで各機能の設定を行うことができます。また[機能一覧]を押すと、その他の機能が設定できます。



各機能の詳細については、次の表を参照してください。

機能キー	説明	参照ページ
用紙選択	使用したいサイズの内紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。	6-9ページ
ソート	用紙を部数ごと、またはページごとに仕分けします。	6-10ページ
両面	文書を片面に印刷したり両面に印刷したりします。	6-19ページ
印刷後削除	印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。	6-28ページ
静音モード	印字速度、読み込み速度を落として動作音を低減します。	6-21ページ

機能一覧	説明	参照ページ
優先印刷	印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。	6-21ページ
文書名入力	文書に名前を付けます。	6-21ページ
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-20ページ
エコプリント	エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。	6-12ページ

外部メモリー(文書保存、印刷)

機能キーを押すことで各機能の設定を行うことができます。また[機能一覧]を押すと、その他の機能が設定できます。



各機能の詳細については、次の表を参照してください。

文書保存

機能キー	説明	参照ページ
ファイル形式	画像のファイル形式を設定します。画質のレベルを調整することもできます。	6-24ページ
両面	原稿に合わせて、原稿の種類と同じ方向を選択します。	6-22ページ
読み込み解像度	画像の細かさを設定します。	6-27ページ
濃度	濃度を9段階から調整します。	6-11ページ
文書名入力	文書に名前を付けます。	6-21ページ
静音モード	印字速度、読み込み速度を落として動作音を低減します。	6-21ページ

機能一覧	説明	参照ページ
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	6-8ページ
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。	6-10ページ
保存サイズ	保存する画像のサイズを選択します。	6-29ページ
カラー選択	カラーのモードを選択します。	6-12ページ
原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	6-11ページ
シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	6-13ページ
地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。	6-13ページ
うら写り防止	うすい紙の原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まないように画質を調整します。	6-14ページ
縮小/拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	6-14ページ
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	6-19ページ
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-20ページ
ファイル分割	読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファイルを作成して送信します。	6-27ページ

印刷

機能キー	説明	参照ページ
用紙選択	使用したいサイズの内紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。	6-9ページ
ソート	用紙を部数ごと、またはページごとに仕分けします。	6-10ページ
両面	文書を片面に印刷したり両面に印刷したりします。	6-19ページ
静音モード	印字速度、読み込み速度を落として動作音を低減します。	6-21ページ

機能一覧	説明	参照ページ
エコプリント	エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。	6-12ページ
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-20ページ
優先印刷	印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。	6-21ページ
暗号化PDFパスワード	あらかじめ指定したパスワードを入力し、PDFを印刷します。	6-29ページ
JPEG/TIFF印刷方法	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像サイズを設定します。	6-30ページ
XPS印刷サイズ調整	XPSファイルを用紙サイズに合わせて印刷します。	6-30ページ

各機能について

原稿サイズ



原稿の読み込みサイズを設定します。

[A系/B系]、[インチ系]、または[その他]を押して、原稿サイズを選択してください。

設定項目	設定値	説明
A系/B系	A4-R、A5-R、A6-R、B5-R、B6-R、Folio、216 × 340 mm	A系/B系の定形サイズから選択します。
インチ系	Letter-R、Legal、Statement-R、Executive、Oficio II	インチ系の定形サイズから選択します。
その他	16K-R、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム ^{*1}	特殊な定形サイズ、カスタム原稿サイズから選択します。

*1 カスタム原稿サイズの登録方法は、[8-12ページのカスタム原稿サイズ登録](#)を参照してください。

参考

不定形サイズの原稿を使用する場合は、必ず原稿サイズを設定してください。

用紙選択



使用したいサイズの用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。

[1] (カセット1)～[5] (カセット5)を選択すると、カセットに入っている用紙を使用します。

[自動]を選択すると、原稿と同じサイズの用紙を自動で選択します。

参考

- カセットに補給されている用紙サイズおよび用紙種類をあらかじめ登録してください([8-9ページのカセット/手差しトレイ設定](#)参照)。
- カセット2～5はオプションのペーパーフィーダーが装着されているときに表示されます。

[手差しトレイ]を選択する場合は、[用紙サイズ]と[用紙種類]を押して用紙サイズと用紙種類を変更してください。選択できる用紙サイズと用紙種類は次のとおりです。

設定項目	設定値	説明	
用紙サイズ	A系/B系	A4, A5, A6, B5, B6, Folio, 216 × 340 mm	A系/B系の定形サイズから選択します。
	インチ系	Letter, Legal, Statement, Executive, Oficio II	インチ系の定形サイズから選択します。
	その他	16K, ISO B5, Envelope #10, Envelope #9, Envelope #6, Envelope Monarch, Envelope DL, Envelope C5, はがき, 往復はがき, 洋形4号, 洋形2号, カスタム ^{*1}	特殊な定形サイズ, カスタム用紙サイズから選択します。
	サイズ入力	センチ X: 70～216 mm (1 mm単位) Y: 148～356 mm (1 mm単位)	定形サイズに表示されていないサイズを入力します。 ^{*2} [サイズ入力]を選択した場合は、[+], [-]またはテンキーで、「X」(よこ)と「Y」(たて)のサイズを設定してください。
インチ X: 2.76～8.50" (0.01"単位) Y: 5.83～14.02" (0.01"単位)			
用紙種類	普通紙 (60～105 g/m ²), OHPフィルム, 薄紙 (60～63 g/m ²), ラベル紙, 再生紙, プレプリント ^{*3} , ボンド紙, はがき, カラー紙, パンチ済み紙 ^{*3} , レターヘッド ^{*3} , 封筒, 厚紙 (106～220 g/m ²), 上質紙, カスタム1～8 ^{*3}		

*1 カスタム用紙サイズ(カスタム 1～4)の登録方法は、[8-13ページのカスタム用紙サイズ登録](#)を参照してください。

*2 入力単位は、システムメニューで切り替えることができます。詳しくは[8-18ページの入力長さ単位](#)を参照してください。

*3 用紙種類のカスタム1～8の登録方法は、[8-15ページの用紙種類の設定について](#)を参照してください。また、プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは、[8-14ページの特定用紙種類の動作設定](#)を参照してください。

参考

- よく使用する用紙サイズと用紙種類は、あらかじめ初期設定として選択しておく便利です([8-10ページの手差しトレイ](#)参照)。
- 指定されている用紙サイズの用紙が給紙元のカセットまたは手差しトレイに入っていない場合、確認画面が表示されます。手差しトレイに使用したい用紙を補給して[継続]を押してください。コピーが開始されます。

原稿セット向き



文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

次の機能を使用する場合は、セットした原稿の向きを設定する必要があります。

- 両面/分割
- ページ集約
- 両面(原稿)

原稿のセット向きを、[上辺を奥向き]または[上辺を左向き]から選択してください。

設定項目	イメージ
上辺を奥向き	<p>原稿 → 原稿セット向き</p>
上辺を左向き	<p>原稿 → 原稿セット向き</p>

参考

原稿セット向きの初期値を変更することができます。詳細は[8-16ページの原稿セット向き](#)を参照してください。

ソート



用紙を部数ごとに仕分けします。

(設定値:[設定しない]/[設定する])



濃度



濃度を9段階から調整します。

[-4]～[+4] (うすく～こく) を押して、濃度を設定してください。



原稿の画質



原稿の画質に合わせて、画像を処理します。

コピー/印刷時

設定項目	説明
文字+写真 ^{*1}	文字と写真が混在している原稿に適しています。
写真	写真原稿に適しています。
文字	文字の多い原稿に適しています。
うすい文字/細線	えんぴつなどで書かれたうすい文字や、地図原稿や図表の細線をくっきりと再現します。

*1 [文字+写真]の印字で、グレーの文字切れが起こるときは、[文字]を選択することで改善することがあります。

送信/保存時

設定項目	説明
文字+写真	文字と写真が混在する原稿に適しています。
写真	カメラで撮った写真などの原稿に適しています。
文字 [*]	文字の多い原稿に適しています。
うすい文字/細線	えんぴつなどで書かれたうすい文字や、地図原稿や図表の細線をくっきりと再現します。
文字(OCR用) ^{*1}	OCR処理に適した画像で読み込みます。

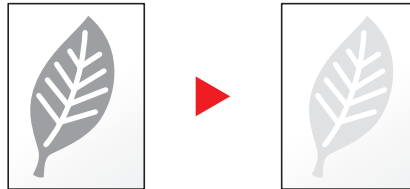
*1 カラー選択で、白黒選択時のみ利用できます。詳しくは、[6-12ページのカラー選択](#)を参照してください。

エコプリント



エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。試し印刷など高品質な印刷が必要でないときに使用してください。

(設定値: [設定しない]/[設定する])



カラー選択



カラーのモードを選択します。

設定項目	説明
自動(カラー/グレー)	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別し、カラー原稿はフルカラーで、白黒原稿はグレースケールで読み込みます。
自動(カラー/白黒)	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別し、カラー原稿はフルカラーで、白黒原稿は白黒で読み込みます。
フルカラー	フルカラーで読み込みます。
グレースケール	白から黒までの明暗だけで読み込みます。画像が滑らかに、きめ細かく表現されます。
白黒	白黒で読み込みます。

シャープネス



画像の輪郭の強弱を調整します。

鉛筆で書かれた原稿などを使用するときに、文字や線がかすれたり、つぶれたりする場合、シャープネスを「強く」に調整すると文字や線が鮮明になります。また、雑誌の写真など網点で表現される画像を使用するときに、モアレ^{*1}が発生する場合、シャープネスを「弱く」に調整すると、輪郭をぼかしてモアレを弱めることができます。

シャープネス弱く



原稿



シャープネス強く



設定項目	説明
[+1]～[+3] (強く)	画像の輪郭を強調します。
[-1]～[-3] (弱く)	画像の輪郭をぼかします。モアレ ^{*1} を弱めることができます。

*1 網点が均等に配列されず斑紋が出る状態。

地色調整



新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。フルカラー、自動カラー選択時に機能します。ただし、自動カラー選択時に白黒と判定された場合は、地色調整は機能しません。

地色が気になる場合、[自動]を選択してください。[自動]を選択しても地色がとり除かれない場合は、[手動]を選択し、地色の濃度を調整してください。

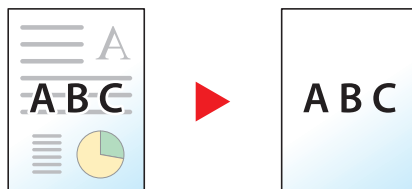
設定項目	説明
設定しない	地色を調整しません。
自動	自動で地色を調整します。
手動	5段階から地色を調整します。[手動]を選択した場合は、[1]～[5] (うすく～こく) を押して、地色の濃度を調整してください。

うら写り防止



うすい紙の原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まないように画質を調整します。

(設定値: [設定しない]/[設定する])



縮小/拡大



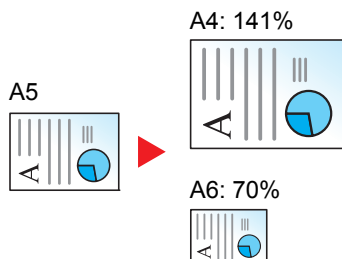
倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。

コピー時

縮小/拡大には次の方法があります。

自動

用紙サイズに合わせて縮小または拡大します。



定形倍率

あらかじめ用意されている倍率で縮小/拡大します。

400%	最大	115%	B5→A4	70%	A4→A5
200%	—	100%	—	50%	—
141%	A5→A4	86%	A4→B5	25%	最小

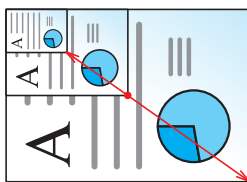
その他

定形倍率以外の倍率で縮小/拡大します。

129%	STMT→Letter (Statement→Letter)	78%	Legal→Letter
90%	Folio→A4	64%	LTR→STMT (Letter→Statement)

倍率入力

25～400%の範囲で、1%刻みに倍率を選択できます。[+]、[-]またはテンキーで倍率を入力します。




送信/保存時

設定項目	説明
100%	原稿と同じサイズで処理します。
自動	送信/保存サイズに合わせて縮小または拡大します。

参考

- 縮小または拡大する場合は、用紙サイズ、送信サイズまたは保存サイズを選択してください。

 [用紙選択 \(6-9ページ\)](#)
[送信サイズ \(6-23ページ\)](#)
[保存サイズ \(6-29ページ\)](#)

ページ集約



2枚または4枚の原稿を、1枚に集約して印刷します。ページの並び順を指定したり、原稿に境界線を入れることもできます。

境界線の線種は次のとおりです。



設定項目		設定値	説明
設定しない		—	この機能を設定しません。
2 in 1		—	初期値の設定でコピーします。初期値の設定については、 8-16ページの機能初期値 を参照してください。
4 in 1		—	
その他	ページ集約	設定しない、 2 in 1(左→右/上→下)、 2 in 1(右→左/下→上)、 4 in 1(左上→右)、 4 in 1(右上→左)、 4 in 1(左上→下)、 4 in 1(右上→下)	読み込んだ原稿の並べかたを選択します。
	境界線	なし、実線、点線、マーク	境界線の線種を選択します。
	原稿セット向き	上辺を奥向き、 上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

レイアウトイメージ

設定項目		イメージ
2 in 1	左→右/上→下	
	右→左/下→上	
4 in 1	左上→右	
	右上→左	
	左上→下	
	右上→下	

参考

- 集約に使用できる用紙サイズは、A4、A5、B5、Folio、216 × 340 mm、Letter、Legal、Statement、Oficio II、16Kです。
- 原稿を原稿ガラスにセットするときは、ページ順にセットしてください。

両面/分割

コピー

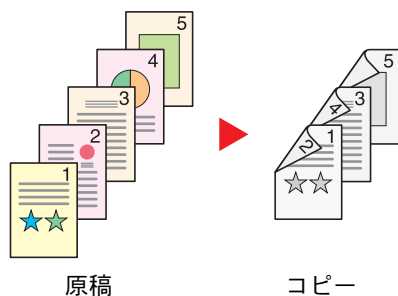
ボックス
からの印刷

USBメモリー
からの印刷

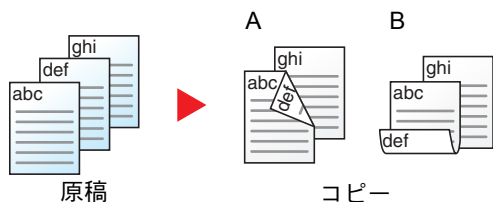
用紙の両面に印刷できます。

両面/分割には次の方法があります。

片面→両面



片面原稿を両面コピーします。原稿が奇数枚のときは、最終ページのうら面が白紙になります。



とじ方法は次の2とおりです。

- A 原稿左/右とじ→仕上がり左/右とじ:うら面のコピーをおもて面と同じ方向でコピーします。
- B 原稿左/右とじ→仕上がり上とじ:うら面のコピーをおもて面に対して180°回転させてコピーします。仕上がったコピーを上でとじると、各見開きのページが同じ方向になります。

両面→片面

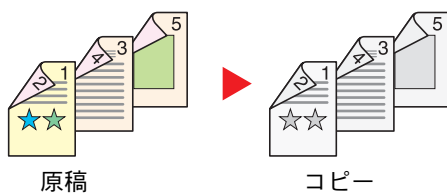


両面原稿を1ページずつ片面コピーします。

とじ方法は次の2とおりです。

- 左/右とじ:うら面のコピーをおもて面と同じ方向でコピーします。
- 上とじ:うら面のコピーをおもて面に対して180°回転させてコピーします。

両面→両面



両面原稿を両面コピーします。

参考

両面→両面に使用できる用紙サイズはA4、B5、A5、Folio、Legal、Letter、Statement、Oficio II、Executive、216 × 340 mm、Envelope C5、16Kです。

コピー時

片面原稿を両面に印刷したり、両面原稿を片面に印刷します。原稿および仕上がりのとじ方向を指定してください。

設定項目		設定値	説明
片面→片面		—	この機能を設定しません。
片面→両面		—	初期値の設定でコピーします。初期値の設定については、 8-16ページの機能初期値 を参照してください。
両面→片面		—	
両面→両面		—	
その他	両面/分割	片面→片面、 片面→両面、 両面→片面、 両面→両面	両面/分割の設定を選択します。
	原稿とじ方向*1	左/右とじ、上とじ	原稿のとじ方向を設定します。
	仕上がりとのじ方向*2	左/右とじ、上とじ	仕上がりとのじ方向を設定します。
	原稿セット向き	上辺を奥向き、 上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

*1 「両面/分割」で[両面→片面]、[両面→両面]を設定したときに表示されます。



*2 「両面/分割」で[片面→両面]、[両面→両面]を設定したときに表示されます。

原稿ガラスに原稿をセットしたときは、次の原稿に入れ替えて[スタート]キーを押してください。

次の原稿がなければ、[読み込み終了]を押してください。コピーが開始されます。

印刷時

文書を片面に印刷したり両面に印刷したりします。

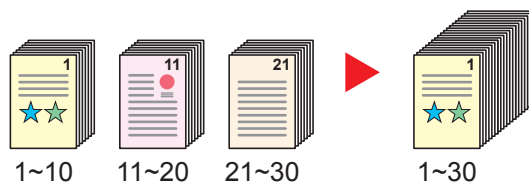
設定項目	説明
片面	この機能を設定しません。
 両面	用紙を左/右でとじたときに正しい向きになるように両面印刷します。
 両面	用紙を上でとじたときに正しい向きになるように両面印刷します。

連続読み込み



原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。[読み込み終了]を押すまで、原稿を読み込みます。

(設定値: [設定しない]/[設定する])



ジョブ終了通知



ジョブが終了したことをメールで通知します。

離れた席にいてもジョブの終了を知ることができるため、終わるまで本機の近くで待機する必要がありません。

ジョブ終了通知の例

To:	h_pttr@owl-net.net
Subject:	1234 Job end report mail
Job No.:	000002
Result:	OK
End Time:	Sat 02 Feb 2013 10:10:10
File Name:	doc27042005145608
Job Type:	Copy
1234	
[00:c0:ee:d0:01:14]	

参考

あらかじめパソコンで、メールを使用できるようにしてください。詳細は、[2-33ページのCommand Center RXについて](#)を参照してください。

メールを送る宛先は1件です。

設定項目	説明
設定しない	この機能を設定しません。
設定する	宛先のリストが表示されます。
	宛先の追加 [+]を押すと宛先を追加できます。 <ul style="list-style-type: none"> • アドレス帳: アドレス帳画面が表示されるので、通知先を選択し、[OK]を押します。 • 拡張アドレス帳^{*1}: 拡張アドレス帳から通知先を選択します。 • アドレス入力: 通知先を直接入力します。メールアドレスを128文字以内で入力し、[OK]を押します。 • 自分のアドレス^{*2}: ログインしているユーザーのメールアドレスに通知します。
	宛先の確認 [🔍]を押すと、宛先の詳しい情報が参照できます。
	宛先の削除 [🗑️]を押すと、宛先を削除します。

*1 拡張アドレス帳については、Command Center RX操作説明書を参照してください。

*2 ユーザー管理を行っているときに表示されます。

文書名入力



文書に名前を付けます。ジョブ番号、日時の付加情報も設定できます。ここで付けた名前、日時、ジョブ番号を使用して、ジョブの履歴やステータスの確認ができます。

文書名を32文字以内で入力し、[次へ]を押してください。

日時を付加する場合は[日時]を、ジョブ番号を付加する場合は[ジョブ番号]を押してください。両方付加する場合は[ジョブ番号 & 日時]または[日時 & ジョブ番号]を押してください。

優先印刷



印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。優先した印刷ジョブが終了すると、中断していたジョブの印刷を再開します。

(設定値: [設定しない]/[設定する])

参考

- 印刷中の文書が優先印刷の場合は、中断できません。
- 印刷中のジョブの状況やメモリーの使用状況によっては、優先印刷が実行できない場合があります。

静音モード



本機の動作音を抑えることができます。動作音が気になる場合は設定してください。

コピーや送信など、各機能で静音モードを使用する設定ができます。

(設定値: [設定しない]/[設定する])

参考

- 静音モード時は、通常よりも処理スピードが遅くなります。
- [8-39ページのジョブごとの設定](#)で[設定しない]に設定している場合は、使用できません。

両面/分割・両面(両面原稿)



原稿に合わせて、原稿の種類ととじ方向を選択します。

設定項目		設定値	説明
片面		—	この機能を設定しません。
両面		—	左/右とじの両面原稿を設定します。
その他	両面	片面、 両面(とじ方向左/右とじ)、 両面(とじ方向上とじ)	原稿の種類を選択します。
	原稿セット向き ^{*1}	上辺を奥向き、 上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

*1 「両面」で[両面(とじ方向左/右とじ)]、[両面(とじ方向上とじ)]を設定したときに表示されます。

サンプルイメージ

設定値		イメージ
両面	とじ方向左/右とじ	
	とじ方向上とじ	

送信サイズ

送信

送信する画像のサイズを選択します。

[原稿サイズと同じ]、[A系/B系]、[インチ系]または[その他]を押して、送信サイズを選択してください。

設定項目	設定値	説明
原稿サイズと同じ	—	原稿と同じ送信サイズが自動的に選択されます。
A系/B系	A4、A5、A6、B5、B6、Folio、216 × 340 mm	A系/B系の定形サイズから選択します。
インチ系	Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II	インチ系の定形サイズから選択します。
その他	16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム	特殊な定形サイズから選択します。

原稿サイズ、送信サイズ、縮小/拡大の関係について

[原稿サイズ \(6-8ページ\)](#)、送信サイズ、[縮小/拡大 \(6-14ページ\)](#)は関連があります。次の表を参考にしてください。

原稿サイズと送信するサイズが	同じとき	違うとき
原稿サイズ (6-8ページ)	必要に応じて設定	必要に応じて設定
送信サイズ	[原稿サイズと同じ]を選択	送信したいサイズを選択
縮小/拡大 (6-14ページ)	[100%] (または[自動])を選択	[自動]を選択

参考

原稿サイズと異なる送信サイズを選択し、縮小/拡大を[100%]にすると、画像は等倍で送信されます(縮小/拡大は行われません)。

ファイル形式

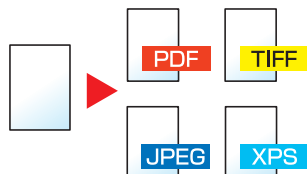


画像のファイル形式を設定します。画質のレベルを調整することもできます。

ファイル形式を[PDF]、[TIFF]、[JPEG]、[XPS]または[高圧縮PDF]から選択してください。

読み込み時のカラーモードを、グレースケールまたはフルカラーに選択している場合は、画質を設定してください。

[PDF]または[高圧縮PDF]を選択した場合は、暗号化やPDF/Aの設定を行うことができます。



設定項目		設定値	説明
PDF		—	選択したファイル形式を設定します。 画質、PDF/Aの設定は初期値になります。初期値の設定については、 8-16ページの機能初期値 を参照してください。
高圧縮PDF		—	
TIFF		—	
JPEG		—	
XPS		—	
その他	ファイル形式	PDF、高圧縮PDF、TIFF、JPEG、XPS	ファイル形式を選択します。
	画質 ^{*1}	圧縮率優先、標準、画質優先	高圧縮PDFの画質を選択します。
	画質 ^{*2}	1 低画質(高圧縮)～5 高画質(低圧縮)	画質のレベルを調整します。
	PDF/A ^{*3}	設定しない、PDF/A-1a、PDF/A-1b	PDFのファイル形式を選択します。
	暗号化	—	PDF暗号化機能を使用することができます。詳しくは、 6-25ページのPDF暗号化機能 を参照してください。

*1 「ファイル形式」で[高圧縮PDF]を設定したときに表示されます。

*2 「ファイル形式」で[高圧縮PDF]以外を設定したときに表示されます。

*3 「ファイル形式」で[PDF]または[高圧縮PDF]を設定したときに表示されます。

参考

暗号化が設定されている場合は、PDF/Aの設定を行うことができません。

PDF暗号化機能

ファイル形式でPDFまたは高圧縮PDFを選択した場合、パスワードによるセキュリティーを使用し、PDFの表示、印刷および編集に対して、制限を追加することができます。

[その他]から[ファイル形式]で[PDF]または[高圧縮PDF]を選択し、[暗号化]を押します。

[互換性のある形式]で選択した設定値により、設定できる項目が変わります。

[Acrobat 3.0およびそれ以降、暗号化レベル: 中(40-bit)]を選択した場合

設定項目	設定値	説明
文書を開くパスワード	使用しない、使用する	PDFファイルを開くためのパスワードを入力します。 [使用する]を押して、パスワード(最高256文字まで)を入力し、[次へ]を押します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[OK]を押します。
文書編集/印刷のパスワード	使用しない、使用する	PDFファイルを編集するためのパスワードを入力します。 [使用する]を押して、パスワード(最高256文字まで)を入力し、[次へ]を押します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[次へ]を押します。 文書編集/印刷のパスワードを入力すると、具体的な操作の制限ができます。
印刷を許可	許可しない、許可する	PDFファイルの印刷を制限します。
変更を許可	許可しない	PDFファイルが変更できなくなります。
	注釈の追加	注釈の追加のみできます。
	ページの抽出を除くページレイアウトの変更	PDFファイルのページを抽出する以外の、ページレイアウトの変更ができます。
	ページの抽出を除くすべての操作	PDFファイルのページを抽出する以外の、すべての操作ができます。
画像及び、その他の内容のコピー	無効にする、有効にする	PDFファイル上のテキストやオブジェクトのコピーを制限します。

[Acrobat 5.0およびそれ以降、暗号化レベル: 高(128-bit)]を選択した場合

設定項目	設定値	説明
文書を開くパスワード	使用しない、使用する	PDFファイルを開くためのパスワードを入力します。 [使用する]を押して、パスワード(最高256文字まで)を入力し、[次へ]を押します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[OK]を押します。
文書編集/印刷のパスワード	使用しない、使用する	PDFファイルを編集するためのパスワードを入力します。 [使用する]を押して、パスワード(最高256文字まで)を入力し、[次へ]を押します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[次へ]を押します。 文書編集/印刷のパスワードを入力すると、具体的な操作の制限ができます。
印刷を許可	許可しない	PDFファイルが印刷できなくなります。
	許可する(低解像度のみ)	PDFファイルを低解像度でのみ印刷できます。
	許可する	PDFファイルを本来の解像度で印刷できます。
変更を許可	許可しない	PDFファイルが変更できなくなります。
	ページの挿入、削除、回転	PDFファイルのページの挿入、ページの削除、およびページの回転のみができます。
	注釈の追加	注釈の追加のみができます。
	ページの抽出を除くすべての操作	PDFファイルのページを抽出する以外の、すべての操作ができます。
画像及び、その他の内容のコピー	無効にする、有効にする	PDFファイル上のテキストやオブジェクトのコピーを制限します。

ファイル分割

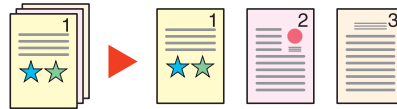
送信

USBメモリー
への保存

読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファイルを作成し、送信できます。

(設定値: [設定しない]/[ページごと])

[ページごと]を押すと、ファイル分割が設定されます。



参考

ファイル名の最後には、「xxx_001.pdf, xxx_002.pdf」のような3桁の通し番号が付きます。

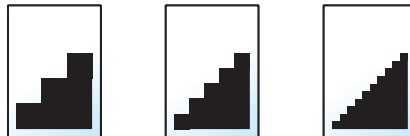
読み込み解像度、解像度

送信

USBメモリー
への保存

画像の細かさを設定します。

選択できる解像度は、[600 × 600 dpi]、[400 × 400 dpiウルトラ]、[300 × 300 dpi]、[200 × 400 dpiスーパー]、[200 × 200 dpiファイン]または[200 × 100 dpiノーマル]です。



参考

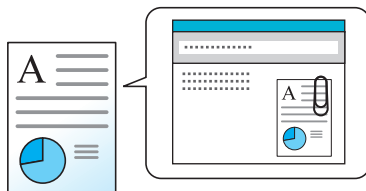
数値が大きいほど、きめが細かくなりますが、ファイルサイズが大きくなり、処理時間が長くなります。

メール件名/本文

送信

メールで文書を送信する際、件名と本文を付けます。

「件名」の欄を押して件名の入力を、「本文」の欄を押して本文の入力をしてください。



参考

件名は60文字、本文は500文字まで入力できます。

FTP暗号送信

送信

FTPで送信する際に画像を暗号化します。暗号化することで第三者に文書を見られることを防ぎます。

(設定値: [設定しない]/[設定する])

参考

管理者の権限でログインする必要があります。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

Command Center RXで[セキュリティ設定]→[ネットワークセキュリティ]の順にクリックしてください。セキュアプロトコル設定の「SSL」の設定が「オン」になっていることと、クライアント機能時の設定で有効な暗号方式が1つ以上選択されていることを確認してください。

詳細はCommand Center RX操作説明書を参照してください。

印刷後削除

ボックス からの印刷

印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。

(設定値: [設定しない]/[設定する])

保存サイズ



保存する画像のサイズを選択します。

[原稿サイズと同じ]、[A系/B系]、[インチ系]または[その他]を押して、送信サイズを選択してください。

設定項目	設定値	説明
原稿サイズと同じ	—	原稿と同じ保存サイズが自動的に選択されます。
A系/B系	A4、A5、A6、B5、B6、Folio、216 × 340 mm	A系/B系の定形サイズから選択します。
インチ系	Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II	インチ系の定形サイズから選択します。
その他	16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号	特殊な定形サイズから選択します。

原稿サイズ、保存サイズ、縮小/拡大の関係について

[原稿サイズ \(6-8ページ\)](#)、[保存サイズ](#)、[縮小/拡大 \(6-14ページ\)](#)は関連があります。次の表を参考にしてください。

原稿サイズと保存するサイズが	同じとき	違うとき
原稿サイズ (6-8ページ)	必要に応じて設定	必要に応じて設定
保存サイズ	[原稿サイズと同じ]を選択	保存したいサイズを選択
縮小/拡大 (6-14ページ)	[100%] (または[自動])を選択	[自動]を選択



参考

原稿サイズと異なる保存サイズを選択し、縮小/拡大を[100%]にすると、画像は等倍で保存されます(縮小/拡大は行われません)。

暗号化PDFパスワード



あらかじめ指定したパスワードを入力し、PDFを印刷します。

パスワードを入力し、[OK]を押してください。



参考

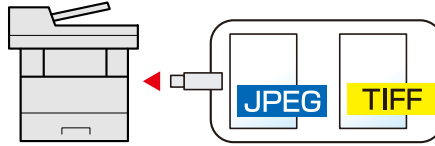
パスワードの入力については、[11-12ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

JPEG/TIFF印刷方法

USBメモリー
からの印刷

JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像サイズを設定します。

[用紙サイズ]、[画像解像度]または[印刷解像度]を選択してください。



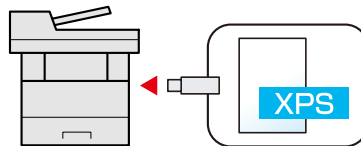
設定項目	説明
用紙サイズ	選択した用紙サイズに合わせて印刷します。
画像解像度	画像解像度のままで印刷します。
印刷解像度	印刷解像度に合わせて印刷します。

XPS印刷サイズ調整

USBメモリー
からの印刷

XPSファイルを用紙サイズに合わせて印刷します。

(設定値: [設定しない]/[設定する])



7 ジョブ/消耗品/デバイスを管理する

この章では、次の項目について説明します。

ジョブの状況確認	7-2
状況確認画面の内容	7-4
ジョブの詳細情報を確認する	7-8
ジョブの履歴を確認する	7-9
ジョブ履歴の詳細情報を確認する	7-11
ジョブ履歴を送信する	7-11
ジョブの操作	7-12
ジョブの一時停止と再開	7-12
ジョブのキャンセル	7-12
デバイスの状態確認(デバイス/通信)	7-13
トナーや用紙の残量確認(用紙/消耗品)	7-15

ジョブの状況確認

実行中または待機中のジョブの状況を確認できます。

確認できる状況の種類

実行中/待機中のジョブの状況は、印刷ジョブ、送信ジョブ、保存ジョブ、予約ジョブの4種類の画面に分けてタッチパネルに表示されます。

各画面で表示されるジョブは次のとおりです。

状況確認画面	表示されるジョブ
印刷ジョブ	<ul style="list-style-type: none"> • コピー印刷 • プリンター印刷 • ファクス受信印刷 • メール受信印刷 • 文書ボックスからの印刷 • 外部メディアのデータ印刷 • アプリケーション印刷 • レポート/リスト印刷
送信ジョブ	<ul style="list-style-type: none"> • ファクス送信 • メール送信 • フォルダー送信 • アプリケーション送信 • 複合送信
保存ジョブ	<ul style="list-style-type: none"> • スキャン保存 • ファクス保存 • プリンター保存
予約ジョブ	<ul style="list-style-type: none"> • タイマー送信で待機中のファクス送信ジョブ

状況確認画面の表示

1 画面を表示する

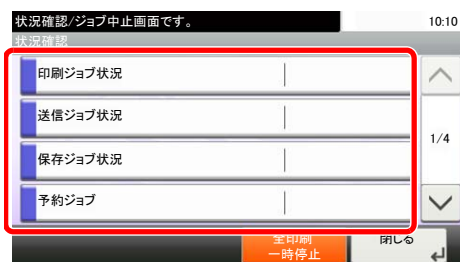
[状況確認/ジョブ中止]キーを押します。


状況確認 /
ジョブ中止



2 確認したいジョブを選択する

[印刷ジョブ状況]、[送信ジョブ状況]、[保存ジョブ状況]、[予約ジョブ]から確認するジョブを選択します。



-  [印刷ジョブ状況画面 \(7-4ページ\)](#)
- [送信ジョブ状況画面 \(7-5ページ\)](#)
- [保存ジョブ状況画面 \(7-6ページ\)](#)
- [予約ジョブ画面 \(7-7ページ\)](#)










状況確認画面の内容

参考

すべてのユーザーのジョブ状況を表示したり、自分だけのジョブ状況を表示したりすることができます。詳しくは、[8-19ページの状況/履歴の表示](#)を参照してください。また、この設定は、Command Center RXからも変更できます。詳しくは、Command Center RX操作説明書を参照してください。







印刷ジョブ状況画面



番号	項目	説明
1	番号	ジョブの受付番号
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン  コピー印刷  プリンター印刷  文書ボックスからの印刷  ファクス受信印刷  メール受信印刷  外部メディアのデータ印刷  アプリケーション印刷  レポート/リスト印刷
3	ジョブ名	ジョブ名またはファイル名が表示されます。
4	[]	詳細情報を表示したいジョブのキーを押してください(7-8ページのジョブの詳細情報を確認する を参照)。
5	状況	ジョブの状態を示します。 (印刷枚数)/(合計枚数):印刷中 処理中:印刷を開始する前の状態 待機中:印刷待機中 一時停止:印刷の一時停止やエラーにより印刷を一時停止 中止中:ジョブのキャンセル中
6	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。
7	[全印刷一時停止]	印刷中のジョブを一時停止します。もう一度押すと印刷が再開されます。





送信ジョブ状況画面



番号	項目	説明
1	番号	ジョブの受付番号
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン  ファクス送信  メール送信  フォルダ (SMB/FTP) 送信  アプリケーション送信  複合送信
3	ジョブ名	ジョブ名またはファイル名が表示されます。
4	[]	詳細情報を表示したいジョブのキーを押してください(7-8ページのジョブの詳細情報を確認する を参照)。
5	状況	ジョブの状態 処理中:原稿の読み込み中など、送信を開始する前の状態 送信中:送信中 待機中:送信待機中 中止中:ジョブのキャンセル中 一時停止:ジョブの一時停止中
6	[メニュー]	このキーを押すと、「優先送信」が表示されます。ファクスジョブを優先して送信できます。 すぐに送信したいファクスジョブを一覧で選択して、[メニュー] → [優先送信]の順に押してください。
7	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。



保存ジョブ状況画面



番号	項目	説明
1	番号	ジョブの受付番号
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン  スキャン保存  プリンター保存  ファクス保存
3	ジョブ名	ジョブ名またはファイル名が表示されます。
4	[]	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください(7-8ページのジョブの詳細情報を確認するを参照)。
5	状況	ジョブの状態 処理中:原稿の読み込み中など、保存を開始する前の状態 保存中:データ保存中 中止中:ジョブのキャンセル中 一時停止:ジョブの一時停止中
6	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。

予約ジョブ画面



番号	項目	説明
1	番号	ジョブの受付番号
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン  ファクス保存
3	宛先	送信先(宛先名/ファクス番号/同報件数のいずれか)
4	[]	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください(7-8ページのジョブの詳細情報を確認するを参照)。
5	開始時刻	このジョブを開始する時間
6	[メニュー]	このキーを押すと、[今すぐ開始]が表示されます。 すぐに送信したいジョブを一覧で選択して、[メニュー]→[今すぐ開始]の順に押してください。
7	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。

ジョブの詳細情報を確認する

各ジョブの詳細情報を確認できます。

参考

ユーザー権限でログインしている場合は、ログインしているユーザーのジョブのみ確認できます。管理者の権限でログインしている場合は、すべてのジョブを確認できます。

1 画面を表示する

7-4ページの状況確認画面の内容を参照して画面を表示します。



2 確認する

- 1 詳細を確認したいジョブの[]を押します。



詳細情報が表示されます。



[]または[]を押して、次/前のページの情報を確認できます。白い項目を選択するとさらに詳細情報を確認できます。



送信ジョブでは、「状況/宛先」を押して、送信先を確認できます。

- 2 確認が終了したら、[終了]を押します。

ジョブの履歴を確認する

終了したジョブの履歴を確認できます。

参考

- ジョブ履歴はパソコンからCommand Center RXまたはKYOCERA Net Viewerを使って確認することもできます。詳しくは、Command Center RX操作説明書またはKYOCERA Net Viewer操作手順書を参照してください。
- すべてのユーザーのジョブ状況を表示したり、自分だけのジョブ状況を表示したりすることができます。詳しくは、[8-19ページの状況/履歴の表示](#)を参照してください。また、この設定は、Command Center RXからも変更できます。詳しくは、Command Center RX操作説明書を参照してください。

確認できるジョブ履歴の種類

ジョブの履歴は、印刷ジョブ、送信ジョブ、保存ジョブの3種類の履歴画面に分けて表示されます。各画面で確認できるジョブ履歴は次のとおりです。

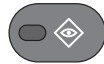
履歴画面	表示されるジョブ履歴
印刷ジョブ	<ul style="list-style-type: none"> • コピー印刷 • プリンター印刷 • ファクス受信印刷 • メール受信印刷 • 文書ボックスからの印刷 • レポート/リスト印刷 • 外部メディアのデータ印刷 • アプリケーション印刷
送信ジョブ	<ul style="list-style-type: none"> • ファクス送信 • メール送信 • フォルダー送信 • アプリケーション送信 • 複合送信
保存ジョブ	<ul style="list-style-type: none"> • スキャン保存 • ファクス保存 • プリンター保存

ジョブ履歴画面の表示

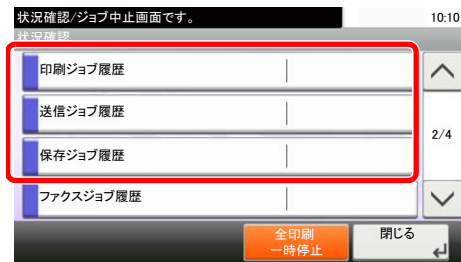
1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを押します。

状況確認 /
ジョブ中止



2 [∨]を押して、確認したいジョブを選択する



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

ジョブ履歴の詳細情報を確認する

各ジョブ履歴の詳細情報を確認することができます。

1 画面を表示する

[7-10ページのジョブ履歴画面の表示](#)を参照して画面を表示します。

2 確認する



1 確認するジョブの[]を押します。



選択したジョブの詳細情報が表示されます。



参考

[]または[]を押して、次/前のページの情報を確認できます。

2 確認が終了したら、[閉じる]を押します。

ジョブ履歴を送信する

ジョブ履歴をメールで送信することができます。必要なときに手動で送信したり、件数を設定して定期的に自動送信することもできます。詳しくは、[8-8ページの履歴送信](#)を参照してください。

ジョブの操作

ジョブの一時停止と再開

印刷中/待機中のすべての印刷ジョブを一時停止/再開することができます。

1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを押します。

状況確認 /
ジョブ中止



2 印刷ジョブ状況確認画面の[全印刷一時停止]を押す

印刷が一時停止します。



一時停止中のジョブの印刷を再開するときは、[全印刷再開]を押します。

ジョブのキャンセル

印刷中/待機中のすべての印刷ジョブを中止することができます。

1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを押します。

状況確認 /
ジョブ中止



2 キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、[中止]を押す



3 確認画面で[はい]を押す

デバイスの状態確認(デバイス/通信)

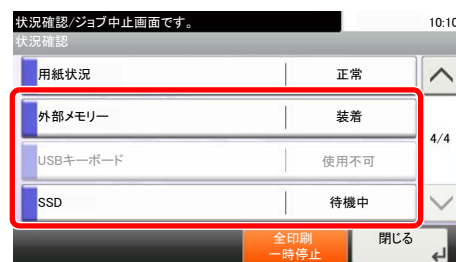
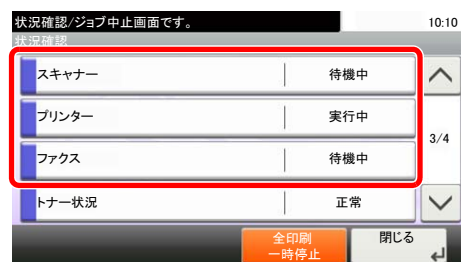
本機を構成するデバイスや本機に接続されている機器/回線の状態を確認できます。

1 画面を表示する

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを押します。



- 2 確認する項目を選択します。



デバイスの状態を確認または、操作するための画面が表示されます。

2 確認する

確認できる項目は、次のとおりです。

「スキャナー」

原稿読み込み状態やエラー情報(紙づまり、カバー開など)が表示されます。

「プリンター」

紙づまりやトナー切れ、用紙切れなどのエラー情報や、待機中、印刷中などの状態が表示されます。

「ファクス」

- 送/受信中やダイヤル中などの情報が表示されます。
 - [回線を切る]を押すと、送/受信中のファクスを中止することができます。
- 詳しくは、ファクス使用説明書を参照してください。

「外部メモリー(USBメモリー)」

- 本機に接続した外部メディアの使用量/全容量が表示されます。
- [メニュー]→[フォーマット]の順に押すと、外部メディアをフォーマットできます。



重要

[フォーマット]を押すと外部メディアの中のデータがすべて消去されます。

- [メモリーの取り外し]を押すと、外部メディアを安全に取り外すことができます。

「USBキーボード」

USBキーボードの状態が表示されます。

「SSD」

オプションのSSDの状態が表示されます。

「接続の状態」

オプションのワイヤレスインターフェイスキットの接続状態が表示されます。

トナーや用紙の残量確認(用紙/消耗品)

タッチパネルで、トナーや用紙の有無を確認できます。

1 画面を表示する

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを押します。

状況確認 /
ジョブ中止



- 2 [✓]→[トナー状況]または[用紙状況]の順に押します。



2 確認する

確認できる項目は、次のとおりです。

「トナー状況」

- ブラック
トナー残量が100～0% (1%単位) で表示されます。
- 廃棄ボックス
廃棄トナーボックスの状態が確認できます。

「用紙状況」

給紙元の用紙のサイズと向き、種類、残量が確認できます。用紙残量は100、70、30、0%の4段階で表示されます。手差しトレイの用紙残量は、100% (あり)、0% (なし) の2段階で表示されま

す。
用紙の残量が検知できない場合、「----」と表示されます。

8 システムメニュー

この章では、次の項目について説明します。

本機の初期設定(システムメニュー)	8-2
操作方法	8-2
システムメニューの項目	8-4
言語選択	8-6
レポート	8-6
ユーザー情報	8-9
カセット/手差しトレイ設定	8-9
共通設定	8-11
ホーム	8-20
コピー	8-20
送信	8-21
文書ボックス	8-22
ファクス	8-22
アプリケーション	8-23
インターネット	8-23
アドレス帳/ワンタッチ	8-23
ユーザー/部門管理	8-24
プリンター	8-25
システム/ネットワーク	8-27
日付/タイマー/節電	8-37
調整/メンテナンス	8-39

本機の初期設定(システムメニュー)

本機の動作全般に関わる設定を行います。

操作方法

システムメニューの操作方法是、次のとおりです。

1 画面を表示する

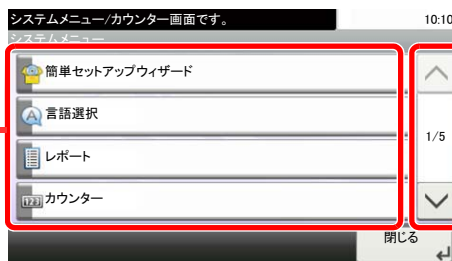
[システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



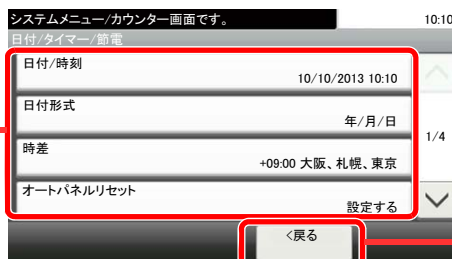
2 機能を選択する

システムメニューの
項目を表示します。



画面をスクロールして、
表示されていない項目を
表示します。

設定項目を表示しま
す。
各項目のキーを押し
て設定画面を表示し
ます。

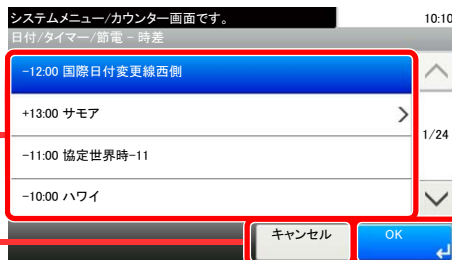


前の画面に戻ります。

3 設定する

設定項目を選択する
と、設定が確定しま
す。

設定を変更せずに前
の画面に戻ります。



設定を確定して終了しま
す。



参考

- 管理者権限が必要な機能を設定する場合、管理者の権限でログインする必要があります。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 機能初期値を変更した場合、各機能の画面で[リセット]キーを押すと設定がすぐに切り替わります。

次の[システムメニューの項目](#)を参照して、必要な設定を行ってください。

システムメニューの項目


ここでは、システムメニューで設定できる機能を説明しています。システムメニューの項目を押して、さらに設定項目を押すと、設定を行うことができます。詳細については、次の表を参照してください。

システムメニューの項目	説明	参照ページ
簡単セットアップウィザード	ウィザード形式でファクス、カセット、省エネ、ネットワークの設定を行います。	2-16ページ
言語選択	タッチパネルに表示される言語を設定します。	8-6ページ
レポート	本機の設定や状態、履歴を確認するための各種レポートを印刷したり、印刷のしかたを設定することができます。	8-6ページ
レポート印刷	各種レポート、履歴の印刷設定を行います。	8-6ページ
管理レポート設定		ファクス使用 説明書参照
結果通知設定		8-8ページ
履歴送信		8-8ページ
カウンター	印刷ページ数および読み込みページ数を参照します。	2-30ページ
ユーザー情報	ログインしたユーザーに関する情報の確認や変更を行います。	8-9ページ
カセット/手差しトレイ設定	カセットと手差しトレイの用紙サイズ・用紙種類について設定します。	8-9ページ
カセット1(～5)	カセット1(～5)で使用する用紙の設定を行います。	8-9ページ
手差しトレイ	手差しトレイで使用する用紙の設定を行います。	8-10ページ
共通設定	本機全般について設定します。	8-11ページ
初期画面	電源を入れて最初に表示される画面(初期画面)を選択します。	8-11ページ
音設定	本機の操作中に鳴る報知音について設定します。	8-11ページ
原稿設定	原稿に関する設定を行います。	8-12ページ
用紙設定	用紙に関する設定を行います。	8-13ページ
機能初期値	電源を入れてウォームアップが終了した後や[リセット]キーを押した後に、自動的に設定される内容を初期値と呼びます。 ここでは、コピー機能や送信機能など、本機で使用できる機能の初期値を設定することができます。よく使用する設定を初期値にしておけば、使用するたびに設定し直す必要がなく便利です。	8-16ページ
部数制限	1回でコピーできる部数を制限することができます。	8-17ページ
エラー処理設定	エラーが発生したときに印刷を停止するか、続行するかを設定します。	8-18ページ
入力長さ単位	用紙サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから選択できます。	8-18ページ
トナー残量少の通知レベル	トナーが残り少なくなったときに、トナーを発注するタイミングを管理者に通知するトナー残量を設定します。	8-18ページ
キーボード入力方式	名前などを入力するときに表示されるキーボードの文字入力方式の初期値を設定します。	8-19ページ
SSDフォーマット	SSDをフォーマットします。	8-19ページ
SDカードフォーマット	SDカードをフォーマットします。	8-19ページ
状況/履歴の表示	状況/履歴の表示を設定します。	8-19ページ
機能キーの使用	操作パネルの[コピー]キー、[送信]キー、[ファクス]キーのそれぞれを有効にするかどうかを設定します。	8-20ページ
ホーム	ホーム画面の設定を行います。	3-4ページ

システムメニューの項目	説明	参照ページ
コピー	コピー機能に関する設定を行います。	8-20ページ
送信	送信機能に関する設定を行います。	8-21ページ
文書ボックス	ユーザーボックスやジョブボックス、Fコードボックス、ポーリングボックスに関する設定を行います。Fコードボックス、ポーリングボックスの詳細は、ファクス使用説明書を参照してください。	8-22ページ
ファクス	ファクス機能に関する設定を行います。詳細は、ファクス使用説明書を参照してください。	—
アプリケーション	本機にインストールされているアプリケーションの設定を行います。	8-23ページ
インターネット	アプリケーションからインターネットへ接続するときのプロキシを設定します。	8-23ページ
アドレス帳/ワンタッチ	アドレス帳とワンタッチキーの設定を行います。アドレス帳の詳細は 3-35ページのアドレス帳の登録 、ワンタッチキーの詳細は 3-42ページのワンタッチキーの登録(ワンタッチキー) を参照してください。	8-23ページ
ユーザー/部門管理	本機の管理に関する設定を行います。ユーザー管理の詳細は 9-3ページのユーザー管理を有効にする 、部門管理の詳細は 9-32ページの部門管理を有効にする を参照してください。	—
プリンター	パソコンから印刷する場合、各種の設定は通常、アプリケーションソフトの画面で行います。ここで説明するプリンター設定は、使用する環境に合わせて初期設定を変更するときに行ってください。	8-25ページ
システム/ネットワーク	本機のシステムについて設定します。	8-27ページ
ネットワーク	ネットワークに関する設定を行います。	8-27ページ
オプションネットワーク	オプションのネットワークインターフェイスキットまたはワイヤレスインターフェイスキットの設定を行います。	8-32ページ
送信機能のネットワーク	送信機能、ネットワーク認証および拡張アドレス帳の接続時に使用するネットワークカードを設定します。	8-34ページ
インターフェイスブロック設定	USB ホストやオプションインターフェイスなど、外部機器とのインターフェイスをブロックして、本機を保護することができます。	8-34ページ
セキュリティレベル	セキュリティレベルの設定は、主にサービス担当者がメンテナンスするために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。	—
再起動	電源スイッチを切ることなく、CPUを再起動することができます。本機の動作が不安定なときなどに実行してください(パソコンの再起動と同様です)。	8-35ページ
RAMディスク設定	RAMディスクを作成し、その容量を設定します。	8-35ページ
オプションメモリー使用量	オプションのメモリーを装着しているときに、用途に応じてメモリーの配分パターンを選択します。	8-36ページ
データセキュリティ	オプションのSSDやメモリーに保存されているデータに関する設定を行います。	8-36ページ
オプション機能	本機にインストールされているアプリケーションの起動を行います。	8-37ページ
日付/タイマー/節電	日付や時間、節電に関する設定を行います。	8-37ページ
調整/メンテナンス	印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。	8-39ページ

言語選択

システムメニュー / カウンター



▶ 言語選択


項目	説明
言語選択	タッチパネルに表示される言語を設定します。

レポート

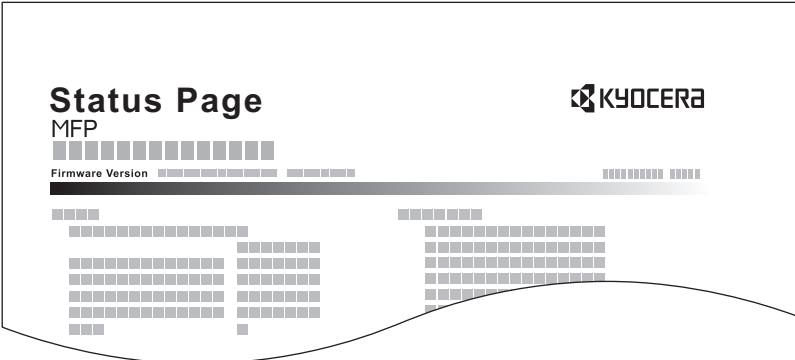
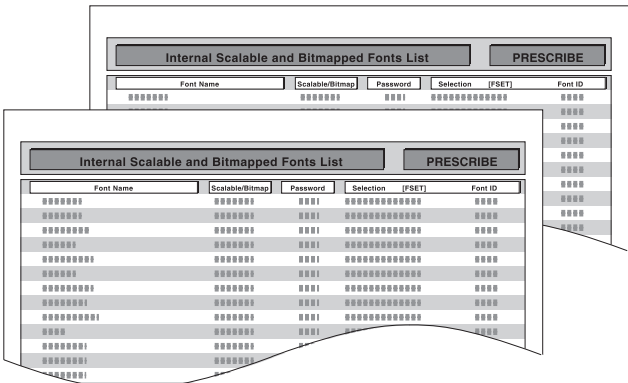
本機の設定や状態を確認するため、各種レポートを印刷します。また、送信結果レポートの印刷のしかたを選択できます。

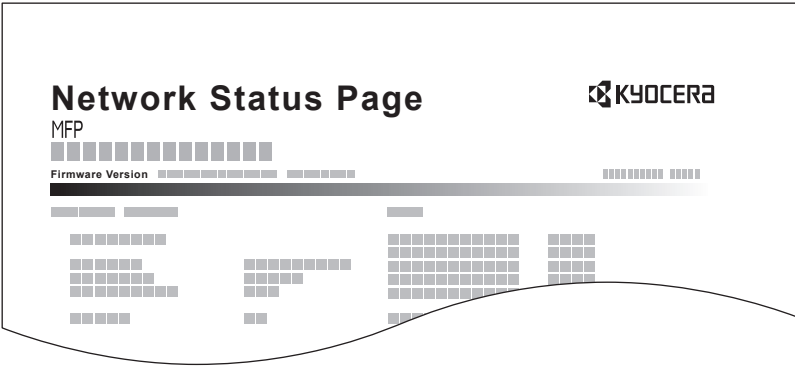

レポート印刷

システムメニュー / カウンター





▶ レポート ▶ レポート印刷

項目	説明
ステータスページ	<p>ステータスページを印刷します。現在の設定内容、使用可能メモリー、装着されているオプション機器などの情報が確認できます。</p> 
フォントリスト	<p>フォントリストを印刷します。本機に搭載されているフォントをサンプルで確認できます。</p> 

項目	説明
ネットワークステータス	<p>ネットワークステータスページを印刷します。ネットワークインターフェイスのファームウェアバージョンやネットワークアドレス、ネットワークプロトコルなどの情報が確認できます。</p> 
サービスステータスページ	<p>サービスステータスページを印刷します。ステータスページよりも詳細な情報が確認できます。サービス担当者がメンテナンスの際に印刷するのが主な用途です。</p>
部門管理レポート	<p>部門管理レポートを印刷します。部門管理を実行している際に、全部門で集計されたページ数を確認できます。</p>
Fコードボックスリスト	<p>ファクス機能に関するレポートを印刷します。詳細はファクス使用説明書を参照してください。</p>
ファクスリスト(見出し)	
ファクスリスト(番号)	
ファクス発信レポート	
ファクス着信レポート	
オプションネットワークステータス	<p>オプションネットワークステータスページを印刷します。オプションネットワークインターフェイスのファームウェアバージョンやネットワークアドレス、ネットワークプロトコルなどの情報が確認できます。</p> <p> 参考</p> <p>この機能は、オプションのネットワークインターフェイスキットまたはワイヤレスインターフェイスキットを装着している場合にのみ表示されます。</p>

管理レポート設定

システムメニュー / カウンター  レポート  管理レポート設定

ファクス機能に関する設定を行います。詳細は、ファクス使用説明書を参照してください。

結果通知設定

システムメニュー/
カウンター

▶ レポート ▶ 結果通知設定


項目	説明
送信結果レポート	送信が終了したときに、送信結果レポートを自動的に印刷します。
メール/フォルダー	メール/フォルダーの送信結果をレポートで印刷します。 設定値: 設定しない、設定する、エラー時のみ
ファクス	詳細は、ファクス使用説明書を参照してください。
送信前の中止レポート*1	送信を開始する前のジョブを中止した場合にレポートを印刷します。 設定値: 設定しない、設定する
宛先の表示形式*1	送信結果レポートの宛先の表示形式を設定します。 設定値: 名前または宛先、名前と宛先
ファクス受信結果通知	詳細は、ファクス使用説明書を参照してください。
終了通知設定	ジョブ終了通知に画像を添付することができます。 設定値: 画像を添付しない、画像を添付する

*1 [メール/フォルダー]と[ファクス]がどちらも[設定しない]の場合は表示されません。

履歴送信

システムメニュー/
カウンター

▶ レポート ▶ 履歴送信

項目	説明
履歴送信	設定されている宛先にジョブ履歴を手動で送信します。宛先は 宛先 (8-8ページ) で設定します。
自動送信	ジョブ履歴が設定した件数になると、設定されている宛先にジョブ履歴を自動的に送信します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する]を選択した場合は、自動送信をするジョブ履歴の件数を設定してください。設定範囲は1~16件です。
宛先	ジョブ履歴を送信する宛先を設定します。設定できるアドレスはメールアドレスのみです。
ジョブ履歴件名	ジョブ履歴をメールで送信するときに、自動的に入力される件名を設定します。 設定値: 60 字以内
個人情報	履歴に個人情報を含めるかどうかを設定します。 設定値: 含める、含めない

ユーザー情報

システムメニュー/
カウンタ

▶ ユーザー情報

現在ログインしているユーザーの情報の参照と、一部の情報を変更します。

 [ユーザー管理を有効にする \(9-3ページ\)](#)

カセット/手差しトレイ設定

カセットと手差しトレイの用紙サイズ・用紙種類について設定します。

カセット1(～5)

システムメニュー/
カウンタ

▶ カセット/手差しトレイ設定 ▶ カセット1(～5)

カセット1～5の用紙サイズと用紙種類について設定します。

選択する項目		選択できるサイズ/種類
用紙サイズ ^{*1}	A系/B系	A系/B系の定形サイズから選択します。 設定値 カセット1: A4, A5, A6, B5, B6, Folio, 216 × 340 mm カセット2～5: A4, A5, B5, B6, Folio, 216 × 340 mm
	インチ系	インチ系の定形サイズから選択します。 設定値 : Letter, Legal, Statement, Executive, Oficio II
	その他	特殊な定形サイズ、カスタム用紙サイズから選択します。 設定値 : カセット1: 16K, ISO B5, Envelope DL ^{*2} , Envelope C5, 往復はがき ^{*2} , カスタム ^{*3} カセット2～5: 16K, ISO B5, Envelope #10, Envelope #9, Envelope #6, Envelope Monarch, Envelope DL, Envelope C5, 往復はがき, 洋形4号, 洋形2号, カスタム ^{*3}
用紙種類 ^{*4}		用紙種類を選択します。 設定値 カセット1: 普通紙 (60～105 g/m ²), 再生紙, プレプリント ^{*5} , ボンド紙, カラー紙, パンチ済み紙 ^{*5} , レターヘッド ^{*5} , 上質紙, カスタム1～8 カセット2～5: 普通紙 (60～105 g/m ²), 再生紙, プレプリント ^{*5} , ボンド紙, カラー紙, パンチ済み紙 ^{*5} , レターヘッド ^{*5} , 封筒, 上質紙, カスタム1～8

*1 カセットのサイズダイヤルを「Other」に合わせているときのみ設定します。

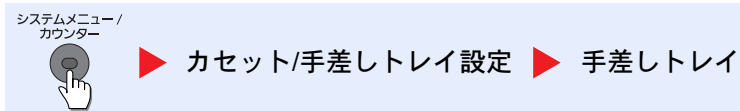
*2 ECOSYS M3550idnのみ設定できます。

*3 カスタム用紙サイズはカセット毎に設定します。[8-13ページのカスタム用紙サイズ登録](#)を参照してください。

*4 用紙種類を「普通紙」から変更する場合、[8-15ページの用紙種類の設定について](#)を参照してください。用紙種類の設定で、用紙の重さがカセットから給紙できない重さに設定されている場合、用紙種類は表示されません。

*5 プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは[8-14ページの特定用紙種類の動作設定](#)を参照してください。

手差しトレイ



手差しトレイの用紙サイズと用紙種類について設定します。

項目		説明
用紙サイズ	A系/B系	A系/B系の定形サイズから選択します。 設定値: A4、A5、A6、B5、B6、Folio、216 × 340 mm
	インチ系	インチ系の定形サイズから選択します。 設定値: Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II
	その他	特殊な定形サイズ、カスタム用紙サイズから選択します。 設定値: 16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム ^{*1}
用紙種類 ^{*2}		用紙種類を選択します。 設定値: 普通紙(60~105 g/m ²)、OHPフィルム、薄紙(60~63 g/m ²)、ラベル紙、再生紙、プレプリント ^{*3} 、ポンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙 ^{*3} 、レターヘッド ^{*3} 、封筒、厚紙(106~220 g/m ²)、上質紙、カスタム1~8

*1 カスタム用紙サイズについては、[8-13ページのカスタム用紙サイズ登録](#)を参照してください。

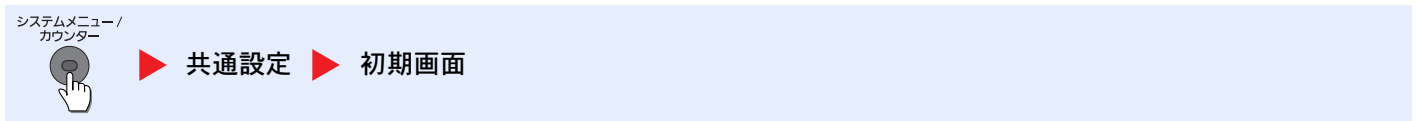
*2 用紙種類を「普通紙」から変更する場合、[8-14ページの用紙種類の設定](#)を参照してください。

*3 プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは[8-14ページの特定用紙種類の動作設定](#)を参照してください。

共通設定

本機全般について設定します。

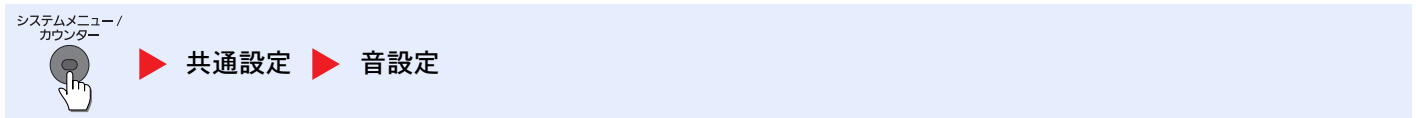
初期画面



項目	説明
初期画面	電源を入れて最初に表示される画面(初期画面)を選択します。 設定値: ホーム、コピー、送信、ファクス、ユーザーボックス、ジョブボックス、外部メモリー、Fコードボックス、ポーリングボックス、お気に入り、状況確認、アプリケーション名 ^{*1}

*1 起動しているアプリケーションが表示されます。詳しくは、[5-11ページのアプリケーション](#)を参照してください。

音設定



項目	説明
ブザー	本機の操作中に鳴るブザーについて設定します。
音量	ブザーの音量を設定します。 設定値: 0(消音)、1(小)、2、3(中)、4、5(大)
操作確認音	操作パネルやタッチパネルのキーを押したときに鳴る音、またはオートクリアが働くときに鳴る音です。 設定値: 使用しない、使用する
正常終了音	ジョブの処理が正常に終了したときに鳴る音です。 設定値: 使用しない、使用する、ファクス受信時のみ
準備完了音	操作が可能になったときに鳴る音です。 設定値: 使用しない、使用する
注意音	エラーが発生したときに鳴る音です。 設定値: 使用しない、使用する
操作確認音(USBキーボード)	USBキーボードの操作状況を知らせる音です。 設定値: 使用しない、使用する
ファクススピーカー音量	詳細は、ファクス使用説明書を参照してください。
ファクスモニター音量	詳細は、ファクス使用説明書を参照してください。

原稿設定

システムメニュー/
カウンター



▶ 共通設定 ▶ 原稿設定

項目	説明
<p>カスタム原稿サイズ登録</p>	<p>よく使用する不定形の原稿サイズを、カスタムサイズとして登録します。 登録したサイズは、原稿サイズの選択時に表示されます。 [サイズ入力]を押して、サイズを入力してください。</p> <p>設定値 センチ X : 50~356 mm(1 mm単位) Y : 50~216 mm(1 mm単位) インチ X : 1.97~14.02"(0.01"単位) Y : 1.97~8.50"(0.01"単位) X=長さ、Y=幅</p> <div data-bbox="863 795 1102 1041" style="text-align: center;"> <p>横向き</p> <p>X</p> <p>Y</p> </div>
<p>原稿サイズ初期値</p>	<p>原稿サイズの初期値を設定します。</p> <p>設定値 A系/B系 : A4-R、A5-R、A6-R、B5-R、B6-R、Folio、216 × 340 mm インチ系 : Letter-R、Legal、Statement-R、Executive、Oficio II その他 : 16K-R</p>





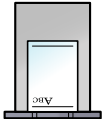
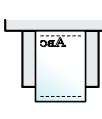



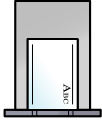
用紙設定

システムメニュー/
カウンター



▶ 共通設定 ▶ 原稿/用紙設定

項目	説明														
カスタム用紙サイズ登録	よく使用する不定形の用紙サイズを、カスタムサイズとして登録します。 カスタムサイズは各給紙元に1種類ずつ登録します。登録したサイズは、用紙サイズ選択時に表示されます。														
カセット1サイズ	<p>カセット1で使用するカスタムサイズを登録します。</p> <p>設定値</p> <table border="0"> <tr> <td>ECOSYS M3540idn</td> <td>ECOSYS M3550idn</td> </tr> <tr> <td>センチ</td> <td>センチ</td> </tr> <tr> <td>X: 140~216 mm (1 mm単位)</td> <td>X: 105~216 mm (1 mm単位)</td> </tr> <tr> <td>Y: 210~356 mm (1 mm単位)</td> <td>Y: 148~356 mm (1 mm単位)</td> </tr> <tr> <td>インチ</td> <td>インチ</td> </tr> <tr> <td>X: 5.50~8.50" (0.01"単位)</td> <td>X: 4.13~8.50" (0.01"単位)</td> </tr> <tr> <td>Y: 8.25~14.02" (0.01"単位)</td> <td>Y: 5.83~14.02" (0.01"単位)</td> </tr> </table> <p>X=長さ、Y=幅</p>	ECOSYS M3540idn	ECOSYS M3550idn	センチ	センチ	X: 140~216 mm (1 mm単位)	X: 105~216 mm (1 mm単位)	Y: 210~356 mm (1 mm単位)	Y: 148~356 mm (1 mm単位)	インチ	インチ	X: 5.50~8.50" (0.01"単位)	X: 4.13~8.50" (0.01"単位)	Y: 8.25~14.02" (0.01"単位)	Y: 5.83~14.02" (0.01"単位)
ECOSYS M3540idn	ECOSYS M3550idn														
センチ	センチ														
X: 140~216 mm (1 mm単位)	X: 105~216 mm (1 mm単位)														
Y: 210~356 mm (1 mm単位)	Y: 148~356 mm (1 mm単位)														
インチ	インチ														
X: 5.50~8.50" (0.01"単位)	X: 4.13~8.50" (0.01"単位)														
Y: 8.25~14.02" (0.01"単位)	Y: 5.83~14.02" (0.01"単位)														
カセット2~5サイズ	<p>カセット2~5で使用するカスタムサイズを登録します。</p> <p>設定値</p> <p>センチ</p> <p>X: 92~216 mm (1 mm単位)</p> <p>Y: 162~356 mm (1 mm単位)</p> <p>インチ</p> <p>X: 3.62~8.50" (0.01"単位)</p> <p>Y: 6.38~14.02" (0.01"単位)</p>														
手差しトレイサイズ	<p>手差しトレイで使用するカスタムサイズを登録します。</p> <p>設定値</p> <p>センチ</p> <p>X: 70~216 mm (1 mm単位)</p> <p>Y: 148~356 mm</p> <p>インチ</p> <p>X: 2.76~8.50" (0.01"単位)</p> <p>Y: 5.83~14.02" (0.01"単位)</p> <p>X=長さ、Y=幅</p>														

項目	説明
用紙種類の設定	<p>それぞれの用紙種類に対して、重さ(用紙の厚さ)を設定します。</p> <p>また、カスタム1~8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。</p> <p>設定値は、8-15ページの用紙種類の設定についてを参照してください。</p>
優先給紙元	<p>優先して使用する給紙元を設定します。</p> <p>設定値:カセット1~5、手差しトレイ</p> <p> 参考</p> <p>[カセット2]~[カセット5]はオプションのペーパーフィーダーが装着されているときに表示されます。</p>
用紙選択	<p>原稿をセットしたときの用紙の選択方法を設定します。</p> <p>設定値</p> <p>自動:原稿と同じサイズの用紙が入ったカセットが自動的に選択されます。</p> <p>優先給紙元:優先給紙元で設定されている給紙元が選択されます。</p>
自動用紙の用紙種類(白黒)	<p>用紙選択で自動が選択されているときに、自動で選択される用紙を用紙の種類で限定することができます。例えば[普通紙]を選択すると、指定したサイズの普通紙がセットされている給紙元が選択されます。[全用紙種類]を選択すると、用紙の種類に関係なく、指定したサイズの用紙がセットされた給紙元が選択されます。</p> <p>設定値:全用紙種類、普通紙、OHPフィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ポンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、厚紙、上質紙、カスタム1~8</p>
特定用紙種類の動作設定	<p>パンチ済み紙、プレプリント、レターヘッドに印刷するとき、原稿のセット方法やコピー機能の組み合わせによっては、穴の位置が揃わなかったり、天地が逆に印刷されたりすることがあります。そのようなときに、この設定で[印刷方向を合わせる]を選択し、仕上がりの向きを揃えます。仕上がりの用紙の天地が逆になっても問題がない場合は、[速度優先]を選択します。</p> <p>[印刷方向を合わせる]を選択した場合は、次の方法で用紙を補給してください。</p> <p>例:レターヘッドにコピーする場合</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  原稿 </div> <div style="text-align: center;">  用紙 </div> <div style="text-align: center;">  仕上がり </div> <div style="text-align: center;">  カセット </div> <div style="text-align: center;">  手差しトレイ </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  原稿 </div> <div style="text-align: center;">  用紙 </div> <div style="text-align: center;">  仕上がり </div> <div style="text-align: center;">  カセット </div> <div style="text-align: center;">  手差しトレイ </div> </div> <p>設定値:印刷方向を合わせる、速度優先</p>

用紙種類の設定について


各用紙種類に設定できる用紙の重さは次のとおりです。

用紙の重さ	秤量(g/m ²)、用紙種類	用紙の重さ	秤量(g/m ²)、用紙種類
軽い	60 g/m ² ~63 g/m ²	重い1	106 g/m ² ~135 g/m ²
普通1	64 g/m ² ~74 g/m ²	重い2	136 g/m ² ~170 g/m ²
普通2	75 g/m ² ~90 g/m ²	重い3	171 g/m ² ~220 g/m ²
普通3	91 g/m ² ~105 g/m ²	非常に重い	OHPフィルム

各用紙種類に設定されている重さの初期値は次のとおりです。

用紙種類	初期値	用紙種類	初期値
普通紙	普通1	カラー紙	普通3
OHPフィルム	非常に重い	パンチ済み紙	普通1
薄紙	軽い	レターヘッド	普通3
ラベル紙	重い1	封筒	重い3
再生紙	普通1	厚紙	重い3
プレプリント	普通1	上質紙	普通1
ボンド紙	普通3	カスタム1~8	普通1
はがき	重い3		

また、カスタム1~8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。

項目		詳細
両面印刷	許可する	両面印刷できます。
	禁止する	両面印刷は禁止されます。
名前		カスタム1~8の名前を変更します。16文字以内で入力できます。手差しトレイに用紙種類を選択するときなどに、変更した名前が表示されます。  文字の入力方法 (11-12ページ)

機能初期値




▶ 共通設定 ▶ 機能初期値

項目	説明
ファイル形式	ファイル形式の初期値を設定します。 設定値: PDF、高圧縮PDF、TIFF、JPEG、XPS
原稿セット向き	原稿セット向きの初期値を設定します。 設定値: 上辺を奥向き、上辺を左向き
ソート	ソートの初期値を設定します。 設定値 設定しない、設定する
ファイル分割	ファイル分割の初期値を設定します。 設定値: 設定しない、ページごと
読み込み解像度	原稿を読み込むときの解像度の初期値を設定します。 設定値: 600×600 dpi、400×400 dpi ウルトラファイン、300×300 dpi、200×400 dpi スーパーファイン、200×200 dpi ファイン、200×100 dpi ノーマル
カラー選択	原稿を読み込むときのカラーモードの初期値を設定します。 設定値: 自動カラー(カラー/グレー)、自動カラー(カラー/白黒)、フルカラー、グレースケール、白黒
原稿の画質(コピー)	原稿の画質(コピー時)の初期値を設定します。 設定値: 文字+写真、写真、文字、うすい文字/細線
原稿の画質(送信/保存)	原稿の画質(送信時/保存時)の初期値を設定します。 設定値: 文字+写真、写真、文字、文字(OCR用)、うすい文字/細線  参考 [文字(OCR用)]はカラー選択で、白黒選択時のみ利用できます。
地色調整(コピー)	地色調整(コピー時)の初期値を設定します。 設定値: 設定しない、自動、手動(こく 5)
地色調整(送信/保存)	地色調整(送信時/保存時)の初期値を設定します。 設定値: 設定しない、自動、手動(こく 5)
エコプリント	エコプリントの初期値を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
うら書き防止(コピー)	うら書き防止(コピー時)の初期値を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
うら書き防止(送信/保存)	うら書き防止(送信時/保存時)の初期値を選択します。 設定値: 設定しない、設定する
ファクス送信解像度	詳細は、ファクス使用説明書を参照してください。
縮小/拡大	縮小/拡大の初期値を設定します。 設定値: 100%、自動
連続読み込み(ファクス以外)	連続読み込みの初期値を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
連続読み込み(ファクス)	詳細は、ファクス使用説明書を参照してください。

項目	説明
文書名入力	<p>ジョブに名前をつけるときに、自動的に入力される名前(名前の初期値)を設定します。また付加情報として、日時とジョブ番号の有無も設定できます。</p> <p>設定値</p> <p>文書名:32文字以内で入力できます。</p> <p>付加情報:なし、日時、番号、ジョブ番号 & 日時、日時 & ジョブ番号</p>
メール件名/本文	<p>読み込んだ原稿をメールで送信するときに、自動的に入力される件名と本文(件名と本文の初期値)を設定します。</p> <p>設定値</p> <p>件名:60文字以内で入力できます。</p> <p>本文:500文字以内で入力できます。</p>
FTP暗号送信	<p>送信時の文書の暗号化の初期値を設定します。</p> <p>設定値:設定しない、設定する</p> <p> 参考</p> <p>セキュアプロトコルの[SSL]の設定が[使用する]の場合、表示されます。</p>
JPEG/TIFF印刷方法	<p>JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像のサイズ(解像度)の初期値を設定します。</p> <p>設定値:用紙サイズ、画像解像度、印刷解像度</p>
XPS印刷サイズ調整	<p>XPS印刷サイズ調整の初期値を設定します。</p> <p>設定値:設定しない、設定する</p>
詳細設定	—
画質	<p>PDFファイル、TIFFファイル、JPEGファイル、XPSファイルの画質の初期値を設定します。</p> <p>設定値: [1]低画質(高圧縮)～[5]高画質(低圧縮)の5段階</p>
PDF/A	<p>PDF/Aの初期状態を設定します。</p> <p>設定値:設定しない、PDF/A-1a、PDF/A-1b</p>
高圧縮PDF	<p>ファイル形式が高圧縮PDFのときの、画質の初期値を設定します。</p> <p>設定値:圧縮率優先、標準、画質優先</p>


部数制限

システムメニュー / カウンター

 **共通設定** ▶ **部数制限**


項目	説明
部数制限	<p>1回でコピーできる部数を制限します。</p> <p>設定値:1～999部</p>

エラー処理設定

システムメニュー / カウンター  ▶ 共通設定 ▶ エラー処理設定


項目	説明
両面エラー	<p>選択した用紙サイズまたは用紙種類で、両面印刷できない場合の処理方法を設定します。</p> <p>設定値</p> <p>片面印刷: 片面印刷で印刷します。</p> <p>エラーで停止: メッセージが表示され、印刷を停止します。</p>
用紙ミスマッチエラー	<p>カセットまたは手差しトレイを指定してパソコンから印刷するとき、選択した用紙サイズまたは用紙種類と選択した給紙元にセットされている用紙サイズまたは用紙種類が一致しない場合の処理方法を設定します。</p> <p>設定値</p> <p>無視する: 設定を無視して印刷します。</p> <p>エラーで停止: メッセージが表示され、印刷を停止します。</p>


入力長さ単位

システムメニュー / カウンター  ▶ 共通設定 ▶ 入力長さ単位


項目	説明
入力長さ単位	<p>用紙サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから設定できます。</p> <p>設定値: mm, inch</p>

トナー残量少の通知レベル

システムメニュー / カウンター  ▶ 共通設定 ▶ トナー残量少の通知レベル


項目	説明
トナー残量少の通知レベル	<p>トナーが残り少なくなったときに、トナーを発注するタイミングを管理者に通知するトナー残量を設定します。</p> <p>設定値: 設定しない、設定する</p> <p> 参考</p> <p>[設定しない]を選択した場合は、トナー残量が5%になると通知します。</p> <p>[設定する]を選択した場合は、通知するトナー残量を設定してください。設定範囲は5~100% (1%単位)です。</p>

キーボード入力方式

システムメニュー / カウンター  ▶ 共通設定 ▶ キーボード入力方式

項目	説明
キーボード入力方式	キーボードの文字入力方式の初期値を設定します。 設定値: ローマ字入力、かな入力

SSDフォーマット

システムメニュー / カウンター  ▶ 共通設定 ▶ SSDフォーマット

SSDのフォーマットは、オプションのSSDを初めて本機に装着した際に必要な操作です。



重要


SSDをフォーマットすると、そのSSD内のデータはすべて消去されます。



参考

オプションのデータセキュリティーキットを装着している場合は、この設定は表示されません。

SDカードフォーマット

システムメニュー / カウンター  ▶ 共通設定 ▶ SDカードフォーマット


SDカードを使用するためには、最初に本機でSDカードをフォーマットする必要があります。



重要

- SDカードをフォーマットすると、データはすべて消去されます。
- アプリケーションをインストールしている場合、アプリケーションが削除されることがあるので、SDカードをフォーマットしないでください。

状況/履歴の表示

システムメニュー / カウンター  ▶ 共通設定 ▶ 状況/履歴の表示

項目	説明						
状況/履歴の表示	状況/履歴の表示を設定します。						
<table border="1"> <tr> <td>ジョブ状況の詳細の表示</td> <td>設定値: すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない</td> </tr> <tr> <td>ジョブ履歴の表示</td> <td>設定値: すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない</td> </tr> <tr> <td>ファクス通信履歴の表示</td> <td>設定値: すべて表示、表示しない</td> </tr> </table>	ジョブ状況の詳細の表示	設定値: すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない	ジョブ履歴の表示	設定値: すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない	ファクス通信履歴の表示	設定値: すべて表示、表示しない	
ジョブ状況の詳細の表示	設定値: すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない						
ジョブ履歴の表示	設定値: すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない						
ファクス通信履歴の表示	設定値: すべて表示、表示しない						

機能キーの使用



項目	説明
機能キーの使用	操作パネルの[コピー]キー、[送信]キー、[ファクス]キーのそれぞれを有効にするかどうかを設定します。
コピーキー	設定値:無効にする、有効にする
送信キー	設定値:無効にする、有効にする
ファクスキー	設定値:無効にする、有効にする

ホーム



ホーム画面の設定を行います。

 [ホーム画面の編集について \(3-5ページ\)](#)

コピー



コピー機能に関する設定を行います。

項目	説明
自動用紙動作設定	用紙選択が[自動]に設定されている場合に、縮小/拡大の倍率を変更したときの、用紙サイズの選択方法を設定します。 設定値 最適サイズ:原稿サイズと倍率に応じて、最適な用紙サイズが選択されます。 原稿サイズと同じ:倍率にかかわらず、原稿と同じ用紙サイズが選択されます。
自動倍率優先	原稿と違うサイズの給紙元を意図的に選択した場合に、自動的に倍率を変更(縮小/拡大)するかどうかを設定します。 設定値:設定しない、設定する
次の予約優先	印刷中に次のコピーを予約する際、基本の画面を表示させるかどうかを設定します。[設定する]を選択すると、基本の画面が表示されます。 設定値:設定しない、設定する
原稿送り装置動作	原稿送り装置を使用して原稿を読み込む際の動作を設定します。 設定値 速度優先:読み込み速度を優先します。 画質優先:読み込み速度を少し抑え、原稿の画質を優先します。

送信



送信機能に関する設定を行います。

項目	説明
送信前の宛先確認	送信するとき、[スタート]キーを押した後に宛先確認画面を表示するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 設定しない、設定する
新規宛先の入力確認	新規で宛先を入力するとき、確認のために、宛先を再入力させるかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 設定しない、設定する
送信控え転送	送信するとき、原稿を同時に別の宛先に転送するかどうかを設定します。
転送	原稿を転送するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する 参考 [設定する]を選択した場合は、転送する条件を[ファクス]、[メール]、[フォルダー(SMB)]、[フォルダー(FTP)]の中から選択してください。
宛先	原稿を転送する宛先を設定します。設定できる宛先は1件のみです。宛先の登録方法は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • アドレス帳 • 拡張アドレス帳 • アドレス入力(メール) • アドレス入力(フォルダー) 宛先の選びかた (5-22ページ)
カラーTIFF圧縮方式	本機で扱うTIFF画像の圧縮方式を設定します。 設定値: TIFF V6、TTN2
初期画面	[送信]キーを押すと、最初に表示される画面を設定します。 設定値: 宛先、アドレス帳、拡張アドレス帳、ワンタッチ
新規宛先の入力	宛先の直接入力を許可するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 許可する、禁止する
再宛先	送信画面の[再宛先]の使用を許可するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 許可する、禁止する

*1 ファクスの送信時にも適用されます。

文書ボックス

システムメニュー/
カウンター

▶ 文書ボックス

項目	説明
ユーザーボックス	ユーザーボックスに関する設定を行います。
登録/編集	詳細は、 5-43ページのボックスを作成する(新規作成) を参照してください。
初期設定	文書自動消去時刻 保存されている文書を自動的に消去する時刻を設定することができます。
Fコードボックス	詳細は、 ファクス使用説明書 を参照してください。
ジョブボックス	ジョブボックスに関する設定を行います。
クイックコピージョブ保持数	ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。 設定値 :0 ~300の範囲  参考 0を設定するとクイックコピーは使用できません。
一時保存文書の自動消去	ジョブボックスのプライベートプリント、クイックコピー、試し刷り後保留の一時保存文書を、保存した一定時間後に自動的に消去するように設定します。 設定値 :設定しない、1時間、4時間、1日、1週間  参考 この機能は、設定後に保存した文書に有効です。この機能の設定に関わらず、電源スイッチを切ると一時保存文書は消去されます。
保存先	データを保存するメディアを選択することができます。 ^{*1} 設定値 :SSD、SDカード  参考 オプションのSSDまたはSDカードが装着されていない場合、この設定は表示されません。
ポーリングボックス	詳細は、 ファクス使用説明書 を参照してください。

*1 デバイスまたは本機のネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

ファクス

システムメニュー/
カウンター

▶ ファクス

ファクスに関する設定を行います。詳しくは、[ファクス使用説明書](#)を参照してください。

アプリケーション



アプリケーションに関する設定を行います。

項目	説明
アプリケーション	アプリケーションのインストール、起動、停止、アンインストールを行います。 詳細は、 5-11ページのアプリケーション を参照してください。

インターネット

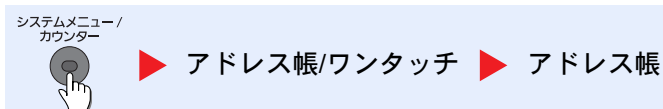


アプリケーションからインターネットへ接続するときのプロキシを設定します。

項目	説明
プロキシ	プロキシを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
同じプロキシを使用	すべてのプロトコルに同じプロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。同じプロキシサーバーを使用しない場合は「使用しない」を選択してください。 設定値: 使用しない、使用する
HTTPプロキシサーバー	プロキシサーバー (HTTP) を設定します。 設定値: (プロキシのアドレスとポート番号を入力します)
HTTPSプロキシサーバー	プロキシサーバー (HTTPS) を設定します。「同じプロキシを使用」の設定が「使用しない」の場合に設定できます。 設定値: (プロキシのアドレスとポート番号を入力します)
プロキシ未使用ドメイン	プロキシを使用しないドメインを設定します。 設定値: (ドメインを入力します)

アドレス帳/ワンタッチ

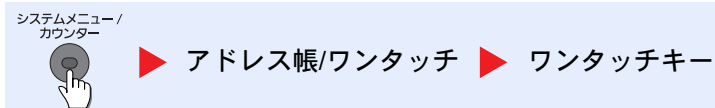
アドレス帳




アドレス帳に関する設定を行います。

[宛先の新規登録\(アドレス帳\) \(3-35ページ\)](#)

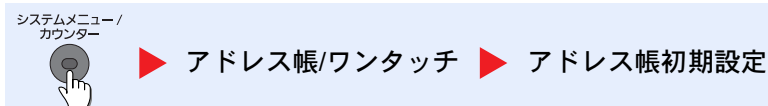
ワンタッチキー



ワンタッチキーに関する設定を行います。

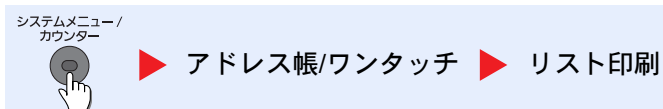
 [ワンタッチキーの登録\(ワンタッチキー\) \(3-42ページ\)](#)

アドレス帳初期設定



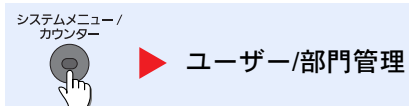
設定項目	説明
表示順	アドレス帳を表示したときに、宛先を表示する順番の初期値を設定します。 設定値: 番号、フリガナ

リスト印刷




詳細は、ファクス使用説明書を参照してください。

ユーザー/部門管理



本機の管理に関する設定を行います。

 [ユーザー管理について \(9-2ページ\)](#)
[部門管理について \(9-31ページ\)](#)
[ID不明ジョブ処理 \(9-49ページ\)](#)

プリンター



システムメニュー /



▶ プリンター

パソコンから印刷する場合、各種の設定は通常、アプリケーションソフトの画面で行います。ここで説明するプリンター設定は、使用する環境に合わせて初期設定を変更するときに行ってください。

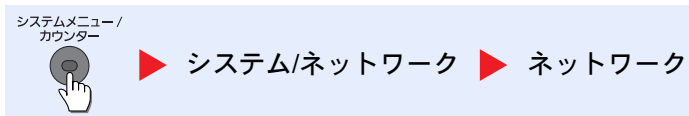
項目	説明
エミュレーション	<p>本機を他のプリンター用のコマンドで動作させるためのエミュレーションを設定します。 設定値: NEC PC-PR201、IBM5577、EPSON VP-1000、PCL6、KPDL、KPDL(自動)</p> <p> 参考 [KPDL(自動)]を選択した場合は、「代替エミュレーション」の設定も行ってください。 [KPDL]または[KPDL(自動)]を選択した場合は、「KPDLエラーレポート」の設定も行ってください。</p>
代替エミュレーション	<p>エミュレーションモードに[KPDL(自動)]を選択すると、印刷するデータに応じてKPDLともう1つのエミュレーションモード(代替エミュレーション)を自動的に切り替えることができます。 設定値: NEC PC-PR201、IBM5577、EPSON VP-1000、PCL6</p>
KPDLエラーレポート	<p>KPDLエミュレーションモードで印刷中にエラーが発生した場合に、エラーレポートを出力するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する</p>
エコプリント	<p>エコプリントとは、トナーの消費量を抑える機能です。ただし印刷は薄くなりますので、試し印刷などのときに設定してください。 設定値: 設定しない、設定する</p>
A4/Letterの共通使用	<p>サイズの近いA4サイズとLetterサイズを共通サイズとみなすかどうかを設定します。 設定値 設定しない:A4サイズとLetterサイズは共通サイズとみなされません。 設定する:A4サイズとLetterサイズが共通サイズとみなされます。どちらかのサイズが給紙元にあれば給紙されます。</p>
両面印刷	<p>両面印刷時の、仕上がりのとじ方向を設定します。 設定値: 片面、両面長辺とじ、両面短辺とじ</p>
排紙先	<p>排紙先を内部トレイとオプションの後ろトレイから選択します。 設定値: 内部トレイ フェイスダウン、後ろトレイ フェイスアップ</p> <p> 参考 この設定はECOSYS M3550idnのみ表示されます。</p>
部数	<p>印刷部数を1~999部まで設定します。 設定値: 1~999部</p>
印刷の向き	<p>印刷方向を[たて]または[よこ]に設定します。 設定値: たて、よこ</p>
ワイドA4	<p>この設定を[設定する]にすると、A4ページ1行に印刷できる文字数が80文字に増加します(10 cpi)。この設定はPCL 6のエミュレーションでのみ有効になります。 設定値: 設定しない、設定する</p>
改ページ待ち時間	<p>本機は、パソコンからの印刷データを受け取る際、データの末尾であることを示す情報がないと、最終ページを印刷せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページ(印刷)を行います。この待ち時間を5~495秒の範囲で設定します。 設定値: 5~495秒(5秒単位)</p>

項目	説明
改行(LF)動作	本機が改行コード(文字コード0AH)を受信したときの動作を設定します。 設定値: 改行(LF)のみ、改行(LF)+復帰(CR)、改行(LF)を無視する
復帰(CR)動作	本機が復帰コード(文字コード0DH)を受信したときの動作を設定します。 設定値: 復帰(CR)のみ、改行(LF)+復帰(CR)、復帰(CR)を無視する
ジョブ名	プリンタードライバーで設定したジョブ名を使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 [使用する]を選択した場合は、使用するジョブ名を[ジョブ名]、[ジョブ番号&ジョブ名]、[ジョブ名&ジョブ番号]の中から選択してください。
ユーザー名	プリンタードライバーで設定したユーザー名を使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
印刷範囲補正	プリンターの印刷範囲を補正します。用紙の上と左右に4 mm、下に10 mmの非印刷領域があります。アプリケーションによっては、印刷位置が意図したものとは異なる場合があります。この場合には印刷位置を補正して、印刷位置を縦横方向にずらすことができます。 設定値 たて:-76.0~+76.0 mm よこ:-76.0~+76.0 mm
手差しトレイ優先	手差しトレイに用紙がセットされている場合に、手差しトレイから優先して給紙させることができます。 設定値 設定しない:プリンタードライバーの設定に従います。 自動給紙時:プリンタードライバーで自動を選択している場合、手差しトレイに用紙があれば手差しトレイから給紙します。 常時:手差しトレイに用紙があれば、プリンタードライバーの設定にかかわらず手差しトレイから給紙します。
給紙指定動作	パソコンからの印刷時、給紙元と用紙種類を選択している場合の給紙方法を設定します。 設定値 自動:用紙サイズおよび用紙種類にあわせて給紙元を選択し、印刷します。 固定:選択した給紙元の用紙で印刷します。
自動カセット切り替え	印刷中に給紙カセットに用紙がなくなった場合の動作を選択します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定しない]を選択すると、用紙がなくなった場合、「カセット○に以下の用紙を補給してください。」(○はカセットの番号)と表示して印刷を停止します。 メッセージに表示されたカセットに用紙をセットすると、印刷を再開します。 他のカセットから印刷する場合は、[代用給紙]を押して給紙元を選択します。 [設定する]を選択すると、用紙がなくなっても、用紙サイズと種類が一致する他のカセットがあるときは、印刷を自動的に継続します。
解像度	印刷時の解像度を設定します。 設定値: 300 dpi、600 dpi、Fast1200
KIR	本機には、スムージング機能が搭載されています。スムージングを設定すると、9600 dpi 相当(600dpi×15 階調)×600 dpi のなめらかな印刷を実現できます。 設定値: 設定しない、設定する

システム/ネットワーク


本機のシステムについて設定します。

ネットワーク




ネットワークに関する設定を行います。

ホスト名

項目	説明
ホスト名	<p>本機のホスト名を確認します。ホスト名の変更はCommand Center RXで行います。</p> <p> デバイス情報を変更する (2-37ページ)</p>

TCP/IP設定

項目	説明
TCP/IP	<p>TCP/IPプロトコルを使用するかどうかを設定します。</p> <p>設定値: 使用しない、使用する</p>
IPv4設定	<p>TCP/IP (IPv4) でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP] が [使用する] の場合、表示されます。</p>
DHCP	<p>DHCP (IPv4) サーバーを使用するかどうかを設定します。</p> <p>設定値: 使用しない、使用する</p>
Auto-IP	<p>Auto-IPを使用するかどうかを設定します。</p> <p>設定値: 使用しない、使用する</p>
IPアドレス	<p>IPアドレスを入力します。</p> <p>設定値: ###.###.###.###</p> <p> 参考</p> <p>この機能は、DHCPを [使用する] にしている場合はグレーアウトになり、入力できません。</p>
サブネットマスク	<p>サブネットマスクアドレスを入力します。</p> <p>設定値: ###.###.###.###</p> <p> 参考</p> <p>この機能は、DHCPを [使用する] にしている場合はグレーアウトになり、入力できません。</p>
デフォルトゲートウェイ	<p>デフォルトゲートウェイを入力します。</p> <p>設定値: ###.###.###.###</p> <p> 参考</p> <p>この機能は、DHCPを [使用する] にしている場合はグレーアウトになり、入力できません。</p>


重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

項目	説明
IPv6設定	TCP/IP (IPv6)でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[使用する]の場合、表示されます。
IPv6	IPv6を使用するかどうかを設定します。 設定値 : 使用しない、使用する  参考 [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス(Link Local)]にIPアドレスが表示されます。
手動設定	TCP/IP (IPv6)のIPアドレス、プレフィックス長、およびゲートウェイアドレスを手動で入力します。 設定値 IPアドレス(手動):(コロンで区切られた128ビットの数字) プレフィックス長:0~128 デフォルトゲートウェイ:###.###.###.###  参考 この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。 [デフォルトゲートウェイ]を入力する場合は、[RA(Stateless)]を[使用しない]に設定します。
RA(Stateless)	RA(Stateless)を使用するかどうかを設定します。 設定値 : 使用しない、使用する  参考 この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。 [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス(Stateless)]にIPアドレスが表示されます。
DHCP	DHCP (IPv6)サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値 : 使用しない、使用する  参考 この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。 [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス(Stateful)]にIPアドレスが表示されます。
Bonjour	Bonjourを使用するかどうかを設定します。 設定値 : 使用しない、使用する



 **重要**

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

項目	説明
プロトコル詳細	—
NetBEUI	NetBEUIを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
LPD	LPDを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
SMTP(メール送信)	SMTPを使用してメールを送信するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
POP3(メール受信)	POP3を使用してメールを受信するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
FTPクライアント(送信)	FTPを使用して文書を送信するかどうかを設定します。設定が[使用する]の場合、FTPが使用するポート番号を設定できます。通常は、21を使用します。 設定値: 使用しない、使用する(ポート番号: 1~65535)
FTPサーバー(受信)	FTPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
SMBクライアント(送信)	SMBを使用して文書を送信するかどうかを設定します。設定が[使用する]の場合、SMBが使用するポート番号を設定できます。通常は、445を使用します。 設定値: 使用しない、使用する(ポート番号: 1~65535)
LDAP	LDAPを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
SNMP	SNMPを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
SNMPv3	SNMPv3を使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
HTTP	HTTPを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
HTTPS	HTTPSを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1*2} 設定値: 使用しない、使用する
IPP	IPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。設定が[使用する]の場合、IPPが使用するポート番号が設定できます。通常は、631を使用します。 ^{*1*2} 設定値: 使用しない、使用する(ポート番号: 1~32767)
IPP over SSL	SSLで保護されたIPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。設定が[使用する]の場合、IPPが使用するポート番号が設定できます。通常は、443を使用します。 ^{*1*2} 設定値: 使用しない、使用する(ポート番号: 1~32767)  参考 設定が[使用する]の場合、証明書のインストールが必要になります。詳細は、Command Center RX操作手順書を参照してください。
Raw Port	Raw Portを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する

*1 デバイスまたは本機のネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

*2 [8-31ページのセキュアプロトコル](#)で「SSL」を[使用する]にしてください。

項目		説明
	ThinPrint	ThinPrintを使用するかどうかを設定します。設定が[使用する]の場合、SMBが使用するポート番号を設定できます。通常は4000を使用します。 ^{*1*2} 設定値: 使用しない、使用する(ポート番号: 1~32767)  参考 この機能は、オプションのThinPrint Optionが起動していない場合は表示されません。
	ThinPrint over SSL	Thin Print over SSLを使用する場合は、[Thin Print over SSL]を押して[使用する]を選択してください。 設定値: 使用しない、使用する  参考 設定が[使用する]の場合、証明書のインストールが必要になります。詳細は、Command Center RX 操作手順書を参照してください。

*1 デバイスまたは本機のネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

*2 [8-31ページのセキュアプロトコル](#)で「SSL」を[使用する]にしてください。

WSDスキャン

項目	説明
WSDスキャン	WSDスキャンを使用するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する


*1 デバイスまたは本機のネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

WSD印刷

項目	説明
WSD印刷	弊社が独自に提供するWeb サービスを使用するかどうかを設定します。WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAXドライバーはこのEnhanced WSDのWeb サービスを利用します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する


*1 デバイスまたは本機のネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

Enhanced WSD

項目	説明
Enhanced WSD	弊社が独自に提供するWebサービスを使用するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する  参考 [使用しない]を選択した場合、WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAX ドライバーが使用できません。

*1 デバイスまたは本機のネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

Enhanced WSD over SSL

項目	説明
Enhanced WSD over SSL	弊社が独自に提供するWeb サービスをSSL上で使用するかどうかを設定します。 ^{*1 *2} 設定値: 使用しない、使用する  参考 [使用しない]を選択した場合、WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAXドライバーが使用できません。

*1 デバイスまたは本機のネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

*2 [8-31ページのセキュアプロトコル](#)で「SSL」を[使用する]にしてください。

重要

設定変更後に本機のネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

IPSec

項目	説明
IPSec	IPSecを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する

セキュアプロトコル

項目	説明
SSL	通信にSSLを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
IPPセキュリティ	IPPセキュリティレベルを設定します。[SSL]の設定が[使用する]の場合、表示されます。 設定値: IPP/IPP over SSL、IPP over SSLのみ
HTTPセキュリティ	HTTPセキュリティレベルを設定します。[SSL]の設定が[使用する]の場合、表示されます。 設定値: HTTP/HTTPS、HTTPSのみ
LDAPセキュリティ (拡張アドレス帳)	LDAPサーバーがサポートしているセキュリティに合わせて、タイプを選択してください。 [SSL]の設定が[使用する]の場合、表示されます。 ^{*1} 設定値: 使用しない、SSL/TLS、STARTTLS
LDAPセキュリティ (ユーザー情報)	
SMTPセキュリティ	SMTPサーバーがサポートしているセキュリティに合わせて、通信プロトコルを選択してください。「SMTP」の設定が[使用する]の場合、表示されます。 設定値: 使用しない、SSL/TLS、STARTTLS
POP3セキュリティ (ユーザー1)	POP3サーバーがサポートしているセキュリティに合わせて、通信プロトコルを選択してください。「POP3」の設定が[使用する]の場合、表示されます。 設定値: 使用しない、SSL/TLS、STARTTLS
POP3セキュリティ (ユーザー2)	
POP3セキュリティ (ユーザー3)	

*1 [8-29ページのプロトコル詳細](#)で[LDAP]を[使用する]に設定する必要があります。

LANインターフェイス

項目	説明
LANインターフェイス	使用するLANインターフェイスを設定します。 設定値: 自動、10Base-Half、10Base-Full、100Base-Half、100Base-Full、1000BASE-T

重要

設定変更後に本機のネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。


ネットワークの再起動

項目	説明
ネットワークの再起動	本機のネットワークを再起動します。

プロキシー

項目	説明
プロキシー	アプリケーションからインターネットへ接続するときのプロキシーを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
同じプロキシーを使用	すべてのプロトコルに同じプロキシーサーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
HTTPプロキシーサーバー	プロキシーサーバー(HTTP)を設定します。 設定値: (プロキシーのアドレスとポート番号を入力します)
HTTPSプロキシーサーバー	プロキシーサーバー(HTTPS)を設定します。「すべてのプロトコルでこのプロキシーを使用する」の設定が[使用しない]の場合に設定できます。 設定値: (プロキシーのアドレスとポート番号を入力します)
プロキシー未使用ドメイン	プロキシーを使用しないドメインを設定します。 設定値: (ドメインを入力します)



オプションネットワーク

システムメニュー / カウンター  ▶ システム/ネットワーク ▶ オプションネットワーク

参考

この機能は、オプションのネットワークインターフェイスキットまたはワイヤレスインターフェイスキットを装着している場合に表示されます。

基本設定

項目	説明
ホスト名	本機のホスト名を確認します。ホスト名の変更はCommand Center RXで行います。  デバイス情報を変更する (2-37ページ)
TCP/IP設定	設定値は 8-27ページのTCP/IP設定 を参照してください。
LANインターフェイス	LANインターフェイスを選択します。 ^{*1} 設定値: 自動、10Base-Half、10Base-Full、100Base-Half、100Base-Full、1000BASE-T  参考 この機能は、オプションのネットワークインターフェイスキットを装着している場合に表示されます。
MACアドレスフィルター	MACアドレスフィルターを使用するかどうかを設定します。 詳細はオプションのネットワークインターフェイスキットの使用説明書をご覧ください。 設定値: 使用しない、使用する
ネットワークの再起動	ネットワークを再起動します

*1 デバイスまたは本機のネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

ワイヤレスネットワーク



参考

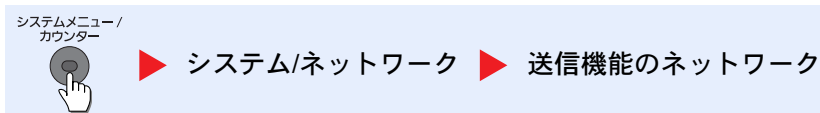
この機能は、オプションのワイヤレスインターフェイスキットを装着している場合に表示されます。

項目	説明
接続の状態	オプションのワイヤレスインターフェイスキットが装着されている場合、無線LANの状態を確認できます。
簡単セットアップ	ワイヤレスネットワークの自動設定に対応したアクセスポイントに接続する場合は、簡単セットアップで接続設定ができます。
利用可能なネットワーク	接続可能なアクセスポイントを表示します。
プッシュボタン方式	アクセスポイントがプッシュボタン式に対応している場合、プッシュボタンを操作して無線設定を行うことができます。この設定でプッシュボタンを実行し、アクセスポイントのプッシュボタンを押して接続を開始します。 参考 プッシュボタン式はWPS (WiFi Protected Setup) のみに対応しています。
PINコード方式(本体)	本機のPINコードで接続を開始します。表示されたPINコードをアクセスポイントに入力してください。本機のPINコードは自動的に生成されます。
PIN方式(端末)	アクセスポイントのPINコードで接続を開始します。アクセスポイントのPINコードを入力してください。
カスタムセットアップ	無線LANの詳細設定を変更できます。
ネットワーク名(SSID)	本機を接続する無線LANのSSID (Service Set Identifier)を設定します。 参考 文字数は最大32文字までです。
接続モード	接続モードを設定します。 設定値: アドホック、インフラストラクチャー 参考 アドホック: アクセスポイントを介せずに直接機器と通信します。2台以上の機器と接続はできません。 インフラストラクチャー: アクセスポイントを介して通信を行います。
チャンネル	チャンネルを設定します。[-][+]またはテンキーで数値を入力してください。 設定値: 1~11
ネットワーク認証	ネットワーク認証の方式を選んでください。他の認証方式を選択する場合は、コンピューターからwebページにアクセスして設定してください。 設定値: オープンシステム、共有キー、WPA-PSK ^{*1} 、WPA2-PSK ^{*1}
暗号化	暗号化方式を設定します。[無効]以外を設定した場合は、WEPキーまたは事前共有キーを入力してください。ネットワーク認証の方式により 設定値 が異なります。[データの暗号化]を押してください。 ネットワーク認証の方式が[オープンシステム]または[共有キー]の場合 設定値: 無効、WEP ネットワーク認証の方式が[WPA-PSK]または[WPA2-PSK]の場合 設定値: TKIP ^{*2} 、AES、自動 ^{*2} 参考 [WEP]を選択した場合、WEPキーを入力してください。文字数は最大26文字までです。 [TKIP]、[AES]、または[自動]を選択した場合、事前共有キーを入力してください。文字数は8~64文字までです。

*1 「接続モード」で[アドホック]にしている場合は表示されません。

*2 「ネットワーク認証」で[WPA2-PSK]にしている場合は表示されません。

送信機能のネットワーク

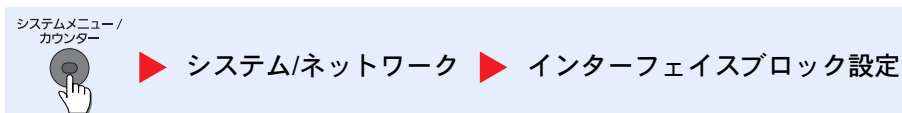


参考



この機能は、オプションのネットワークインターフェイスキットまたはワイヤレスインターフェイスキットを装着している場合に表示されます。

項目	説明
送信機能のネットワーク	送信機能、ネットワーク認証および拡張アドレス帳の接続時に使用するネットワークカードを設定します。 設定値: 標準、オプションネットワーク

インターフェイスブロック設定



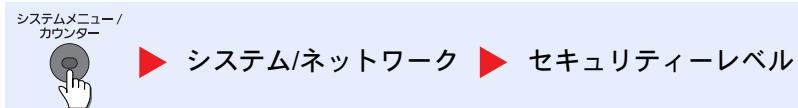
USBホストやオプションインターフェイスなど、外部機器とのインターフェイスをブロックして、本機を保護することができます。

項目	説明
USBホスト	USBポートおよびUSBポート(USBホスト)をブロックして保護します。 設定値: ブロックしない、ブロックする
USBデバイス	USBインターフェイスコネクタ(USBデバイス)をブロックして保護します。 設定値: ブロックしない、ブロックする
USBストレージ	USBメモリースロットをブロックして保護します。 設定値: ブロックしない、ブロックする  参考 この機能は、USBホストを[ブロックしない]にしている場合に設定できます。
オプションインターフェイス(スロット1)	オプションインターフェイスをブロックして保護します。 設定値: ブロックしない、ブロックする
オプションインターフェイス(スロット2)	 参考 この機能は、各オプションインターフェイスで設定できます。

重要

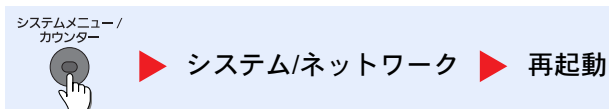
設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

セキュリティーレベル



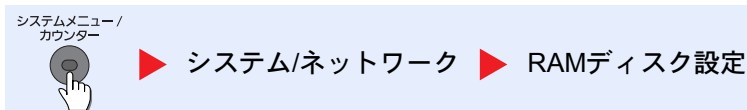
項目	説明
セキュリティーレベル	<p>セキュリティーのレベルを設定します。</p> <p>設定値:</p> <p>低い: メンテナンス時に使用します。通常は使用しないでください。</p> <p>高い: 弊社が推奨するセキュリティー設定です。通常はこの設定を使用してください。</p> <p>最高: [高い]の状態に加えて、外部のコマンドから本体の設定を変更できないようにします。</p>

再起動



項目	説明
再起動	<p>電源スイッチを切ることなく、CPU を再起動することができます。本機の動作が不安定なときなどに実行してください(パソコンの再起動と同様です)。</p>

RAMディスク設定



参考

この機能は、オプションのSSDを装着している場合は表示されません。

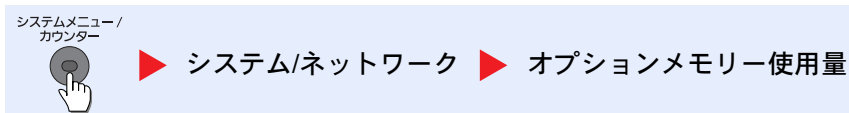
項目	説明
RAMディスク設定	<p>RAMディスクを作成し、その容量を設定します。</p> <p>RAMディスクを作成することによって、ジョブボックスからプリントデータを印刷することができます。</p> <p>設定値</p> <p>RAMディスク設定: 設定しない、設定する</p> <p>RAMディスクサイズ: 搭載されているメモリーのサイズやオプションメモリー使用量の設定によって設定範囲が変わります。</p>



重要

設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

オプションメモリー使用量



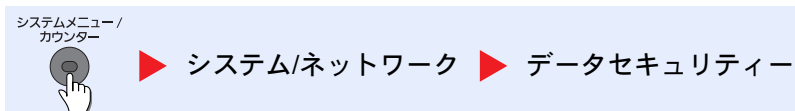
項目	説明
オプションメモリー使用量	オプションのメモリーを装着しているときに、用途に応じてメモリーの配分パターンを選択します。 * 設定値: プリンター優先、標準、コピー優先






重要

設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。


データセキュリティ




オプションのSSDやメモリーに保存されているデータに関する設定を行います。


項目	説明
SSDの初期化	オプションのSSDに保存されているデータを初期化します。詳しくはData Security Kit (E)使用説明書を参照してください。  参考 この機能は、オプションのSSDを装着し、オプションのセキュリティキットを起動している場合に表示されます。
セキュリティデータの完全消去	本機に登録されている次の情報を、工場出荷時に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> • アドレス帳 • お気に入りデータ • システム設定 • ファクス送受信/転送データ • ファクス送受信履歴 • ユーザーボックス内のデータ • オプションアプリケーションデータ  重要 アプリケーションやSDカードに保存されたジョブボックスのデータは消去できません。これらを消去する場合は、SDカードのフォーマットが必要です。詳しくは、 8-19ページのSDカードフォーマット を参照してください。  参考 途中で処理を取り消すことはできません。 この操作を行う前にモジュラーケーブルやネットワークケーブルなどを外してください。 消去中に電源を切らないでください。消去中に電源を切った場合、電源起動後に自動的に消去を実行しますが、完全な動作保証はできません。

オプション機能


システムメニュー / カウンター  ▶ システム/ネットワーク ▶ オプション機能





項目	説明
オプション機能	本機にインストールされているオプションのアプリケーションを使用できます。  オプションのアプリケーションについて (11-10ページ)

日付/タイマー/節電

システムメニュー / カウンター  ▶ 日付/タイマー/節電


日付や時間に関する設定を行います。

項目	説明
日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。本機の送信機能でメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。 設定値: 年(2000~2037)、月(1~12)、日(1~31)、時(00~23)、分(00~59)、秒(00~59)  日付と時刻の設定 (2-11ページ)
	 参考 日付設定を変更すると、オプションやアプリケーションをお試しで使用することができなくなります。
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 設定値: 月/日/年、日/月/年、年/月/日
時差	GMT(世界標準時)からの時差を設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した場合は、サマータイムの設定を行ってください。
オートパネルリセット	オートパネルリセットは、一定時間操作がないと、設定内容が自動的にリセットされて初期値に戻る機能です。ここでは、オートパネルリセットを使用するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 リセットされるまでの時間は 8-37ページのパネルリセット時間 で設定します。
パネルリセット時間	オートパネルリセットを設定した場合は、操作終了後リセットされるまでの時間を設定できます。 設定値: 5~495秒(5秒単位)  参考 この機能は、[オートパネルリセット]を[設定する]にしている場合に表示されます。
低電力モード時間	低電力モードに入る時間を設定します。 設定値: 1~240分(1分単位)  低電力モードと自動低電力モード (2-14ページ)


項目	説明
スリープレベル	<p>スリープレベルを設定します。 節電優先を設定すると、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えることができます。 設定値: 復帰優先、節電優先</p> <p> 参考 この機能は、オプションのネットワークインターフェイスキットを装着している場合は表示されません。</p>
スリープ条件	<p>次の機能別に、節電優先を使用するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク接続時 ・ICカードリーダー接続時^{*1} ・ファクス接続時 ・アプリケーション起動時 <p>設定値: 使用しない、使用する</p> <p> 参考 節電優先のスリープモードに入ると、ICカードは認識しません。</p>
スリープ時間	<p>スリープに入る時間を設定します。 設定値: 1~240分(1分単位)</p> <p> スリープとオートスリープ (2-15ページ)</p>
電源オフ条件	<p>次の機能別に、電源オフモードに移行させるかどうかを設定します。移行させる場合は、[使用する]を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク接続時 ・ ファクス接続時 ・ USBケーブル接続時 ・ USBホスト接続時 ・ RAMディスク使用時 ・ NIC接続時^{*2} ・ リモート診断時 ・ アプリケーション起動時 <p>設定値: 使用しない、使用する</p> <p> 参考 いずれかの機能で[使用する]を設定しても、[ファクス接続時]、[NIC接続時]のいずれかを[使用しない]に設定している場合、本機は電源オフモードに入りません。 [RAMディスク使用時]を[使用する]に設定すると、RAMディスク内にデータがあっても電源オフモードに移行します。 また、[ネットワーク接続時]、[USBケーブル接続時]を[使用しない]に設定していても、本体と他デバイスが通信していないときに電源オフモードに移行する場合があります。</p>
電源オフ時間	<p>電源が切れるまでの時間を設定します。 設定値: 1時間、2時間、3時間、4時間、5時間、6時間、9時間、12時間、1日、2日、3日、4日、5日、6日、1週間</p>
エラー後自動継続	<p>処理中にエラーが発生すると、通常は処理が停止してユーザーによる対処を待ちます。エラー後自動継続は、エラー発生後一定時間が経過すると、自動で処理を再開する機能です。 設定値: 設定しない、設定する</p>

*1 オプションのICカード認証キットを装着している場合に表示されます。

*2 オプションのネットワークインターフェイスキットまたはワイヤレスインターフェイスキットが装着されている場合のみ表示されます。


項目	説明
エラー後自動継続時間	エラー後の自動継続を設定した場合、印刷を再開するまでの時間を設定します。 設定値:5~495秒(5秒単位)  参考 この機能は、[エラー後自動継続]を[設定する]にしている場合に表示されます。
使用禁止時間	詳細は、ファクス使用説明書を参照してください。

調整/メンテナンス

システムメニュー / カウンター  **調整/メンテナンス**

印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。

項目	説明
静音モード設定	印刷速度、読み込み速度を落として、動作音を低減します。
静音モード	静音モードを設定します。動作音が気になるときに設定してください。 設定値:設定しない、設定する
ジョブごとの設定	コピーや送信など、ジョブごとに静音モードを設定することができます。ここではジョブごとの設定を許可するかどうか設定します。 設定値:許可する、禁止する
濃度調整	濃度を全体的にこく、またはうすくします。
コピー	コピーの濃度を全体的にこく、またはうすくします。7段階で調整します。 設定値:-3(うすく)、-2、-1、0(ふつう)、+1、+2、+3(こく)
送信/ボックス	送信および文書ボックスに保存するときの読み込み濃度を、全体的にこく、またはうすくします。7段階で調整します。 設定値:-3(うすく)、-2、-1、0(ふつう)、+1、+2、+3(こく)
地色調整	地色調整を全体的にこく、またはうすくします。
コピー(自動)	コピー時の地色調整を全体的にこく、またはうすくします。7段階で調整します。 設定値:-3(うすく)、-2、-1、0(ふつう)、+1、+2、+3(こく)
送信/ボックス(自動)	送信および文書ボックスに保存するときの地色調整を、全体的にこく、またはうすくします。7段階で調整します。 設定値:-3(うすく)、-2、-1、0(ふつう)、+1、+2、+3(こく)
印刷濃度	印刷の濃度を全体的にこく、またはうすくします。5段階で調整します。 設定値:1~5
自動カラー判別基準	自動カラーモード時のカラー原稿と白黒原稿の判別レベルを調整できます。数値を小さくするとカラー原稿と判別されることが多くなり、数値を大きくすると白黒原稿と判別されることが多くなります。 設定値:1(カラー)、2、3、4、5(白黒)
黒筋軽減処理	原稿送り装置を使用して読み込んだ画像にすじ(原稿にない線状の汚れ)が発生した場合、このすじを目立たないようにします。 設定値 設定しない:黒筋軽減処理をしません。[設定する(弱く)]より原稿にある細かい線をくっきり再現したい場合は選択してください。 設定する(弱く):すじを目立たないようにします。 設定する(強く):[設定する(弱く)]でも、すじが気になる場合は選択してください。[設定する(弱く)]より原稿にある細かい線の再現性は低下することがあります。

項目	説明
画面の明るさ	<p>タッチパネルの明るさを調整します。 設定値:1(暗く)、2、3、4、5(明るく)</p>
ドラムリフレッシュ	<p>印刷された画像の流れたようにじみや白点を改善します。約3分かかります。所要時間は使用環境により異なる場合や、時間がかかる場合があります。 操作手順は、10-26ページのドラムリフレッシュを参照してください。</p> <p> 参考 印刷中、ドラムリフレッシュはできません。印刷が終了してから実行してください。</p>
自動ドラムリフレッシュ	<p>本機は画質を維持するために、周辺の温度や湿度を感知して自動でドラムリフレッシュを実行します。電源を入れたときや節電モードから復帰したときに実行されます。</p> <p>ここでは、自動ドラムリフレッシュが実行される時間を選択できますが、通常は[標準]でお使いください。[設定しない]または[短い]を選択すると、画質を維持できない場合があります。</p> <p>設定値 設定しない:自動ドラムリフレッシュを実行しません。 短い:自動ドラムリフレッシュが実行される時間を短くします。 標準:自動ドラムリフレッシュが実行される時間を標準にします。 長い:自動ドラムリフレッシュが実行される時間を長くします。</p>

9 ユーザー認証、集計管理 (ユーザー管理、部門管理)

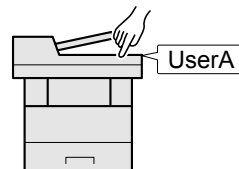
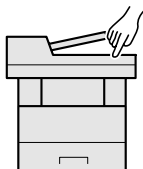
この章では、次の項目について説明します。

ユーザー管理について	9-2
ユーザー管理を有効にする	9-3
ユーザー管理の設定	9-5
ユーザーの新規登録(ローカルユーザーリスト)	9-5
ユーザー情報の変更	9-9
ユーザーアカウントロックアウト設定	9-13
印刷のユーザー管理	9-15
TWAINを使ったスキャンのユーザー管理	9-16
WIAを使ったスキャンのユーザー管理	9-17
パソコンから送信するファクスのユーザー管理	9-18
ローカルユーザー認可	9-19
グループ認可設定	9-20
ネットワークユーザー情報の取得	9-23
簡単ログイン設定	9-25
ICカード設定	9-29
ユーザー管理の使いかた	9-30
ログイン/ログアウト	9-30
パソコンでのユーザー管理	9-30
部門管理について	9-31
部門管理を有効にする	9-32
部門管理方式	9-33
部門管理の設定	9-34
部門の新規登録	9-34
使用制限	9-36
部門の編集	9-37
部門の削除	9-39
印刷の部門管理	9-40
TWAINを使ったスキャンの部門管理	9-41
WIAを使ったスキャンの部門管理	9-42
パソコンから送信するファクスの部門管理	9-43
部門管理の運用	9-44
初期設定	9-44
使用枚数の集計	9-45
部門管理レポート印刷	9-46
部門管理の使いかた	9-48
ログイン/ログアウト	9-48
パソコンでの部門管理	9-48
ID不明ジョブ処理	9-49

ユーザー管理について

ユーザー管理は、本機を使用できるユーザーを特定し、使用者を管理することができる機能です。入力されたログインユーザー名とパスワードがあらかじめ登録されたものと一致すれば、ユーザーが認証され、本機へのログインができます。

- 1 ユーザー管理を有効にする ([9-3ページ](#))
- 2 ユーザーを設定する ([9-5ページ](#))
- 3 ログインユーザー名とパスワードを入力してジョブを実行する ([2-9ページ](#))



ユーザーは、その権限によって「ユーザー」と「管理者」および「機器管理者」に分けられます。セキュリティーレベルの設定は、機器管理者だけが変更できます。

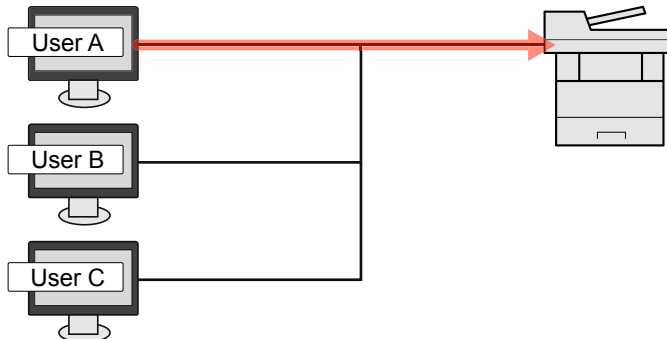
パソコンからのユーザーを管理する場合

パソコンから本機を使用するユーザーを管理するには、次の設定が必要です。

パソコンから印刷するユーザーを管理する場合

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理するには、プリンタードライバーの設定が必要です。

- 1 プリンタードライバーでユーザー管理を設定する ([9-15ページ](#))
- 2 印刷する ([9-30ページ](#))



TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理する場合

TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理するには、パソコンでTWAINドライバーの設定が必要です。([9-16ページのTWAINを使ったスキャンのユーザー管理](#)を参照してください)

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理する場合

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理するには、パソコンでWIAドライバーの設定が必要です。([9-17ページのWIAを使ったスキャンのユーザー管理](#)を参照してください)

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理する場合

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理するには、パソコンでFAXドライバーの設定が必要です。([9-18ページのパソコンから送信するファクスのユーザー管理](#)を参照してください)

ユーザー管理を有効にする

ユーザー管理を有効にします。ユーザーの認証方法を次の2種類から選択してください。

項目	詳細
ローカル認証	本機内のローカルユーザーリストに登録されたユーザー情報でユーザーを認証します。
ネットワーク認証	認証サーバーを使用してユーザーを認証します。認証サーバーに登録されているユーザー情報でログインしてください。

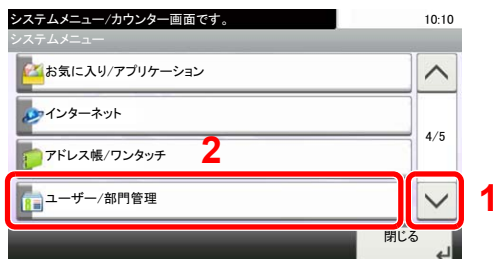
1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



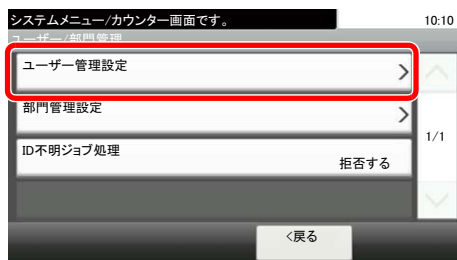
参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

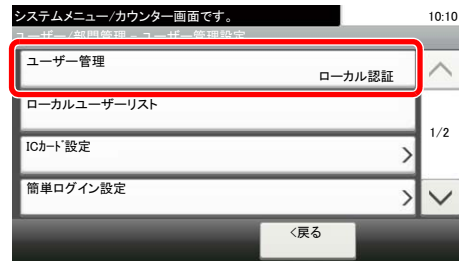
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 [ユーザー管理設定]を押します。



4 [ユーザー管理]を押します。



2 設定する



1 [ローカル認証]または[ネットワーク認証]を選択します。

[ネットワーク認証]を選択した場合は、サーバタイプを[NTLM] [Kerberos]または[Ext.]から選択してください。また、認証サーバーのホスト名(64文字以内)とドメイン名(256文字以内)を入力してください。

サーバタイプで[Ext.]を選択した場合は、ポート番号を入力します。

参考

- ユーザー管理を無効にする場合は[設定しない]を選択します。
- [ドメイン名]を押すとドメイン入力画面が表示されます。ドメイン名を入力してください。ドメイン名は10件まで登録できます

2 「新しい機能をホーム画面に登録しますか?」が表示されます。新しい機能をホーム画面に表示させたい場合は[はい]を押して、アイコンを表示させたい位置を指定します。

[デスクトップに表示できる機能 \(3-6ページ\)](#)

参考

ログインユーザー名とパスワードが認証されないとき、以下の設定を確認してください。

- 本機のネットワーク認証の設定
- 認証サーバーのユーザープロパティ
- 本機と認証サーバーの時刻設定

本機の設定でログインできない場合、ローカルユーザーリストに登録されている管理者でログインし、設定を修正してください。

ユーザー管理の設定

ユーザーの登録や変更、削除、ユーザー管理の設定を行います。

ユーザーの新規登録(ローカルユーザーリスト)

新しいユーザーを登録します。ユーザーは100人まで登録できます(ログインユーザー名の初期値を含む)。

参考

工場出荷時は、機器管理者の権限を持つデフォルトユーザーと管理者の権限を持つデフォルトユーザーが各1人登録されています。

各デフォルトユーザーのユーザー情報は次のとおりです。

機器管理者

ユーザー名: DeviceAdmin
ユーザー名(フリガナ): DeviceAdmin
ログインユーザー名: ECOSYS M3540idn:4000、ECOSYS M3550idn:5000
ログインパスワード: ECOSYS M3540idn:4000、ECOSYS M3550idn:5000
アクセスレベル: 機器管理者

管理者

ユーザー名: Admin
ユーザー名(フリガナ): Admin
ログインユーザー名: Admin
ログインパスワード: Admin
アクセスレベル: 管理者

(大文字・小文字は区別されます。)

ユーザー名、ログインユーザー名、ログインパスワードはセキュリティ保護のため、定期的に変更することをお勧めします。

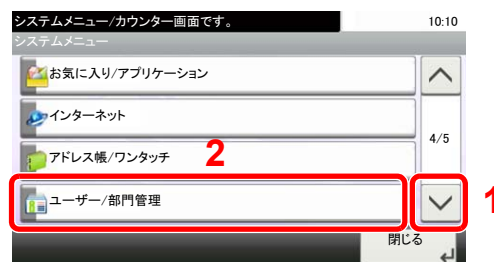
1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [∨]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

3 [ユーザー管理設定]→[ローカルユーザーリスト]→[+]の順に押します。

2 ユーザー情報を入力する

入力が終わったら[次へ]を押して次の項目に進みます。登録する項目は次のとおりです。

項目	説明
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。
ユーザー名(フリガナ)	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。
ログインユーザー名	ログインのときに入力するログインユーザー名を、64文字以内で入力します。ログインユーザー名は重複して登録することはできません。
アクセスレベル	ユーザーの権限を、「管理者」または「ユーザー」から選択します。

 参考

文字の入力方法は[11-12ページの文字の入力方法](#)を参照してください。




3 ユーザー情報を確認する

変更したい項目を選択してください。 10:10
新規登録 - 確認

ユーザー名	ユーザーA	↑
ユーザー名(フリガナ)	ユーザーA	1/3
ログインユーザー名	user A	
ログインパスワード	*****	↓

キャンセル <戻る 登録

必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

項目	説明
ユーザー名 ^{*1}	ユーザーリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。
ユーザー名(フリガナ) ^{*1}	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。
ログインユーザー名 ^{*1}	ログインのときに入力するログインユーザー名を、64文字以内で入力します。ログインユーザー名は重複して登録することはできません。
ログインパスワード	ログインのときに入力するパスワードを、64文字以内で入力します。
部門名	<p>ユーザーが所属している部門を登録することができます。所属部門を登録したユーザーでログインすると、部門コードを入力する必要がなくなります。部門管理については、9-31ページの部門管理についてを参照してください。</p> <p> 参考</p> <p>[メニュー]→[検索(フリガナ)]または[部門コード検索]を押すと、フリガナや部門コードで検索ができます。</p> <p>[メニュー]→[表示順(フリガナ)]または[表示順(ID)]を選択すると、部門名の並べ替えができます。</p>
メールアドレス	ユーザーのメールアドレスが登録できます。メール送信を使用する場合は登録してください。登録されたアドレスはメール機能が必要とされる動作のとき自動的に選択されます。
アクセスレベル ^{*1}	ユーザーの権限を、「管理者」または「ユーザー」から選択します。
ICカード情報	<p>ICカードの情報を登録します。</p> <p>ICカードリーダーにICカードをおいて、[読み取り]を押してください。</p> <p> 参考</p> <p>この機能は、オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。</p> <p> ICカード認証キット(B) <ICカード認証キット> (11-3ページ)</p>

*1 ユーザー登録のときの必須項目です。

項目	説明
マイパネル	ユーザーごとに言語選択と初期画面、ショートカットの設定を登録します。ここで登録しておけば、ログインするだけで設定が適用されます。
ローカル認可 ^{*1}	<p>ユーザーごとに使用制限を設定します。 使用制限できる項目は次のとおりです。</p> <p>プリンター印刷制限: プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。</p> <p>コピー印刷制限: コピーの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。</p> <p>送信制限: 送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。</p> <p>ファクス送信制限: ファクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。</p> <p>ボックス保存制限:^{*2} ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。</p> <p>外部メモリー保存制限: 外部メモリー保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。</p>

*1 ローカルユーザー認可を有効にしたときに表示されます。(9-19ページ参照)

*2 オプションのSSDを装着している場合に表示されます。



参考

文字の入力方法は[11-12ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

4 [登録]を押す

ローカルユーザーリストに新しいユーザーが追加されます。



参考

簡単ログインを設定している場合、新規登録が完了したときに簡単ログインの設定を行うかどうかの確認画面が表示されます。簡単ログインを設定する場合は[はい]を押してください。簡単ログインの設定方法については[9-25ページの簡単ログイン設定](#)をご覧ください。[いいえ]を選択するとユーザーリスト画面に戻ります。

ユーザー情報の変更

ユーザー情報を変更できます。変更できる内容は、ログインしているユーザーの権限によって異なります。

参考

機器管理者のユーザー情報を変更する場合は、機器管理者の権限でログインしてください。その他のユーザーでログインした場合は、ユーザー情報の参照しかできません。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

「管理者」の権限を持つユーザーでログインしている場合

ユーザー情報の変更やユーザーの削除ができます。登録できるすべての項目を変更できます。

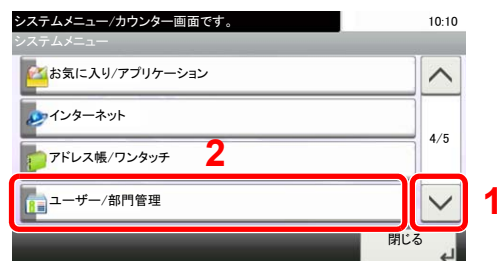
1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。


ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

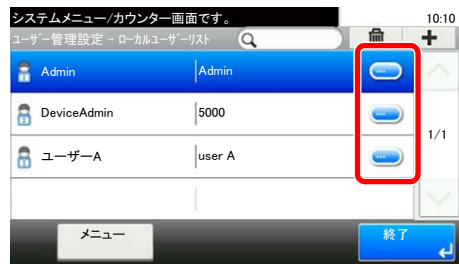
機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 [ユーザー管理設定]→[ローカルユーザーリスト]の順に押します。

2 ユーザー情報を変更する

ユーザー情報を変更する場合

- 1 ユーザー情報を変更するユーザーの[]を押します。

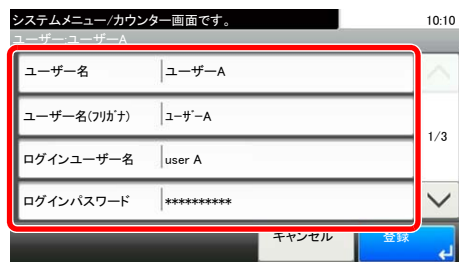


参考

[メニュー]→[表示順(フリガナ)]または[表示順(ログインユーザー名)]を選択すると、ユーザーリストの並べ替えができます。


[メニュー]→[フリガナ検索]または[ログイン名検索]を押すと、フリガナやログイン名で検索ができます。

- 2 ユーザーの新規登録の手順3を参照して、ユーザー情報を変更します。



- 3 [登録]を押します。
- 4 登録の確認画面で[はい]を押します。
ユーザー情報が変更されます。

ユーザーを削除する場合

- 1 削除するユーザーを選択して、[]を押します。
- 2 削除の確認画面で[はい]を押します。
ユーザーが削除されます。

参考

工場出荷時に登録されている、「管理者」の権限を持つデフォルトユーザーは削除できません。

ログインしているユーザーのユーザー情報を変更する場合(ユーザー情報)

ユーザー自身のユーザー情報を一部変更できます。変更できる項目は、「ユーザー名」、「ユーザー名(フリガナ)」、「ログインパスワード」、「メールアドレス」および「簡単ログイン」です。

「ログインユーザー名」、「アクセルレベル」および「部門名」の変更はできませんが、現在の登録を参照できます。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター






- 2 [✓]→[ユーザー情報]を押します。

2 ユーザー情報を変更する

- 1 ユーザーの新規登録の手順3を参照して、ユーザー情報を変更します。

項目	説明
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を変更します。32文字まで入力できます。
ユーザー名(フリガナ)	ユーザー名のフリガナを変更します。32文字まで入力できます。
ログインユーザー名	ログインのときに入力するログインユーザー名を参照します。
ログインパスワード	ログインのときに入力するパスワードを変更します。64文字まで入力できます。
アクセスレベル	ユーザーの権限を参照します。
部門名	ユーザーが所属している部門を参照します。
メールアドレス	ユーザーのメールアドレスを変更します。128文字まで入力できます。ユーザー権限でログインし、「新規宛先の入力」が[禁止する]に設定されている場合は、メールアドレスの確認のみできます。

項目	説明
ICカード情報	<p>ログインしているユーザーのICカード情報を参照します。</p> <p> 参考</p> <p>この機能は、オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。</p> <p> ICカード認証キット(B) <ICカード認証キット> (11-3ページ)</p> <p>この機能は、ネットワーク認証のサーバータイプで[Ext.]を選択している、そのタイプのサーバーで管理されているユーザーでログインした場合は表示されません。</p>
簡単ログイン	<p>簡単ログインを設定している場合は、内容を変更します。</p> <p> 参考</p> <p>この機能は、簡単ログインが[設定しない]、または簡単ログインに登録していない場合は表示されません。</p>
マイパネル	<p>ユーザーごとに言語選択と初期画面、ショートカットを登録します。ここに登録しておけば、ログインするだけで設定が適用されます。ネットワークユーザーは表示しません。</p>
ローカル認可 ^{*1}	<p>ユーザーごとに使用制限を設定します。</p> <p>使用制限できる項目は次のとおりです。</p> <p>プリンター印刷制限: プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。</p> <p>コピー印刷制限: コピーの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。</p> <p>送信制限: 送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。</p> <p>ファクス送信制限: ファクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。</p> <p>ボックス保存制限:^{*2} ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。</p> <p>外部メモリー保存制限: 外部メモリー保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。</p>

*1 ローカルユーザー認可を有効にしたときに表示されます。(9-19ページ参照)

*2 オプションのSSDを装着している場合に表示されます。

2 [登録]を押します。

ユーザー情報が変更されます。

ユーザーアカウントロックアウト設定

ユーザー認証しているユーザーの操作を制限する場合に設定します。

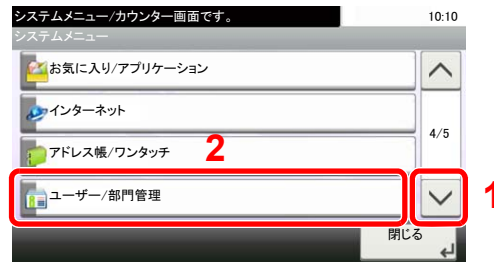
1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [∨]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。


ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 [ユーザー管理設定]→[∨]→[ユーザーアカウントロックアウト設定]の順に押します。

2 設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
ロックアウト	アカウントロックアウトポリシーを有効にするかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
ロックアウトポリシー	アカウントロックアウトが適用される条件と適用する範囲を設定します。 設定値 ロックまでの回数: 何回ログインするとロックされるのかを設定します。(1~10回) ロックアウト期間: ロックが解除されるまでの時間を設定します。(1~60分) ロックアウト対象: アカウントロックアウトを適応する範囲を設定します。[リモートログインのみ]と[すべて]から選択できます。リモートログインのみは操作部以外からの操作をすべてロックします。
ロックされているユーザーのリスト	ロックされているユーザーがリストに表示されますので、ロックを解除するユーザーを選択し、[ロック解除]を押すと、選択したユーザーのロックを解除します。  参考 アカウントロックアウトポリシーを有効にしたときに表示されます。

印刷のユーザー管理

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理することができます。

プリンタードライバーの設定

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理するには、プリンタードライバーで次の設定が必要です。

1 画面を表示する

- 1 Windowsの[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。

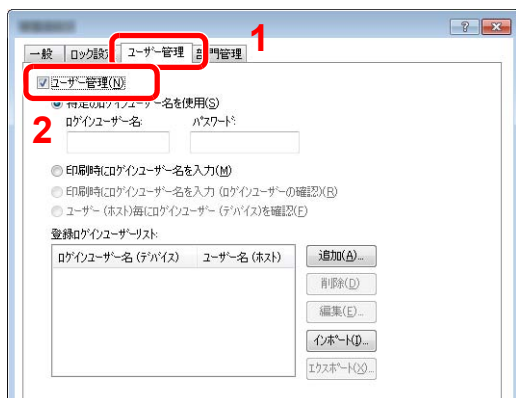
参考

Windows 8の場合はチャームの[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。
- 3 [デバイス設定]タブの[管理者設定]をクリックします。

2 設定する

- 1 [ユーザー管理]タブの[ユーザー管理]を選択します。



- 2 ユーザー管理を設定します。

[特定のログインユーザー名を使用]:特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じユーザーログインを使用します。この設定が選択されていると、印刷するたびにユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。

[印刷時にログインユーザー名を入力]:印刷時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名とパスワードは、印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にログインユーザー名を入力(ログインユーザーの確認)]:印刷時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名とパスワードは「登録ログインユーザーリスト」に登録されているものを入力します。ユーザー名とパスワードは、印刷するたびに入力する必要があります。

[ユーザー(ホスト)毎にログインユーザー(デバイス)を確認]:印刷時に、Windowsユーザー名を「登録ログインユーザーリスト」で検索し、登録されている場合は印刷できます。登録されていない場合、ユーザー権限のみのユーザーは印刷がキャンセルされます。管理者権限を持つユーザーはユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

- 3 [OK]をクリックします。



参考

ユーザー管理についてのその他の設定は、プリンタードライバー操作手順書を参照してください。

TWAINを使ったスキンのユーザー管理

TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理することができます。

TWAINドライバーの設定

TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理するには、TWAINドライバーで次の設定が必要です。

1 画面を表示する

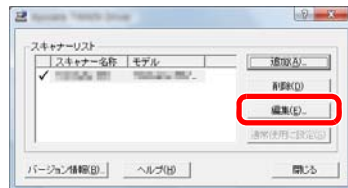
- 1 Windowsの[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Kyocera]→[**TWAIN Driver Setting**]を選択してください。TWAINドライバー設定画面が表示されます。



参考

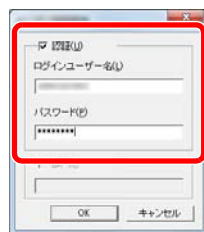
Windows 8の場合は、チャームの[検索]→[アプリ]→[**TWAIN Driver Setting**]を選択します。

- 2 本機を選択し、[編集]をクリックします。



2 設定する

- 1 [ユーザー認証設定]をクリックします。
- 2 [認証]を選択して、ログインユーザー名とパスワードを入力します。



- 3 [OK]をクリックします。

WIAを使ったスキャンのユーザー管理

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理することができます。

WIAドライバーの設定

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理するには、WIAドライバーで次の設定が必要です。

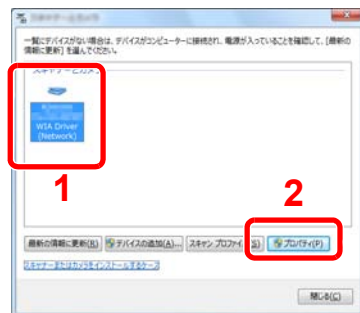
1 画面を表示する

- 1 Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラムとファイルの検索]欄に[スキャナー]と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

参考

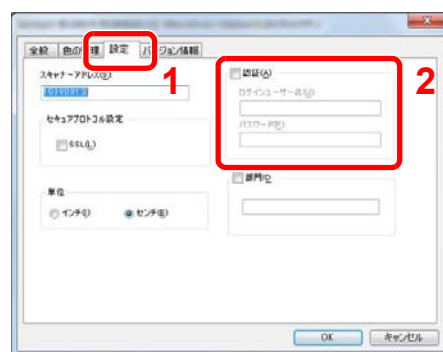
Windows 8の場合はチャームの[検索]→[設定]の順にクリックし、検索欄に[スキャナー]と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

- 2 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。



2 設定する

- 1 [設定]タブの[認証]を選択して、ログインユーザー名とパスワードを入力します。



- 2 [OK]をクリックします。

パソコンから送信するファクスのユーザー管理

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理することができます。

FAXドライバーの設定

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理するには、FAXドライバーで次の設定が必要です。

1 画面を表示する

- 1 Windowsの[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。



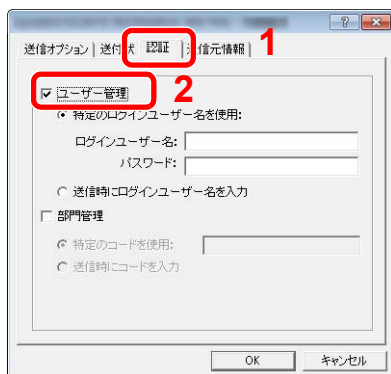
参考

Windows 8の場合はチャームの[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

- 2 本機のFAXドライバーのアイコンを右クリックして、[印刷設定]メニューをクリックします。
- 3 [ファクス設定]タブの[基本設定]をクリックします。

2 設定する

- 1 [認証]タブの[ユーザー管理]を選択します。



- 2 ユーザー管理を設定します。

[特定のログインユーザー名を使用]:特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべてのファクスジョブに対して同じユーザーログインを使用します。この設定が選択されていると、ファクスジョブごとにユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。

[送信時にログインユーザー名を入力]:送信時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名とパスワードは、送信するたびに入力する必要があります。

- 3 [OK]をクリックします。

ローカルユーザー認可

ローカルユーザー認可を使用するかどうかを設定します。

参考

ローカルユーザー認可を使用する場合は、ユーザー認証方法を[ローカル認証]に設定する必要があります。
詳しくは、[9-3ページのユーザー管理を有効にする](#)を参照してください。

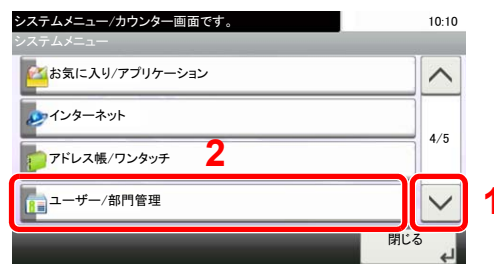
1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 [ユーザー管理設定]→[✓]→[ローカルユーザー認可]を押します。

2 [設定しない]または[設定する]を押す

グループ認可設定

認証サーバーに登録されたグループごとに本機の使用制限を設定します。

参考

グループ認可設定を使用する場合は、[9-3ページのユーザー管理を有効にする](#)でユーザーの認証方法を[ネットワーク認証]に設定する必要があります。[8-29ページのプロトコル詳細](#)で、「LDAP」を「使用する」に設定してください。

グループ認可

グループ認可を行います。

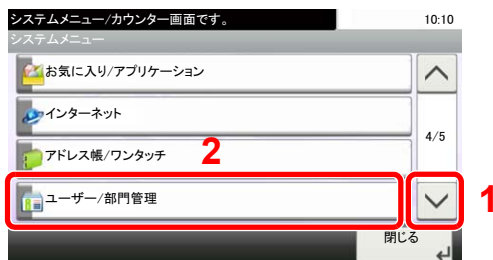
1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [∨]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 [ユーザー管理設定]→[∨]→[グループ認可設定]→[グループ認可]の順に押します。

2 [設定する]を押す

グループリスト

本機の使用を制限するグループを登録します。最大20グループまで個別に登録できます。グループリストに登録したグループに属さないユーザーやグループは、すべて「その他」になります。

登録する項目は、次のとおりです。

項目	詳細
グループID ^{*1}	グループリストに表示されるIDを、1~4294967295までの最大10桁で入力します。
グループ名	グループリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。
アクセスレベル	グループ制限を、[管理者]または[ユーザー]から選択します。
プリンター制限	プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。
コピー制限	コピーの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。
送信制限	送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。
ファクス送信制限	ファクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。
ボックス保存制限 ^{*2}	ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。
外部メモリー保存制限	外部メモリー保存機能を使用禁止にするかどうか設定しています。

*1 「グループID」は、WindowsのActive Directoryでユーザーに割り当てているPrimaryGroupIDを設定してください。Windows Server 2008では、ユーザーのプロパティ画面の属性エディタタブで確認できます。Windows Server 2000/2003では、ADSIEditで確認できます。ADSIEditは、WindowsサーバーOSのインストールDVDに含まれるサポートツール(¥SUPPORT¥TOOLSフォルダー以下に収録されている)です。

*2 オプションのSSDを装着している場合に表示されます。

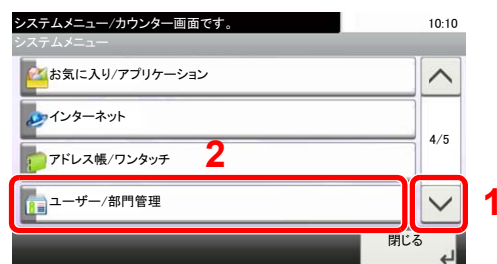
1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

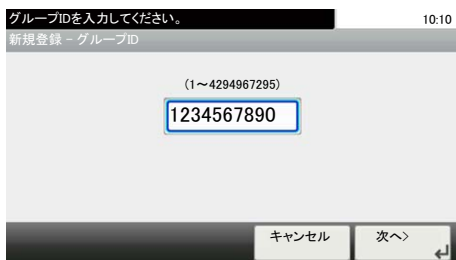
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 [ユーザー管理設定]→[▽]→[グループ認可設定]→[グループリスト]→[+]の順に押します。



2 設定する



- 1 グループIDを入力して[次へ]を押します。
- 2 グループ名を入力して[次へ]を押します。

参考

文字入力方法は、[11-12ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

- 3 アクセスレベルを選択して、[次へ]を押します。
- 4 内容を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

3 登録する

[登録]を押してください。グループリストに新しいグループが追加されます。

ネットワークユーザー情報の取得

LDAPサーバーからユーザー情報を取得するために必要な項目を設定します。この設定で取得されたユーザー名やメールアドレスは、ユーザー情報、状況確認画面やメールのヘッダーに表示されます。

参考

LDAPサーバーからネットワークユーザー情報を取得する設定を行うには、[9-3ページのユーザー管理を有効にする](#)でユーザーの認証方法を[ネットワーク認証]に設定する必要があります。[8-29ページのプロトコル詳細](#)で、「LDAP」を「使用する」に設定してください。

登録する項目は、次のとおりです。

項目	詳細
サーバー名 ^{*1}	LDAPサーバーのサーバー名またはIPアドレスを64文字以内で入力します。サーバー名を入力しない場合、ネットワーク認証で設定しているサーバーからユーザー情報を取得します。
ポート	LDAPが使用するポート番号を設定します。通常は389を使用します。
名前1 ^{*2}	LDAPサーバーから表示するユーザー名を取得する際のLDAPアトリビュートを32文字以内で入力します。
名前2 ^{*3}	LDAPサーバーから表示するユーザー名を取得する際のLDAPアトリビュートを32文字以内で入力します。
認証方式 ^{*4}	認証方式を設定します。[簡易認証]または[SASL]のどちらかを選択してください。設定変更後にシステムの再起動を行うか、電源のOFF/ONを行ってください。
メールアドレス ^{*5}	LDAPサーバーからメールアドレスを取得する際のLDAPアトリビュートを32文字以内で入力します。
検索タイムアウト	タイムアウトするまでの時間を5～255秒の秒単位で入力します。

*1 WindowsのActive Directoryの場合、通常はネットワーク認証で設定したサーバー名と同じです。

*2 WindowsのActive Directoryの場合、通常は属性のdisplayNameを使用します。

*3 「名前2」は省略できます。「名前1」にdisplayName、「名前2」にdepartmentを設定し、WindowsのActive Directoryの値がdisplayName=山田 太郎、department=営業部の場合、ユーザー名は「山田 太郎 営業部」と表示します。

*4 「ネットワーク認証」でサーバータイプを「Kerberos」に設定している場合に表示されます。

*5 WindowsのActive Directoryの場合、通常は属性のmailを使用します。

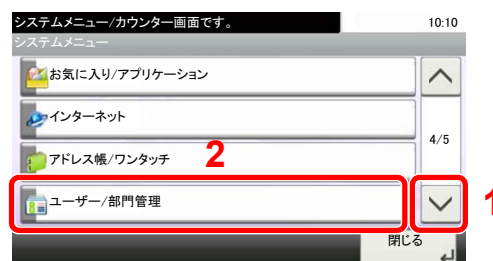
1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- [ユーザー管理設定]→[√]→[ネットワークユーザー情報の取得]→[設定する]の順に押します。

2 設定する



- [サーバー名]を押します。
- LDAPサーバーのサーバー名または、IPアドレスを入力して[OK]を押します。
- [ポート]を押します。
- LDAPサーバーのポート番号を入力して[OK]を押します。
- [名前1]を押します。
- 表示するユーザー名を取得する際のLDAPアトリビュートを入力して、[OK]を押します。
- 手順5、6と同様にして、[名前2]を設定します。
- サーバータイプを「Kerberos」に設定している場合は、[認証方式]を押して認証方式を設定します。
- [メールアドレス]を押します。
- メールアドレスを取得する際のLDAPアトリビュートを入力して、[OK]を押します。
- LDAPサーバーからユーザー情報の検索を終了する時間を変更する場合は、[検索タイムアウト時間]を押します。
- [+]、[-]またはテンキーで検索する時間を入力し、[OK]を押します。
- [OK]を押します。

簡単ログイン設定

簡単ログインは、ユーザーを選択するだけでログインできる機能です。ユーザーはあらかじめ登録しておく必要があります。

参考

- ユーザーの登録は、[9-5ページのユーザーの新規登録\(ローカルユーザーリスト\)](#)を参照してください。
- 簡単ログインを使用する場合は、[9-3ページのユーザー管理を有効にする](#)でユーザー管理を有効に設定する必要があります。

簡単ログイン

簡単ログインを有効にするかどうかを設定します。

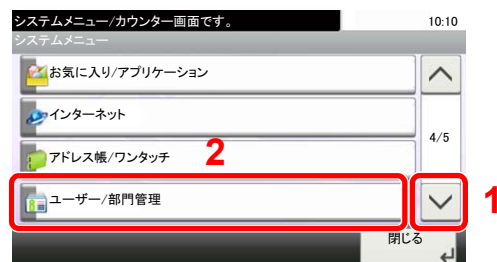
1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 [ユーザー管理設定]→[簡単ログイン設定]→[簡単ログイン]の順に押します。

2 [設定する]または[設定しない]を押す

簡単ログイン情報

簡単ログインを使用するユーザーを登録します。ユーザーは20人まで登録できます

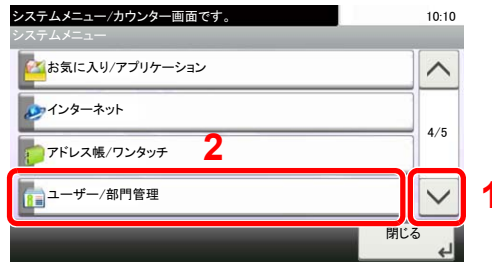
1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 [ユーザー管理設定]→[簡単ログイン設定]→[簡単ログイン情報]の順に押します。

2 ユーザー情報を入力する

- 1 設定したいキーを押します。
- 2 [+]を押します。



- 3** ユーザーをローカルユーザーから指定するときは[ローカルユーザー]を、ネットワークユーザーを指定するときは[ネットワークユーザー]を選択します。

選択した指定方法によって、操作手順が異なります。

ローカルユーザーからユーザーを指定するとき

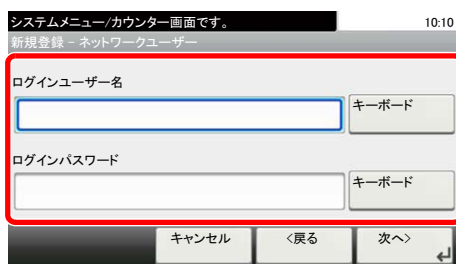


簡単ログインを設定するユーザーを選択してください。

参考

- [メニュー]→[表示順(フリガナ)]または[表示順(ログインユーザー名)]を選択すると、ユーザーリストの並べ替えができます。
- [メニュー]→[フリガナ検索]または[ログイン名検索]を押すと、フリガナやログイン名で検索ができます。

ネットワークユーザーからユーザーを指定するとき



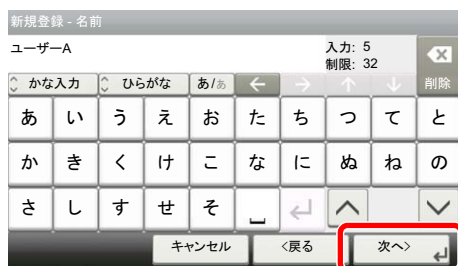
「ログインユーザー名」、「ログインパスワード」の[キーボード]を押して登録するユーザーの情報を入力して、[OK]を押してください。

[次へ]を押してください。

参考

文字の入力方法は[11-12ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

- 4** 表示するユーザー名を入力して、[次へ]を押します。



参考

文字の入力方法は[11-12ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

- 5** [パスワード認証]を押します。

- 6 [設定する]または[設定しない]を選択します。
- 7 [アイコン]を押します。
- 8 表示するユーザーのアイコンを選択します。



3 登録する

[登録]を押してください。

ICカード設定

ICカード認証が有効の場合、認証方法を設定します。

参考

- この機能は、ICカード認証キットが起動されている場合に表示されます。

 [ICカード認証キット\(B\) <ICカード認証キット> \(11-3ページ\)](#)

- この機能は、ネットワーク認証ユーザーでログインしている場合は表示されません。

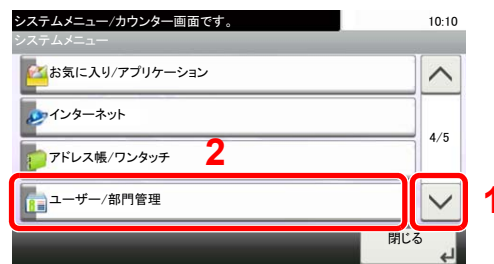
1 画面を表示する

- [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- [✓]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- [ユーザー管理設定]→[ICカード設定]を押します。

2 設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
キーボードログイン	ICカード認証が有効の場合、キーボードによるログインを許可するかどうかを設定します。 設定値:許可する、禁止する
パスワード認証	ICカードで認証後、パスワードを入力させるかどうかを設定します。 設定値:設定しない、設定する

ユーザー管理の使いかた

ユーザー管理を設定しているときの操作を説明します。

ログイン/ログアウト

ユーザー管理が有効の場合は、本機を使用するとき、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ログイン、ログアウトの操作手順は、次のとおりです。

ログイン

本機の操作中にログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、[2-9ページのログイン](#)を参照して、ログインしてください。

ログアウト

操作が終了したら、[認証/ログアウト]キーを押します。ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻ります。



パソコンでのユーザー管理

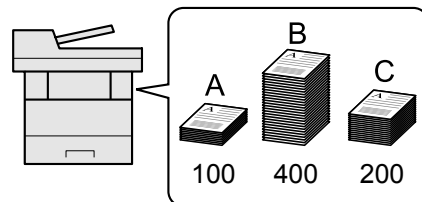
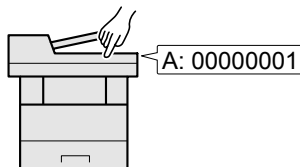
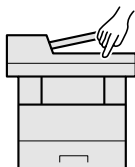
パソコンで次の画面が表示されたら、ログインユーザー名とパスワードを入力して、[OK]をクリックしてください。

A screenshot of a login dialog box. It has a title bar with a question mark and a close button. The main area contains two text input fields: the first is labeled "ログインユーザー名:" and the second is labeled "パスワード:". Below the fields are two buttons: "OK" and "キャンセル".

部門管理について

部門管理は、部門コードを入力することにより、部門別にコピー/印刷/スキャン/ファクスの使用枚数を管理できる機能です。

- 1 部門管理を有効にする ([9-32ページ](#))
- 2 部門を設定する ([9-34ページ](#))
- 3 部門コードを入力してジョブを実行する ([9-48ページ](#))
- 4 使用枚数が集計される。



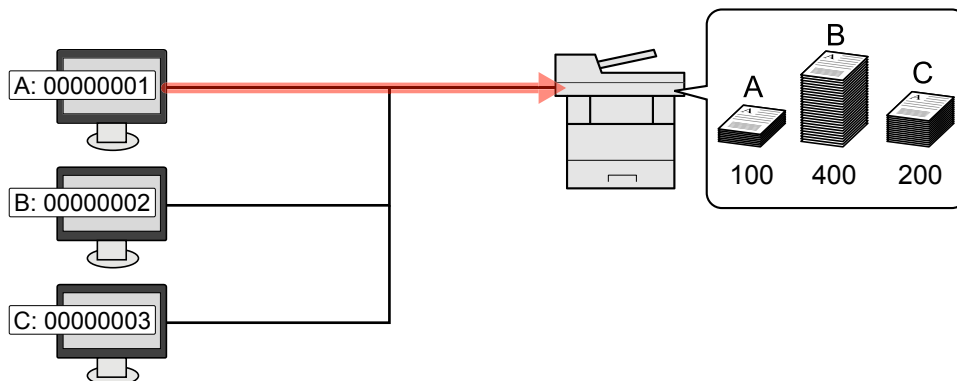
パソコンからのジョブの使用枚数を管理する場合

パソコンから本機を使用する枚数を管理するには、次の設定が必要です。

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理する場合

パソコンから本機で印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバーの設定が必要です。

- 1 プリンタードライバーでパソコンに部門管理を設定する ([9-40ページ](#))
- 2 印刷する ([9-48ページ](#))
- 3 使用枚数が集計される。



TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理する場合

TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、パソコンでTWAINドライバーの設定が必要です。([9-41ページのTWAINを使ったスキャンの部門管理](#)を参照してください)

WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理する場合

WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、パソコンでWIAドライバーの設定が必要です。([9-42ページのWIAを使ったスキャンの部門管理](#)を参照してください)

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理する場合

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理するには、パソコンでFAXドライバーの設定が必要です。([9-43ページのパソコンから送信するファクスの部門管理](#)を参照してください)

部門管理を有効にする

部門管理を有効にします。操作手順は次のとおりです。

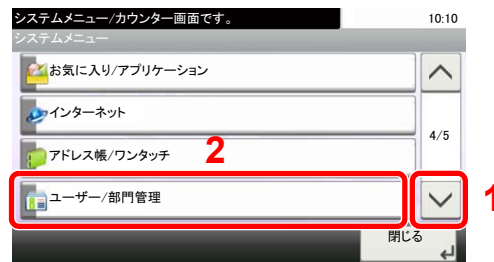
1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 [部門管理設定]→[部門管理]の順にを押します。

2 [設定する]を押す

参考

- 部門管理を無効にする場合は、[設定しない]を押してください。
- 初期画面に戻ると、自動でログアウトされ、部門コードを入力する画面が表示されます。つづけて作業を行う場合は、部門コードを入力してください。

部門管理方式

部門管理方式を設定します。

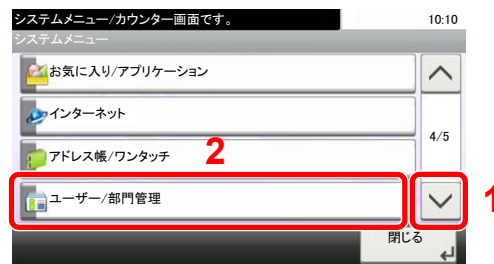
1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 [部門管理設定]→[部門管理方式]の順に押してください。

2 設定する

[ローカル]または[ネットワーク管理]を選択します。

参考

[ネットワーク管理]を選択する場合は、ネットワーク認証を有効にし、サーバータイプを[Ext.]に設定しておく必要があります。



[ユーザー管理を有効にする \(9-3ページ\)](#)

部門管理の設定

部門の新規登録

部門の管理を行います。

項目	詳細
部門名	部門名を、32文字以内で入力してください。
部門名(フリガナ)	部門名のフリガナを、32文字以内で入力してください。
部門コード	部門コードを、0~99999999までの最大8桁で入力してください。
使用制限	印刷/読み込みの禁止や、使用できる枚数を制限します。 方法は、 9-36ページの使用制限 を参照してください。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 [部門管理設定]→[✓]→[部門リスト]→[+]の順に押します。

2 部門情報を入力する

- 1 部門名を入力して、[次へ]を押します。



参考

文字の入力方法は、[11-12ページの文字の入力方法](#)を参照してください。

- 2 [部門名(フリガナ)]を入力して、[次へ]を押します。
- 3 「部門コード」を入力して、[次へ]を押します。



参考

すでに登録されている「部門コード」は使用できません。別の部門コードを入力してください。

- 4 使用制限の方法を選択します。



使用制限の方法は、[9-36ページの使用制限](#)を参照してください。

- 5 [登録]を押します。

部門リストに新しい部門が追加されます。

使用制限

部門ごとに使用を禁止したり、使用できる枚数を制限したりすることができます。

制限できる内容は、[9-44ページのコピー/プリンターカウント方法](#)を「個別」にしているか「合計」にしているかによって異なります。

使用制限できる項目

コピー/プリンターカウント方法が「個別」の場合

項目	詳細
コピー制限(合計)	コピーの使用枚数を制限します。
プリンター制限(合計)	印刷の使用枚数を制限します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み枚数を制限します。
ファクス送信制限	ファクスの送信枚数を制限します。

コピー/プリンターカウント方法が「合計」の場合

項目	詳細
印刷制限(合計)	コピーとプリンターの合計の使用枚数を制限します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み枚数を制限します。
ファクス送信制限	ファクスの送信枚数を制限します。

使用制限の方法

使用制限の方法は次のとおりです。

項目	詳細
制限しない	使用を制限しません。
カウンター制限	使用枚数を、1～9,999,999枚の範囲(1枚単位)で制限します。
使用禁止	使用を禁止します。

部門の編集

登録されている部門情報の変更ができます。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 [部門管理設定]→[✓]→[部門リスト]の順に押します。

2 編集する

- 1 部門情報を変更する部門の[編集]を選択します。



参考

- [メニュー]→[検索(フリガナ)]または[部門コード検索]を押すと、フリガナや部門コードで検索ができます。
- [メニュー]→[表示順(フリガナ)]または[表示順(ID)]を選択すると、部門名の並べ替えができます。

- 2 変更する部門情報を選択して、部門情報を変更してください。

システムメニュー/カウンター画面です。 10:10

部門:部門01

部門名	部門01	↑
部門名(フリガナ)	ブモン01	1/2
部門コード	00000001	
印刷制限(合計)	制限しない	↓

キャンセル 登録

- 3 [登録]を押します。
- 4 登録の確認画面で[はい]を押します。
部門情報が変更されます。

部門の削除

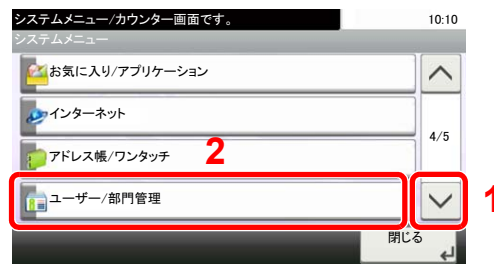
部門を削除します。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー]キーを押します。



- 2 [✓]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 [部門管理設定]→[✓]→[部門リスト]の順に押します。

2 削除する

- 1 削除する部門を選択して、[🗑️]を押します。
- 2 削除の確認画面で、[はい]を押します。
部門が削除されます。

印刷の部門管理

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理することができます。

プリンタードライバーの設定

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバーで次の設定が必要です。

1 画面を表示する

- 1 Windowsの[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。

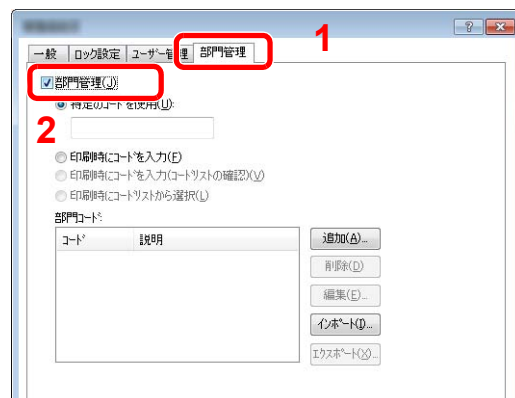
参考

Windows 8の場合はチャームの[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。
- 3 [デバイス設定]タブの[管理者設定]をクリックします。

2 設定する

- 1 [部門管理]タブの[部門管理]を選択します。



- 2 部門管理を設定します。

[特定のコードを使用]: 特定の部門コードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じ部門コードを使用します。この設定が選択されていると、印刷するたびに部門コードを入力する必要がありません。

[印刷時にコードを入力]: 印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードを入力(コードリストの確認)]: 印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されず。部門コードは「部門コードリスト」に登録されているものを入力します。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードリストから選択]: 印刷時に部門コードリストが表示されます。部門コードは「部門コードリスト」に登録されている必要があります。

- 3 [OK]をクリックします。

参考

部門管理についてのその他の設定は、プリンタードライバー操作手順書を参照してください。

TWAINを使ったスキヤンの部門管理

TWAINを使ってスキヤンしたジョブの使用枚数を管理することができます。

TWAINドライバーの設定

TWAINを使ってスキヤンしたジョブの使用枚数を管理するには、TWAINドライバーで次の設定が必要です。

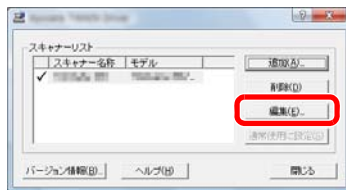
1 画面を表示する

- 1 Windowsの[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Kyocera]→[**TWAIN Driver Setting**]を選択してください。TWAINドライバー設定画面が表示されます。



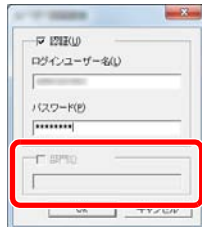
Windows 8の場合は、チャームの[検索]→[アプリ]→[**TWAIN Driver Setting**]を選択します。

- 2 本機を選択し、[編集]をクリックします。



2 設定する

- 1 [ユーザー認証設定]をクリックします。
- 2 [部門ID]を選択して、部門コードを入力します。



- 3 [OK]をクリックします。

WIAを使ったスキヤンの部門管理

WIAを使ってスキヤンしたジョブの使用枚数することができます。

WIAドライバーの設定

WIAを使ってスキヤンしたジョブの使用枚数を管理するには、WIAドライバーで次の設定が必要です。

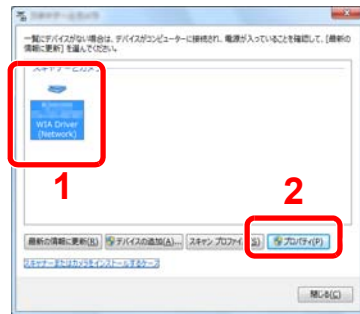
1 画面を表示する

- 1 Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラムとファイルの検索]欄に[スキヤナー]と入力します。検索された一覧の中から[スキヤナーとカメラの表示]をクリックすると、スキヤナーとカメラ画面が表示されます。

参考

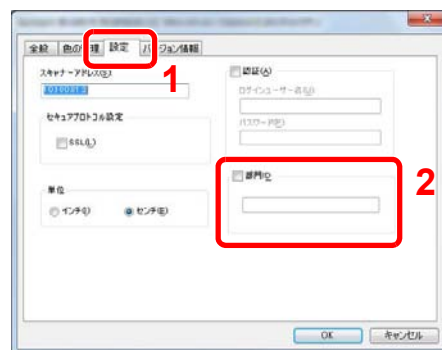
Windows 8の場合はチャームの[検索]→[設定]の順にクリックし、検索欄に[スキヤナー]と入力します。検索された一覧の中から[スキヤナーとカメラの表示]をクリックすると、スキヤナーとカメラ画面が表示されます。

- 2 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。



2 設定する

- 1 [設定]タブの[部門ID]を選択して、部門コードを入力します。



- 2 [OK]をクリックします。

パソコンから送信するファクスの部門管理

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理することができます。

FAXドライバーの設定

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理するには、FAXドライバーで次の設定が必要です。

1 画面を表示する

- 1 Windowsの[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。

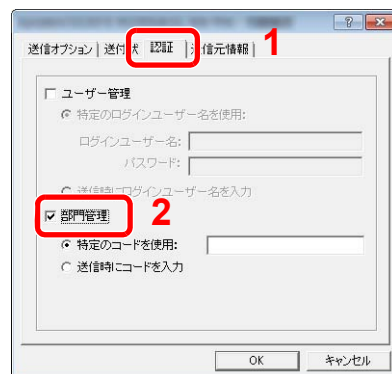
参考

Windows 8の場合はチャームの[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

- 2 本機のFAXドライバーのアイコンを右クリックして、[印刷設定]メニューをクリックします。
- 3 [ファクス設定]タブの[基本設定]をクリックします。

2 設定する

- 1 [認証]タブの[部門管理]を選択します。



- 2 部門管理を設定します。

[特定のコードを使用]: 特定の部門コードを指定して、すべてのファクスジョブに対して同じ部門コードを使用します。この設定が選択されていると、ファクスジョブごとに部門コードを入力する必要がありません。

[送信時にコードを入力]: 送信時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは送信するたびに入力する必要があります。

- 3 [OK]をクリックします。

部門管理の運用

初期設定

制限枚数に達したときの処理やコピーとプリンターの使用枚数の管理方法、使用制限の初期値を設定します。

システムメニュー / カウンター  ユーザー/部門管理  部門管理設定  初期設定

詳細については、次の表を参照してください。

項目	説明
制限超過時設定	<p>制限枚数に達したときの処理を変更できます。処理の内容は次のとおりです。</p> <p>設定値</p> <p>即時禁止: 制限枚数に達した時点でジョブの処理が禁止されます。送信中や、ボックス保存中は次のジョブから禁止されます。</p> <p>次ジョブから禁止: 印刷中または読み込み中のジョブは続行されますが、次のジョブから使用禁止になります。</p> <p>警告のみ: 警告メッセージが表示されますが、ジョブの処理は続行されます。</p>
コピー/プリンターカウント方法	<p>コピーとプリンターの使用枚数を合計して管理するか、個別に管理するか選択することができます。この選択によって、使用枚数の制限や集計の方法が変わりますので、本機をお使いの環境に合わせてください。詳しくは、使用制限 (9-36ページ)、部門管理レポート印刷 (9-46ページ)を参照してください。</p> <p>設定値: 合計、個別</p>
カウンター制限初期値	<p>新規部門登録を行う場合の、制限枚数の初期値を変更することができます。設定範囲は1 ~ 9,999,999 枚です。</p> <p>設定できる内容は、9-44ページのコピー/プリンターカウント方法の「コピー/プリンターカウント方法」を「個別」にしているか「合計」にしているかによって異なります。</p>
コピー/プリンターカウント方法が「個別」の場合	
コピー制限(合計)	コピーの制限枚数の初期値を設定します。
プリンター制限(合計)	印刷の制限枚数の初期値を設定します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み制限枚数の初期値を設定します。
ファクス送信制限	ファクスの送信制限枚数の初期値を設定します。
コピー/プリンターカウント方法が「合計」の場合	
印刷制限(合計)	コピーとプリンター合計の制限枚数の初期値を設定します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み制限枚数の初期値を設定します。
ファクス送信制限	ファクスの送信制限枚数の初期値を設定します。

使用枚数の集計

使用枚数を集計することができます。集計は、全部門または部門別に行います。また、一定期間管理した使用枚数をリセットして、新たに使用枚数のカウントを始めることができます。



全部門集計

全部門の使用枚数を集計します。また、全部門の使用枚数を一括でリセットできます。

部門別集計

部門別の使用枚数を集計します。また、部門別に使用枚数をリセットできます。

使用枚数は次の項目別にカウントされています。

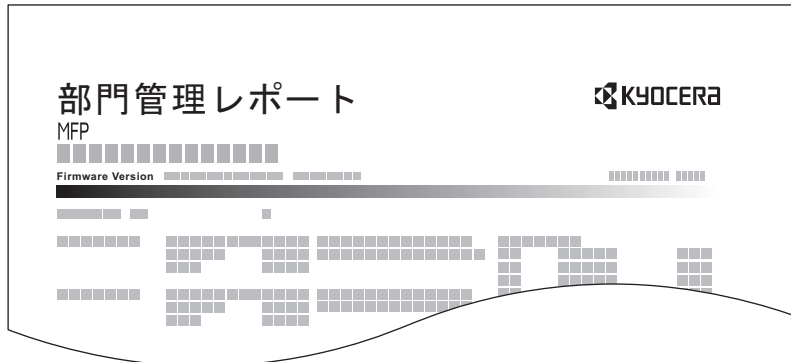
項目	説明
印刷ページ数	コピー、プリンター、およびその合計の使用枚数が表示されます。また、「ファクス」、「両面集計」、「集約集計」でそれぞれの使用枚数も確認できます。
コピー(合計)	コピーの使用枚数が表示されます。
プリンター(合計)	プリンターの使用枚数が表示されます。
コピー/プリンター(合計)	コピーとプリンターの合計の使用枚数が表示されます。
ファクス	ファクス受信の使用枚数が表示されます。
合計	合計の使用枚数が表示されます。
両面集計	[片面]、[両面]、およびその合計の使用枚数が確認できます。
集約集計	[なし] (集約なし)、[2 in 1]、[4 in 1]、およびその合計の使用枚数が確認できます。
読み込みページ数	コピーの読み込み、ファクスの読み込み、その他の読み込み、およびその合計の使用枚数が表示されます。
ファクス送信ページ	ファクス送信の使用枚数が表示されます。
ファクス送信時間	ファクス送信の使用時間が表示されます。
カウンターリセット	使用枚数をリセットします。 確認画面で[はい]を押してください。

部門管理レポート印刷

全部門で集計された枚数を、部門管理レポートとして印刷できます。

レポートは、コピーとプリンターの枚数管理の方法によって、印刷されるフォームが変わります。

コピーとプリンターの管理方法が「個別」の場合



部門管理レポートを印刷する操作手順は、次のとおりです。

1 用紙を準備する

カセットにA4またはLetterの用紙が補給されていることを確認します。

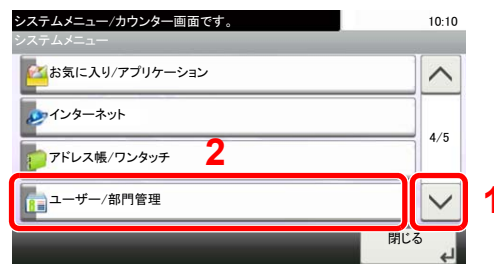
2 画面を表示する

1 システムメニュー]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



2 [✓]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

3 印刷する

- 1 [部門管理レポート印刷]を押します。
- 2 確認画面で[はい]を押します。
部門管理レポートが印刷されます。

部門管理の使いかた

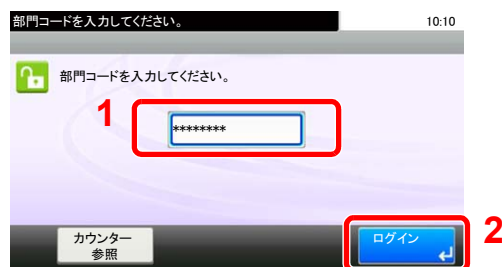
ログイン/ログアウト

部門管理が有効の場合は、本機を使用するとき、部門コードを入力する画面が表示されます。

ログイン、ログアウトの操作手順は、次のとおりです。

ログイン

- 1 本機を操作して次の画面が表示されたら、テンキーで部門コードを入力して、[ログイン]を押します。



参考

- 入力を間違えたときは、[クリア]キーを押して入力し直してください。
- 登録された部門コードと一致しない場合はエラー音が鳴り、ログインできません。正しい部門コードを入力してください。
- [カウンター参照]を押すと、印刷枚数や読み込み枚数を参照することができます。

ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたとき

ユーザー管理が有効の場合は、部門コードを入力する画面の代わりに、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ログインユーザー名とパスワードを入力してログインしてください(9-5ページのユーザーの新規登録(ローカルユーザーリスト)参照)。ユーザーに部門情報が登録されているときは、部門コードの入力は省略されます(9-5ページのユーザーの新規登録(ローカルユーザーリスト)参照)。

- 2 通常の操作を行います。

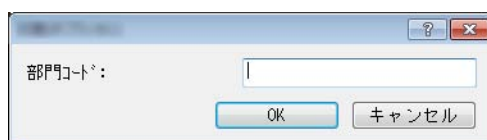
ログアウト

操作が終了したら、[認証/ログアウト]キーを押します。部門コードを入力する画面に戻ります。



パソコンでの部門管理

パソコンで次の画面が表示されたら、部門コードを入力して、[OK]をクリックしてください。



ID不明ジョブ処理

ログインユーザー名(ユーザーID)が不明なジョブ、またはログインユーザー名(ユーザーID)のないジョブがパソコンから届いた場合の処理方法を選択することができます。ユーザー管理が無効で、部門管理を有効にしている場合は、ジョブの部門コードが不明のときの処理方法となります。
設定項目は次のとおりです。

項目	詳細
許可する	ジョブを処理します。
拒否する	ジョブを処理しません。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[ユーザー/部門管理]の順に押します。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 [ID不明ジョブ処理]を押します。

2 設定する

[拒否する]または[許可する]を押します。

10 こんなときには

この章では、次の項目について説明します。

日常のお手入れ	10-2
清掃	10-2
トナーコンテナの交換	10-5
廃棄トナーボックスの交換	10-8
こまったときは	10-10
一般的な問題について	10-10
こんな表示がでたら	10-15
調整/メンテナンスメニューについて	10-26
紙づまりが発生したら	10-27

日常のお手入れ

清掃

印刷品質を保つため、定期的に本機を清掃します。



注意

本機の清掃を行うときは、安全上必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

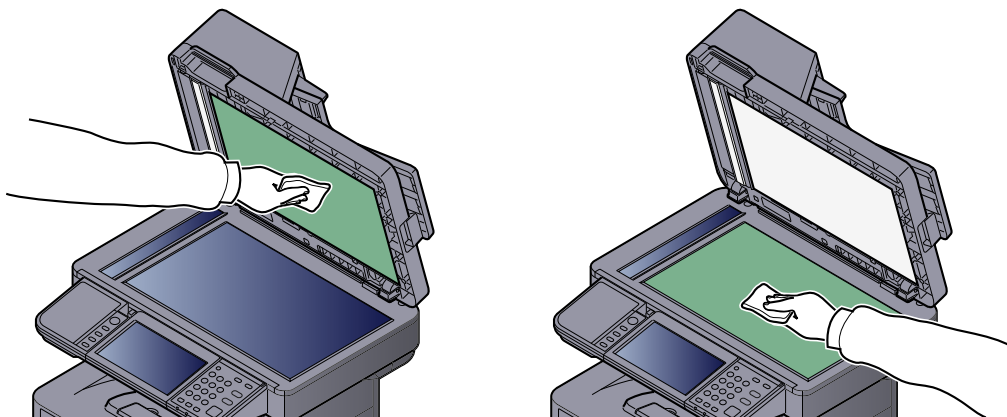
原稿ガラス

アルコールまたはうすい中性洗剤をつけた柔らかい布で、原稿送り装置内部および原稿ガラスを拭きます。



重要

シンナー、有機溶剤などは使用しないでください。



スリットガラス

原稿送り装置を使用している場合、乾いた布でスリットガラスと読み取りガイドの表面を拭きます。



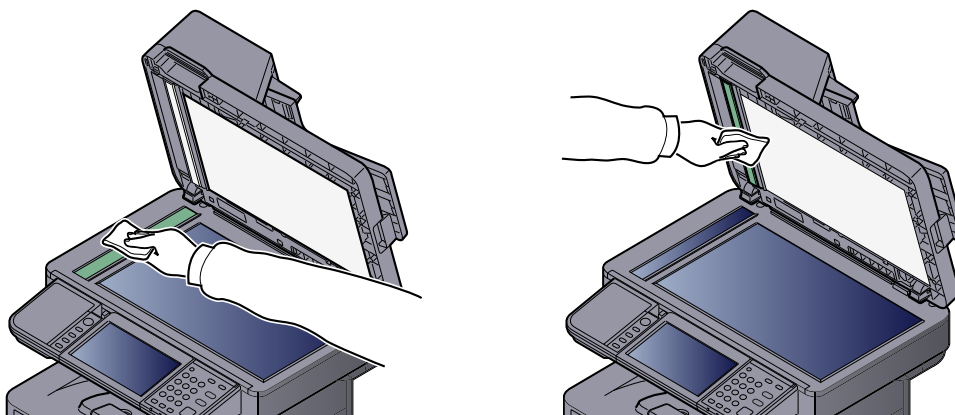
重要

拭き取る際は水や洗剤を使用しないでください。



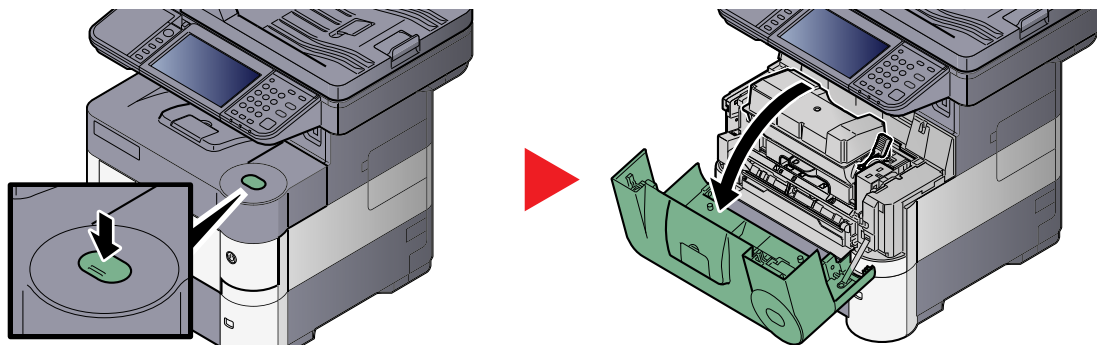
参考

スリットガラスや読み取りガイドの汚れは、出力紙に黒いすじなどが写る原因となります。

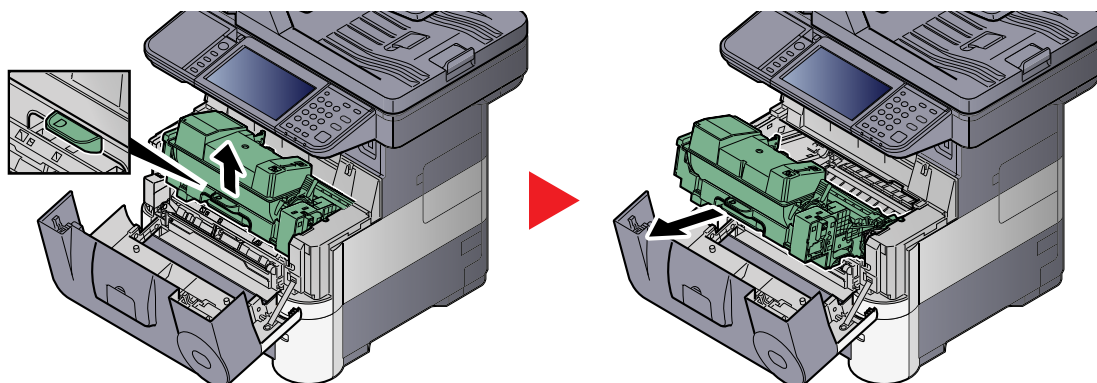


レジストローラー

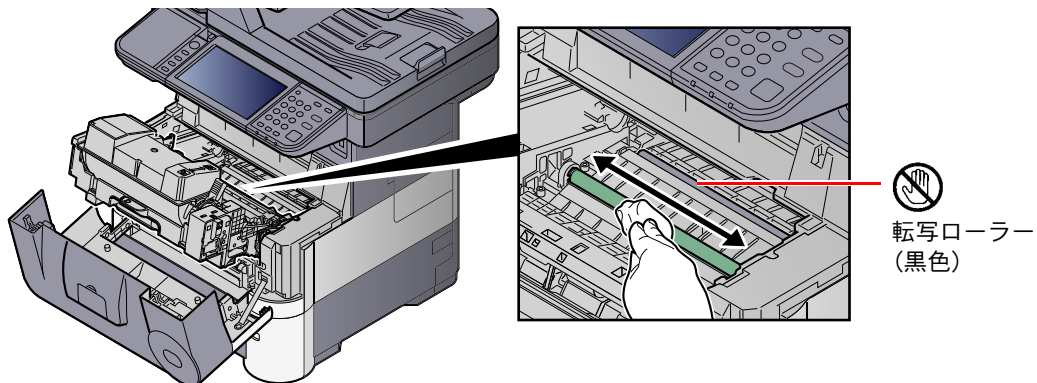
1



2



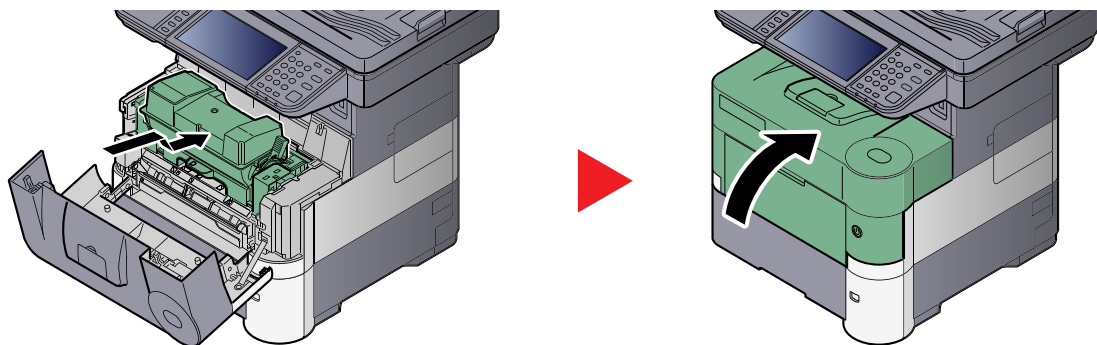
3



☑ 重要

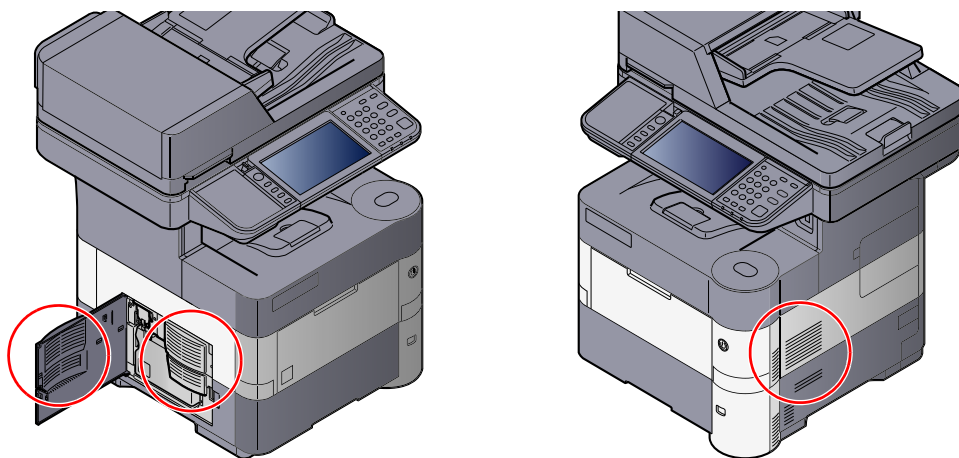
清掃中は転写ローラー(黒色)に触れないようにご注意ください。印刷品質が低下する原因になります。

4



通風孔

乾いた柔らかい布で、通風孔に付着しているほこりや汚れを拭き取ってください。



トナーコンテナの交換

トナー残量が少なくなってくると、タッチパネルに「トナーが残り少なくなっています。(なくなったら交換)」と表示されます。新しいトナーコンテナをご用意ください。

タッチパネルに「トナーがありません。」が表示されたときは、すぐにトナーコンテナを交換してください。

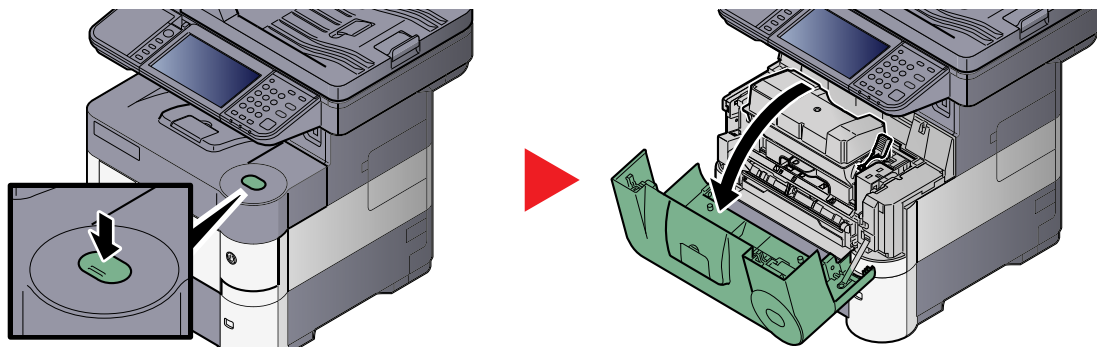
参考

- トナーコンテナは、必ず純正品を使用してください。純正品を使用しない場合、画像不良や故障の原因となります。
- 本製品のトナーコンテナに装着されているメモリーチップは、お客様の利便性の向上、使用済みトナーコンテナ・リサイクルシステムの運用、および新製品の企画・開発のために必要な情報を収集・蓄積します。この収集・蓄積される情報には、特定の個人を識別することができる情報は含まれず、匿名情報のまま上記の目的に利用されます。

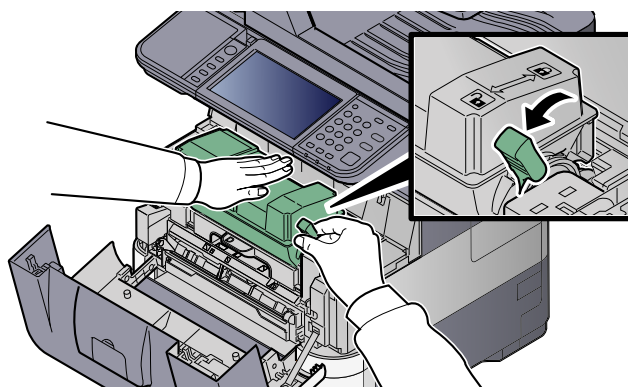
注意

トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

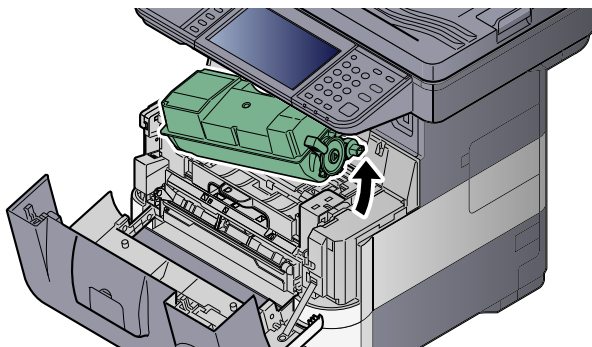
1



2



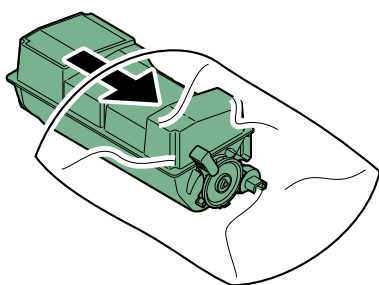
3



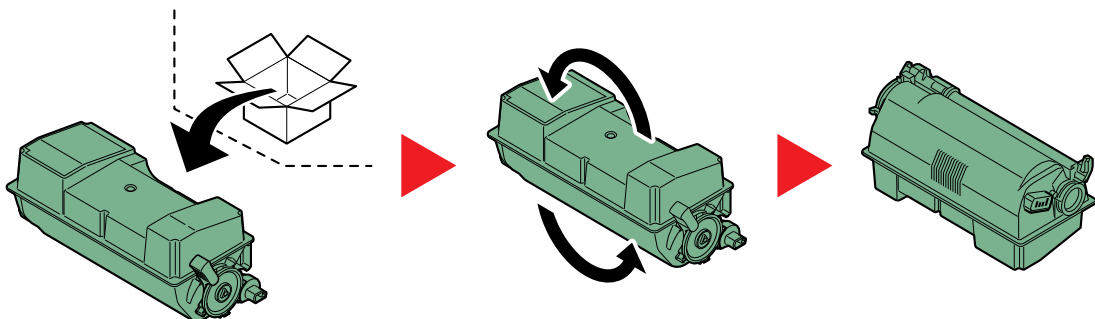
参考

トナーコンテナを本体から抜くときは、右側を最初に持ち上げてください。

4

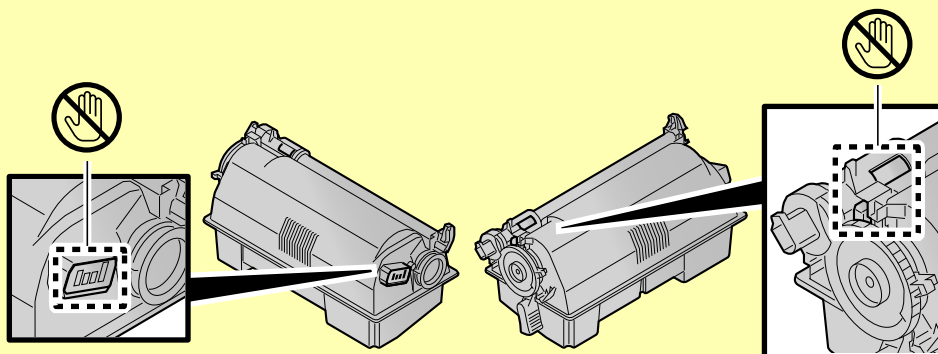


5

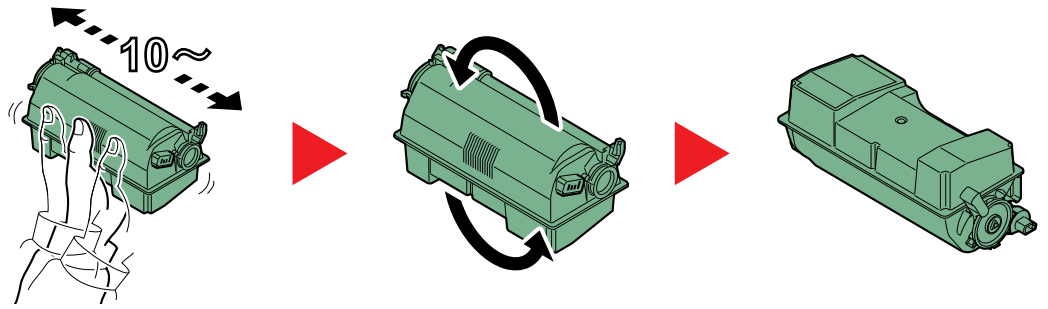


重要

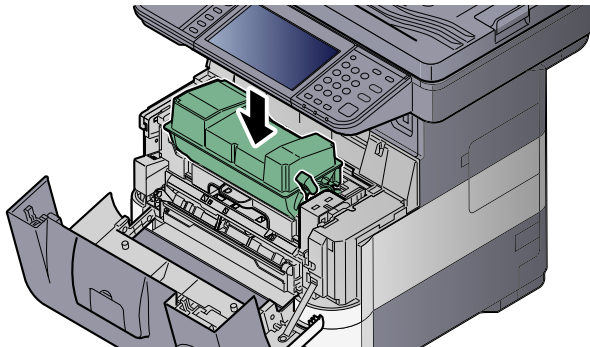
以下の箇所には手を触れないでください。



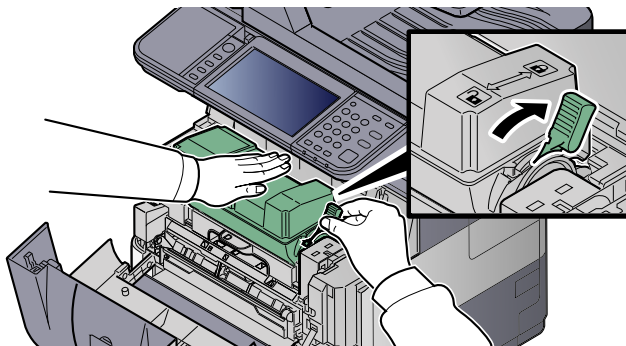
6



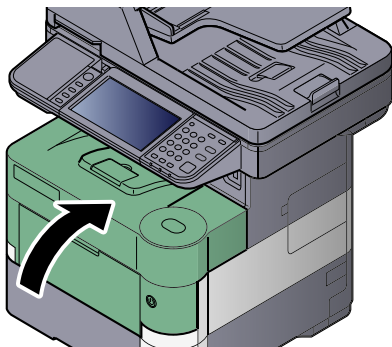
7



8



9



 参考

- 前カバーが閉まらない場合は、トナーコンテナが正しい位置にあるか(手順7)もう一度確認してください。
- 使用后、不要となったトナーコンテナは、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

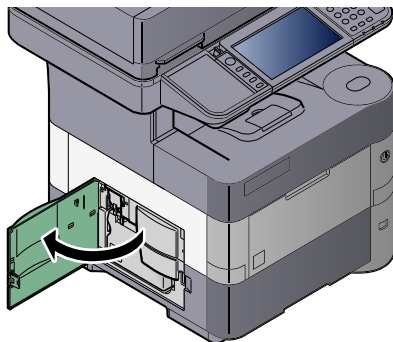
廃棄トナーボックスの交換

タッチパネルに「廃棄トナーボックスがいっぱいです。」が表示されたときは、すぐに廃棄トナーボックスを交換します。

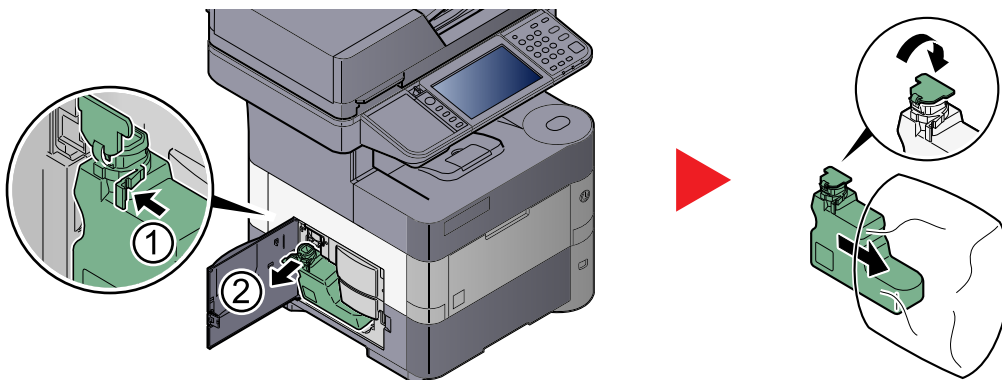
⚠ 注意

トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

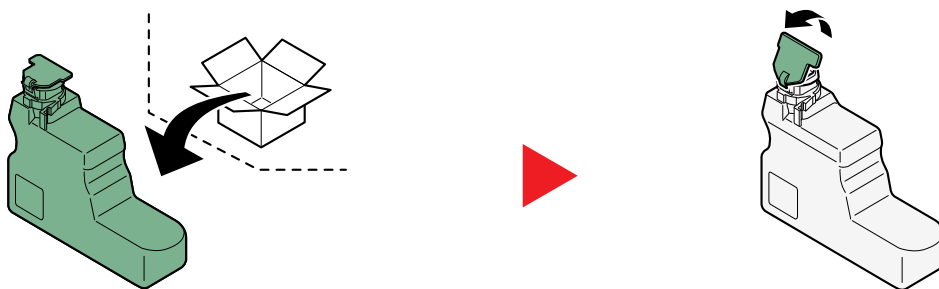
1



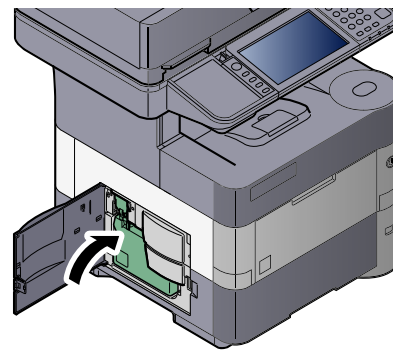
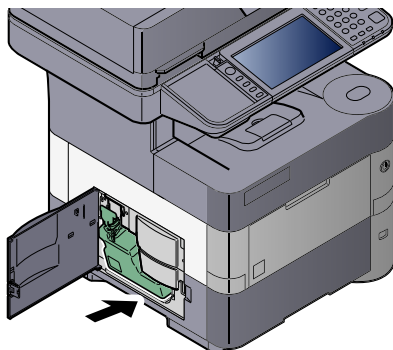
2



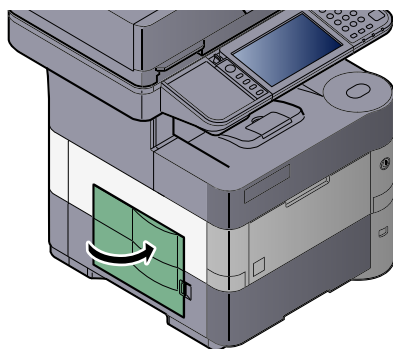
3



4



5



参考

使用后、不要となった廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収された廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

こまったときは


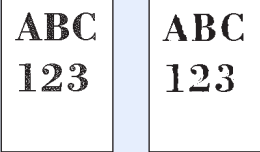
一般的な問題について

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に以下のチェックを行っててください。

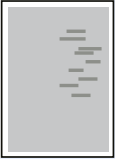
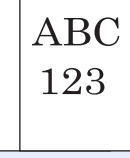
ここで説明する処置を行っても問題が解決されないときは、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡してください。電話番号は最終ページをご覧ください。



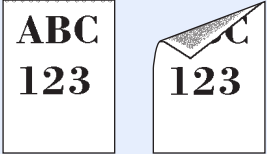
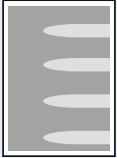

参考

お問い合わせの際は、シリアル番号が必要になります。シリアル番号の確認のしかたについては、[3-8ページの機器情報の表示](#)を参照してください。

現象	確認事項	処置	参照ページ
アプリケーションが立ち上がらない。	オートパネルリセットの設定時間が短くありませんか？	オートパネルリセットの設定時間を30秒以上に設定してください。	8-37ページ
電源を入れても、画面に何も表示されない。	電源コードを確認してください。	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	2-7ページ
[スタート]キーを押しても印刷できない。	画面にメッセージが表示されていますか？	メッセージに対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	10-15ページ
	スリープ状態になっていませんか？	[節電]キーを押してください。	2-15ページ
何も印刷しない。 	原稿が正しくセットされていますか？	原稿ガラスに原稿をセットするときは、原稿を下向きにし、原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。	5-2ページ
		原稿送り装置に原稿をセットするときは、原稿を上向きにセットしてください。	5-3ページ
	—	アプリケーションソフトの設定を確認してください。	—
印刷が全体的にうすい。 	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。	3-12ページ
	濃度を変更していますか？	適切な濃度に設定してください。	6-11ページ 8-39ページ
	トナーコンテナをよく振りましたか？	トナーコンテナを数回左右に振ってください。	10-5ページ
	エコプリントを設定していませんか？	[エコプリント]の設定を、[設定しない]に切り替えてください。	6-12ページ
	—	[ドラムリフレッシュ]を実行してください。	10-26ページ
	—	用紙種類の設定が正しいか確認してください。	8-9ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
<p>白地の原稿を読み込んだときに、用紙が全体的に灰色になる。</p> 	濃度を変更していますか？	適切な濃度に設定してください。	6-11ページ 8-39ページ
<p>モアレ(網点が均等に配列されず斑紋が出る状態)が発生する。</p> 	原稿が印刷された写真ですか？	原稿の画質を[写真]に設定してください。	6-11ページ
<p>文字がはっきり印刷されない。</p> 	原稿の種類に合った画質を選択していますか？	適切な画質を選択してください。	6-11ページ
<p>原稿を読み込んだときに、白地部分に黒点が入る。</p> 	原稿押さえ面や原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿押さえ面や原稿ガラスを清掃してください。	10-2ページ
<p>印刷がぼける。</p> 	湿気が高い、または急激に温度や湿度が変化する場所で使用していませんか？	湿度が適切な環境で使用してください。	—
	—	[ドラムリフレッシュ]を実行してください。	10-26ページ
<p>印刷位置がズレる。</p> 	原稿が正しくセットされていますか？	原稿ガラスに原稿をセットする場合は、原稿サイズ指示板に原稿を確実に合わせてください。	5-2ページ
	—	原稿送り装置に原稿をセットする場合は、原稿挿入ガイドを確実に合わせてから原稿をセットしてください。	5-3ページ
	用紙が正しくセットされていますか？	カセットの用紙幅ガイドの位置を確認してください。	3-14ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
画像に不規則な横すじが入る。 	—	[システムメニュー/カウンター]キー→ [調整/メンテナンス]→[サービス設定] →[MC]を選択し、設定値を小さくして ください。調整する際は、現状の設定値 から1段階ずつ小さくしてください。1段 階小さくしても、効果が現れない場合 は、もう1段階、設定を小さくしてくだ さい。それでも、効果が現れない場合は、設 定値を元に戻してください。	—
使用環境が海拔1500 m以上 の高地であり、画像に不規則 な横白すじが入る。 	—	[システムメニュー/カウンター]キー→ [調整/メンテナンス]→[サービス設定] →[高度調整]を選択し、[高地1]に設定 してください。[高地1]に設定しても、効 果が現れない場合は、[高地2]に設定し てください。	—
使用環境が海拔1500 m以上 の高地であり、画像に色点か 入る。 	—	[システムメニュー/カウンター]キー→ [調整/メンテナンス]→[サービス設定] →[高度調整]を選択し、[高地1]に設定 してください。[高地1]に設定しても、効 果が現れない場合は、[高地2]に設定し てください。	—
紙づまりがたびたび起こる。	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしなおしてくださ い。	3-12ページ
	用紙の種類や保管状態は正しいで すか？	用紙をカセットから一度取り出し、裏返 してからセットし直してください。	3-14ページ
	用紙がカールしたり、折れやシワがあり ませんか？	新しい用紙に交換してください。	3-14ページ
	つまった用紙や紙片が本機内部に残っ ていませんか？	つまった用紙を取り除いてください。	10-27ページ
用紙が2枚以上重なってで る。(重送) 	—	用紙を正しくセットしなおしてくださ い。	3-12ページ
用紙にシワが発生する。 	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしなおしてくださ い。	3-12ページ
	用紙が湿っていませんか？	新しい用紙と交換してください。	3-12ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
用紙にカールが発生する。 	用紙が湿っていませんか？	新しい用紙と交換してください。	3-12ページ
印刷が開始されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか？	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	—
	電源が入っていますか？	電源スイッチを入れてください。	2-8ページ
	プリンターケーブルやネットワークケーブルが、正しく接続されていますか？	プリンターケーブルやネットワークケーブルを確実に接続してください。	2-6ページ
	プリンターケーブルを接続前に、本体の電源を入れましたか？	プリンターケーブルを接続後に、本体の電源を入れてください。	—
	印刷ジョブが一時中止になっていませんか？	印刷を再開してください。	7-12ページ
USBメモリーで印刷できない。 USBメモリーを認識しない。	USBホストの設定が、[ブロックする]になっていませんか？	USBホストの設定を、[ブロックしない]に変更してください。	8-34ページ
	—	USBメモリーが、本機にしっかり接続されているか確認してください。	—
縦線が入る。 	スリットガラスが汚れていませんか？	スリットガラスを清掃してください。	10-2ページ
用紙の先端や裏側が汚れる 	本体内部が汚れていませんか？	本体内部を清掃してください。	10-3ページ
画像の一部が周期的にうすい、または白いすじが入る。 	—	[システムメニュー/カウンター]キー→[調整/メンテナンス]→[サービス設定]→[MC]を選択し、設定値を小さくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ小さくしてください。1段階小さくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を小さくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—
	—	[ドラムリフレッシュ]を実行してください。	10-26ページ
うら面の印刷が写り込む。 	—	[うら写り防止]を[設定する]にしてください。	6-14ページ 8-16ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
<p>前の画像が周期的にうすく残る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>AB</p> <p>AB</p> </div>	—	[システムメニュー/カウンター]キー→ [調整/メンテナンス]→[サービス設定] →[MC]を選択し、設定値を大きくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ大きくしてください。1段階大きくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を大きくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—
SMB送信ができない。	ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルを確実に接続してください。	2-6ページ
	本体側のネットワーク設定は正しく設定されていますか？	TCP/IPの設定を正しく行ってください。	8-27ページ
	フォルダーの共有設定は正しく設定されていますか？	フォルダーのプロパティで共有設定、アクセス許可を確認してください。	—
	SMBプロトコルはオンになっていますか？	SMBプロトコルの設定を[オン]にしてください。	5-26ページ
	[ホスト名]を正しく入力しましたか？*1	データの宛先になるコンピューター名を確認してください。	5-26ページ
	[パス]を正しく入力しましたか？	共有フォルダーの共有名を確認してください。	5-26ページ
	[ログインユーザー名]を正しく入力しましたか？*1*2	ドメイン名、ログインユーザー名を確認してください。	5-26ページ
	[ホスト名]と[ログインユーザー名]のドメイン名が同じになっていませんか？	[ログインユーザー名]に入力されている「ドメイン名」と「¥」を削除してください。	5-26ページ
	[ログインパスワード]を正しく入力しましたか？	ログインパスワードを確認してください。	5-26ページ
	Windows ファイアウォールの例外設定は正しく設定されていますか？	Windows ファイアウォールの例外設定を正しく設定してください。	3-31ページ
	本体、ドメインサーバー、データの宛先になるパソコンの時間設定がずれていませんか？	本体、ドメインサーバー、データの宛先になるパソコンの時間設定を合わせてください。	—
	画面に「送信エラーです。」と表示されていませんか？	送信エラー を参照してください。	10-24ページ
メールが送信できない。	本機に登録しているSMTPサーバーでメールの送信サイズに制限がありませんか？	Command Center RX の[メール]→ 「 メール送信のサイズ制限 」に制限値が入力されているかどうかを確認し、必要に応じて設定を変更してください。	2-39ページ

*1 ホスト名にフルコンピューター名を入力しても接続できます。(例:pc001.abcdnet.com)

*2 ログインユーザー名は、以下の方式で入力することも可能です。

ドメイン名¥ユーザー名 (例:abcdnet¥yamada)

ユーザー名@ドメイン名 (例:yamada@abcdnet)

こんな表示がでたら


タッチパネルにメッセージが出たときには、それぞれ確認事項と処理方法を参考に問題を解決してください。

問題が解決されないときは、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡してください。電話番号は最終ページをご覧ください。

参考

お問い合わせの際は、シリアル番号が必要になります。シリアル番号の確認のしかたについては、[3-8ページの機器情報の表示](#)を参照してください。

英数字

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
KPDLエラーです。 ^{*1}	—	PostScriptエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。	—
MKを交換してください。	—	約300,000イメージ(ECOSYS M3540idn)または約500,000イメージ(ECOSYS M3550idn)の印刷ごとにメンテナンスキットによる部品交換が必要です。お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。	—
RAMディスクエラーです。	—	RAMディスクでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。可能性のあるエラーコードは以下になります。 04:RAMディスク上の空き容量が足りません。オプションのRAMディスクを装着している場合は、システムメニューの「RAMディスク設定」でRAMディスクサイズを大きくしてください。  参考 RAMディスクサイズの設定範囲は、「オプションメモリー使用量」の設定で[プリンター優先]を選択すると大きくなります。	8-35ページ 8-36ページ
SSDエラーです。	—	SSDでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。可能性のあるエラーコードは以下になります。 01:一度に保存できるデータ容量を超えています。電源をOFF/ONしてください。エラーが解消されない場合はファイルを分割してください。それでも解消されない場合は、指定されたファイルが壊れている可能性があります。ファイルを削除してください。 04:SSD上の空き容量が足りません。データを移動する、または不要なデータを削除してください。	—

*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。エラー後自動継続については、[8-38ページのエラー後自動継続](#)を参照して設定してください。

あ行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
以下の用紙は両面印刷できません。	両面印刷できないサイズ、種類の用紙を選択していませんか？	両面印刷可能な用紙を選択する場合は、[用紙選択]を押してください。両面印刷を解除して印刷をする場合は、[継続]を押してください。	—

か行


メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
外部メモリーエラーです。 ^{*1}	外部メモリーが書き込み禁止になっていませんか？	外部メモリーにエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。 可能性のあるエラーコードは以下になります。 01:書き込み可能な外部メモリーを接続してください。	—
	—	外部メモリーにエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。 可能性のあるエラーコードは以下になります。 01:一度に保存できるデータ容量を超えています。電源をOFF/ONしてください。エラーが解消されない場合はファイルを分割してください。それでも解消されない場合は外部メモリーが本機の仕様に適していません。本機で[フォーマット]を実行してください。フォーマットできない場合は外部メモリーが壊れています。適応する外部メモリーを接続してください。	7-13ページ
外部メモリーがフォーマットされていません。	外部メモリーを本機でフォーマットしましたか？	本機で[フォーマット]を実行してください。	7-13ページ
外部メモリーの容量がいっぱいです。 ^{*1}	—	ジョブは中止されます。[終了]を押してください。 外部メモリーの空き容量が足りません。不要なファイルを削除してください。	—
カセット○でエラーが発生しました。	—	カセットを取り外してください。 [次へ>]を押してください。	—
カセット○に以下の用紙を補給してください。	選択した用紙サイズと選択した給紙元にセットされている用紙サイズが一致していますか？	印刷する場合は[継続]を押してください。 ジョブを中止する場合は[中止]を押してください。	—
	表示されている給紙元の用紙がなくなっていますか？	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷する場合は、[用紙選択]を押してください。選択した用紙で印刷する場合は、[継続]を押してください。	3-12ページ

^{*1} エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。エラー後自動継続については、[8-38ページのエラー後自動継続](#)を参照して設定してください。


メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
カバーが開いています。	原稿送り装置のカバーが開いていませんか？	原稿送り装置のカバーを閉じてください。	—
	開いているカバーはありませんか？	画面に表示されているカバーを閉じてください。	—
カセットが抜けています。	—	給紙できません。画面に表示されているカセットをセットしてください。	—
紙づまりです。	—	紙づまりが発生すると、印刷が停止し、ガイダンスが画面に表示されません。電源を入れたまま、ガイダンスに従って取り除いてください。	10-27ページ
起動エラーです。	—	電源スイッチを入れ直してください。問題が解決しない場合は管理者に連絡してください。	—
原稿送り装置の原稿を取り除いてください。	原稿送り装置に原稿が残っていませんか？	原稿送り装置の原稿を取り除いてください。	—
原稿送り装置を確認してください。	原稿送り装置が開いていませんか？	原稿送り装置を閉じてください。	—
故障が発生しました。	—	本機内部で異常が発生しています。画面に表示されているエラーコードを書きとめて、サービス担当者にご連絡ください。	—
このジョブは実行できません。 ^{*1}	—	ユーザー認可または部門管理で使用が禁止されているため、このジョブは中止されます。[終了]を押してください。	—
このユーザーはロックされています。	—	管理者に連絡してください。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。	—

*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。エラー後自動継続については、[8-38ページのエラー後自動継続](#)を参照して設定してください。

さ行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
サーバーに接続できません。	—	サーバーとの接続状況を確認してください。	—
システムエラーです。	—	システムエラーが発生しています。画面に表示された手順に従って処理してください。	—
指定外のトナーが装着されています。PC	装着されたトナーの仕向け地が、本体仕向け地と一致していますか？	本体仕向け地と一致したトナーを使用してください。	—
指定外のトナーに起因する不具合は責任を負いかねます。	装着されたトナーは純正消耗品(指定トナー)ですか？	純正消耗品以外の消耗品(指定外トナー)が原因の故障については、責任を負いかねます。このまま使用される場合は[次へ]を押してください。	—
指定された部数を印刷できません。 ^{*1}	—	1部だけ印刷することができます。印刷する場合は[継続]を押してください。ジョブを中止する場合は[中止]を押してください。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。 ・ プリンターのプロパティ設定の「デバイス設定」タブで[RAMディスク]のチェックを外す  重要 [RAMディスク]のチェックを外した場合、印刷が終了したら設定を元に戻してください。印刷速度が落ちる場合があります。	—
ジョブ保留のデータを保存できませんでした。	—	ジョブは中止されます。[終了]を押してください。 ジョブボックスの空き容量が足りません。ジョブボックスの原稿を印刷または削除してから、再度操作してください。	—

*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。エラー後自動継続については、[8-38ページのエラー後自動継続](#)を参照して設定してください。

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
スキャナーのメモリー不足です。 ^{*1}	—	<p>メモリー不足のため、処理できません。読み込んだページを1部だけ印刷することができます。[継続]を押すと読み込みが終了しているページを印刷、送信、または保存します。[中止]を押すと印刷、送信、または保存を中止します。</p> <p>同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一度に読み込む原稿枚数を減らす <p>上記で解決しない場合は、次の操作で実行できる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> システムメニューの[オプションメモリー使用量]で[コピー優先]を選択する <p> 参考</p> <p>[オプションメモリー使用量]の設定値を変更する場合は管理者にご相談ください。</p>	8-36ページ
全ての原稿を再セットし[継続]を押してください。	—	原稿送り装置から原稿を取り出し、元の順番に並べてセットしなおしてください。[継続]を押すと、印刷が再開されます。ジョブを中止するときは、[中止]を押してください。	—
スリットガラスが汚れています。	—	スリットガラスを清掃してください。	10-2ページ
セキュリティー機能を実行中です。	—	セキュリティー機能を実行中です。しばらくお待ちください。	—
送信エラーです。 ^{*1}	—	送信中にエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。エラーコードとその詳細は 送信エラー を参照してください。	10-24ページ

^{*1} エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。エラー後自動継続については、[8-38ページのエラー後自動継続](#)を参照して設定してください。

た行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
手差しトレイに以下の用紙を補給してください。	選択した用紙サイズと選択した給紙元にセットされている用紙サイズが一致していますか？	印刷する場合は[継続]を押してください。 ジョブを中止する場合は[中止]を押してください。	—
	給紙元に設定している用紙サイズと実際に給紙した用紙サイズが異なっていませんか？	印刷する場合は[継続]を押してください。 ジョブを中止する場合は[中止]を押してください。	—
	表示されている給紙元の用紙がなくなっていますか？	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷する場合は、[用紙選択]を押してください。選択した用紙で印刷する場合は、[継続]を押してください。	3-12ページ
トナーがありません。	—	トナーコンテナを交換してください。	10-5ページ
トナーが少なくなっています(なくなったら交換)	—	トナーコンテナの交換時期が近づいています。トナーコンテナを準備してください。	—
トナーコンテナを確認してください。	—	トナーコンテナが正しくセットされていません。トナーコンテナを正しくセットしてください。	10-5ページ
ドラムリフレッシュ実行中です。	—	品質保持のため、機械が調整モードに入っています。しばらくお待ちください。	—

な行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
内部トレイが用紙オーバーです。	—	内部トレイから用紙を取り出してください。 [継続]を押すと、印刷が再開されません。ジョブを中止するときは、[中止]を押してください。	—
認証サーバーに接続できません。 ^{*1}	—	本機の時刻とサーバーの時刻を合わせてください。	2-11ページ
	—	ドメイン名を確認してください。	9-2ページ
	—	ホスト名を確認してください。	9-2ページ
	—	サーバーとの接続状況を確認してください。	—

*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。エラー後自動継続については、[8-38ページのエラー後自動継続](#)を参照して設定してください。

は行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
廃棄トナーボックスがありません。	—	廃棄トナーボックスが正しくセットされていません。廃棄トナーボックスを正しくセットしてください。	10-8ページ
廃棄トナーボックスがいっぱいです。	廃棄トナーボックスがいっぱいになっていませんか？	廃棄トナーボックスを交換してください。	10-8ページ
封筒スイッチを確認してください。	封筒スイッチと用紙種類が一致していますか？	使用する用紙に合わせて、封筒スイッチを切り替えてください。	3-20ページ
部門管理の制限を超えました。	部門管理で設定されている制限ページ数を超えていませんか？	部門管理で設定されている制限ページ数に達したため、これ以上印刷できません。 このジョブは中止されます。[終了]を押してください。	—
部門管理の設定に失敗しました。 ^{*1}	—	外部からジョブを実行する際に、部門管理の設定に失敗しました。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。	—
部門コードが違います。 ^{*1}	—	外部からジョブを実行する際に、部門コードが間違っています。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。	—
プリントオーバーランです。	—	プリンターのメモリー不足のため、ジョブを一時停止しました。ジョブを再開します。[継続]を押してください。	—
ボックスが見つかりません。	—	指定されたボックスが見つかりません。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。	—
ボックスのパスワードが違います。	—	外部からジョブを実行する際に、ボックスのパスワードが間違っています。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。	—
ボックスの容量制限を超えました。 ^{*1}	画面に[終了]が表示されていませんか？	指定されたボックスがいっぱいのため保存できません。このジョブは中止されます。[終了]を押してください。ボックスの原稿を印刷または削除してから、再度操作してください。	—
ボックスを使用する権限がありません。	—	指定されたボックスを使用する権限がありません。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。	—

*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。エラー後自動継続については、[8-38ページのエラー後自動継続](#)を参照して設定してください。

ま行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
メモリーオーバーフローです。 ^{*1}	—	メモリー不足のため、処理できません。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。 ・[ファイル形式]の[画質]を下げる	—
	—	空きメモリーがなくなったため、これ以上ジョブを継続できません。読み込んだページを処理するときは[継続]を押してください。一部処理されないページがあります。ジョブを中止するときは[中止]を押してください。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> システムメニューの「RAMディスク設定」で[設定する]を選択し、RAMディスクサイズを小さくする システムメニューの「オプションメモリー使用量」で[プリンター優先]を選択する  参考 「RAMディスクサイズ」や「オプションメモリー使用量」の設定値を変更する場合は管理者にご相談ください。	8-35ページ 8-36ページ
メモリーカードエラーです。	—	メモリーカードでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。 04:メモリーカード上の空き容量が足りません。データを移動する、または不要なデータを削除してください。	—
メモリーが不足しています。	—	ジョブを開始できません。しばらくしてからやり直してください。	—

*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。エラー後自動継続については、[8-38ページのエラー後自動継続](#)を参照して設定してください。

や行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
読み込み制限ページ数に達しました。	原稿読み込みページ数制限を超えていませんか？	読み込んだページを1部だけ印刷することができます。[継続]を押すと読み込みが終了しているページを印刷、送信、または保存します。[中止]を押すと印刷、送信、または保存を中止します。	—

ら行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
ログインユーザー名またはパスワードが違います。 ^{*1}	—	外部からジョブを実行する際に、ログインユーザー名またはパスワードが間違っています。ジョブは中止されます。[終了]を押してください。	—

*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。エラー後自動継続については、[8-38ページのエラー後自動継続](#)を参照して設定してください。

送信エラー

エラーコード	表示	処理方法	参照ページ
1102	SMB送信できませんでした。	<p>SMBの設定を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ログインユーザー名またはログインパスワード <p> 参考</p> <p>ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ホスト名 パス 	—
	メール送信できませんでした。	<p>Command Center RX の設定を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> SMTP のログインユーザー名またはログインパスワード POP3 のログインユーザー名またはログインパスワード メール送信のサイズ制限 	—
	FTP送信できませんでした。	<p>FTPの設定を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ログインユーザー名またはログインパスワード <p> 参考</p> <p>ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> パス 送信先フォルダーのアクセス権 	—
1103	SMB送信できませんでした。	<p>SMB の設定を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ログインユーザー名またはログインパスワード <p> 参考</p> <p>ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> パス 送信先フォルダーのアクセス権 	5-26ページ
1132	メール送信できませんでした。	<p>送信先のサーバーを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> SMTP over SSLに対応していますか？ 設定した暗号方式に対応していますか？ 	2-39ページ
	FTP送信できませんでした。	<p>送信先のサーバーを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> FTPS に対応していますか？ 設定した暗号方式に対応していますか？ 	2-39ページ

エラーコード	表示	処理方法	参照ページ
2101	SMB送信できませんでした。	ネットワークとSMBの設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ネットワークケーブルの接続 ハブの動作 サーバーの状態 ホスト名またはIP アドレス ポート番号 	—
	FTP送信できませんでした。	ネットワークとFTPの設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ネットワークケーブルの接続 ハブの動作 サーバーの状態 ホスト名またはIP アドレス ポート番号 	—
	メール送信できませんでした	ネットワークとCommand Center RXの設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ネットワークケーブルの接続 ハブの動作 サーバーの状態 POP3ユーザーのPOP3サーバー名 SMTPサーバー名 	—
2102 2103	FTP送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ネットワークケーブルの接続 ハブの動作 サーバーの状態 	—
		送信先のサーバーを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> FTPに対応していますか？ サーバーの状態 	—
	メール送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ネットワークケーブルの接続 ハブの動作 サーバーの状態 	—
2201 2202 2203 2231	メール送信できませんでした。 FTP送信できませんでした。 SMB送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ネットワークケーブルの接続 ハブの動作 サーバーの状態 	—
3101	メール送信できませんでした。	送信元および送信先の認証方法を確認してください。	—
	FTP送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ネットワークケーブルの接続 ハブの動作 サーバーの状態 	—

調整/メンテナンスメニューについて

ドラムリフレッシュ

印刷された画像の流れたようにじみや白点を改善します。

参考

印刷中、ドラムリフレッシュはできません。印刷が終了してから実行してください。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[調整/メンテナンス]→[✓]→「ドラムリフレッシュ」の順に押します。

2 調整する

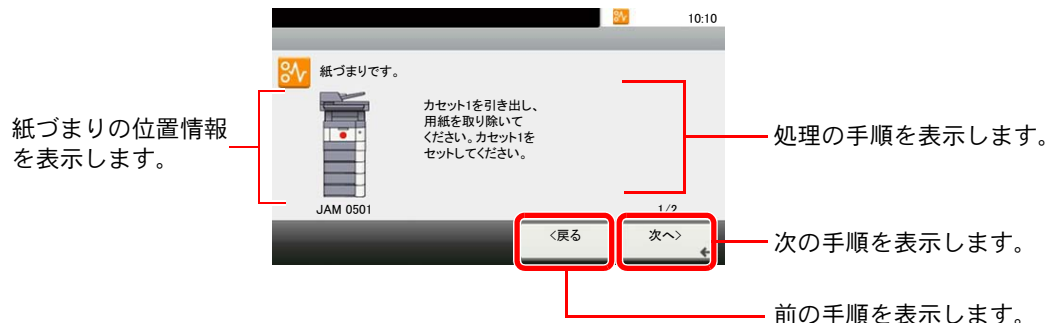
[実行]を押すと、ドラムリフレッシュが開始されます。

紙づまりが発生したら

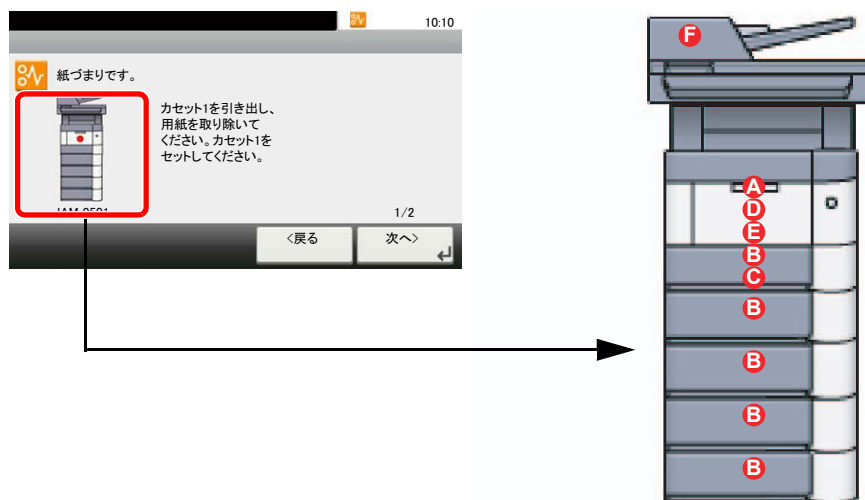
紙づまりが発生すると、印刷が停止し、タッチパネルに「紙づまりです。」が表示されます。

以降の手順を参照して、つまっている用紙を取り除きます。

紙づまり位置表示



紙づまりが発生すると、タッチパネルに紙づまり位置表示と処置方法が表示されます。



紙づまり位置表示	紙づまりの位置	参照ページ
A	手差しトレイ	10-28ページ
B	カセット1~5	10-29ページ
C	両面ユニット	10-30ページ
D	本体内部	10-31ページ
E	内部トレイ・後ろカバー内部	10-32ページ
F	原稿送り装置	10-33ページ

紙づまり処理が終了すると、ウォームアップが開始されます。エラーメッセージが消え、紙づまり前の状態にセットし直されます。

注意事項

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

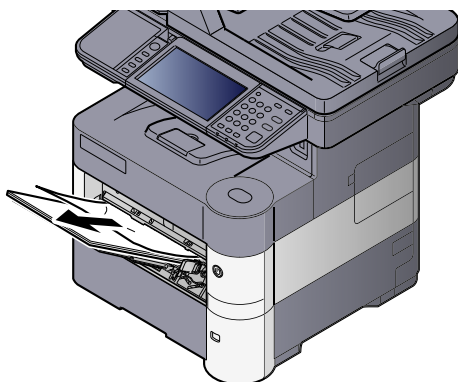


注意

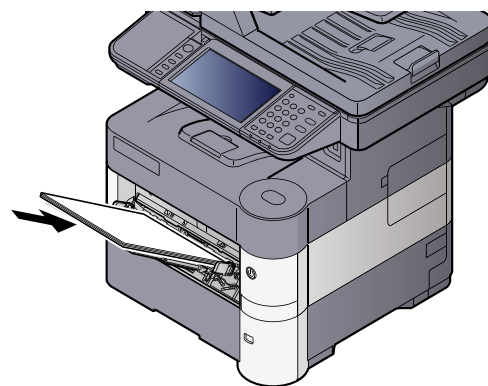
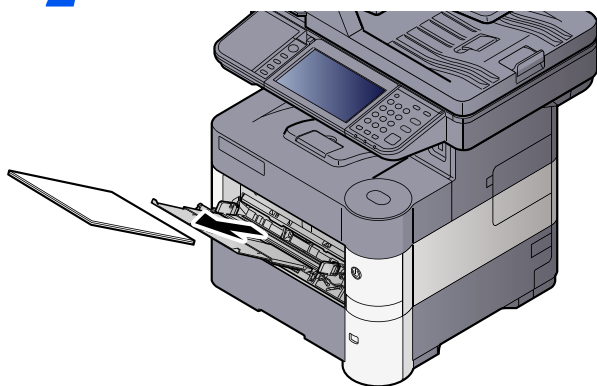
本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

手差しトレイ

1



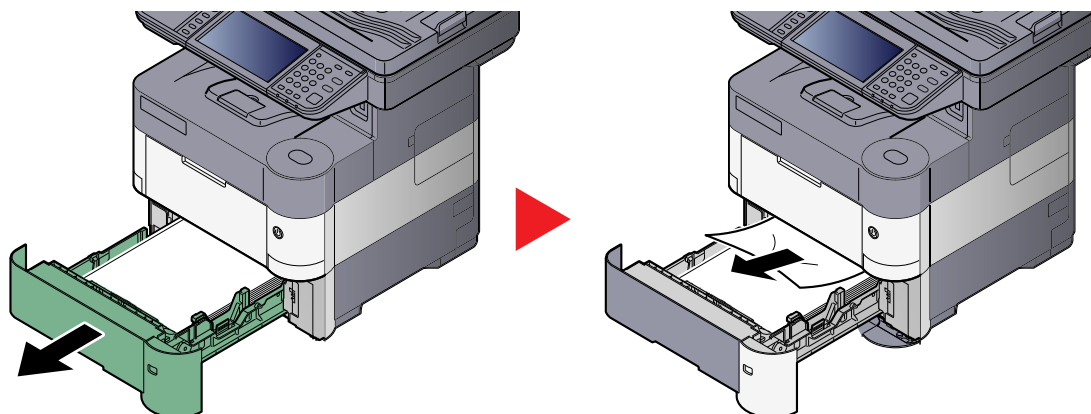
2



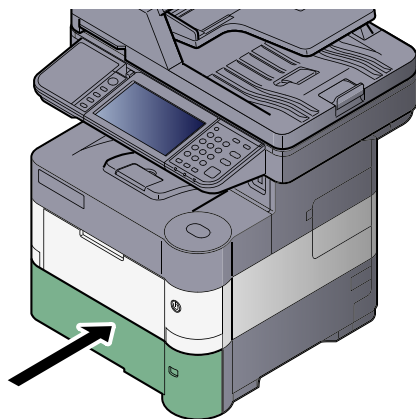
カセット1～5

カセット1～5の紙づまりの処置方法はすべて同じです。ここではカセット1を例に説明します。

1

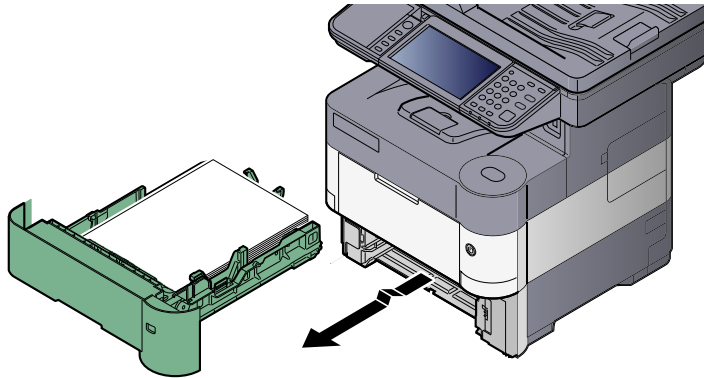


2

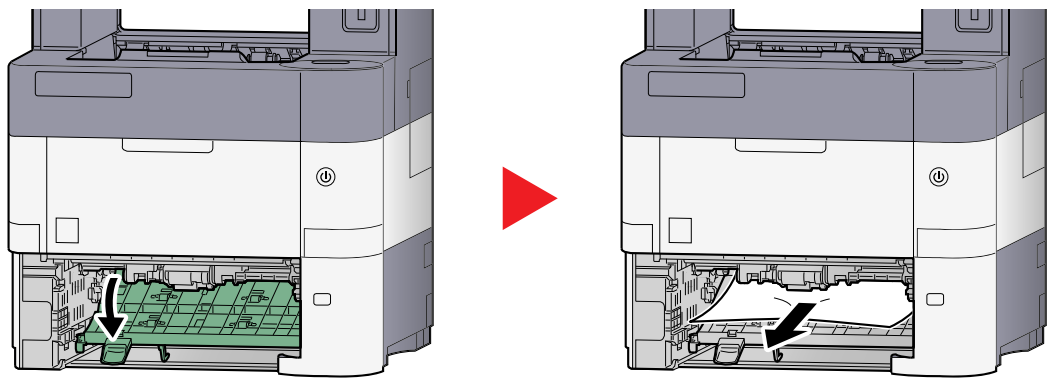


両面ユニット

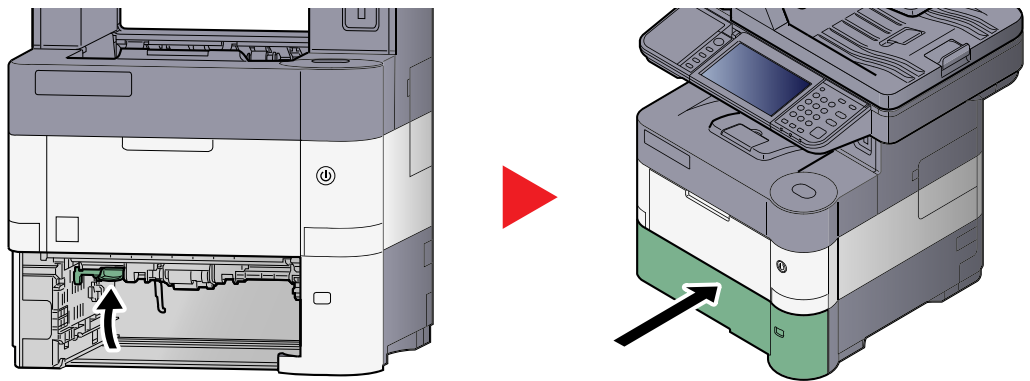
1



2

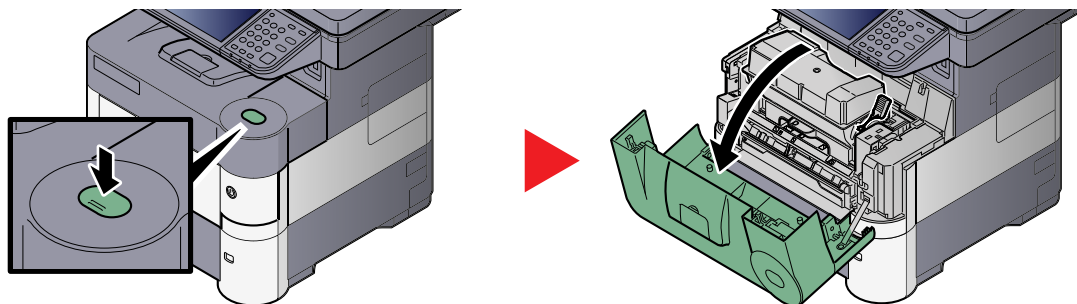


3

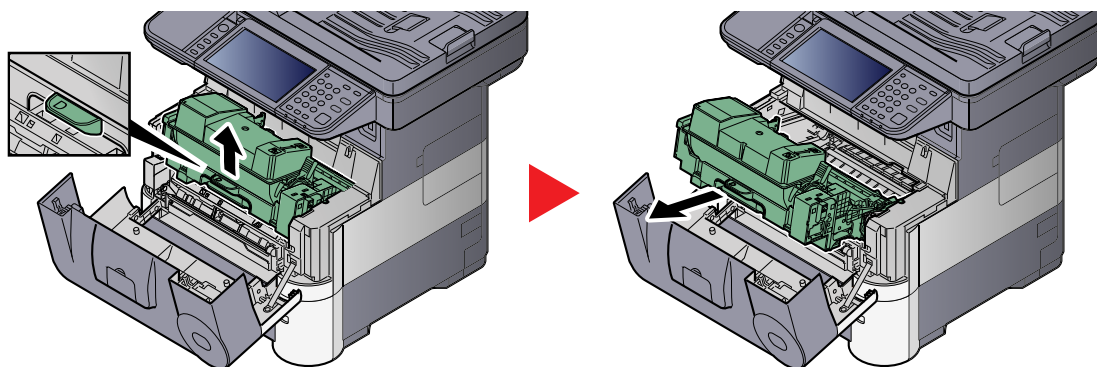


本体内部

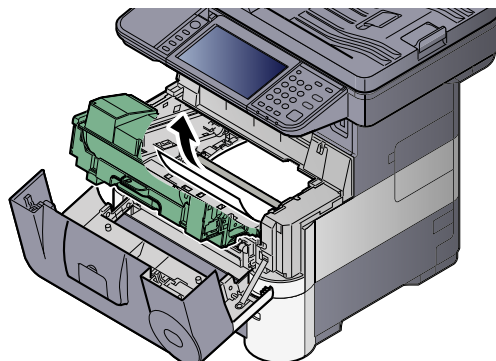
1



2



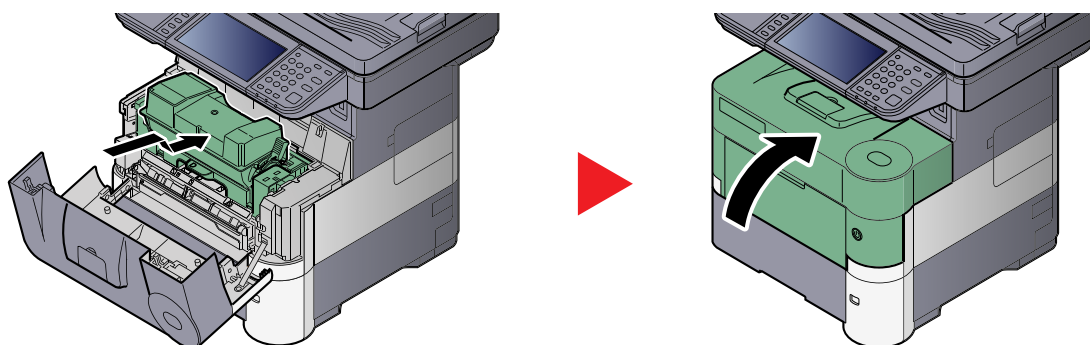
3



つまった用紙がローラにはさまっている場合は、用紙が給紙される方向に沿ってゆっくりと引き抜きます。

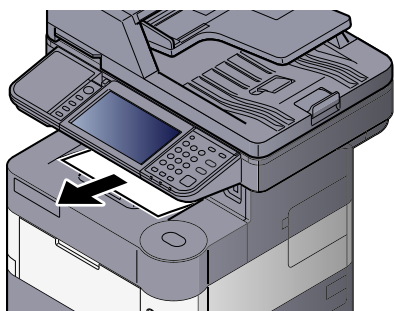
つまった用紙が見つからない場合は、後ユニットの奥側(本体後側内部)も確認してください。
[10-32ページの内部トレイ・後ろカバー内部](#)を参照してください。

4

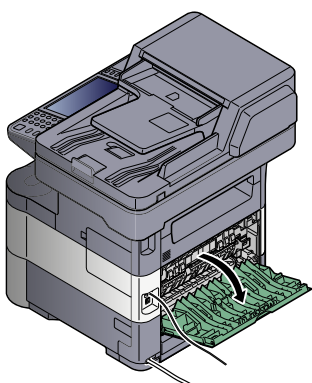


内部トレイ・後ろカバー内部

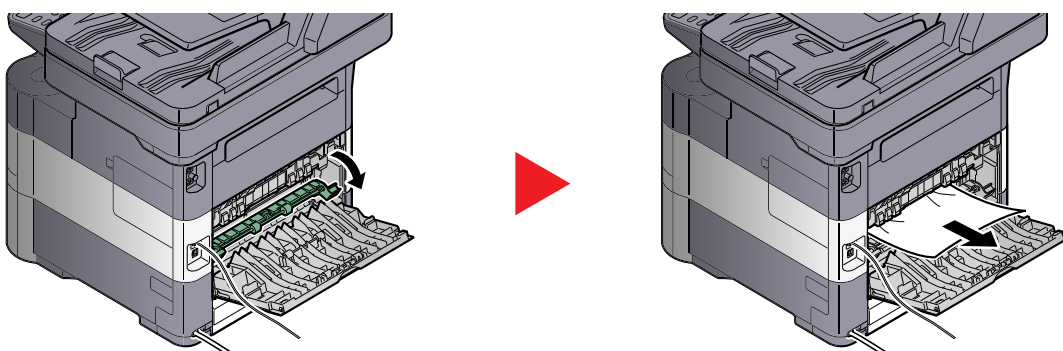
1



2



3



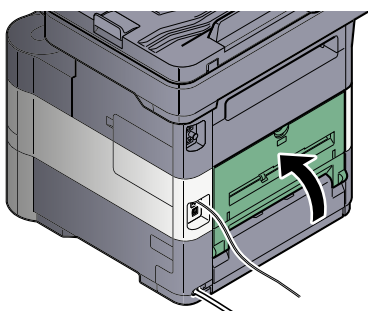
つまった用紙が見つからない場合は、後ろユニットの奥側(本体後側内部)も確認してください。



注意

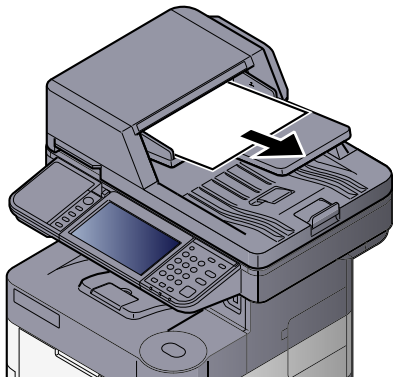
本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

4

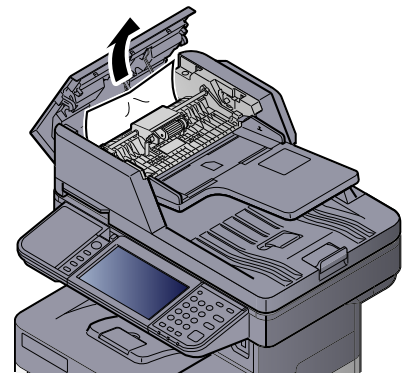
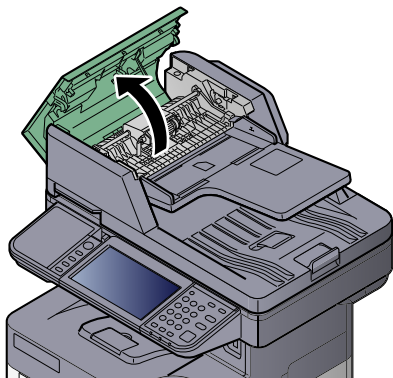


原稿送り装置

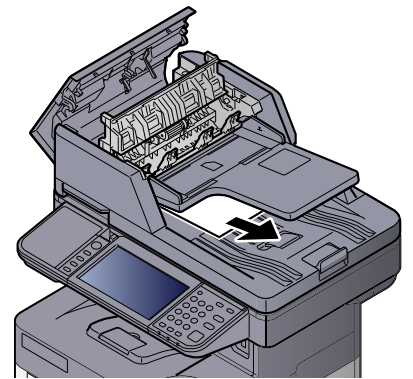
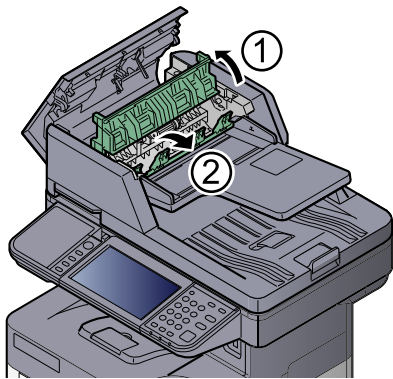
1



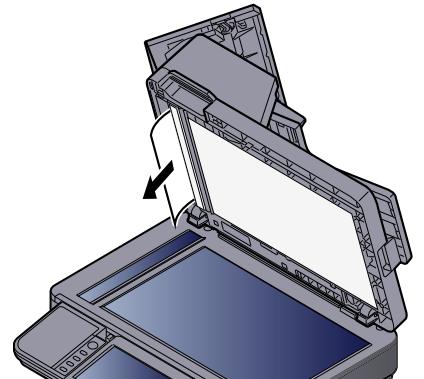
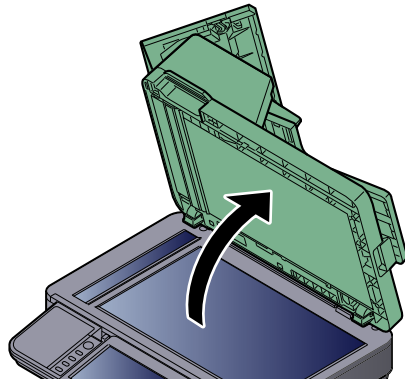
2



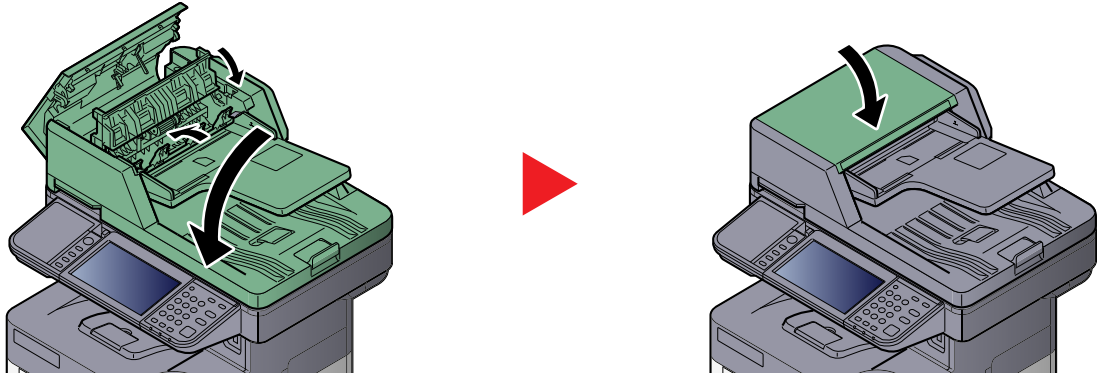
3



4



5



11 付録

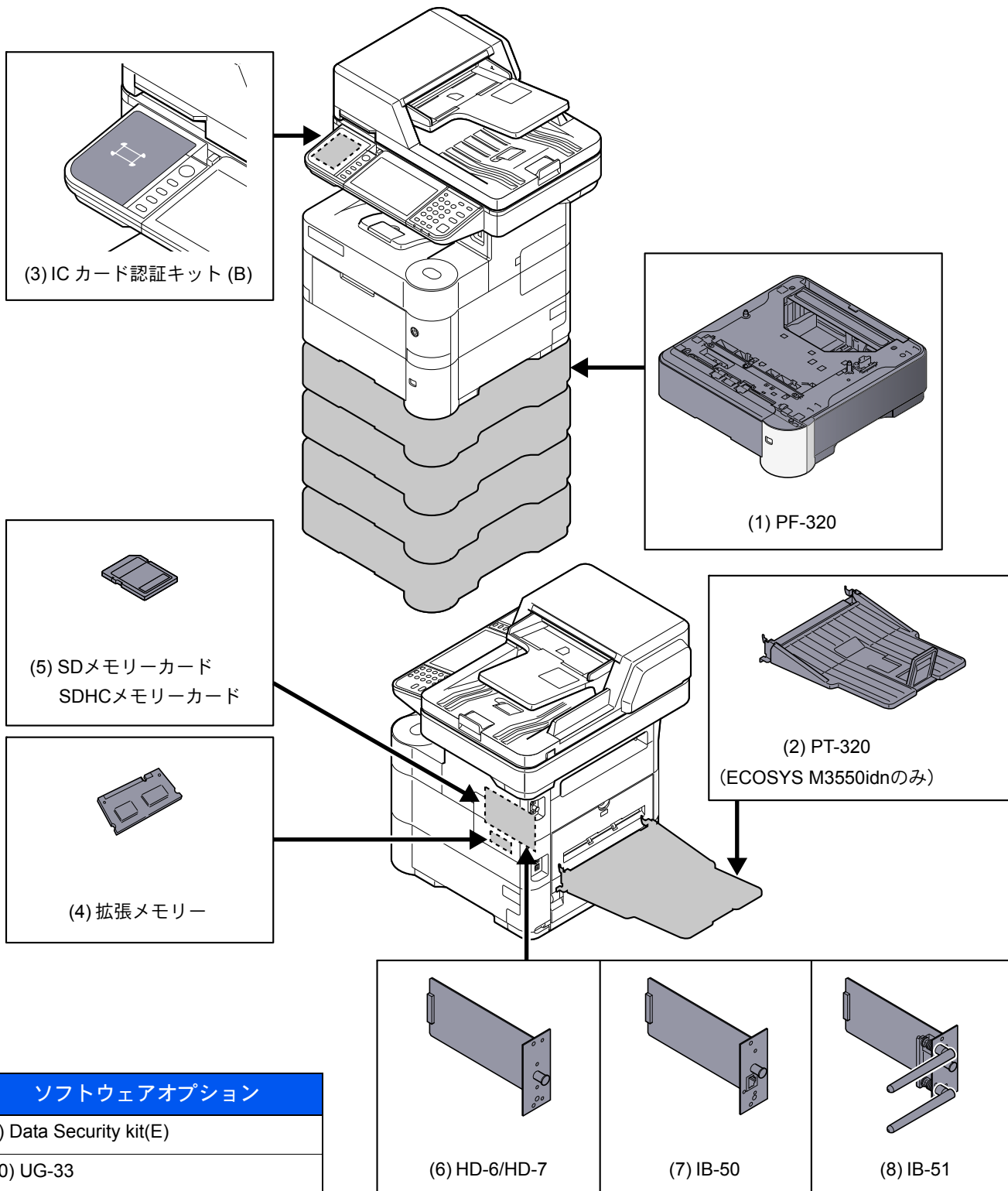
この章では、次の項目について説明します。

オプションについて	11-2
オプション構成	11-2
オプションのアプリケーションについて	11-10
文字の入力方法	11-12
入力方式の選択	11-12
入力文字の選択	11-13
入力画面	11-14
かな入力とローマ字入力での文字変換	11-17
区点コードでの文字変換	11-19
用紙について	11-21
用紙の基本仕様	11-21
適正な用紙の選択	11-22
特殊な用紙	11-25
仕様	11-30
共通機能	11-30
コピー機能	11-32
プリンター機能	11-32
スキャナー機能	11-33
原稿送り装置	11-33
ペーパーフィーダー(500枚×1)	11-34
区点コード表	11-35
製品の保守サービスについて	11-41
契約書について	11-41
補修用性能部品について	11-42
廃棄について	11-42
使用済み製品の廃棄	11-42
初期化について	11-42
トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄	11-42
用語集	11-43

オプションについて

オプション構成

本機では、次のオプションが使用できます。



(1) PF-320 <ペーパーフィーダー(500枚×1)>

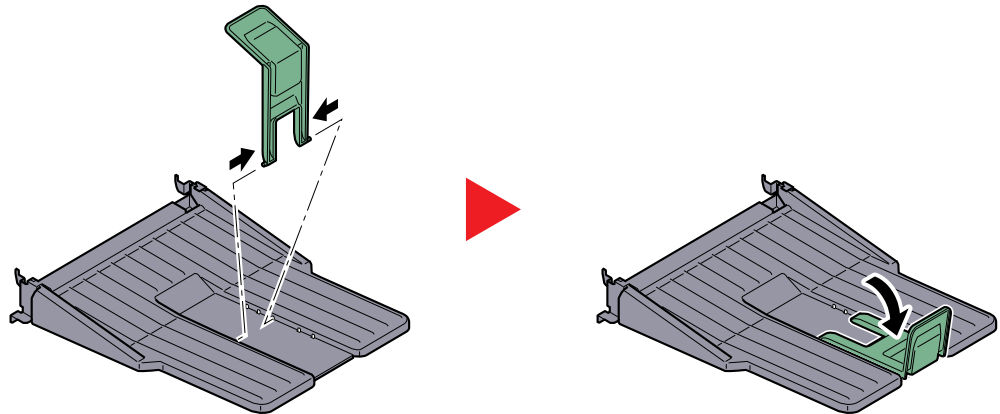
本体のカセットと同じものを4段増設することができます。セットできる用紙の枚数およびセットのしかたは標準カセットと同じです。[3-14ページのカセットにセットする](#)を参照してください。

(2) PT-320<後ろトレイ>(ECOSYS M3550idnのみ)

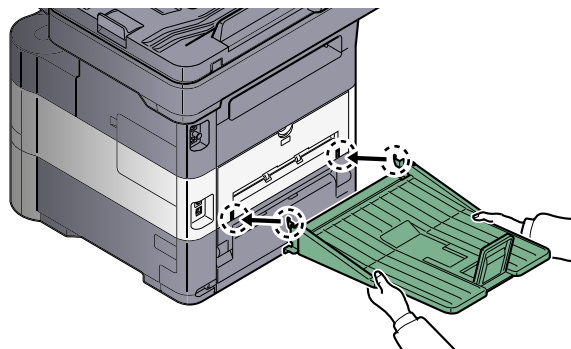
用紙を印刷面が上(逆順)になるように重ねたい場合に使用します。後ろトレイが使用できるのはパソコンからの印刷のみです。

後ろトレイの取り付け方法

- 1 排紙ストッパーを、使用する用紙サイズに合わせて取り付けます。



- 2 本体の背面に取り付けます。



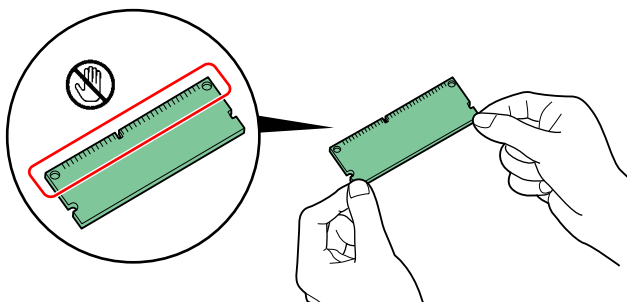
(3) ICカード認証キット(B) <ICカード認証キット>

ICカードでユーザー認証を行うことができます。ICカードで認証を行うには、事前に登録したローカルユーザーリストにICカード情報を登録する必要があります。登録方法は、ICカード認証キットの使用説明書を参照してください。

(4) 拡張メモリー

メモリーを増設することで、より複数のジョブを同時に実行できるようになります。オプションの拡張メモリー (512 MB、1,024 MB) を装着することで、最大2,048 MBのメモリーを拡張できます。

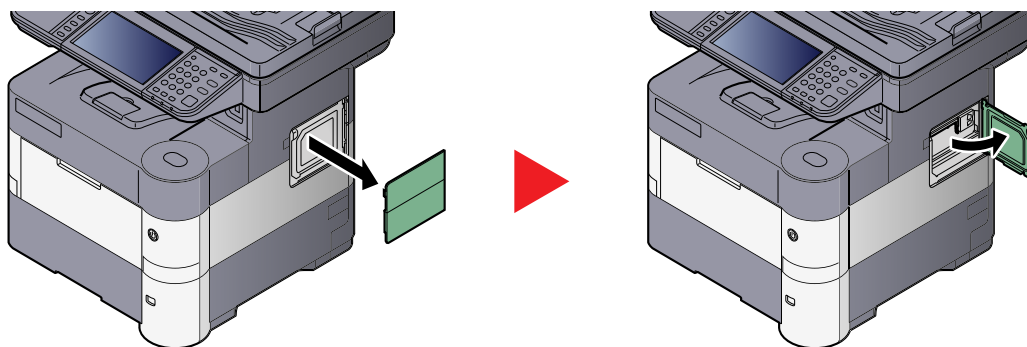
メモリー取り扱い上の注意



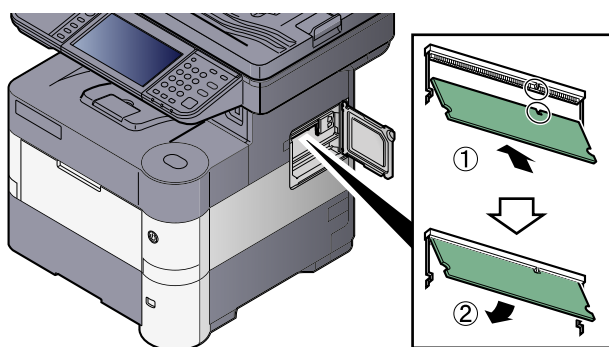
衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリーに悪影響を与えます。静電気による破壊からメモリーを保護するために、装着前に水道の蛇口や金属製のものに触って静電気を除去してください。静電気対策用のリストバンドを手首に巻いて作業することをお勧めします。

メモリーの取り付け

- 1 電源を切り、電源コードと本体に接続しているケーブルをすべて取り外します。
- 2 カバーを開けます。



- 3 オプションの拡張メモリーをパッケージから取り出します。
- 4 メモリーの端子部をソケット側にし、切り欠き部分をソケットの突起部分に合わせて、斜めにまっすぐ差し込みます。



ⓧ 重要

メモリーを差し込む前に、本体の電源スイッチが切られているか確認してください。


- 5 差し込んだメモリーを、慎重に本体側に押し倒します。
- 6 取り外したカバーを本体に取り付けます。

拡張メモリの取り外し

取り付けした拡張メモリを取り外す場合は、本体右側のカバーを取り外し、ソケットにある2つのストッパを慎重に押し、拡張メモリはソケットから外れます。

拡張メモリの確認

拡張メモリが正しく装着されたかどうかは、ステータスページを印刷することによって確認できます。

 [レポート \(8-6ページ\)](#)

(5) SD/SDHCメモリーカード

SD/SDHCメモリーカードはオプションフロント、マクロ、フォームなどを書き込めるマイクロチップカードです。SDHCメモリーカード(最大32 GB)およびSDメモリーカード(最大2 GB)は、メモリーカードスロットに差し込みます。

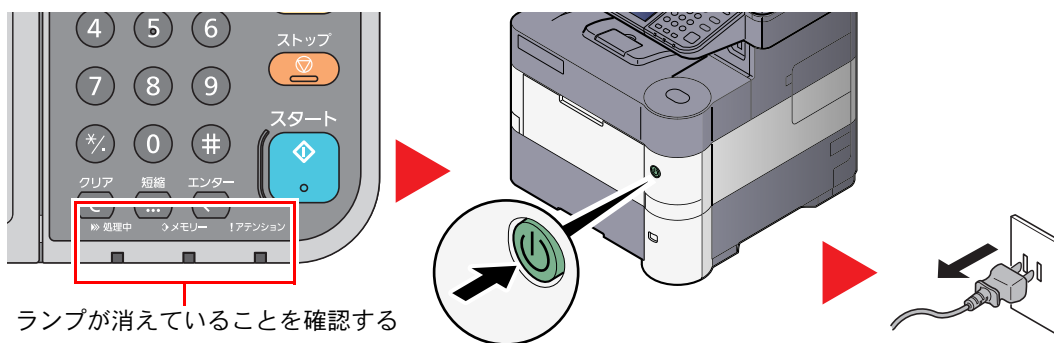
SD/SDHCメモリーカードの読み込み

本機の電源を入れるとSD/SDHCメモリーカードの内容が、本機に読み込まれます。

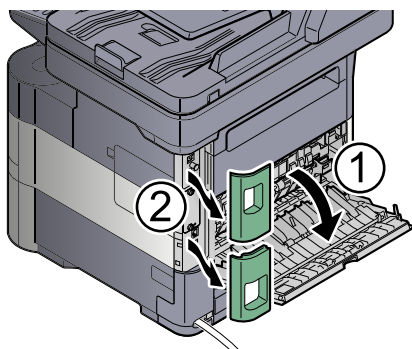
SD/SDHCメモリーカードのフォーマット

未使用のSD/SDHCメモリーカードを使用するためには、最初に本機でSD/SDHCメモリーカードをフォーマットする必要があります。

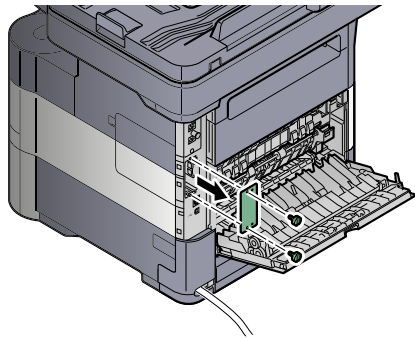
- 1 電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜きます。



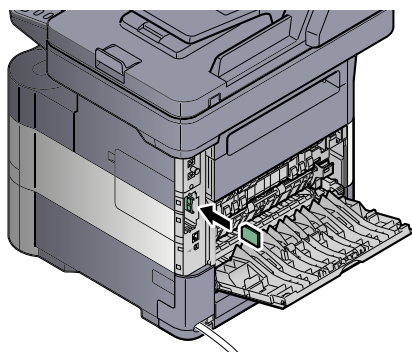
- 2 後ろカバーを開け、カバー(2か所)を外します。



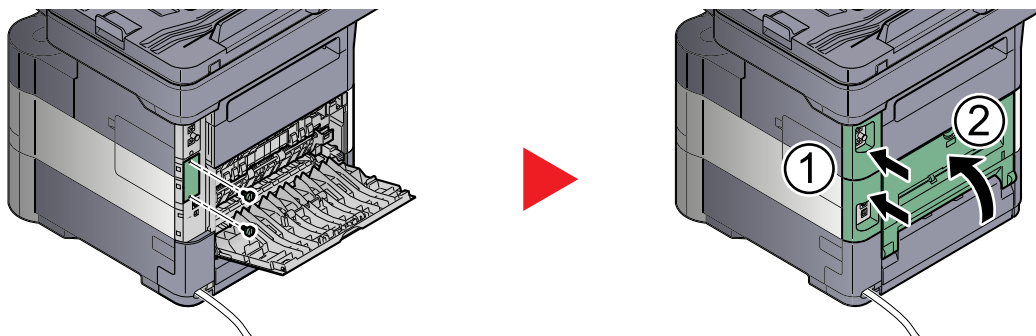
- 3** カバーを外します。



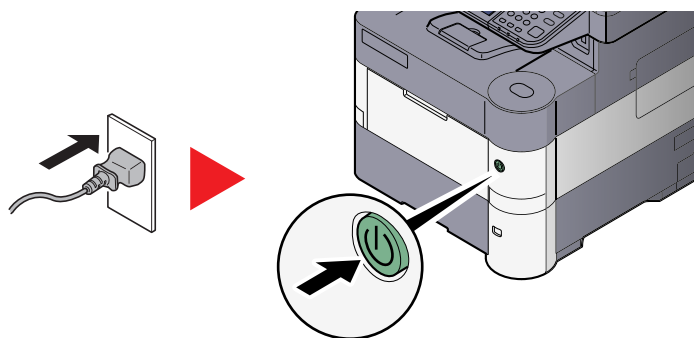
- 4** SD/SDHC メモリーカードをメモリーカードスロットに差し込みます。



- 5** カバーを元どおり取り付け、後ろカバーを閉じます。



- 6** 電源コードをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れます。



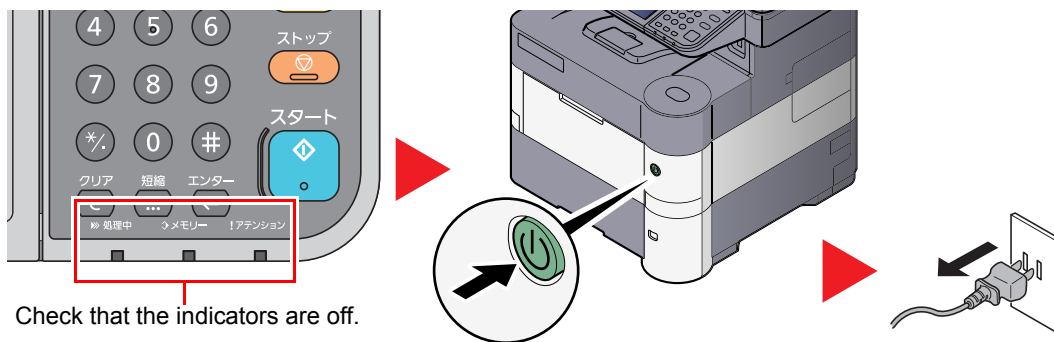
- 7** 操作部からSD/SDHC メモリーカードをフォーマットします。操作手順については、[8-19 ページのSDカードフォーマット](#)を参照してください。

(6)HD-6/HD-7<SSD>

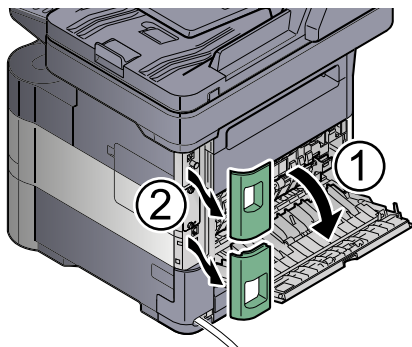
SSDは印刷データの保存に使います。複数部印刷する時は、電子ソート機能で高速な印刷が可能になるなどのメリットがあります。また、文書ボックス機能を使用することもできます。詳しくは、[5-41ページの文書ボックスとは](#)を参照してください。

SSDの取り付け

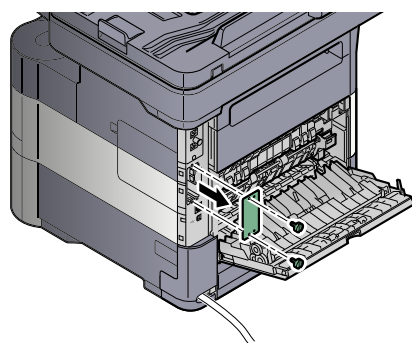
- 1 電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜きます。



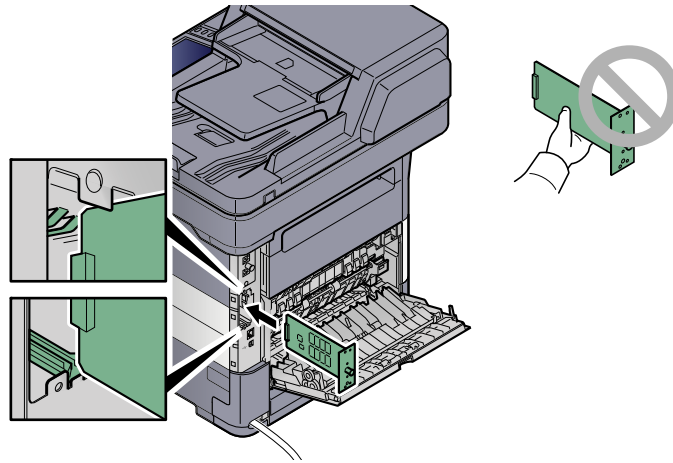
- 2 後ろカバーを開け、カバー(2か所)を外します。



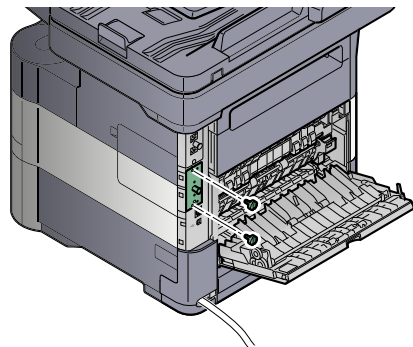
- 3 カバーを外します。



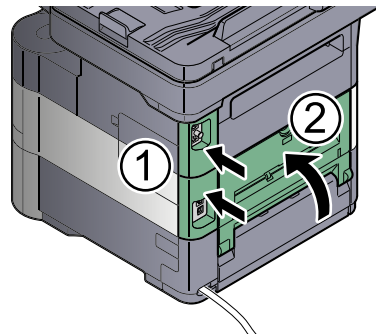
- 4 オプションインターフェイススロットにまっすぐ差し込みます。



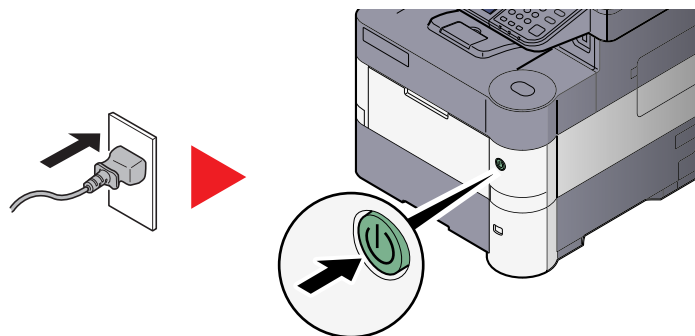
- 5 ネジ(2本)で固定します。



- 6 カバーを元どおり取り付け、後ろカバーを閉じます。



- 7 電源コードをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れます。



(7) IB-50 <ネットワークインターフェイスキット>

ネットワークインターフェイスキットは、通信速度が1ギガビット/秒に対応する高速のインターフェイスです。TCP/IP、NetBEUIプロトコルをサポートしていますので、Windows、Macintosh、UNIXなどのさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。詳しくはIB-50の使用説明書を参照してください。

取り付け方法はSSDと同じです。[11-7ページのHD-6/HD-7<SSD>](#)を参照してください。

(8) IB-51 <ワイヤレスインターフェイスキット>

無線LAN 規格IEEE802.11n (MAX 300Mbps) および11g/bに対応した無線LAN ネットワークインターフェイスカードです。

付属のユーティリティーによって多彩なOS やネットワーク・プロトコルに対して設定が可能です。詳しくはIB-51の使用説明書を参照してください。

取り付け方法はSSDと同じです。[11-7ページのHD-6/HD-7<SSD>](#)を参照してください。

(9) Data Security Kit(E) <セキュリティーキット>

セキュリティーキットは不要になったデータに上書き処理を行い、データの記録領域をすべて書き換えて、復元できないようにします。また、データをSSDに保存するとき、暗号化して書き込みます。通常の入力や操作以外では復号(解読)できないため、万一の場合のセキュリティーが強化されます。

(10) UG-33 <ThinPrint Option>

プリンタードライバーがなくても印刷データを直接印刷することができるようになります。

オプションのアプリケーションについて

アプリケーションのご紹介

本機には、次のようなオプションのアプリケーションがあります。

アプリケーション
セキュリティーキット
ICカード認証キット
ThinPrint Option ^{*1}

*1 一定の期間お試しとして使用することができます。

参考

- お試しの期間や使用できる回数などの制限は、アプリケーションによって異なります。
- 日付設定を変更すると、オプションのアプリケーションをお試しで使用することができなくなります。

アプリケーションの使用を開始する

アプリケーションの使用を開始する操作手順は、次のとおりです。

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター



- 2 [✓]→[システム/ネットワーク] →[✓]→[オプション機能] の順に押します。

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 使用を開始するアプリケーションを選択して、[起動] を押します。
[🔵]を押すと、選択したアプリケーションの詳細な情報が参照できます。

- 4 [正規] を押して、ライセンスキーを入力します。

アプリケーションによっては、ライセンスキーを入力する必要がないものがあります。ライセンスキーの入力画面が表示されない場合は手順5に進んでください。

お試しで使用する場合は、ライセンスキーを入力せずに[試用] を押します。

- 5 確認画面で[はい] を押します。

参考

起動したアプリケーションのアイコンは、ホーム画面に表示されます。

アプリケーションの詳細を確認する

アプリケーションの詳細を確認する操作手順は、次のとおりです。

- 1 [システムメニュー/カウンター]キーを押します。

システムメニュー/
カウンター




- 2 [システム/ネットワーク] → [✓] → [オプション機能] の順に押します。

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

機種名	ログインユーザー名	ログインパスワード
ECOSYS M3540idn	4000	4000
ECOSYS M3550idn	5000	5000

- 3 詳細を確認するアプリケーションの[]を押します。
選択したアプリケーションの詳細な情報が参照できます。

文字の入力方法

名前などを入力するとき使用する、タッチパネル上のキーボードについて説明します。

漢字の入力は、かな入力とローマ字入力の両方からできます。また、漢字変換の際には文節変換が可能です。

文字を入力するときは、まず入力方式と入力文字をそれぞれ選択してください。

入力方式の選択

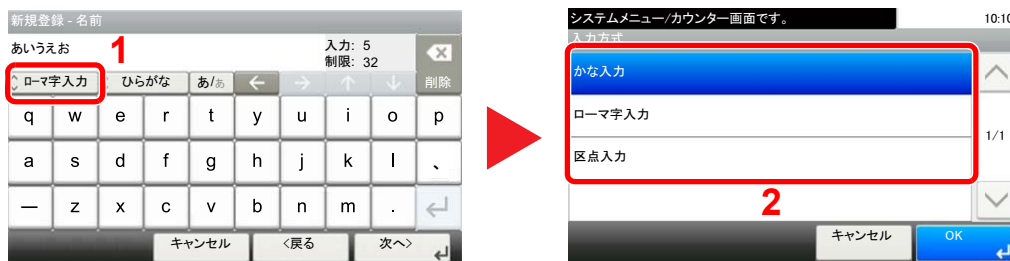
入力方式には次の3種類があります。

かな入力—かな入力で漢字などを入力するときを使用してください。

ローマ字入力—ローマ字入力(例えば、「か」と入力するとき「K」「A」と入力する)で漢字などを入力するときを使用してください。

区点入力—4桁の区点コードを入力して漢字などを入力するときを使用してください。

1 入力方式を切り替える



入力方式([かな入力]、[ローマ字入力]、[区点入力])を選択してください。

[かな入力]入力画面



[ローマ字入力]入力画面



[区点入力]入力画面



入力文字の選択

入力方式で「かな入力」または「ローマ字入力」を選択したときは、入力文字には次の7種類があります。

ひらがな－漢字変換できます。無変換のときは全角ひらがなになります。

全角記号－無変換で全角記号、全角数字を入力するときに使用してください。

半角記号－無変換で半角記号、半角数字を入力するときに使用してください。

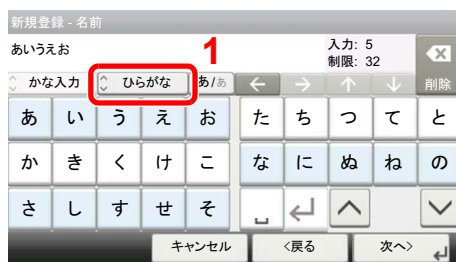
全角カナ－全角カタカナを入力するときに使用してください。

半角カナ－半角カタカナを入力するときに使用してください。

全角英数－無変換で全角アルファベットを入力するときに使用してください。

半角英数－無変換で半角アルファベットを入力するときに使用してください。

1 入力文字を切り替える



入力文字を選択してください。



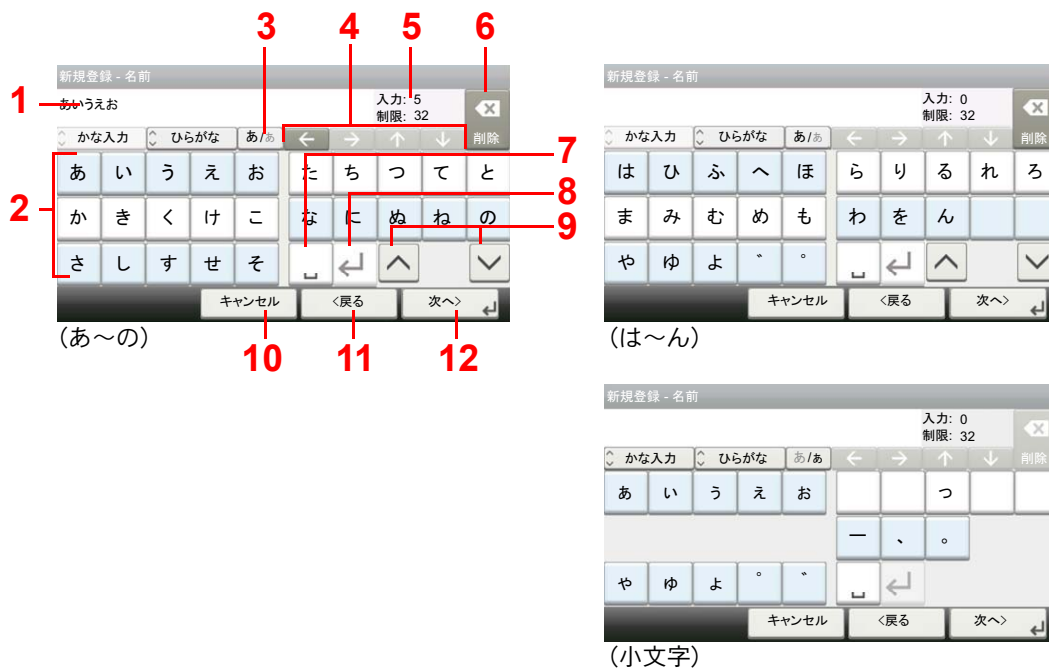
参考

入力方式として[区点入力]を選択したときは、入力文字は選択できません。

入力画面

かな入力

次の画面は入力文字として「ひらがな」を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	キーボード	入力する文字を押してください。
3	[あ/あ]	「あ、い、う、え、お、つ、や、ゆ、よ、ー、(、)、(。)」を入力するときに押してください。もう一度押すと、元の画面に戻ります。
4	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに押してください。
5	[入力]、[制限]	変換する文字が選択されていないときに表示されます。文字数の制限と入力している文字数を表示します。
	[変換]	変換する文字が選択されているときに表示されます。入力した文字を漢字などに変換するときに押してください。
6	[削除]	カーソルの左の文字を削除するときに押してください。
7	スペースキー	スペースを入力するときに押してください。
8	改行/確定キー	入力した文字を改行したり、未確定の文字を確定するときに押してください。
9	[へ]、[v]	キーボード(あ～の)とキーボード(は～ん)を切替えるときに押してください。
10	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
11	[<戻る]	前の画面に戻るときに押してください。
12	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに押してください。



参考

操作パネルの**クリア**キーを押すと、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の場合は、未確定文字を削除します。

ローマ字入力

次の画面は入力文字として「ひらがな」を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	キーボード	入力する文字を押してください。
3	[A/a]	キーボード(大文字)とキーボード(小文字)を切り替えるときに押してください。
4	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに押してください。
5	[入力]、[制限]	変換する文字が選択されていないときに表示されます。 文字数の制限と入力している文字数を表示します。
	[変換]	変換する文字が選択されているときに表示されます。 入力した文字を漢字などに変換するとき押してください。
6	[削除]	カーソルの左の文字を削除するとき押してください。
7	スペースキー	スペースを入力するとき押してください。
8	改行/確定キー	入力した文字を改行したり、未確定の文字を確定するとき押してください。
9	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
10	[<戻る]	前の画面に戻るときに押してください。
11	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに押してください。

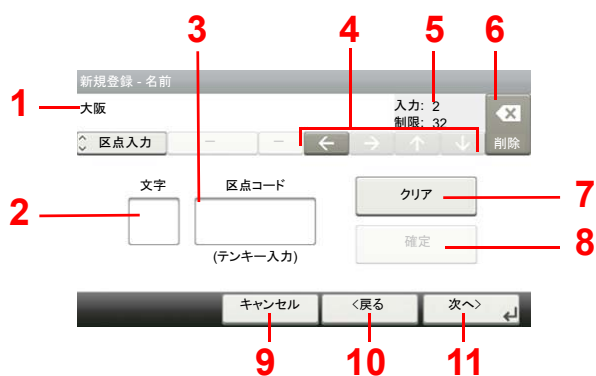


参考

操作パネルの**クリア**キーを押すと、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の場合は、未確定文字を削除します。

区点入力

次の画面は入力方式として[区点入力]を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	入力文字表示部	区点コードに対応した文字を表示します。
3	区点コード表示部	入力した区点コードを表示します。
4	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに押してください。
5	[入力]、[制限]	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
6	[削除]	カーソルの左の文字を削除するとき押してください。
7	[クリア]	入力した区点コードを消去するとき押してください。
8	[確定]	区点コードに対応した文字を確定するとき押してください。
9	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
10	[< 戻る]	前の画面に戻るときに押してください。
11	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに押してください。

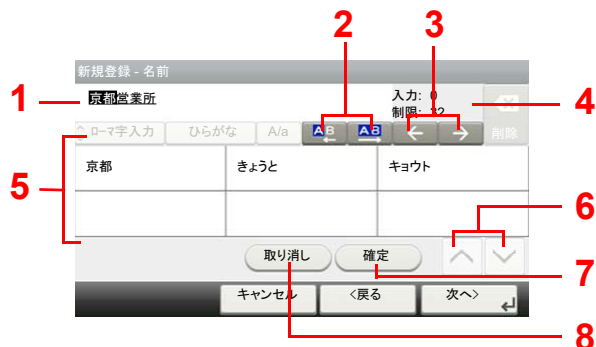


参考

各文字の区点コードは、[11-35ページの区点コード表](#)を参照してください。

かな入力とローマ字入力での文字変換

ローマ字入力、かな入力のそれぞれの入力画面で変換前の文字を入力した後、[変換]を押すと次のような文字変換画面が表示されます。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	[AB]、[AB]	変換対象文節の長さを変更するときに押してください。
3	[←]、[→]	変換対象の文節を移動させるときに押してください。
4	[入力]、[制限]	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
5	変換候補リスト	選択中の文節に対する変換候補を表示します。
6	[↑]、[↓]	表示されている以外に変換候補がある場合、変換候補をスクロールするときに押してください。
7	[確定]	未確定文字をすべて確定するときに押してください。
8	[取消し]	[変換]を押す前に戻るときに押してください。

【入力例】「京都営業所」と入力するとき

入力は一文字ずつできますが、ここでは一度にひらがなを入力し文節に変換していく方法を説明します。

1 「きょうとえいぎょうしょ」と入力する



入力方式が[かな入力]の場合「きょうとえいぎょうしょ」と順にタッチパネル上で入力してください。
 入力方式が[ローマ字入力]の場合、「kyoutoeigyousho」と順にタッチパネル上で入力してください。文字表示部に「きょうとえいぎょうしょ」と表示されます。

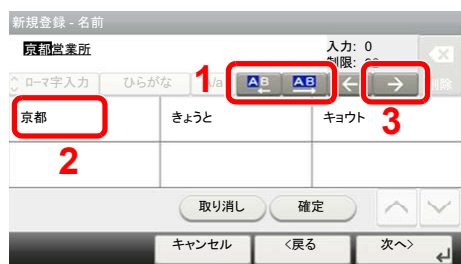
2 [変換]を押す



文字変換画面を表示します。反転されている部分が変換する文字です。

3 文節を調整して変換する

- 1 [A/B] または [A/B] を押して、変換する部分(この場合まず「きょうと」)を反転させてください。変換候補が表示されます。



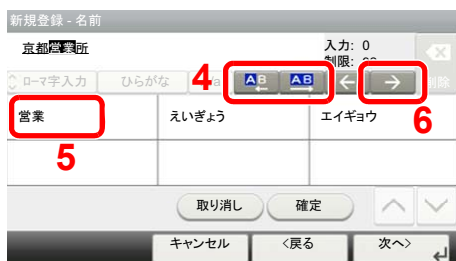
- 2 変換候補リストから、変換する文字(この場合[京都])を押してください。



参考

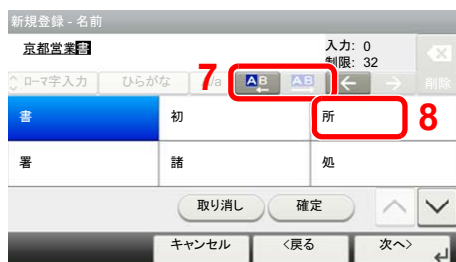
表示されている以外の変換候補がある場合、[へ]または[∨]を押して画面をスクロールしてください。

- 3 [→]を押してください。「京都」が決定します。
- 4 [A/B] または [A/B] を押して、次の変換する部分(この場合「えいぎょう」)を反転させてください。変換候補が表示されます。



- 5 変換候補リストから、変換する文字(この場合[営業])を押してください。
- 6 [→]を押してください。「営業」が決定します。

- 7 [Aa] または [Ab] を押して、次の変換する部分(この場合「しょ」)を反転させてください。変換候補が表示されます。



- 8 変換候補リストから、変換する文字(この場合[所])を選択してください。

4 変換を確定する



文字の変換が終了すれば、[確定]を押してください。入力画面に戻ります。

区点コードでの文字変換

【入力例】「大阪」と入力する場合

この例で入力する「大」の区点コードは「3471」、「阪」の区点コードは「2669」となります。



参考

入力できる文字は全角文字に限ります。半角文字は入力できません。

各文字の区点コードは、[11-35ページの区点コード表](#)を参照してください。

漢字を探すときは、音読みで探してください。

1 入力方式を[区点入力]にする



[かな入力]または[ローマ字入力]を押して、[区点入力]を表示させてください。

2 「大」を入力する



テンキーを使って、「3」、「4」、「7」、「1」を入力すると、入力文字表示部に「大」が表示されます。
[確定]を押すと「大」が入力されます。

3 「阪」を入力する



同様に、区点コード「2669」を入力して[確定]を押すと、「阪」の文字が「大」の後に続いて入力されます。


4 入力した文字を登録する



[次へ >]を押してください。入力した文字を登録します。

用紙について

各カセットに使用できる用紙について説明します。

 各給紙元にセットできる用紙のサイズ、種類、枚数については、[11-30ページの仕様](#)を参照してください。

用紙の基本仕様

本機は、乾式複写機およびページプリンター用の用紙(普通紙)に出力できるよう設計されていますが、本章の制限の範囲内で、他のさまざまな用紙に印刷することができます。

本機に適さない用紙を使用すると、紙づまりが発生したり出力された用紙にシワができたりするため、用紙の選択は慎重に行ってください。

使用できる用紙

通常の乾式複写機またはページプリンター用のコピー用紙(普通紙)を使用してください。用紙の品質は、出力の品質に影響を与えます。低品質の用紙を使うと、満足のできる出力結果を得ることができません。

用紙の基本仕様

本機で使用できる用紙の基本仕様です。詳細は次ページ以降で説明します。

項目	仕様
重さ	カセット: 60~120 g/m ²
	手差しトレイ: 60~220 g/m ² 、230 g/m ² (はがき)
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°
保水度	4~6%
パルプ含有率	80%以上

参考

再生紙の中には、保水度やパルプ含有率などの基本的な項目が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。再生紙を使用するときは、あらかじめ少量を購入してサンプル出力を行ってください。出力の結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

仕様に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

紙の状態

角の折れている用紙、全体が丸まっている用紙、汚れている用紙、破れている用紙は使用しないでください。繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙も使用しないでください。このような用紙は、印刷品質低下の原因になります。また、用紙の給送がうまくいかないために紙づまりを起こし、製品の寿命を縮める可能性があります。用紙は、表面が滑らかで均一なものを使用してください。ただし、コーティング加工などの表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めるため使用しないでください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。このような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、ドラムを傷めることがあります。

普通紙は、少なくとも80%以上のパルプを含むものを使用してください。コットンやその他の繊維が用紙成分の20%以下ものを使用してください。

用紙サイズ

本機に使用できる用紙サイズは次のとおりです。

寸法誤差の許容範囲は、縦横ともに ± 0.7 mmです。用紙四隅の角度は、 $90^{\circ} \pm 0.2^{\circ}$ のものを使用してください。

○:セットできます ×:セットできません

用紙サイズ	カセット1 (ECOSYS M3540idn)	カセット1 (ECOSYS M3550idn)	カセット2~5	手差しトレイ
Envelope Monarch (3-7/8×7-1/2")	×	×	○	○
Envelope #10 (4-1/8×9-1/2")	×	×	○	○
Envelope DL (110×220 mm)	×	○	○	○
Envelope C5 (162×229 mm)	○	○	○	○
Executive (7-1/4×10-1/2")	○	○	○	○
Letter	○	○	○	○
Legal	○	○	○	○
A4 (297×210 mm)	○	○	○	○
B5 (257×182 mm)	○	○	○	○
A5 (210×148 mm)	○	○	○	○
A6 (148×105 mm)	×	○	×	○
B6 (182×128 mm)	×	○	○	○
Envelope #9 (3-7/8×8-7/8")	×	×	○	○
Envelope #6 (3-5/8×6-1/2")	×	×	○	○
ISO B5 (176×250 mm)	○	○	○	○
はがき (100×148 mm)	×	×	×	○
往復はがき (148×200 mm)	×	○	○	○
Oficio II	○	○	○	○
216 × 340 mm	○	○	○	○

用紙サイズ	カセット1 (ECOSYS M3540idn)	カセット1 (ECOSYS M3550idn)	カセット2～5	手差しトレイ
16K (273×197 mm)	○	○	○	○
Statement	○	○	○	○
Folio (210×330 mm)	○	○	○	○
洋形4号 (105×235 mm)	×	×	○	○
洋形2号 (114×162 mm)	×	×	○	○
サイズ入力	カセット1 ECOSYS M3540idn: 140×210～216×356 mm ECOSYS M3550idn: 105×148～216×356 mm カセット2～5: 92×162～216×356 mm 手差しトレイ: 70×148～216×356 mm			

滑らかさ

用紙の表面は、滑らかで均一であることが重要です。ただし、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が給紙され、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙を1 m²の大きさに換算したときの重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙の給送の失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、製品の消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定でないと、同時に複数枚を給紙したり、トナーの定着不良によって出力が不鮮明になるなど、出力品質の問題を引き起こすことがあります。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は、紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は、室内の湿度によって変わります。湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

用紙が波打ったり乾燥したりしていると、紙送りにズレが起きることがあります。用紙の保水度は4～6%の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない用紙は、もう一度密封してください。
- 購入時の梱包紙や箱に、封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に、梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、少なくとも48時間は正しいレベルの保水度を満たした上で使用してください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に放置しないでください。

その他の仕様

多孔性

紙の繊維の密度を表します。

硬さ

柔らかすぎる用紙は、本体内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール

ほとんどの用紙は、開封したまま放置すると自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。このため、カールを打ち消し合うように用紙をセットすると、仕上がりがより平らになります。

静電気

トナーを付着させるために、出力の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは、用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用するほうが、シャープで鮮明に印刷できます。

品質について

サイズの不ぞろい、角がきちんとはとれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因で、本機が正しく機能しないことがあります。ご自分で裁断された用紙を使用する場合、特にご注意ください。

梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている用紙をお選びください。梱包紙は、内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

特殊処理

次のような処理を施した用紙は、基本仕様を満たしていても使用しないことをお勧めします。使用する場合は、あらかじめ少量を購入して、サンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

特殊な用紙

普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機には、次のような特殊な用紙を使用することができます。

- OHPフィルム
- プレプリント
- ボンド紙
- 再生紙
- 薄紙
- レターヘッド
- カラー紙
- パンチ済み紙
- 封筒
- はがき
- 厚紙
- ラベル紙
- 上質紙

以上の用紙を使用するときは、コピー用またはページプリンター用として指定されているものをお使いください。また、OHPフィルム、封筒、はがき、厚紙、ラベル紙は手差しトレイから給紙してください。

特殊な用紙の選択

特殊な用紙は、次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で使用することができます。ただしこれらの用紙は、構造および品質に大きなばらつきがあるために、普通紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙は、サンプルを本機で印刷してみて、満足いく仕上がりであることを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意を次項より説明します。湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、印刷中に本機またはユーザーに被害が生じても、当社は一切の責任を負いかねます。

特殊用紙を使用する際は、カセットまたは手差しトレイに使用する用紙種類を選択してください。

OHPフィルム

OHPフィルムは、印刷中の定着熱に耐えられることが条件です。使用できるOHPフィルムの仕様は次のとおりです。

耐熱性	最低190℃までの熱に耐えること
厚さ	0.100～0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°

トラブルを避けるため、OHPフィルムは手差しトレイから給紙してください。その際、必ず縦方向に（用紙の長手方向を本機に向けて）補給してください。

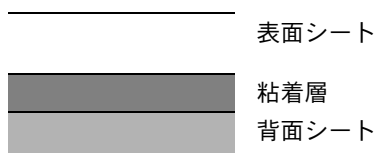
OHPフィルムが排紙部分で頻繁につまる場合は、排紙される際にOHPフィルムの先を少しだけ慎重に手で引いてみてください。

ラベル紙

ラベル紙は、必ず手差しトレイから給紙してください。

ラベル紙を選択する際は、糊が本機のどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラー類に糊が付着したり、はがれたラベルが本機内部に残ると故障の原因になります。

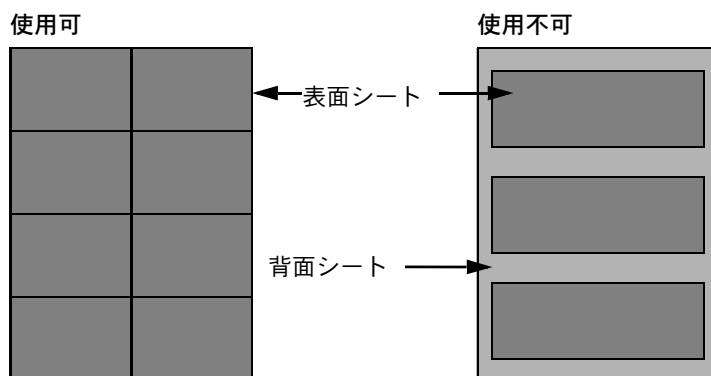
ラベル紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。



ラベル紙は、図のような3層からなる構造をしています。粘着層は本機内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

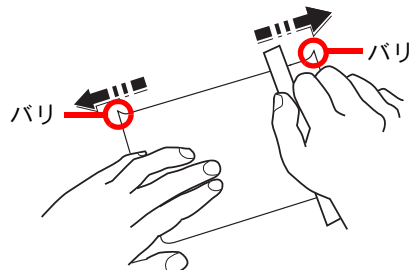
ラベル紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、出力が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



以下の仕様に合ったラベル紙を選んでください。

表面シートの重さ	44～74 g/m ²
基本重量(用紙全体の重さ)	104～151 g/m ²
表面シートの厚さ	0.086～0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115～0.145 mm
保水度	4～6%(混合)

はがき



はがきは、さばいて端をそろえてから、手差しトレイに補給してください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してから補給してください。反りがあるまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

往復はがきは、折られていないものを使用してください(郵便局などで入手できます)。また、裏面にバリ(紙を裁断した際にできる返り)がある場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く1~2回こするようにして、バリを取り除いてください。

封筒

封筒を手差しトレイから給紙する場合は印刷面を上、オプションのペーパーフィーダーから給紙する場合は印刷面を下にしてください。

参考

オプションのペーパーフィーダーの用紙幅ガイドにある用紙上限表示以上に封筒を入れないでください。

ECOSYS M3540idnは封筒モードを設定します。[3-20ページのはがき、封筒をセットするとき](#)を参照してください。

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、本機を通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒で満足のいく印刷が得られるか、サンプル印刷で確認してください。

封筒は、開封したまま長時間放置するとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、以下の点に留意してください。

- 糊が露出している封筒は、どのような封筒でも使用できません。紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式もご使用になれません。糊をカバーしている紙が本機内部ではがれ落ちると、大きな故障の原因になります。
- 特殊加工されている封筒も使用できません。紐を巻きつける鳩目の打つてあるものや窓付きのもの、窓にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度に補給する封筒の枚数を減らしてみてください。
- 封筒を2枚以上出力する際は、紙づまりを避けるため内部トレイに6枚以上貯まらないよう注意してください。

厚紙

厚紙は、さばいて端をそろえてから手差しトレイに補給してください。裏面にバリ(紙を裁断した際にできる返り)がある場合は、用紙を平らなところに置き、はがきと同様に定規のようなもので軽く1~2回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

参考

バリを取り除いても給紙されない場合は、用紙の先端を数ミリ上にそろせてから手差しトレイに補給してください。

カラー紙

カラー紙は、[11-21ページ of 用紙の基本仕様](#)の表の仕様を満たしている必要があります。さらに、用紙に含まれている色素は、出力中の熱(最高200℃)に耐えられる必要があります。

プレプリント

プレプリント用紙は、[11-21ページの用紙の基本仕様](#)の表の仕様を満たしている必要があります。着色に使われているインクは、印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる、表面加工を施してある用紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が[11-21ページの用紙の基本仕様](#)の表を満たしている必要があります。

参考

再生紙を購入する前に、仕上がりが満足いくことをサンプル印刷で確認してください。

仕様

重要

仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

参考

ファクス機能の仕様について詳しくは、ファクス使用説明書を参照してください。

共通機能

項目		仕様
名称		ECOSYS M3540idn ECOSYS M3550idn
型式		デスクトップ型
印刷方式		乾式静電転写方式(レーザー方式)
用紙の重さ	カセット	60~120 g/m ²
	手差しトレイ	60~220 g/m ² 、230 g/m ² (はがき)
用紙種類	カセット	普通紙、再生紙、プレプリント、ポンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、上質紙、カスタム(両面印刷時:片面印刷時と同じ)
	手差しトレイ	普通紙、OHPフィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ポンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、厚紙、上質紙、カスタム1~8
用紙サイズ	カセット	ECOSYS M3540idn : A4、A5、B5、Letter、Legal、Folio、216×340 mm、Statement、Executive、Oficio II、16K、ISO B5、Envelope C5、カスタム(140×210~216×356 mm) ECOSYS M3550idn : A4、A5、A6、B5、Letter、Legal、B6、Folio、216×340 mm、Statement、Executive、Oficio II、16K、ISO B5、Envelope DL、Envelope C5、往復はがき、カスタム(105×148~216×356 mm)
	手差しトレイ	A4、A5、A6、B5、Letter、Legal、B6、Folio、216×340 mm、Statement、Executive、Oficio II、16K、ISO B5、Envelope #10 (Commercial #10)、Envelope #9 (Commercial #9)、Envelope #6 (Commercial #6)、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム(70×148~216×356 mm)
ウォームアップ タイム (22℃、60%)	電源ONから	21秒以下
	低電力モードから	10秒以下
	スリープから	ECOSYS M3540idn : 15秒以下 ECOSYS M3550idn : 20秒以下

項目		仕様
用紙容量	カセット	500枚 (80 g/m ²)
	手差しトレイ	100枚 (80 g/m ²) ^{*1}
排紙トレイ容量	内部トレイ	ECOSYS M3540idn: 250枚 (80 g/m ²) ECOSYS M3550idn: 500枚 (80 g/m ²)
	後ろトレイ ^{*2}	250枚 (80 g/m ²)
記録方式		半導体レーザー方式
メモリー		1024 MB
インターフェイス	標準	Hi-Speed USB: 1 ネットワークインターフェイス: 1 (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T) Hi-Speed USB: 2 (USBフラッシュメモリースロット) ファクス: 1
	オプション	ネットワークインターフェイス: 1 (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)
使用環境	温度	10～32.5℃
	湿度	15～80%
	海拔	2,500m以下
	照度	1,500lux以下
本体寸法(幅×奥行き×高さ)		ECOSYS M3540idn: 475×455×575 mm ECOSYS M3550idn: 475×455×590 mm (原稿送り装置トレイを除く)
質量		ECOSYS M3540idn: 約22.0kg ECOSYS M3550idn: 約23.3kg (トナーコンテナを除く)
機械占有寸法(幅×奥行き)		475×632mm (手差しトレイ使用時)
電源		ECOSYS M3540idn: AC100V, 50/60Hz, 10.8 A ECOSYS M3550idn: AC100V, 50/60Hz, 10.8 A
定格総消費電力		ECOSYS M3540idn: 1067 W以下 ECOSYS M3550idn: 1211 W以下
オプション		11-2ページのオプションについて を参照してください。

*1 カセット内上限高さラインまで

*2 ECOSYS M3550idnのみ

コピー機能

項目		仕様	
コピー速度	ECOSYS M3540idn	A4-R	40枚/分
		Letter-R	42枚/分
		Legal	33枚/分
		B5-R	33枚/分
		A5-R	22枚/分
	ECOSYS M3550idn	A4-R	50枚/分
		Letter-R	52枚/分
		Legal	42枚/分
		B5-R	40枚/分
		A5-R	27枚/分
		A6-R	27枚/分
ファーストコピータイム (本体カセットでA4)	白黒	9.0秒以下	
複写倍率	任意倍率:25~400%(1%単位) 固定倍率:200%、141%、129%、115%、90%、86%、78%、70%、64%、50%、25%		
連続複写	1~999部		
解像度	600×600dpi		
原稿の種類	シート、ブック、立体物(最大原稿サイズ:Folio/Legal)		
原稿台方式	固定		

プリンター機能

項目		仕様	
印刷速度		コピー速度と同じ	
ファーストプリントタイム (A4)	白黒	9秒以下	
解像度		Fast 1200、600 dpi、300 dpi	
対応OS		Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows Server 2008、Windows Server 2012、Mac OS X	
インターフェイス		Hi-Speed USB:1 ネットワークインターフェイス:1 (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T) オプションインターフェイス(オプション):1 (IB-50/IB-51装着用)	
ページ記述言語		PRESCRIBE	
エミュレーション		PCL6(PCL5e、PCL-XL、PCL5c)、KPDLL3(PostScript3互換)、PC-PR201/65A、IBM5577、EPSON VP-1000、XPS	

スキャナー機能

項目	仕様	
解像度	600×600 dpi, 400×400 dpi, 300×300 dpi, 200×400 dpi, 200×200 dpi, 200×100 dpi	
ファイルフォーマット	TIFF (MMR/JPEG圧縮)、JPEG、PDF (MMR/JPEG圧縮)、XPS、PDF/A、高圧縮PDF	
連続原稿読み取り速度 ^{*1}	(A4 300dpi, 文字+写真モード)	
	ECOSYS M3540idn	片面白黒 40イメージ/分 カラー 30イメージ/分 両面白黒 17イメージ/分 カラー 13イメージ/分
	ECOSYS M3550idn	片面白黒 60イメージ/分 カラー 40イメージ/分 両面白黒 26イメージ/分 カラー 17イメージ/分
インターフェイス	イーサネット (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)、USB ^{*2}	
対応プロトコル	SMB、SMTP、FTP、FTP over SSL、USB、TWAIN ^{*3} 、WIA ^{*4} 、WSD	

*1 原稿送り装置を使用 (TWAINスキャン時を除く)

*2 TWAINスキャン、WIAスキャンのみ

*3 対応OS: Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista/Windows Server 2008/
Windows Server 2008 R2/Windows 7/Windows 8/Windows Server 2012

*4 対応OS: Windows Vista/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows 7/Windows 8/
Windows Server 2012

原稿送り装置

項目	仕様
原稿の送り方式	自動給紙方式
原稿の種類	シート原稿
原稿サイズ	最大: A4 (Legal)
	最小: A6-R (Statement-R)
原稿の厚さ	片面: 50~120 g/m ² 両面: 50~120 g/m ²
原稿セット枚数	75枚以下 (50~80g/m ²) ^{*1}

*1 原稿送り装置内上限高さラインまで

ペーパーフィーダー(500枚×1)

項目	仕様
給紙方式	フリクションリタード方式 (収納枚数500枚(80 g/m ²)×4段)
用紙サイズ	A4, A5, B5, Letter, Legal, B6, Folio, 216×340 mm, Statement, Executive, Oficio II, 16K, ISO B5, Envelope #10 (Commercial #10), Envelope #9 (Commercial #9), Envelope #6 (Commercial #6), Envelope Monarch, Envelope DL, Envelope C5, 往復はがき, 洋形4号, 洋形2号, カスタム(92×162~216×356 mm)
使用用紙	紙厚:60 ~ 120 g/m ² 用紙種類:普通紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、上質紙、カスタム1~8
本体寸法 (W)×(D)×(H)	380×410×121 mm
質量	4.0 kg以下



参考

推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

区点コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
0100		.	°	:	:	?	0350	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	0600	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I			
0110	!	~	°	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	0360				a	b	c	d	e	0610	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	Ρ	Σ	T			
0120	ゞ	ゞ	//	全	々	メ	○	—	—	—	0370	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	0620	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω						
0130	-	/	\	~			''		0380	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	0630				α	β	γ	δ	ε	ζ	η	
0140	“	”	()	[]	{	}			0390	z									0640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ		
0150	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	0400	あ	い	い	う	う	え	え	お		0650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω					
0160	+	-	±	×	÷	=	≠	<	>	≦	0410	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	0660											
0170	≧	∞	.	∴	∴	∴	∴	°	'	”	0420	ご	さ	ざ	し	じ	ず	ず	せ	ぜ	そ	0670											
0180	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	0430	ぞ	た	だ	ち	ち	っ	つ	づ	て	で	0680											
0190	★	○	●	◎	◇						0440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぼ	0690											
0200	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒		0450	ひ	び	び	ふ	ぶ	ふ	へ	べ	ほ	0700	A	B	B	Γ	D	E	Ё	Ж	З			
0210	→	←	↑	↓	=						0460	ぼ	ぼ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゆ	0710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	
0220								∈	∋	⊆	⊇	0470	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	0720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
0230	⊂	⊃	∩								0480	ゐ	ゑ	を	ん						0730	Ь	Э	Ю	Я								
0240	∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃				0490										0740											a	
0250											0500	ア	アイ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ		0750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й		
0260	∠	⊥	∩	∇	≡	≡	≡	≡	≡	≡	0510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	0760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	
0270	∞	∞	.	∴	∴	∴	∴				0520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	0770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	
0280	Å	%	#	б	♪	†	‡	¶			0530	ゾ	タ	ダ	チ	チ	ツ	ツ	テ	デ	0780	ю	я										
0290	○										0540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	バ	0790											
0300											0550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	フ	ヘ	ベ	ホ	0800												
0310						0	1	2	3		0560	ポ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ユ	0810											
0320	4	5	6	7	8	9					0570	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	0820												
0330		A	B	C	D	E	F	G			0580	ヰ	エ	ラ	ン	ヴ	カ	ケ			0830												
0340	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	0590										0840												

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
ア	1600	垂	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	力	1850	禍	禾	稼	箇	花	苟	茄	荷	華	菓	キ	2100	機	婦	毅	気	汽	畿	祈	季	稀		
	1610	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	芦		鯪	1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄		峨	2110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	1620	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢		綾	1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓		駕	2120	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺
	1630	鮎	或	粟	裕	安	庵	按	暗	案		闇	1880	介	会	解	回	塊	壞	迴	快	怪		悔	2130	犧	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	1640	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囿	夷		委	1890	恢	懷	戒	拐	改	2140	吉	吃	喫		桔	橘	詰	砧	杵	黍	却					
イ	1650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	力	1900	魁	晦	械	海	灰	界	皆	給	芥	キ	2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	
	1660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医		1910	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害		崖	2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	1670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壹	溢	逸		1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸		埋	2170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	1680	稻	茨	芋	鱒	允	印	咽	員	因	姻		1930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各		廓	2180	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁
	1690	引	飲	淫	胤	蔭	1940	拈	攪	核	格		殼	獲	確	穫	覺	角	2190	禦	魚	亨		享	京										
1700	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	樂	額	2200	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡					
ウ	1710	迂	雨	卯	鷄	窺	丑	確	白	渦	嘘	力	1960	顎	掛	笠	檉	樞	棍	鯁	漏	割	喝	キ	2210	卿	叫	喬	境	峽	強	疆	怯	恐	恭
	1720	唄	鬱	蔚	纒	姥	厖	浦	瓜	閨	樽		1970	恰	括	活	渴	葛	褐	轄	且	鯉	2220		挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	
	1730	云	運	雲	荏	餌	叡	宮	嬰	影	映		1980	叶	花	樺	靴	株	兜	竈	蒲	釜	鎌		2230	蕎	鄉	鏡	響	饗	驚	仰	凝	堯	曉
エ	1740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	力	1990	囓	鴨	栢	茅	萱	キ	2240	業	局	曲	極	玉	桐	籽	僅	勤	均					
	1750	衛	詠	銳	液	疫	益	馭	悅	謁	越		2000	粥	刈	苴	瓦	乾		侃	冠	寒	刊	2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	
	1760	閱	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨		2010	勘	勘	巻	喚	堪		姦	完	官	寬	干	2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九
	1770	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	緣		2020	幹	患	感	憤	憾		換	敢	柑	桓	棺	2270	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駟
	1780	艷	苑	菌	遠	鉛	鴛	塹	於	汚	甥		2030	款	歛	汗	漢	潤		環	甘	監	看	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	
オ	1790	凹	央	奧	往	応	2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	覲	ク	2290	串	櫛	釧	屑	屈											
	1800	押	旺	橫	欧	毆	王	翁	襖	鶯	2050	諫	貫	還	鑑	閑	閑		陷	韓	館	2300	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	桑				
	1810	鷗	黄	岡	冲	荻	億	屋	憶	臆	桶	2060	舘	丸	含	岸	崖		玩	癌	眼	岩	斲	2310	栗	縑	桑	欽	勲	君	薰	訓	群	軍	
	1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下	化	2070	廩	雁	頑	顏	顔		企	伎	危	喜	器	2320	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	
カ	1830	仮	何	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	キ	2080	基	奇	嬉	奇	岐	幾	忌	揮	机	ケ	2330	珪	型	契	形	徑	患	慶	慧	憩	揭	
	1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂		2090	旗	既	期	棋	棄	2340	携	敬	景		桂	溪	畦	稽	系	經	緹					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
ケ	2350	繫	野	荃	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	コ	2600	此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	シ	2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	
	2360	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	桁		2610	昏	昆	根	棍	混	痕	紺	良	魂		些	2860	尺	杓	灼	爵	酌	積	錫	若	寂	弱
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件		2620	佐	又	峻	嵯	左	差	查	沙	磋		砂	2870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2380	俟	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌		2630	詐	鎖	娑	坐	挫	債	催	再	最		2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	
	2390	建	憲	懸	拳	捲	2640	哉	塞	妻	宰		彩	才	採	裁	歲	濟	2890	綬	需	囚		収	周										
	2400	揆	權	牽	犬	獻	研	硯	絹	梟	2650		災	采	犀	碎	碧	祭	齋	細	菜	裁		2900	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋		
	2410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	險	顛	駭		2660	載	際	劑	在	材	罪	財	冴	坂		阪	2910	終	繡	習	臭	舟	菟	衆	襲	讒	蹴
	2420	齷	元	原	巖	幻	弦	滅	源	玄	現		2670	堺	柵	肴	咲	崎	崎	崎	鷲	作		削	2920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	2430	絃	絃	言	諺	限	乎	個	古	呼	固		2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯		桜	2930	從	戎	柔	汁	波	獸	縱	重	銃	叔
	2440	姑	孤	己	庫	孤	戸	故	枯	湖	狐		2690	鮭	筈	匙	冊	刷	2940	夙	宿	淑		祝	縮	肅	塾	熟	出	術					
2450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈎	雇	2700	察	撈	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循				
2460	顧	鼓	五	互	伍	午	吳	吾	娛	後	2710	鯖	捌	鑄	絞	皿	晒	三	傘	參	山	2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵			
2470	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	醐	2720	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕	2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒			
2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	2730	讚	贊	酸	餐	斬	暫	殘	仕	仔	伺	2980	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐			
2490	効	勾	厚	口	向	2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	2990	恕	鋤	除	傷	償													
2500	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	3000	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎					
2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	社	私	糸	3010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠			
2520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶			
2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	2780	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	児	3030	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦			
2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	2790	字	寺	慈	持	時	3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧								
2550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉇	2800	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	3050	紹	肖	莒	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔				
2560	砧	鋼	閣	降	頂	香	高	鴻	剛	劫	2810	耳	自	時	辞	夕	鹿	士	識	鷗	竺	3060	詳	象	賞	醬	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上			
2570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻	2820	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	3070	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	嬢	常			
2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甌	2830	湿	漆	疾	質	実	部	篠	俛	柴	芝	3080	情	擾	条	杖	淨	状	豊	穰	蒸	讓			
2590	忽	惚	骨	珀	込	2840	屢	蕊	縞	舍	写	射	捨	赦	斜	煮	3090	釀	錠	囁	埴	飾													

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
シ	3100	拭	植	殖	燭	織	職	色	舐	食	シ	3350	倉	喪	壯	奏	奏	宋	層	匠	惣	想	チ	3600	帖	帳	庁	弔	張	彫	徵	懲	挑		
	3110	舐	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寢		審	3360	搜	掃	挿	搔	操	早	曹	巢	槍		槽	3610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聽	脹	腸	蝶
	3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深		申	3370	漕	燥	争	瘦	相	容	糴	総	綜		聡	3620	調	謀	超	跳	鋤	長	頂	鳥	勅	抄
	3130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親		診	3380	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭		鎗	3630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎
	3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵		壬	3390	霜	騷	像	增	憎							3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	柵	搦	槻	佃
3150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	鞞	筒	諷	3400	臟	臧	贈	造	促	側	則	即	息		3650	漬	柘	辻	薦	綴	鐔	椿	漬	坪	壺			
ス	3160	須	酢	囟	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	3410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	統	3660	孀	紉	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵		
	3170	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	鍾	隨	3420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	3670	剝	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟		
	3180	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	難	据	杉	3430	他	多	太	汰	訖	唾	墮	妥	惰	打	3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締		
	3190	桴	菅	頗	雀	裾						3440	柁	舵	柁	陀	駸	駢	体	堆	对	耐	3690	艇	訂	諦	蹄	通							
3200	澄	摺	寸	世	瀨	畝	是	凄	制		3450	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	テ	3700	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴			
セ	3210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	3460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代	3710	的	笛	適	鎬	溺	哲	徹	撤	轍	迭		
	3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	3470	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	3720	鉄	典	墳	天	展	店	添	纏	甜	貼		
	3230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	齊	稅	3480	宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	3730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐		
	3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	3490	諾	苜	夙	蛸	只						3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟		
	3250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	3500	叩	但	達	辰	奪	脱	翼	豎	迥		3750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴		
	3260	接	損	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌	3510	棚	谷	狸	樽	樽	誰	丹	单	嘆	坦	3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套		
	3270	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰	3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	筆	3770	宕	島	嶋	悼	投	搭	束	桃	栲	棟		
	3280	扇	撰	栓	柄	泉	浅	洗	染	潜	煎	3530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	彈	断	3780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等		
	3290	煽	旋	穿	箭	線						3540	暖	檀	段	男	談	值	知	地	弛	恥	ト	3790	答	筒	糖	統	到						
	3300	織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐		3550	智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	馳	築	3800	董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透			
3310	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	3560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	室	茶	嫡	着	3810	鐙	陶	頭	騰	鬪	働	動	同	堂	導			
3320	全	禪	繕	膳	糲	嚼	塑	岨	措	曾	チ	3570	中	仲	宙	忠	抽	屋	柱	注	虫	衷	3820	懂	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠		
ソ	3330	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	3580	註	耐	鑄	駐	樗	豬	猪	芋	著	貯	3830	鴛	匿	得	德	洩	特	督	禿	篤	毒		
	3340	組	蘇	訴	阻	遯	鼠	僧	創	双	叢	3590	丁	兆	凋	喋	龍						3840	独	読	柄	椽	凸	突	椽	屈	薦	菟		

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
ト	3850	寅	西	滄	嶼	屯	惇	敦	沌	豚	遁	4100	鼻	柁	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	ホ	4350	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	
	3860	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凧	籬	4110	肘	弼	必	畢	畢	逼	桧	姫	媛	紐	4360	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹	
ナ	3870	謎	灘	捺	鍋	檣	馴	繩	躰	南	楠	4120	百	謬	佞	彪	標	水	漂	瓢	票	表	マ	4370	昧	枚	每	哩	模	幕	膜	枕	鮪	枉
	3880	軟	難	汝	二	尼	忒	迓	勾	販	肉	4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鎮	蒜	4380	鱒	榭	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	俛	
ニ	3890	虹	廿	日	乳	入					4140	蛭	鱗	品	彬	斌	浜	貧	賈	頻		4390	爾	磨	万	慢	滿							
又	3900	如	尿	菲	任	妊	忍	認	濡	襦	4150	敏	瓶	不	付	埒	夫	婦	富	富	布	4400	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密			
ネ	3910	衿	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	燃	4160	府	怖	扶	敷	斧	斧	浮	父	符	腐	三	4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民	眠	務	
	3920	粘	乃	迺	之	埜	囊	惱	濃	納	能	4170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	△	4420	夢	無	牟	矛	霧	鷓	掠	婿	娘	冥
ノ	3930	腦	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	霸	杷	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	落	×	4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
ハ	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	糜	4190	伏	副	復	幅	服					4440	免	棉	綿	緬	面	麵	摸	模	茂	妄		
	3950	排	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	4200	福	腹	複	覆	沸	弘	沸	仏		4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默		
	3960	倍	培	媒	梅	煤	煤	狼	買	壳	賠	4210	物	鮒	分	吻	墳	墳	扮	焚	奮	毛	4460	目	李	勿	餅	尤	戾	初	貫	問	悶	
	3970	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	4220	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	摒	4470	紋	門	匆	也	治	夜	爺	耶	野	弥	
	3980	柏	泊	白	箔	舶	薄	迫	曝	漠		4230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	ヤ	4480	矢	厄	役	約	葉	訳	躍	靖	柳	藪
	3990	爆	縛	莫	駁	麥						4240	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	筵	偏	變	4490	鑊	愉	愈	油	癒						
	4000	函	箱	裕	箸	肇	筭	櫛	幡	肌		4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	4500	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽		
	4010	畑	畠	八	鉢	浚	兪	醜	髮	伐	罰	4260	鞭	保	鋪	鋪	圃	捕	步	甫	補	輔	コ	4510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4020	拔	筏	閱	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判	4270	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	
	4030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	4530	余	与	譽	輿	預	備	幼	妖	容	庸	
4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	煩	4290	抱	捧	放	方	朋						ヨ	4540	揚	搖	擁	躍	楊	樣	洋	浴	浴	用	
4050	頒	飯	挽	晚	番	盤	磬	蕃	蛭	匪	4300	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬		4550	窠	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽		
ヒ	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	4310	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅	
	4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	4570	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪	
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	篋	備	尾	微	4330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	吏	
	4090	枇	毘	毘	眉	美						4340	鉞	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴	リ	4590	履	李	梨	理	璃					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7050	耜	耜	耜	耜	耜	耜	耜	耜	耜	耜	7300	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	7550	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
7060	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	聚	7310	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	7560	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
7070	聿	聿	聿	聿	聿	聿	聿	聿	聿	聿	7320	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	藉	7570	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
7080	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	7330	藎	藎	藎	藎	藎	藎	藎	藎	藎	藎	7580	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
7090	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	7340	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	7590	證	證	證	證	證	證	證	證	證	證
7100	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	7350	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	7600	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤
7110	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	7360	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	7610	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓
7120	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	7370	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	7620	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐
7130	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂	臂	7380	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	7630	狸	狸	狸	狸	狸	狸	狸	狸	狸	狸
7140	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	7390	蝴	蝴	蝴	蝴	蝴	蝴	蝴	蝴	蝴	蝴	7640	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳
7150	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	7400	蠲	蠲	蠲	蠲	蠲	蠲	蠲	蠲	蠲	蠲	7650	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻
7160	艘	艘	艘	艘	艘	艘	艘	艘	艘	艘	7410	蠲	蠲	蠲	蠲	蠲	蠲	蠲	蠲	蠲	蠲	7660	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻
7170	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	7420	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	7670	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾
7180	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	7430	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	7680	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
7190	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	7440	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	7690	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂
7200	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	7450	衵	衵	衵	衵	衵	衵	衵	衵	衵	衵	7700	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7210	茯	茯	茯	茯	茯	茯	茯	茯	茯	茯	7460	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	7710	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7220	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	莫	7470	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	7720	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7230	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	7480	裋	裋	裋	裋	裋	裋	裋	裋	裋	裋	7730	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲
7240	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	7490	褖	褖	褖	褖	褖	褖	褖	褖	褖	褖	7740	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
7250	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	7500	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	7750	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
7260	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	蒂	7510	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	7760	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
7270	蒿	蒿	蒿	蒿	蒿	蒿	蒿	蒿	蒿	蒿	7520	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	7770	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭
7280	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	7530	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	7780	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅
7290	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	7540	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	7790	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7800	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	8050	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	8300	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
7810	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	8060	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	8310	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
7820	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	8070	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	8320	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
7830	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	8080	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	8330	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
7840	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	8090	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	8340	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩
7850	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	8100	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	8350	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩
7860	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	8110	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	8360	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠
7870	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	8120	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	8370	聃	聃	聃	聃	聃	聃	聃	聃	聃	聃
7880	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	8130	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	8380	齟	齟	齟	齟	齟	齟	齟	齟	齟	齟
7890	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	8140	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	8390	齟	齟	齟	齟	齟	齟	齟	齟	齟	齟
7900	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	8150	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	8400	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯
7910	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	鎰	8160	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅											
7920	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	8170	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢											
7930	鍬	鍬	鍬	鍬	鍬	鍬	鍬	鍬	鍬	鍬	8180	體	體	體	體	體	體	體	體	體	體											
7940	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	8190	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻											
7950	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	8200	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻											
7960	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	8210	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼											
7970	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	8220	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴											
7980	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	8230	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓											
7990	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	8240	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓											
8000	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	8250	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓											
8010	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險	8260	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓											
8020	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	8270	鱧	鱧	鱧	鱧	鱧	鱧	鱧	鱧	鱧	鱧											
8030	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	8280	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟											
8040	霹	霹	霹	霹	霹	霹	霹	霹	霹	霹	8290	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩											

製品の保守サービスについて

このたびは、本製品をご購入いただきありがとうございます。本製品の保守サービスにつきましては、販売担当者またはお買い上げ販売店にお問い合わせください。

契約書について

保守サービスとしてコピーチャージ契約を結ばれたお客様には、ご購入の際、お買い上げ販売店または弊社ブランチが「コピーチャージ契約書」に必要事項を記入してお渡しします。

「コピーチャージ契約書」には、お買い上げになった製品の保守サービスの内容などが記載されていますので、よくお読みになった後、大切に保管してください。「コピーチャージ契約書」が発行されていない場合は、お買い上げ販売店または弊社ブランチにご連絡ください。直ちに発行手続きをします。



参考

アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ販売店または最寄りの弊社ブランチにお問い合わせください。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。

弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後、7年間です。

廃棄について

使用済み製品の廃棄


使用済み製品を廃棄される場合は、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品(トナーコンテナ含む)は、素材ごとに分解し、再利用可能な部品は、再利用(リユース)し、不可能なものは、マテリアルリサイクル等、環境に配慮した適正処理を行っています。

初期化について


お客様の大切な個人情報の漏洩防止のため、機械を廃棄または、入れ替える際には使用済みの機械について、下記の項目のデータを消去することをお勧めします。

削除する対象

- アドレス帳(ワンタッチ含む)
- ネットワーク設定
- ボックス内データ

 [セキュリティデータの完全消去 \(8-36ページ\)](#)

- FAXデータ(自局名/自局番号/通信履歴)

 FAXデータの消去(ファクス使用説明書参照)

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄

使用后、不要になったトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

用語集

Active Directory

Active Directory(アクティブディレクトリー)とはマイクロソフトによって開発されたディレクトリー・サービス・システムであり、Windows 2000 Serverから導入された、ユーザーおよびパソコン管理を実行するコンポーネント群の総称です。

Auto-IP

TCP/IPネットワーク上で自動的にIPアドレスを割り当てるプロトコルのことです。DHCPサーバーがないネットワークで、他の機器と重複しないようにIPアドレスを割り当てることができます。割り振られるIPアドレスは、Auto-IP用に予約されている169.254.0.0 ~169.254.255.255の範囲です。

Bonjour

Bonjour は、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれています。IP ネットワーク上のパソコン、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。

Bonjour は、業界標準の IP プロトコルが使用されているので、IP アドレスを入力したりDNS サーバーを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjour は、UDP ポート 5353 上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjour が正しく動作するように UDP ポート 5353が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjour パケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjour の動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjour が例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。Bonjour を Windows XP Service Pack 2 以降にインストールする場合、Windows ファイアウォールは Bonjour によって適切に設定されます。

DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)

TCP/IPネットワーク上で、IPアドレスやサブネットマスク、ゲードウェイアドレスを自動的に解決するプロトコルです。DHCPを利用すると、クライアント数の多いネットワーク環境で、プリンターを含めて個々のクライアントにIPアドレスを個別に割り当てる必要がなくなるため、ネットワーク管理の負担を軽減できます。

DHCP (IPv6)

DHCP (IPv6)は、次世代のインターネットプロトコルであるIPv6をサポートする動的ホスト構成プロトコルのことで、構成情報をネットワーク上のホストに渡すためのプロトコルを定義しているBOOTPを拡張します。

DHCP(IPv6)を使うと、DHCPサーバーは拡張機能を使ってIPv6ノードに構成パラメータを送信できるようになります。再利用可能なネットワークアドレスが自動的に割り当てられるため、管理者がIPアドレスの割り当てを細かく制御する必要がある環境では、IPv6ノードの管理が低減されます。

dpi (dots per inch)

解像度を表す単位です。1インチ(25.4 mm)当たりのドット数を表します。

Enhanced WSD

弊社が独自に提供するWebサービスです。

FTP(File Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークで、ファイルを転送するときに使われるプロトコルです。現在のインターネットでHTTPやSMTP/POPと並んで頻繁に利用されています。

IPアドレス

ネットワークに接続されたパソコンや周辺機器1台ずつに割り振られる識別番号です。「192.168.110.171」などのように、0から255までの数字を4つ並べて表現します。

IPP

IPP (Internet Printing Protocol、インターネット プリンティング プロトコル)は、インターネット網に代表されるTCP/IPネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンターとパソコンの間で印刷データなどのやり取りを行うための規格です。

Web ページの閲覧に使われるHTTP を拡張した規格であり、ルータによって隔てられた遠隔地のプリンターに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTPの認証機構や、SSLによるサーバー認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。

KPDL (Kyocera Page Description Language)

Adobe PostScript Level 3互換の京セラのページ記述言語です。

NetBEUI (NetBIOS Extended User Interface) 設定

1985年にIBM社が開発したネットワークプロトコルです。NetBIOSをベースに拡張したもので、小規模なネットワークではTCP/IPなどの他のプロトコルよりも高い性能を発揮できます。ただし、複数の経路の中から最適な経路を選択するルーティング機能は持っていないため、大規模なネットワーク構築には向いていません。IBM社のOS/2やMicrosoft社のWindowsシリーズの標準プロトコルになっており、NetBEUIを利用したファイル共有サービスやプリントサービスなどが提供されています。

PDF/A

ISO 19005-1. Document management - Electronic document file format for long-term preservation - Part 1: Use of PDF (PDF/A) のことで、PDF1.4を元に策定されたファイル形式です。ISO19005-1として標準規格化されています。主に印刷目的として利用されていたPDFを、長期保存用に特化させたものです。現在、ISO19005-2 (PDF/A-2) という新しいパートも策定中です。

POP3 (Post Office Protocol 3)

インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するための標準的なプロトコルです。

PostScript

Adobe Systems社が開発したページ記述言語です。柔軟なフォント機能および高性能のグラフィックスを提供し、高品質な印刷ができます。現在Level 1と呼ばれている最初のバージョンは1985年に登場しました。1990年にはカラー印刷や日本語などの2バイト言語に対応したLevel 2が、1996年にはインターネットへの対応や実装水準の段階化、PDF形式への対応などを追加したLevel 3が発表されています。

PPM (prints per minute)

A4用紙を1分間に印刷できる枚数を示します。

RA (Stateless)

IPv6 ルータは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報をICMPv6 で知らせます。この情報がRouter Advertisement (RA) です。

また、ICMPv6 はインターネット制御メッセージ プロトコルのことで、RFC 2463「Internet Control Message Protocol (ICMPv6) for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification」で定義されている IPv6 標準です。

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールをやり取りしたり、クライアントがサーバーにメールを送信する際に用いられます。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

パソコン同士やその他のデバイスとの間で、データ通信の規約を定めたネットワークプロトコルのひとつです。

TCP/IP (IPv6)

TCP/IP (IPv6) は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコルTCP/IP (IPv4) をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティー機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルを示します。

TWAIN (Technology Without Any Interested Name)

スキャナーやデジタルカメラなどの画像入力機器とパソコンを接続するための技術仕様のひとつです。機器がTWAINに対応していれば、TWAINに対応したあらゆるアプリケーションソフトで画像の入力ができます。TWAINは、Adobe PhotoshopをはじめとするグラフィックソフトやOCRソフトで多く採用されています。

USB (Universal Serial Bus) 2.0

Hi-Speed USB 2.0 に準拠したUSB インターフェイスです。最大通信速度は480 Mbpsで、高速なデータ転送ができます。本機はこのUSB 2.0インターフェイスを装備しています。

WIA (Windows Imaging Acquisition)

Windows Me/XP以降でサポートされた、画像をデジタルカメラ等の周辺機器から取り込む機能です。従来TWAINが行っていた機能を置き換えるもので、Windows自身の機能として提供することによって、アプリケーションソフトを使わずともマイ コンピューターから直接取り込みが行えるなど、操作性や利便性が向上しています。

エコプリント

トナーを節約するための印刷方法です。通常での印刷よりも薄くなります。

エミュレーション

他のプリンターのページ言語を解釈し、実行する機能です。PCL6、KPDL3 (PostScript3互換) のエミュレーションを備えています。

オートスリープ

本体の操作やデータの送/受信が一定の時間行われないと、自動でスリープに移行する機能です。スリープ時は、電力消費が最小限に抑えられます。

グレースケール

パソコン上での色の表現方法のひとつです。画像を白から黒までの明暗だけで表現し、色の情報は含まない「モノクロ」のことです。灰色を何階調で表現するかをビット数によって表し、1ビットなら白と黒のみで中間色がない状態、8ビットなら(白と黒を含めて)256階調、16ビットなら65536階調の灰色で表現されます。

サブネットマスク

サブネットマスクは、IPアドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。

サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて1として表現し、ホスト・アドレス部をすべて0として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス (Prefix) とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IPアドレスの「先頭部分」を指します。IPアドレスを表記するときに、ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、「133.201.2.0/24」のように“/” (スラッシュ) の後にプレフィックス長 (この場合は「24」) を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長 (つまりネットワーク部) が24ビットの「133.201.2.0」というIPアドレスということになります。サブネット・マスクによって新しく増えたネットワーク・アドレス部 (本来のホスト・アドレス部の一部分) をサブネット・アドレスと呼びます。サブネットマスクを入力するときは、DHCPの設定をオフにしてください。

自動改ページ待ち時間

本機へのデータ送信中に、待ち時間が発生することがあります。このとき本機は、次のデータが届くまで一定時間待機します。自動改ページ待ち時間とは、この待機時間のことです。待機時間が、登録された待ち時間に達すると、本機は自動で排紙します。ただし、最終ページに印刷データがない場合は排紙しません。

自動用紙選択機能

印刷時に、原稿サイズと同じサイズの用紙を自動的に選択する機能です。

ステータスページ

搭載メモリー容量、印刷や送信の総枚数、給紙元の選択など本機に関するさまざまな情報を確認するために印刷するページです。

手差しトレイ

本体右側にある給紙トレイです。はがき、OHPフィルム、ラベル用紙などを使用するときは、カセットでなく手差しトレイに補給してください。

デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外にあるパソコンにアクセスする際に使用する、パソコンやルータなどの出入り口の代表となるアドレスです。アクセス先のIPアドレスについて特定のゲートウェイを指定していない場合は、デフォルトゲートウェイに指定されているホストにデータが送信されます。

プリンタードライバー

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。プリンタードライバーは、付属のDVDに収録されています。本機に接続したパソコンにインストールしてください。

ヘルプ

本機のタッチパネルには[?] (ヘルプ) があります。操作方法が分からなかったり、機能の内容を知りたいときや、うまく動作しないで困ったときなど、[?] を押すと、タッチパネルに詳しい内容が表示されます。

メール送信

本機で読み込んだ画像を、E-Mailの添付ファイルとして送信する機能です。E-Mailアドレスは、あらかじめ登録されたものと、そのつど入力するものが使用できます。

ユニバーサル(Universal Design)

ユニバーサルデザインとは、高齢者や障害者を含むできるだけ多くの人に使いやすいデザインのことです。本機では、タッチパネルの角度を2段階に変えることができます。

索引

A

Active Directory 11-43
AirPrint 4-7
Apacheライセンス (Version 2.0) 1-9
Auto-IP 11-43
 設定 8-27

B

Bonjour 11-43
 設定 8-28

C

Command Center RX 2-33

D

DHCP 11-43
 設定 8-27
DHCP (IPv6) 11-43
 設定 8-28
dpi 11-43

E

Enhanced WSD 8-30, 11-43
Enhanced WSD over SSL 8-30

F

FMU Connection 5-39
FTP 11-43
FTP暗号送信 6-28
 初期値 8-17
FTPクライアント(送信)
 プロトコル詳細 8-29
FTPサーバー(受信)
 プロトコル詳細 8-29

G

GPL/LGPL 1-7

H

HTTP
 プロトコル詳細 8-29
HTTPS
 プロトコル詳細 8-29

I

ICカード認証キット 11-3
IPP 11-44
 プロトコル詳細 8-29
IPP over SSL
 プロトコル詳細 8-29
IPSec
 設定 8-31
IPアドレス 11-44
 設定 8-27

J

JPEG/TIFF印刷方法 6-30
 初期値 8-17

K

KIR 8-26
Knopflerfish ライセンス 1-9
KPD L 11-44

L

LANインターフェイス 8-31
LDAP
 プロトコル詳細 8-29
LINEコネクター 2-3
LPD
 プロトコル詳細 8-29

M

Monotype Imagingライセンス契約 1-8

N

NetBEUI 11-44
 プロトコル詳細 8-29

O

OpenSSLライセンス 1-7

P

PDF/A 6-24, 11-44
 初期値 8-17
POP3 11-44
POP3(メール受信)
 プロトコル詳細 8-29
PostScript 11-44
PPM 11-44
Product Library xiii

R

RA (Stateless) 11-44
 設定 8-28
RAMディスク設定 8-35
Raw Port
 プロトコル詳細 8-29

S

SDカード 11-5
 フォーマット 8-19
SMBクライアント(送信)
 プロトコル詳細 8-29
SMTP 11-45
SMTP(メール送信)
 プロトコル詳細 8-29
SNMP
 プロトコル詳細 8-29
SNMPv3
 プロトコル詳細 8-29
SSD 11-7
 フォーマット 8-19

SSDの初期化 8-36
SSL 8-31

T

TCP/IP 11-45
 設定 8-27
TCP/IP (IPv4)
 設定 2-13, 8-27
TCP/IP (IPv6) 11-45
 設定 8-28
TELコネクタ 2-3
ThinPrint
 プロトコル詳細 8-30
ThinPrint Option 11-9
ThinPrint over SSL
 プロトコル詳細 8-30
TWAIN 11-45
 TWAINドライバーの設定 2-28
 読み込み 5-37

U

USB 11-45
USBインターフェイス 2-5
USBインターフェイスコネクタ 2-3
USBケーブル
 接続 2-7
USBメモリー
 印刷 5-50
 取り外しかた 5-54
 保存 5-52
USBメモリーからの印刷 5-50
USBメモリースロット 2-2
USBメモリーへの保存 5-52

W

WIA 11-45
 WIAドライバーの設定 2-29
WSD印刷 8-30
WSDスキャン 5-35, 8-30

X

XPS印刷サイズ調整 6-30
 初期値 8-17

あ

宛先
 宛先確認画面 5-31
 アドレス帳 5-22
 確認/変更 5-30
 検索 5-23
 種類の異なる相手への送信(複合送信) 5-33
 新規宛先の入力確認 8-21
 新規登録 3-35
 新規のフォルダーを指定する 5-26
 送信前の宛先確認 8-21
 表示順 8-24
 メールアドレスを入力する 5-25
 ワンタッチキー 3-42

宛先編集

 アドレス帳 3-35
 アドレス帳初期設定 8-24
 グループ 3-39
 個人 3-35
 ワンタッチキー 3-42
アドレス帳 3-35
 グループ 3-39
 個人 3-35
 登録 3-35
 変更/削除 3-41
アドレス帳/ワンタッチ 8-23
アプリケーション 5-11, 8-23
暗号化PDFパスワード 6-29

い

一般的な問題について 10-10
印刷後削除 6-28
印刷設定 4-5
印刷速度 11-32
印刷濃度 8-39
印刷用紙 1-12
インストール
 Macintosh 2-26
 Windows 2-20
 ソフトウェア 2-19
インターネット 8-23
 プロキシ 8-23, 8-32
インターフェイスブロック設定 8-34

う

後ろカバー 2-2
後ろトレイ 2-4, 11-3
うら写り防止 6-14
 初期値 8-16

え

エコプリント 6-12, 11-45
 初期値 8-16
 プリンター 8-25
絵表示 1-2
エミュレーション 11-45
 選択 8-25
エラー後自動継続 8-38
エラー後自動継続時間 8-39
エラー処理設定 8-18
エンターキー 3-10

お

オートスリープ 2-15, 11-45
オートパネルリセット 8-37
お気に入り 5-5
 登録 5-6
 変更と削除 5-10
 呼び出し 5-9
音設定 8-11

オプション
ICカード認証キット 11-3
SDカード 11-5
SSD 11-7
ThinPrint Option 11-9
後ろトレイ 11-3
オプション構成 11-2
拡張メモリー 11-4
セキュリティーキット 11-9
ネットワークインターフェイスキット 11-9
ペーパーフィーダー 11-3
ワイヤレスインターフェイスキット 11-9
オプションインターフェイス 2-3
オプション機能 8-37
オプションネットワーク
基本設定 8-32
ワイヤレスネットワーク 8-33
オプションのアプリケーションについて 11-10
オプションメモリー使用量 8-36
オリジナルSSLeayライセンス 1-7

か

カードリーダー 2-4
解像度 6-27, 11-32
カウンターの確認 2-30
拡張メモリー 11-4
各部の名称 2-2
画質 6-24
初期値 8-17
カセット
用紙サイズと用紙種類 3-22
用紙の補給 3-14
カセット/手差しトレイ設定 8-9
カセット1 2-2
カセット2~5 2-4
カセット設定 3-22
紙づまりが発生したら 10-27
後ろカバー内部 10-32
カセット1~5 10-29
紙づまり位置表示 10-27
原稿送り装置 10-33
手差しトレイ 10-28
内部トレイ 10-32
本体内部 10-31
両面ユニット 10-30
画面の明るさ 8-40
カラー選択 6-12
初期値 8-16
簡単セットアップ 2-16
簡単ログイン 2-10
簡単ログイン設定
簡単ログイン 9-25
簡単ログイン情報 9-26
管理 9-1

き

キーボード入力方式 8-19
機能キーの使用 8-20
給紙指定動作 8-26

共通設定 8-11
SDカードフォーマット 8-19
SSDフォーマット 8-19
エラー処理設定 8-18
音設定 8-11
キーボード入力方式 8-19
機能キーの使用 8-20
機能初期値 8-16
原稿設定 8-12
状況/履歴の表示 8-19
初期画面 8-11
トナー残量少の通知レベル 8-18
入力長さ単位 8-18
部数制限 8-17
用紙設定 8-13

く

区点コード表 11-35
グループ認可設定 9-20
グループ認可 9-20
グループリスト 9-21
グレースケール 11-45
黒筋軽減処理 8-39

け

ケーブル 2-5
契約書 11-41
原稿
カスタム 8-12
原稿サイズ初期値 8-12
設定 8-12
原稿送り装置
各部の名称 2-2
原稿のセット 5-3
原稿のセット方法 5-3
使用できない原稿 5-3
使用できる原稿 5-3
原稿ガラス 2-2
原稿サイズ 6-8
原稿サイズ指示板 2-2
原稿ストッパー 2-2, 5-4
原稿設定 8-12
原稿セット 5-2
原稿送り装置 5-3
原稿ガラス 5-2
原稿セット向き 6-10
初期値 8-16
原稿トレイ 2-2
原稿の画質 6-11
初期値 8-16
原稿排紙テーブル 2-2
原稿幅ガイド 2-2
言語選択 8-6

こ

高圧縮PDF 6-24
初期値 8-17
国際エネルギースタープログラム 1-13
コピー 5-16

コピー禁止事項 1-5
コピー設定 8-20
 原稿送り装置動作 8-20
 自動倍率優先 8-20
 自動用紙動作設定 8-20
 次の予約優先 8-20
コピー速度 11-32
こまったときは 10-10
こんな表示が出たら 10-15

さ

再起動 8-35
サイズダイヤル 2-3
再生紙 11-29
サブネットマスク 11-46
 設定 8-27

し

地色調整 6-13, 8-39
 初期値 8-16
時差 8-37
システム/ネットワーク 8-27
 RAMディスク設定 8-35
 インターフェイスブロック設定 8-34
 オプション機能 8-37
 オプションネットワーク 8-32
 オプションメモリー使用量 8-36
 再起動 8-35
 セキュリティーレベル 8-35
 送信機能のネットワーク 8-34
 データセキュリティー 8-36
 ネットワーク 8-27
システムメニュー 8-2
 アドレス帳/ワンタッチ 8-23
 アプリケーション 8-23
 インターネット 8-23
 カセット/手差しトレイ設定 8-9
 簡単セットアップウィザード 2-16
 共通設定 8-11
 言語選択 8-6
 コピー 8-20
 システム/ネットワーク 8-27
 操作方法 8-2
 送信 8-21
 調整/メンテナンス 8-39
 日付/タイマー/節電 8-37
 ファクス 8-22
 プリンター 8-25
 文書ボックス 8-22
 ホーム 8-20
 ユーザー/部門管理 8-24
 ユーザー情報 8-9, 9-11
 レポート 8-6
自動改ページ待ち時間 11-46
自動カラー判別基準 8-39
自動低電力モード 2-14
自動ドラムリフレッシュ 8-40
自動用紙選択機能 11-46
自動両面機能について 1-12
シャープネス 6-13

縮小/拡大 6-14
 初期値 8-16
手動設定 (IPv6) 8-28
ショートカット 5-14
 登録 5-14
 変更と削除 5-15
仕様
 共通機能 11-30
 原稿送り装置 11-33
 コピー機能 11-32
 スキャナー機能 11-33
 プリンター機能 11-32
 ペーパーフィーダー (500枚×1) 11-34

状況/履歴の表示 8-19
商標について 1-6
使用枚数の集計
 カウンター 2-30
 全部門集計 9-45
 不明なジョブの処理 9-49
 部門管理レポート印刷 9-46
 部門別集計 9-45

消耗品

 残量確認 7-15
初期画面 8-11
初期値 8-16
ジョブ
 一時停止と再開 7-12
 確認画面の内容 7-4
 確認画面の表示 7-3
 キャンセル 7-12
 状況確認 7-2
 状況の種類 7-2
 詳細情報 7-8
 履歴確認 7-9
 履歴画面の表示 7-10
 履歴送信 7-11
 履歴の詳細 7-11
ジョブ/消耗品/デバイスを管理する 7-1
ジョブ終了通知 6-20
ジョブボックス
 一時保存文書の自動消去 8-22
 クイックコピー 4-14
 クイックコピージョブ保持数 8-22
 ジョブ保留 4-11
 試し刷り後保留 4-17
 パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する 4-8
 プライベートプリント 4-8
 保存先 8-22
新規フォルダー 5-26

す

スキャン禁止事項 1-5
ステータスページ 11-46
スリープ 2-15
スリープ時間 8-38
スリープレベル 2-15, 8-38
スリットガラス 2-2

せ

- 静音モード 6-21
- 静音モード設定 8-39
- 清掃 10-2
 - 原稿ガラス 10-2
 - スリットガラス 10-2
 - レジストローラー 10-3
- セキュアプロトコル 8-31
- セキュリティーキット 11-9
- セキュリティーデータの完全消去 8-36
- セキュリティーレベル 8-35
- 接続
 - USBケーブル 2-7
 - 電源コード 2-7
 - ネットワークケーブル 2-6
- 接続方法 2-5
- 設置環境について 1-3

そ

- ソート 6-10
 - 初期値 8-16
- 操作パネル 2-2
- 送信機能のネットワーク 8-34
- 送信結果レポート 8-8
- 送信サイズ 6-23
- 送信先の選びかた 5-22
- 送信する 5-19
 - パソコンに文書を送信するための準備 3-25
- 送信設定 8-21
 - カラーTIFF圧縮方式 8-21
 - 再宛先 8-21
 - 初期画面 8-21
 - 新規宛先の入力 8-21
 - 新規宛先の入力確認 8-21
 - 送信控え転送 8-21
 - 送信前の宛先確認 8-21
- 送信控え転送 8-21

た

- タッチパネル 3-4
- 短縮キー 3-10

ち

- 注意表示 1-2
- 調整/メンテナンス 8-39

つ

- 次の予約 5-17

て

- データセキュリティー 8-36
- 定着カバー 2-3
- 低電力モード 2-14
- 低電力モード時間 8-37
- 手差しトレイ 2-3, 11-46
 - 用紙サイズと用紙種類 3-23, 8-10
- 手差し補助トレイ 2-3
- デバイス 7-13

- デフォルトゲートウェイ 11-46
 - 設定 8-27
- 電源オフ時間 8-38
- 電源オフ条件 8-38
- 電源コード
 - 接続 2-7
- 電源スイッチ 2-2
- 電源を入れる 2-8
- 電源を切る 2-8
- 電力管理 1-13

と

- トナーコンテナ(黒) 2-4
- トナーコンテナの交換 10-5
- トナーコンテナロックレバー 2-4
- トナー残量少の通知レベル 8-18
- トナーの残量確認 7-15
- ドラムリフレッシュ 8-40
- 取り扱い上のご注意 1-4

な

- 内部トレイ 2-2

に

- 日常のお手入れ 10-2
 - トナーコンテナの交換 10-5
 - 廃棄トナーボックスの交換 10-8
- 入力
 - 件名 6-28
 - 文書名 6-21
- 入力長さ単位 8-18

ね

- ネットワーク
 - 準備 2-13
 - 設定 8-27
- ネットワークインターフェイス 2-5
- ネットワークインターフェイスキット 11-9
- ネットワークインターフェイスコネクタ 2-3
- ネットワークケーブル 2-5
 - 接続 2-6
- ネットワークの再起動 8-31

の

- 濃度 6-11
- 濃度調整 8-39

は

- 廃棄トナーボックス 2-4
- 廃棄トナーボックスの交換 10-8
- 排紙ストッパー 2-2, 2-4, 3-24
- 廃棄 11-42
- パソコンから印刷する 4-2
- パネルリセット時間 8-37
- 搬送用取手 2-2

ひ

- 左カバー 2-4

日付/時刻 8-37
日付/タイマー/節電 8-37
 エラー後自動継続 8-38
 エラー後自動継続時間 8-39
 オートパネルリセット 8-37
 時差 8-37
 使用禁止時間 8-39
 スリープ時間 8-38
 スリープレベル 8-38
 低電力モード時間 8-37
 電源オフ時間 8-38
 電源オフ条件 8-38
 パネルリセット時間 8-37
 日付/時刻 8-37
 日付形式 8-37
日付形式 8-37
日付と時刻の設定 2-11

ふ

ファーストコピータイム 11-32
ファーストプリントタイム 11-32
ファイル
 PDF 6-25
 形式 6-24
 分割 6-27
ファイル形式 6-24
 初期値 8-16
ファイル分割 6-27
 初期値 8-16
ファクス 8-22
封筒レバー 2-3
フォルダー (FTP) 送信 5-19
フォルダー (SMB) 送信 5-19
複合送信 5-33
部数制限 8-17
付属マニュアルの紹介 xiii
部門管理 9-31
 TWAIN 9-41
 WIA 9-42
 印刷 9-40
 削除 9-39
 使用制限 9-36
 使用枚数の集計 9-45
 初期設定 9-44
 新規登録 9-34
 ファクス 9-43
 部門管理について 9-31
 部門管理方式 9-33
 部門管理レポート 9-46
 編集 9-37
 有効 9-32
 ログアウト 9-48
 ログイン 9-48

プリンター 8-25
 A4/Letterの共通使用 8-25
 KIR 8-26
 印刷設定 4-5
 印刷の向き 8-25
 印刷範囲補正 8-26
 エコプリント 8-25
 エミュレーション 8-25
 改行 (LF) 動作 8-26
 解像度 8-26
 改ページ待ち時間 8-25
 給紙指定動作 8-26
 自動カセット切り替え 8-26
 ジョブ名 8-26
 手差しトレイ優先 8-26
 パソコンから 4-2
 部数 8-25
 復帰 (CR) 動作 8-26
 ユーザー名 8-26
 両面印刷 8-25
 ワイドA4 8-25
プリンタードライバ 11-46
 ヘルプ 4-6
文書ボックス
 外部メモリーボックス 5-42
 基本操作 5-42
 ジョブボックス 4-8, 5-41
 文書ボックスとは 5-41
 ユーザーボックス 5-41, 5-43
文書ボックス設定 8-22
 Fコードボックス 8-22
 ジョブボックス 8-22
 ポーリングボックス 8-22
 ユーザーボックス 8-22
文書名入力 6-21
 初期値 8-17

へ

ページ集約 6-16
ペーパーフィーダー 11-3
ヘルプ 11-46
ヘルプ画面の使いかた 3-11

ほ

ホーム 8-20
 壁紙 3-5
 タスクバーの設定 3-5
 デスクトップの設定 3-5
ホーム画面 3-4
法律上のご注意 1-6
補修用性能部品 11-42
保守サービス 11-41
ホスト名 8-27
保存サイズ 6-29
本書の読みかた xv
本製品の省エネ制御機能について 1-12

ま

前カバー 2-2

前カバーオープンボタン 2-2

め

メール件名/本文 6-28
 初期値 8-17
メール設定 2-39
メール送信 5-19

も

文字の入力 11-12
 入力画面 11-14
 入力方式 11-12
 入力文字 11-13
 文字変換 11-17, 11-19

ゆ

ユーザー/部門管理 8-24
 ID不明ジョブ処理 9-49
 部門管理設定 9-31
 ユーザー管理設定 9-2
ユーザー管理 9-2
 ICカード設定 9-29
 TWAIN 9-16
 WIA 9-17
 印刷 9-15
 簡単ログイン設定 9-25
 グループ認可設定 9-20
 新規登録 9-5
 ネットワークユーザー情報の取得 9-23
 ファクス 9-18
 ユーザーアカウントロックアウト設定 9-13
 ユーザー情報の変更 9-9
 有効 9-3
 ローカルユーザー認可 9-19
 ログアウト 2-10
 ログイン 2-9
ユーザー情報 8-9
ユーザーボックス
 印刷 5-47
 文書の削除 5-49
 文書の編集 5-48
 文書の保存 5-47
 ボックスの作成 5-43
 ボックスの変更と削除 5-45
優先印刷 6-21
ユニバーサル 11-46

よ

用語集 11-43

用紙

重さ 8-15
カスタムサイズ 8-13
カセット 8-9
カセットへの補給 3-14
サイズと種類 3-22, 8-9
仕様 11-21
設定 8-13
注意 3-13
適正な用紙 11-22
手差しトレイ 8-10
手差しトレイへの補給 3-18
特殊な用紙 11-25
特定用紙種類の動作設定 8-14
はがきの補給 3-20
封筒の補給 3-20
優先給紙元 8-14
用紙種類の設定 8-14
用紙の残量確認 7-15
用紙の補給 3-12
用紙種類の設定 8-15
用紙設定 8-13
用紙選択 6-9
用紙長さガイド 2-3, 3-15
用紙の取り扱い上の注意 3-13
用紙幅ガイド 2-3, 3-14
読み込み解像度 6-27
 初期値 8-16
予約コピー 5-17

ら

ラベル紙 11-27

り

両面/分割 6-18
両面カバー 2-3
両面原稿 6-22

れ

レジストローラー 2-4
レポート 8-6
 管理レポート設定 8-7
 結果通知設定 8-8
 履歴送信 8-8
 レポート印刷 8-6
レポート印刷
 オプションネットワークステータス 8-7
 サービスステータスページ 8-7
 ステータスページ 8-6
 ネットワークステータス 8-7
 フォントリスト 8-6
 部門管理レポート 8-7
連続読み込み 6-19
 初期値 8-16

ろ

ローカルユーザー認可 9-19
ログアウト 2-10
ログイン 2-9

わ

ワイヤレスインターフェイスキット 11-9

ワンタッチキー

登録 3-42

変更/削除 3-43

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品
質管理および最終検査
に合格しました。

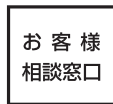
お客様相談窓口のご案内

弊社製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラドキュメントソリューションズ株式会社 京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社

〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2丁目14番9号

<http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp>



0570-046562

受付時間

● 9:00～17:00

(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。